

令和2年度版（令和元年度実績）

大牟田の教育

～ 教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価 ～

大牟田市教育委員会
大牟田市

目 次

はじめに	1
点検及び評価の概要	1
教育委員会の活動状況	
教育委員会の概要	3
教育委員会の主な活動実績	4
活動の評価	6
教育施策の推進状況	
(教育委員会関係分)	
平成31(令和元)年度大牟田市学校教育振興事業計画	
趣旨	8
平成31(令和元)年度の教育委員会の方針	9
成果指標の平成31(令和元)年度実績値	10
基本方針に係る成果指標の平成31(令和元)年度達成状況	11
平成31(令和元)年度重点事業	13
基本施策Ⅰ 特色ある学校教育の展開	
主要施策1 ESDの推進	25
主要施策2 郷土を愛する心をはぐくむ	27
主要施策3 英語教育の充実	29
主要施策4 各学校における特色ある教育活動の推進	31
基本施策Ⅱ 知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ	
主要施策1 確かな学力をはぐくむ	33
主要施策2 豊かな心をはぐくむ	37
主要施策3 健やかな体をはぐくむ	40
主要施策4 特別支援教育の推進	43
基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実	
主要施策1 学校再編整備の推進	46
主要施策2 安全で快適な学校施設の整備	48
基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	
主要施策1 安心して学べる学校づくり	51
主要施策2 学校・家庭・地域の連携	57
基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進	
主要施策1 人権・同和教育の推進	60

(市長部局関係分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より	64
成果指標の平成31(令和元)年度実績値	65
平成31(令和元)年度重点事業	66
第1編第1章 安心して子どもを産み、育てることのできるまち	
視点1 地域における多様な子育て支援	73
第1編第2章 心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち	
視点1 子どもの体験活動の充実	75
視点2 社会の宝として、地域全体で子どもたちを見守り、育てる	81
視点3 スポーツ・文化芸術活動を通じた青少年の心身の育成	82
視点4 青年の社会参加の促進	84
視点5 青少年の問題行動や悩みへの対応	85
第1編第5章 生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち	
視点1 学習機会の充実	89
視点2 学習成果を活かす仕組みづくり	93
視点3 地域での学習活動の支援	96
その他 社会教育委員の会議	97
第1編第6章 スポーツを通して生きがいに満ち、活気にあふれるまち	
視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり	101
視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり	105
視点3 スポーツがしやすい環境づくり	110
第1編第7章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち	
視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ	113
視点2 文化芸術事業の充実	117
視点3 文化芸術活動への参加機会の充実	121
視点4 文化芸術の環境づくり	122

学識経験者意見	126
---------	-----

資料編

歴代教育委員等	132
機構と職員数	134
教育財政	
令和2年度当初予算	136
令和元年度決算	137
教育費の当初予算・決算推移	138
各種委員会等	139

市立学校一覧	141
市立学校の通学区域	142
児童生徒数の推移	145
卒業後の状況	145
学校別児童生徒・教職員数	146
学校施設一覧	148
教育施設一覧	149
社会教育施設等の状況	
地区公民館	150
多目的活動施設リフレスおおむた	171
大牟田文化会館	174
三池カルタ・歴史資料館	178
図書館	182
スポーツ施設	190
指定・登録文化財一覧	192

はじめに

このたび、大牟田市教育委員会と大牟田市（市長の事務部局）は、平成30年度の本
市教育行政の実績を報告書「大牟田の教育」にまとめ、この中で教育委員会は、地方教
育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定めるところにより、その権限に属する
事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いました。

この点検及び評価は、令和元年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策
の推進状況」について実施したものであり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、
市民への説明責任を果たすことを目的としています。教育委員会は、この報告書を議会
に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価の結果を今後の教育委員会の活動や教育施策の推進に生かすととも
に、本市の教育行政が、市民の皆様の御理解のもとで効果的に推進できるよう、取組の
充実を目指していきます。

点検及び評価の概要

1 点検及び評価の対象並びに実施方法

(1) 「教育委員会の活動状況」の評価は、教育委員会会議の実施状況や、学校訪問、各
種行事、研修会等への参加状況などの教育委員会の活動とその情報発信について実
施しました。

(2) 「教育施策の推進状況」の評価は、以下の方法で実施しました。

① 教育委員会関係分

ア 「平成31（令和元）年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる基本方
針について、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の
方向性」の項目を設定して記述しました。

イ 「平成31（令和元）年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要
施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因
分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

② 市長部局関係分

大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育、スポーツ及び
文化の関係施策について、「主な事業」・「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対
する要因分析」・「今後の方向性」の項目を設定して記述しました。

なお、市長部局関係分のうち、点検及び評価の対象となるのは、スポーツ及び
文化芸術に関する事務などの市長が管理・執行する事務を除いた部分です。具体
的には、64～81ページ、84ページ、89～100ページ、110ページ（た

だし、学校体育施設開放事業のみ)及び113～116ページが対象となります。

③ 教育委員会関係分・市長部局関係分共通

令和元年度に重点的に取り組んだ事業については、個票を作成し、内容の充実を図りました。

2 教育に関して学識経験を有する者の知見の活用について

点検及び評価の客観性の確保の観点から地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項が規定する「教育に関して学識経験を有する者の知見の活用」については、教育学を専門とする大学教授に外部評価を依頼し、意見書を作成していただきました。

〔教育委員会の活動状況〕

1 教育委員会の概要

(1) 教育委員会の位置付け

大牟田市教育委員会は、地方自治法に基づく行政委員会であり、市長から独立した執行機関として設置されています。市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の委員で構成され、本市の教育行政における重要事項や基本方針について審議決定を行っています。

(2) 教育委員会の所管事務

大牟田市教育委員会は、学校教育、社会教育、人権・同和教育等に関する事務を所管しています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきH24年12月に制定した大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例により、次の事務については、H25年4月から、市長が管理し、及び執行しています。

- ・スポーツに関すること（学校における体育に関することを除きます。）
- ・文化に関すること（文化財の保護に関することを除きます。）

また、大牟田市教育委員会補助執行規程（H25年3月制定）に基づき、次の事務については、H25年4月から、市長の事務部局の職員が補助執行しています。

- ・文化財の保護及び活用に関すること
- ・社会教育の振興に関すること
- ・地区公民館、リフレスおおむた、図書館、三池カルタ・歴史資料館に関すること など

(3) 教育長の職務

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどるとともに、事務を統括し、事務局の指揮監督を行います。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（H27年4月1日施行。以下「法改正」といいます。）により、従前の教育委員会を代表する委員長と事務局を統括する教育長が一本化された新たな教育長が置かれることになりました。本市では、法改正をふまえ、H27年4月1日から新たな教育長が任命されています。

(4) 委員の職務

委員は、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行っています。また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に出席しています。このような活動を通して、教育における政治的中立性及び継続性・安定性を確保するとともに、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現を図っています。

(5) 令和元年度における教育委員会の構成（歴代委員等は『資料編』に掲載）

大牟田市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成しています。教育長の任期は3年、委員の任期は4年です（再任可）。教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、その職務を行います。

氏名（職名）	任期
安田 昌則（教育長）	H30年4月1日～R3年3月31日
山本 和夫（委員・教育長職務代理者）	H31年3月13日～R5年3月12日
嶋田 桂子（委員）	H29年6月1日～R3年5月31日
東 秀樹（委員）	H28年3月22日～R2年3月21日 R2年3月22日～R6年3月21日
笹井 葉子（委員）	H30年6月1日～R4年5月31日

2 教育委員会の主な活動実績

(1) 教育委員会会議の実施

原則として、定例会は毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適切に審議しました。

R元年度は、定例会を12回、臨時会を6回開催しました。なお、傍聴者は0人でした。

開催日	会議	議案番号	議案名等
4月18日	4月定例	—	報告事項7件（教職員異動状況 等）
5月16日	5月定例	1	大牟田市障害児就学指導委員会委員の任命について
		2	大牟田市立学校結核対策委員会委員の任命について
		—	報告事項5件（児童生徒数及び学級数 等）
6月3日	6月定例	—	報告事項2件（平成30年度大牟田市一般会計予算繰越明許費に係る繰越しについて 等） 協議事項3件（令和元年度大牟田市一般会計補正予算（案）について 等）
7月2日	第1回臨時	3	大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた条例及び条例施行規則の一部改正について
		—	協議事項1件（大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画（案）について）
7月9日	7月定例	4	社会教育委員の委嘱について
		—	報告事項4件（令和元年度施設の営繕要望の回答（案）について 等） 協議事項2件（平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意について 等）
8月6日	8月定例	5	保健所の設置主体の変更に伴う関係条例の整備に関する条例の制定に係る議案の作成について
		6	令和2年度使用小学校及び中学校教科用図書の採択について
		7	平成30年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価（令和元年度版「大牟田の教育」）について
		—	報告事項1件（小・中・特別支援学校PTA連合会「対市陳情」について） 協議事項1件（大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究報告書案について）
8月26日	第2回臨時	8	大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた条例施行規則の一部改正について
		—	報告事項1件（大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についての意見書について） 協議事項1件（令和元年度大牟田市一般会計補正予算（案）について）
9月30日	9月定例	9	教職員の服務上の措置について
		—	報告事項1件（令和元年度（後期）大牟田市障害児就学指導委員会報告書について） 協議事項1件（「教育委員会だより」第13号の紙面について）

10月16日	10月定例	10	大牟田市立小学校給食調理業務委託者選定委員会の委員の任命について
		—	報告事項3件(第72回成人式について等) 協議事項1件(大牟田市文化芸術振興プランの改訂について)
10月29日	第3回臨時	—	協議事項1件(大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画(案)について)
11月5日	第4回臨時	11	大牟田市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画について
11月25日	11月定例	12	令和2年度大牟田市教職員人事異動方針について
		—	報告事項5件(「平成31(令和元)年度大牟田市学校教育振興事業計画」重点事業の上半期の進捗状況について等) 協議事項1件(令和元年度大牟田市一般会計補正予算(案)について)
12月23日	12月定例	—	報告事項1件(学校給食週間の実施について) 協議事項1件(大牟田市子ども読書推進計画(素案)について)
R2年1月14日	1月定例	—	報告事項3件(青少年健全育成プランについて等) 協議事項1件(大牟田市学校教育振興プラン2020~2023(案)について)
R2年2月4日	第5回臨時	13	令和2年度教職員の人事について
		14	令和2年度市職員の人事について
		—	報告事項2件(第72回成人式の実施状況について) 協議事項1件(「教育委員会だより」第14号の紙面について)
R2年2月18日	2月定例	15	大牟田市立学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について
		—	報告事項2件(令和元年度大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会「対市陳情」に対する回答案について等) 協議事項2件(大牟田市学校教育振興プラン2020~2023(案)について)
R2年3月18日	3月定例	16	大牟田市子ども読書推進計画の改訂について
		17	大牟田市社会教育振興プラン2020~2023の策定について
		—	報告事項2件(令和2年度教職員の人事について等) 協議事項2件(令和2年度大牟田市一般会計当初予算(案)について等)
R2年3月23日	第6回臨時	18	大牟田市学校教育振興プラン2020~2023の策定について
		19	令和2年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について
		20	市職員の人事について
		—	報告事項1件(令和元年度学校給食週間 学校給食アンケート調査結果報告について)

(2) 総合教育会議への出席

法改正を受けて、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育課題や目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくため、市長及び教育委員会で構成される大牟田市総合教育会議がH27年度に設置されました。

R元年度の会議は10月9日に開催され、「大牟田市教育の振興に関する大綱」や「大牟田市学校教育振興プラン」の策定等に向けた協議等が行われました。

(3) 学校訪問

学校訪問は、教職員の資質の向上、学校教育の充実を図ることを目的として実施しており、R元年度は14回実施しました。学校訪問では授業等の教育活動の視察や学校関係者との協議等を行いながら、教育活動全般について指導・助言を行いました。

(4) 各種行事への出席

卒業式、成人式、学校給食、スポーツ関連行事等、年間21行事に出席しました。

(5) 研修会等への出席

福岡県市町村教育委員会連絡協議会、南筑後地区教育委員会連絡協議会等が主催する会議や研修会等に年間8回出席し、他の自治体の委員との情報交換や研究協議を通して情報収集を行いました。

(6) 勉強会の開催

会議の円滑な運営と議論の活性化に資するよう、審議や協議を行う議題については、必要に応じ勉強会を開催しており、R元年度は5回開催しました。

3 活動の評価

(1) 教育委員会会議について

教育委員会会議については、大牟田市教育委員会会議規則により、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じて開催しています。事前に送付された会議資料により議題への理解を深めた上で会議に臨み、常に市民の視点に立った議論を行うことに留意し、施策等の議論においては改善点や要望等について示しました。また、必要に応じて事前に勉強会を実施し、事務局に説明を求め、内容の理解に努めました。

今後も、教育委員会として一層責任ある意思決定を行うため、教育施策に関すること等の特に重要な議題については、積極的に情報収集を行うとともに、継続的に勉強会を実施していきます。

(2) 教育委員会会議以外の活動について

各種行事への出席や学校訪問を行い、関係者との懇談や情報交換を行うことで現場の実態や状況の把握を行いました。また、県教育委員会等が主催する研修会に積極的に参加することで、国や県の教育行政の動向や他の自治体の状況等について理解を深め研鑽に努めました。

今後も、市民の意向を十分に反映した教育行政を展開するため、教育現場の実態把握や関係機関からの情報収集に努めていきます。

(3) 教育委員会活動の情報発信について

教育委員会会議については、事前に開催案内を市庁舎掲示板に告示するとともに、教育委員会のウェブサイトにも掲載し周知に努めています。会議については原則として公開し、会議資料の閲覧も可能です。H27年度からはウェブサイトにおいて教育委員会会議議事録の公開も行っています。

また、教育委員会活動が市民により一層理解され、関心を持ってもらえるよう、H27年度から「教育委員会だより」を発行しています。R元年度は7月・11月・3月の3回発行し、情報発信の充実を図りました。

教育施策の推進状況

(教育委員会関係分)

平成31（令和元）年度 大牟田市学校教育振興事業計画

趣 旨

- 1 本計画は、本市における平成28年度から31（令和元）年度までの教育の振興に関する基本的な計画である「大牟田市学校教育振興プラン2016～2019」に基づく平成31（令和元）年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するものです。
- 2 本計画は、平成31（令和元）年度の教育委員会の方針について掲載するとともに、成果指標の平成31（令和元）年度目標値や、平成31（令和元）年度に特に重点的に取り組む事業（以下「重点事業」といいます。）の内容等について掲載しています。

平成31（令和元）年度の教育委員会の方針

1 基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会づくりを担う子どもたちの育成を目指します。

2 基本方針（平成31（令和元）年度の実施方針）

社会を生き抜く力を身に付けた「おおむたっ子」の育成

児童生徒に、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるとともに、激しく変化し続ける社会の中で、それらを活用しながら、自ら課題を発見し、主体的に解決できるようになるために必要な資質や能力すなわち「社会を生き抜く力」をはぐくみます。

そのため、持続可能な開発のための教育（ESD）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開するとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

目指す児童生徒の姿 「おおむたっ子」

- おお** 大きな夢を抱き未来を創る児童生徒
- む** 難しいことにもねばり強く取り組む児童生徒
- た** たくましい心と体を備えた児童生徒

重点事業

- ・ おおむた・みらい・ESD推進事業
- ・ 人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業
- ・ 大牟田英語教育ステップアップ推進事業
- ・ 大牟田学力ブラッシュアップ推進事業
- ・ 「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業
- ・ 子ども大牟田体力検定推進事業
- ・ 人権・同和問題啓発事業

成果指標の平成31(令和元)年度実績値

1 基本方針に係る成果指標

指標名	指標の概要	現状値 (H27年度)	目標値 (R1年度)	実績値 (R1年度)	達成度 (R1年度)
将来に向けて意欲をもって取り組もうとする中学3年生の割合	将来の夢や目標を持って努力していこうという生徒の割合(中学3年生へのアンケート)	72.6%	80%	82.8%	103.5%

2 主要施策の成果指標

基本施策	主要施策	指標名	指標の概要	現状値 (H27年度)	目標値 (R1年度)	実績値 (R1年度)	達成度 (R1年度)
I 特色ある学校教育の展開	1 ESDの推進	ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	地域や世界のために頑張りたいという児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	86.0%	90%	91.7%	101.9%
	2 郷土を愛する心をはぐくむ	郷土大牟田に対する興味・関心	郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	85.2%	90%	90.8%	100.9%
	3 英語教育の充実	英語の授業の理解度	小学校外国語活動、中学校外国語科(英語科)の授業はよく分かると答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	81.7%	85%	85.3%	100.4%
	4 各学校における特色ある教育活動の推進	小中連携・小中一貫教育の取組み実績	小中学校において小中連携・小中一貫教育に関する事業を実施した回数	46回	62回	71回	114.5%
II 知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ	1 確かな学力をはぐくむ	国語・算数(数学)の授業の理解度	国語・算数(数学)の授業がよく分かると答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	87.7%	90%(毎年度維持)	90.7%	100.8%
	2 豊かな心をはぐくむ	児童生徒の規範意識	人の気持ちがわかる人間になりたいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	93.8%	95%(毎年度維持)	96.1%	101.2%
	3 健やかな体をはぐくむ	児童生徒の体力向上の取組み実績	子ども大牟田体力検定に参加した児童生徒の割合	87.1%	90%(毎年度維持)	92.3%	102.6%
	4 特別支援教育の推進	特別支援教育支援員の配置効果	保護者・学校へのアンケートで、特別支援教育支援員の配置効果を認める割合	100%	100%(毎年度維持)	100%	100%
III 学校教育環境の充実	1 学校再編整備の推進	学校再編の計画の周知度	適正規模・適正配置計画に係る第2期実施計画の説明会開催回数	—	42回	52回	123.8%
	2 安全で快適な学校施設の整備	校舎トイレの洋式化率	市立学校の校舎トイレを洋式に改修した割合	51.6%	62%	62.2%	100.3%
IV 安心して学べ、地域とともにある学校づくり	1 安心して学べる学校づくり	児童生徒の学校生活への満足度	学校に行くのは楽しいと答えた児童生徒の割合(小学5年生・中学2年生へのアンケート)	86.7%	90%	90.7%	100.8%
	2 学校・家庭・地域の連携	学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	各学校の教育活動に対し、ゲストティーチャーとして支援をいただいた保護者や地域の方の延べ人数	1,327人(H24~26年度平均)	1,400人	1,983人	141.6%
V 人権に関する教育・啓発の推進	1 人権・同和教育の推進	人権尊重意識の醸成度	人権・同和教育推進のための諸事業後の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と答えた人の割合	95.9%(人権・同和教育講演会)	100%(毎年度維持)	94.6%	94.6%

基本方針に係る成果指標の平成31（令和元）年度達成状況

基本方針

社会を生き抜く力を身に付けた「おおむたっ子」の育成

児童生徒に、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるとともに、激しく変化し続ける社会の中で、それらを活用しながら、自ら課題を発見し、主体的に解決できるようになるために必要な資質や能力すなわち「社会を生き抜く力」をはぐくみます。

そのため、持続可能な開発のための教育（ESD）や郷土愛をはぐくむ学習などの特色ある学校教育を展開するとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進します。また、各学校が多様な教育活動を展開することができるよう、学校教育環境を充実させます。

成果指標の達成状況

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
将来に向けて意欲を持って取り組もうとする中学3年生の割合	目標値（%）	74.0	76.0	78.0	80.0	現状値から8ポイント程度（年2ポイント）の向上を目指します。 [現状値：72.6%（27年度実績）]
	実績値（%）	74.3	76.2	78.6	82.8	
	達成度（%）	100.4	100.3	100.8	103.5	

指標達成度に対する要因分析

本施策の成果指標のR元年度の実績値は82.8%となり、目標を達成することができました。その要因として次のようなことが考えられます。

児童生徒は、自己の能力を発揮できたときや自己の目標の達成感を味わったとき、新たな目標を持ち、主体的に行動します。本市の特色ある教育の主要な柱であるESDの推進において、各学校は、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じ、自ら考え行動する児童生徒の育成を目指した教育活動を展開し、教育委員会はその支援を行うとともに、ESDに関する様々な全市的事業に取り組みました。その結果、児童生徒は、目標を持つことの大切さについて理解するとともに、目標に向けて頑張ったことによる達成感を味わうことができたと考えられます。

更に、社会を生き抜く力の基礎となる「確かな学力（知育）」、「豊かな心（徳育）」、「健やかな体（体育）」のバランスが取れた児童生徒の育成を目指して、各学校は、児童生徒の興味・関心や能力に応じた教育活動を展開し、教育委員会はその支援を行うとともに、様々な全市的事業に取り組みました。

その結果、児童生徒それぞれが自己のよさを様々な場面で発揮でき、達成感を味わうことができたと考えられます。

今後の方向性

これまでの継続的な取組みの結果がR元年度目標の達成につながったと考えられますので、今後においても、本施策を構成する様々な事業の更なる推進と拡充を基本に取り組んでいくことが重要であると考えます。

このため、E S Dを中核として、郷土愛をはぐくむ学習や英語教育などの本市の特色ある教育の充実を一層進めるとともに、知育・徳育・体育のバランスが取れた教育を推進し、児童生徒が達成感を味わうことで、新たな目標を持ち、将来に向けた意欲を持てるようはぐくんでいきます。

また、各学校が更に特色ある教育活動を展開することで、児童生徒一人ひとりが自己のよさを発揮し、目標を持って主体的に学ぶことができるよう支援していきます。

平成31（令和元）年度重点事業

施策体系		事業名	ページ
基本施策	主要施策		
I	1	おおむた・みらい・ESD推進事業	14
I	1	人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業	16
I	3	大牟田英語教育ステップアップ推進事業	17
II	1	大牟田学力ブラッシュアップ推進事業	19
II	2	「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業	21
IV	1		
II	3	子ども大牟田体力検定推進事業	23
V	1	人権・同和問題啓発事業	24

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校教育課指導室）

事業名	おおむた・みらい・ESD推進事業（25ページ参照）				
	基本施策：I 特色ある学校教育の展開				
	主要施策：1 ESDの推進				

目的
本市の特色ある SDGs（持続可能な開発目標）／ESD（持続可能な開発のための教育）の取組をさらに発展・拡充させ、持続可能な社会づくりの担い手としての児童生徒の育成を目指します。また、SDGs／ESD を市全体に広めていくとともに、全国や世界に発信し、「SDGs／ESD のまち・おおむた」のブランド化を目指します。

事業内容

- 「大牟田市ユネスコスクールの日」（1月17日）と「ESD のまち・おおむた宣言」の制定を記念する「ユネスコスクール・SDGs／ESD 子どもサミット」を開催し、児童生徒による学習成果の発表や他地域の学校との交流を行います。また、「大牟田市ユネスコスクール週間」の期間中に各学校が行う ESD の学習発表会等を支援します。
- 各学校の SDGs／ESD の充実を図るため、次のことに取り組みます。
 - 各学校が行う世界遺産学習、環境学習、福祉学習、国際理解学習等の教育活動、全国や世界のユネスコスクールとの交流活動の充実を支援します。
 - 市立学校の児童生徒を対象に、自然体験などの ESD 体験講座を開催し、体験を通して主体的に考え行動する態度を育成します。
- 学校教育において、地域の SDGs の達成に貢献しつつ、全国レベルで持続可能な ESD の推進体制を構築するため、次のことに取り組みます。
 - 全国各地で先進的に ESD に取り組んでいる教育委員会の参画により創設した「SDGs／ESD 教育委員会コンソーシアム」と連携し、「ユネスコスクール・SDGs／ESD 教育委員会サミット」・「ユネスコスクール・SDGs／ESD 全国実践交流会 in おおむた」を開催するなど、ESD 推進のための政策的支援の枠組み作りを進めます。
 - 全国及び本市において ESD 実践の中核となる指導的な教員「ESD マスターティーチャー」を養成し、さらなるスキルアップを図るとともに、各地域の情報を共有する人的ネットワークを構築します。
 - 企業との協働による SDGs／ESD に関する研修会を開催します。
- 国際連合大学（以下「国連大学」）との連携による「ESD の深化と広がり」を通して SDGs の達成への貢献を目指し、次のことに取り組みます。
 - 国連大学関係者や SDGs／ESD 関係者を招き、研究発表会を開催します。
 - 地域社会で ESD を実践する拠点として国際的なネットワークに参画することを目指します。
- SDGs／ESD への理解を促進するため、広く市民を対象とする講演会や市民講座・企業講座等を開催します。
- 啓発リーフレットや各学校の実践事例集の作成・配布、ホームページや SNS の活用等を通して、全国や世界に向けて本市の SDGs／ESD の取組を発信します。あわせて、市民向けの啓発（『広報おおむた』への SDGs／ESD 特集記事の掲載等）を行います。

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
ESD を通じた地域や世界への貢献の意識	目標値 (%)	87.0	88.0	89.0	90.0	地域や世界のために頑張りたいと答えた小学5年生と中学2年生の割合(27年度実績・86%)を、90%を目指して年に1ポイントずつ向上させます。
	実績値 (%)	87.4	88.3	89.7	91.7	
	達成度 (%)	100.5	100.3	100.8	101.9	

取組実績

- 7月の定例校長会で「ユネスコスクール・SDGs／ESD 子どもサミット」での学校の発表について周知し、発表校の募集を行いました。1月11日に開催したサミットで、市内小学校6校・中学校2校、市内高等学校1校が発表しました。市外からは宮城県気仙沼市立鹿折小学校が発表しました。さらに、各学校が実施するユネスコスクール週間の企画に関して助言等の支援を行いました。
- 各学校のユネスコスクール・ESD の充実を図るため、次のことに取り組みました。
 - 各学校では、学校の特色に応じた ESD のテーマを設定して、特色ある教育活動を展開しました。学校の要請に応じ、校内研修に指導主事を派遣し、ESD に係る理論研修や実践のポイント等について指導助言を行いました。
 - 6月と10月に延命公園において ESD 体験講座（環境学習）「ネイチャースクール」を開催しました。合計25人の児童が参加し、自然環境の大切等について学びました。
- 学校教育において、地域の SDGs の達成に貢献しつつ、全国レベルで持続可能な ESD の推進体制を構築するため、次のことに取り組みました。

- (1) 全国各地で先進的に ESD に取り組んでいる教育委員会の参加による「ユネスコスクール・SDGs/ESD 教育委員会サミット」を 8 月 21 日と 1 月 11 日に開催しました。文部科学省、福岡県教育委員会をはじめ、全国から 9 の教育委員会・関係団体が参加し、各市町における SDGs/ESD の推進状況、実践手法や地域課題を共有するとともに、今後の推進・充実に向けて協議を行いました。また、「ユネスコスクール・SDGs/ESD 全国実践交流会 in おおむた」を 8 月 22 日に開催しました。全国から 300 人を超える教職員や ESD 関係者が参加し、午前の SDGs/ESD についての講演、午後の分科会での実践交流等を通して、SDGs の達成を目指した ESD の充実について学び合いました。
- (2) 全国各地において ESD の中核となる指導的教員の養成を図る「ESD マスターティーチャー養成講座」を年間 5 回開催しました。市外から 9 人、市内から 11 人の教職員が参加し、SDGs/ESD に関する理論と実践の研修や授業実践の交流を行い、学びを深めました。
- (3) 市内企業、団体等に対し、上記の「ユネスコスクール・SDGs/ESD 全国実践交流会 in おおむた」への参加を案内し、SDGs/ESD について学んでいただくとともに、協働を推進する機会としました。
- 4 国連大学との連携による「ESD の深化と広がり」を通して SDGs の達成への貢献を目指し、次のことに取り組みました。
 - (1) 各学校の SDGs/ESD の成果発表会である 1 月 11 日の「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」に国連大学関係者や SDGs/ESD 関係者を招き、本市の取組について指導助言を受けました。
 - (2) 国連大学が認定する、地域社会で ESD を実践する拠点である「RCE」(Regional Centre of Expertise on ESD) への加盟認定を受け、2 月 27 日に認定式と記念講演を開催しました。外務省からの挨拶並びに国連大学サステナビリティ高等研究所所長より記念講演をしていただき、国際的な ESD の地域拠点としての役割を果たすべく、持続可能な大牟田のまちづくりを行政、学校、地域、企業等で連携・協働して、SDGs の達成に向けていくことを確認し合いました。
- 5 各種団体の会合等に指導主事が随時出向き、SDGs/ESD について講話を行いました。校区まちづくり協議会等の地域講座を 13 回開催し、328 人が受講しました。企業等の各種団体等の講座を 15 回開催し、311 人が受講しました。講話の中では、本市が進める SDGs/ESD や市立学校の取組等を紹介するなど啓発を行いました。また、9 月には、市職員のうち受講を希望する者や H30 年度の未受講者(課長、主査等)を対象に「ESD 職員研修」を 2 回開催し、75 人が受講しました。
- 6 おおむた SDGs マップの作成・配布、ホームページ、大牟田市フェイスブック、SNS や「広報おおむた」等により、随時、本市の ESD の取組を紹介し、市民への啓発を図りました。

決 算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	5,791 千円 千円)	3,440			2,351

問題点及び課題

各学校の ESD をリードしていく教員を今後も養成するとともに、市民団体や地元企業等との連携を図り、各学校が重点とする SDGs の達成を目指した ESD の充実を図っていく必要があります。

今後の方向性(具体策)

「ESD マスターティーチャー」を実践講座を引き続き開催するとともに、各学校の目指す SDGs を重点化して、さらなる ESD の充実を図り、その取組を「SDGs/ESD 全国実践交流会」や「ユネスコスクール・SDGs/ESD 子どもサミット」を通して全国に発信します。

評 価

当初の計画どおりに事業を展開することができ、成果も上がっています。今後も各学校の SDGs の達成を目指した ESD の充実を図るとともに、本市の SDGs/ESD の取組を国内外に発信していきます。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校教育課指導室）

事業名	人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業（25・26ページ参照）				
	基本施策：I 特色ある学校教育の展開				
	主要施策：I ESDの推進				

目的
世界遺産である三池港やその先に広がる有明海を学習対象として、本市の特色を活かしたカリキュラムや教材開発等の研究を進め、その成果を各学校に広げることにより、「海を通したESD」といわれる海洋教育を推進し、人と海との持続可能な関係について理解し自分にできることから行動する児童生徒の育成を目指します。

事業内容

- 1 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター（以下「東大海洋教育センター」）と連携し、全国の海洋教育促進拠点と研究内容について交流を行うとともに、海洋教育の先進校や実践校との交流を行います。
- 2 海洋教育を推進する拠点校に指定した学校（みなと小学校・天領小学校・天の原小学校の3校）が行うカリキュラム開発等の研究を支援します。
- 3 各推進拠点校が行う公開授業や研究成果の発信を支援するとともに、事業報告書を作成し、関係機関等に配布します。
- 4 各推進拠点校と市内外の関係機関との連携を支援します。
- 5 教職員等を対象に研修会を開催します。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
三池港や有明海に対する興味・関心	目標値 (%)	—	70.0	75.0	80.0	三池港や有明海のことをもっと知りたいと答えた推進拠点校の小学5年生の割合を、80%を目指して年に5ポイントずつ向上させます。
	実績値 (%)	—	70.5	85.2	87.1	
	達成度 (%)	—	100.7	113.6	108.9	

取組実績

- 1 東大海洋教育センターと連携し、7月2日に本市の海洋教育推進拠点校（みなと小学校・天領小学校・天の原小学校の3校）と、九州の海洋教育促進拠点である鹿児島県南さつま市、同県与論町、佐賀県玄海町、同県唐津市、沖縄県竹富町の小中学校、計10校の学校間で情報交換会を行いました。
- 2 市推進拠点校3校の教頭、主幹教諭、研究主任で構成するワーキンググループ会議を定期的に行い、3校のカリキュラムについて協議するとともに、カリキュラム開発のための考え方等について研修を深めました。
- 3 市推進拠点校の公開授業に指導主事を派遣し、理論研修や海洋教育充実のための実践のポイント等について指導助言を行いました。7月16日に文化会館で市推進拠点校3校が主催した学習交流会の開催に際し、東大海洋教育センターから講師を招聘しました。また、1月17日に開催した「海洋教育こどもサミット2020 in おおむた」において、講師を招聘するとともに、令和元年度の事業報告書に掲載する市推進拠点校の実践事例に関する指導助言を行いました。また、市推進拠点校以外の学校に対し、海洋教育に係る研究成果を発信しました。
- 4 教育委員会と市推進拠点校の担当者で構成する海洋教育推進協議会を4月に開催し、海洋教育に係る関係機関や団体の情報の共有を図りました。また、市推進拠点校による干潟観察会（5～6月）の開催に際し、「世界文化遺産『三池港』と有明海を守る会」「ネイチャーガイドオオムタ 自然案内人」の方々にゲストティーチャーの紹介等の支援を行いました。
- 5 8月22日に開催した「ユネスコスクール・ESD全国実践交流会 in おおむた」において、海洋教育に関する分科会を設け、市内外の教員を対象に海洋教育に係る研修を実施しました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)	300 千円 千円)				300

問題点及び課題
市推進拠点校の実践を市内の各学校へ発信するとともに、市外の海洋教育推進校との実践の交流を通して、更なる広がりや深まりのある海洋教育を推進する必要があります。

今後の方向性（具体策）
市推進拠点校が実施する学交流会等の研修会や「海洋教育子どもサミット」等への市内学校の参加、ESD研修会での実践発表、実践事例集の配布等を通して、海洋教育についての理解の促進を図ります。

評価
当初の計画どおりに事業を実施でき、成果も上がっています。今後も、市推進拠点校の取組を充実させるとともに、その成果の発信を通して本市の海洋教育の充実を図っていきます。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校教育課指導室）

事業名	大牟田英語教育ステップアップ推進事業（29ページ参照）				
	基本施策：I 特色ある学校教育の展開				
	主要施策：3 英語教育の充実				

目的
児童生徒が英語を実践的に使う機会を設けることで、英語が世界中の人々とコミュニケーションをとる有効な手段であることを実感できるようにするとともに、外国の言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。

事業内容

- 1 外国語活動の充実を図るため、小学校が夏季休業期間中に6年生を対象として実施する「イングリッシュ・サマースクール」に「イングリッシュ・アドバイザー」を派遣して支援します。
- 2 小学6年生用に作成した「イングリッシュ・ノート」を外国語活動の学習で活用します。
- 3 中学生を対象に、次の2コースの「イングリッシュセミナー」を開催します。
 - (1) 本市の世界遺産等を外国人見学者に英語で説明する「子どもイングリッシュボランティアガイド」育成コース
 - (2) ガイド用資料作成コース
- 4 各学校の英語教育の発表の場「オオムタ・E1グランプリ」を開催し、小学生コンテスト（スキット）と中学生コンテスト（スピーチや暗唱）を行い、優れた発表者を表彰します。
- 5 新学習指導要領における質の高い英語教育の先行実施として、小学生と中学生の各コースの「ジョイフル・イングリッシュ・タイム」を開催し、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」を取り入れた学習や、双方向のコミュニケーション学習の機会を提供します。
- 6 市の研究指定校（外国語活動）の小学校における研究を通して小・中連携のもとで行われる、新学習指導要領を踏まえた先進的な英語教育の研究と実践を支援します。
- 7 大牟田市動物園と小学校が協働し、子どもの興味関心を活かした特色ある英語教育を推進するとともに、全国に発信します。
- 8 小学校では英検5級の、中学校では英検3級の受験を希望する児童生徒に検定料の一部を補助します。
- 9 本市の英語教育の取組を教育委員会ホームページや『広報おおむた』等に掲載するなどにより、保護者や市民等への情報発信の充実を図ります。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値 (%)	82.0	83.0	84.0	85.0	外国語活動、英語科の授業はよく分かると答えた小学5年生と中学2年生の割合（27年度実績・81.7%）を、85%を目指して毎年1ポイントずつ向上させます。
	実績値 (%)	82.9	83.2	84.2	85.3	
	達成度 (%)	101.1	100.2	100.2	100.4	

取組実績

- 1 夏季休業期間中に全小学校で5日間の「イングリッシュ・サマースクール」を開催しました。英語の指導のサポートを行う「イングリッシュ・アドバイザー」を派遣するなどして、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」の学習の充実を図りました。
- 2 各小学校に対し、小学6年生用の「イングリッシュ・ノート」を外国語活動の中で活用し、学習活動の充実を図るよう指導しました。
- 3 白光中学校を会場に「イングリッシュセミナー」を合計20回開催し、延べ80人の生徒が受講しました。今年度は大牟田市動物園をテーマに学習を進めることとし、毎回、「イングリッシュ・アドバイザー」を派遣して学習の充実と生徒の英語の実践力の向上を図りました。
 - (1) 「子どもイングリッシュガイド」育成コースでは、動物園をはじめとする大牟田市のよさを英語で伝える活動に取り組みました。
 - (2) ガイド用資料作成コースでは、大牟田市動物園を紹介する英語のパンフレットを作成しました。
- 4 小学校と中学校に対し、「オオムタ・E1グランプリ」への参加を募り、11月9日に大牟田文化会館小ホールで開催しました。小学校6グループと中学校10グループが外国語活動や英語の学習成果を発表しました。発表後、E1グランプリ賞ほか各賞の表彰を行いました。
- 5 8月8日に文化会館で、小学校高学年と中学生の各コースの「ジョイフル・イングリッシュ・タイム」を開催しました。小学生54人・中学生24人が参加し、参加者同士やALT（外国語指導助手）との「聞く」「話す」「読む」「書く」を取り入れた学習や、双方向のコミュニケーション学習を行いました。
- 6 明治小学校を研究指定校として、11月22日に研究発表会を開催しました。全国から300人を超える教職員や英語教育関係者が参加し、新学習指導要領の実施に向けた英語教育について学びを深めました。また、人型ロボットを活用した外国活動の公開学習を2月21日に開催しました。市内外の100人を超える教職員や報道関係者が参加し、外国語活動における人型ロボットの活用について学びを深めました。

- 7 11月に、大牟田市動物園と明治小学校が連携し、現地で、園内の動物について英語で紹介したり案内したりするなど、子どもの興味関心を活かした英語教育を行いました。
- 8 10月と1月に、英検5級を受験する小学校6年生と英検3級を受験する中学生2・3年生(2年生は1月のみ)を対象に、検定料の一部(小学生1,000円、中学生1,950円)を補助しました。小学生194人と中学生114人が受験しました。
- 9 本市の英語教育の取組を教育委員会ホームページやSNS等で随時紹介するなど、保護者や市民への情報発信を行いました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 (次年度への繰越)					1,094
1,094 千円 千円)					

問題点及び課題

新学習指導要領の全面实施(小学校:R2年度、中学校:R3年度)に伴った学習活動の充実が必要です。また、英検検定料の一部補助の継続を含め、児童生徒の興味・関心に応じた学習機会の提供が必要です。

今後の方向性(具体策)

新学習指導要領の全面实施と合わせ、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう、学習展開の充実を図ります。また、「イングリッシュセミナー」と「オオムタ・E1グランプリ」の開催(内容や方法の変更)、英検検定料の一部補助について取組を継続します。

評価

当初の計画どおりに事業を実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の英語を使う実践力の向上に向けて事業の充実を図っていきます。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校教育課指導室）

事業名	大牟田学力ブラッシュアップ推進事業（34・35ページ参照）				
	基本施策：Ⅱ 知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ				
	主要施策：1 確かな学力をはぐくむ				

目的
本市のこれまでの学力向上の取組の成果と児童生徒の学習状況等を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得並びにそれらを活用する能力の育成を図ります。特に、学力と相関の高い自尊感情の向上を通して、児童生徒の主体的な学びの高まりを目指します。

事業内容

- 各小・中学校が夏季休業期間中に実施する強化学習「サマースクール」や放課後等に実施する補充学習「アフタースクール」に学習サポーターを派遣し、個に応じたきめ細かな指導を支援します。
- 小学校高学年児童及び中学校生徒を対象に、国語・算数（数学）等の難問や応用問題等にチャレンジする「チャレンジスクール」を開催します。
- 国語、算数・数学といった教科だけでなく、広く得意教科を伸ばすことを目的として、小・中学校の児童生徒（個人やグループ）による理科や社会科等の学習に関する自由研究のコンテスト「学びのグランプリ」を開催し、教科別・学年別に優れた発表者を表彰します。
- 各学校や小・中連携のもと中学校区単位で行われる家庭学習習慣の定着の取組を支援します。
- 教職員を対象とする学力向上実践報告会を開催し、各小・中学校の学力向上に関する実践の成果と課題を交流することにより、小・中学校が連携した実践の更なる充実を図ります。
- 本市の学力向上の取組を教育委員会ホームページや『広報おおむた』等に掲載するなどにより、保護者や市民等への情報発信の充実を図ります。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
標準学力検査結果	目標値	50	50	50	50	小学5年生と中学2年生を対象に実施する標準学力検査の結果を毎年度50（全国平均値）以上とすることを目標とします。
	実績値	50.3	50.2	50.0	50.1	
	達成度（%）	100.6	100.4	100	100.2	

取組実績

- 各小・中学校が夏季休業期間中に5日間程度実施した強化学習「サマースクール」や放課後等に実施した補充学習「アフタースクール」等に学習サポーターとして非常勤講師や大学生等を派遣し、児童生徒個々の実態に応じたきめ細かな指導を行いました。
- 8月7日に文化会館で「チャレンジスクール」を開催し、小学校高学年（国語）22人・（算数）40人、中学生（数学）35人が参加しました。小学校高学年の国語では和風月名や百人一首など、算数ではつるかめ算や俵算などに挑戦し、中学生の数学では難問に挑戦しました。12月26日には、小学5年生と中学2年生を対象に、国語、算数・数学の問題に3人一組で挑戦する「学習チャレンジ大会」を文化会館で開催し、多くの児童生徒が参加しました。
- 小・中学校に対し、夏休みの自由研究の作品の中から、理科や社会科等の学習に関する作品を募集しました。それぞれ多数の応募の中から、小学校6点、中学校5点の作品を選考し、10月26日に石炭産業科学館において「学びのグランプリ」を開催し、研究成果の発表と交流を行いました。
- 毎月11日（“いい日”）を「家庭学習の日」と定め、各中学校区において小学校と中学校が連携し、家庭学習強化週間の設定を行うなどの取組を展開し、家庭学習習慣の定着に取り組みました。
- 8月に各中学校区において、小・中連携に係る研修会を開催しました。各学校の校内研修等へ指導主事を派遣し、学校の学力向上プランの充実やPDCAサイクルによる授業改善サイクルの確実な実施についての指導助言を行いました。2月20日に学力向上実践報告会を開催し、小・中学校が連携して学力向上を図る取組について研修を行いました。
- 本市の学力向上に係る教育委員会や各学校の取組を教育委員会ホームページやSNS等で随時紹介するなど、保護者や市民への情報発信を行いました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	1,246 千円		369 千円		877 千円

問題点及び課題
児童生徒一人ひとりの学力の実態に応じたきめ細かな学習指導の充実や、新学習指導要領の全面実施（小学校：R2年度、中学校：R3年度）の趣旨を生かした主体的・対話的で深い学びを推進する学習指導を実現するための教師の指導力向上が課題です。

今後の方向性（具体策）

「強化学習」や「補充学習」への学習サポーター派遣を継続し、個に応じたきめ細かな指導を行います。また、児童生徒の学習への興味関心を高めるとともに、学ぶ意欲を育むため、「チャレンジスクール」、「学びのグランプリ」を引き続き実施します。

評 価

当初の計画どおりに事業を実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の学力の向上に向けて事業の充実を図っていきます。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校教育課指導室）

事業名	「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業（37ページ参照）	
	基本施策：Ⅱ	知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ
	主要施策：2	豊かな心をはぐくむ
	基本施策：Ⅳ	安心して学べ、地域とともにある学校づくり
	主要施策：1	安心して学べる学校づくり

目的
児童生徒が日常的にいじめや不登校の問題を考えたり仲間づくりを推進したりすることで、「いじめを許さない・いじめのない学校づくり」や「みんなが笑顔で登校する学校づくり」に関する考えを深め、「思いやり・親切」のある楽しい学校生活、豊かな人間関係づくりを推進します。

事業内容

- 児童会・生徒会の代表児童生徒が集う「児童会・生徒会リーダーミーティング」を年2回（夏と冬）開催します。夏は中学校区ごとに、冬は全学校が一堂に会して開催し、「思いやり・親切」に係る各学校の取組の交流、良好な活動事例の全学校での共有、共通して実践する内容の採択等を行います。
- 「思いやり・親切」に係る各学校独自の取組や全学校共通の取組に対する支援を行います。
- 6月と10月を「思いやり・親切」に係る重点月間とし、全学校において次のような取組を行います。
 - 6月に各学校の児童会・生徒会において楽しい学校づくりの取組を話し合い、学校の取組を決定するとともに、友だちを大切に作るポスターや標語の募集を開始します。
 - 10月に各学校の児童会・生徒会において楽しい学校づくりの取組の振り返りを行い、友だちへの関わり方の良かった児童生徒を紹介したり、認め合ったりする活動を行います。
 - 各学校で募集が行われた標語とポスターについては、10月に優れた作品を表彰します。また、学校代表の「友だち応援隊」については、1月の大牟田地域教育力向上推進大会で取組を紹介します。
- 各学校の児童会・生徒会が中心となって取り組む次のような広報啓発活動に対する支援を行います。
 - 楽しい学校づくりの実践を紹介するチラシやポスターの作成・配布等
 - 保護者や地域住民に向けた情報発信

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
友だちを大切に作る意識	目標値	3.7	3.7	3.7	3.7	27年度に実施した学校生活アンケート（1～4の4段階で評価）での「友だち関係」の項目の平均値約3.6ポイント（小学5年生と中学2年生が対象）を毎年度上回ることを目標とします。
	実績値	3.72	3.73	3.70	3.71	
	達成度（%）	100.5	100.8	100	100.2	

取組実績

- 7月から8月にかけて、各中学校区単位でそれぞれ1回目の「児童会・生徒会リーダーミーティング」を開催し、小・中学校の児童会・生徒会の代表児童生徒が、挨拶運動やメルシーアーチに係る取組の交流や「思いやり・親切」についての意見交換を行いました。中学校区単位で開催したことで、少人数での意見交換となり、各学校の取組の成果と課題をしっかりと共有することができました。2回目は12月25日に開催し、全学校の代表児童生徒が一堂に会し、各学校の8月以降の児童生徒主体の「思いやり・親切」に係る取組の成果と課題について交流しました。
- 6月に児童会・生徒会担当者会を開催し、「思いやり・親切」に係る各学校の取組について情報の共有を行うなどして、各学校の児童生徒主体の取組の充実を図りました。
- 重点月間である6月と10月に、以下の取組を行いました。
 - 各学校では、6月に児童会・生徒会において「思いやり・親切」のある楽しい学校づくりの取組を決定し、具体的な取組を開始しました。また、各学校に対して「思いやり・親切」に係るポスターと標語の募集を行いました。
 - 各学校では、10月にこれまでの楽しい学校づくりの取組の振り返りを行うとともに、特に友だちへの関わり方の良かった児童生徒（個人やグループ等）を学校代表の「友だち応援隊」として選びました。
 - 各学校で募集が行われた標語とポスターの審査を10月11日に行い、同月28日に優れた作品を表彰しました。各学校の「友だち応援隊」の取組については、1月25日の大牟田地域教育力向上推進大会において、広く市民に取組の内容等の紹介を行いました。
- 各学校では、1月から2月にかけて、児童会・生徒会による自校の「思いやり・親切」取組を紹介するチラシやポスターの配布等を通して発信しました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	100 千円 千円				100

<p>問題点及び課題</p> <p>中学校区ごとに実施する1回目の児童会・生徒会リーダーミーティングを経て、市全体で開催する2回目のリーダーミーティングにおいて市全体の共通実践を採択する仕組みを整えることができました 今後は、採択した共通実践の継続的な取組と、その成果と課題を共有する工夫が必要です。</p>
<p>今後の方向性（具体策）</p> <p>中学校区ごとの取組と各学校の取組とを市全体で共有するとともに、市全体で採択した共通実践を、各学校でさらに具体化し、取組の充実を図っていきます。 また、各学校が保護者や地域に向けて積極的に情報発信するよう支援を継続していきます。</p>
<p>評 価</p> <p>当初の計画どおりに事業を実施でき、成果も上がっています。今後も、「思いやり・親切」のある楽しい学校づくりに向けて事業を実施していきます。</p>

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：学校教育課指導室）

事業名	子ども大牟田体力検定推進事業（40ページ参照）				
	基本施策：Ⅱ 知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ				
	主要施策：3 健やかな体をはぐくむ				

目的
児童生徒が主体的・日常的に運動に取り組み、体力を向上させるとともに、健康な生活の実践への興味・関心を持つことができるようにします。

事業内容
1 6月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布し、日常的に運動に取り組めるようにします。
2 全ての学校において、年間2回（1回目：6月から12月、2回目：1月から2月）の子ども大牟田体力検定を実施します。児童生徒の到達度合いに応じ、体力認定証を配布します。
3 小・中学校体育科研究会と連携して、8月に全小・中学校の児童生徒の体力テストの結果（各学校5月から7月に実施）を分析し、必要に応じて9月以降の体力検定の行い方や内容を見直すとともに、2月に次年度の体力検定の行い方や種目等の検討を行います。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の体力向上の取組み実績	目標値 (%)	90	90	90	90	27年度に実施した子ども大牟田体力検定に参加した児童生徒の割合 89.8%を毎年度上回ることを目標とします。
	実績値 (%)	93.5	94.6	90.5	92.3	
	達成度 (%)	103.9	105.1	100.6	102.6	

取組実績
1 6月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布しました。各学校では、学校の実態に応じて、「体力向上チャレンジカード」を活用し、児童生徒の1日5分以上の運動実施の定着に取り組みました。また、体育の時間や朝の時間、昼休みの時間等に、「検定カード」を活用し、個人縄跳びや集団縄跳びに挑戦する場を設け、児童生徒が自己の記録の伸びを実感しながら、敏捷性や全身持久力などの体力の向上を図るようにしました。
2 年度当初に各学校に対し、学校の実態に応じて年間2回（1回目は6月から12月までの期間、2回目は1月から2月までの期間）の子ども大牟田体力検定を実施しました。小学校の検定種目は、全校共通で個人縄跳びと集団縄跳びを取り上げています。中学校の検定種目は、より多くの生徒が参加しやすいように、学校や生徒の実態に応じて、集団縄跳び、全校リレー、10分間持久走などを検定種目に取り上げ、それぞれ目標値を設定し、実施するようにしました。体力検定後実施後は、各学校からの体力検定に係る児童生徒の到達度合い（体力の認定）の報告に基づき、学校を通して児童生徒に認定証を配布しました。
3 8月に、小・中学校体育科研究会と連携し、児童生徒の体力テストの結果を踏まえた体力検定の行い方や内容について確認を行いました。小学校体育科研究会では、10月13日開催の「スポーツ市民の祭典」で実施される集団縄跳びに合わせて、各小学校での取組を一層奨励していくことを確認しました。中学校体育科研究会との検討では、昨年度の取組を継続し、各中学校の実態に応じて種目の選定を行い、生徒の運動の習慣化を図ることを確認しました。2月に、今年度の取組の検証を行い、次年度の体力向上に係る体力検定の行い方や種目等の改善について協議を行いました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	110 千円 千円)				110

問題点及び課題
小・中学校において、子ども体力検定に係る取組を通して、運動の喜びや楽しさを味わわせ、さらなる運動の習慣化を図る必要があります。また、中学校においては、各学校の実態に応じた取組の工夫を継続していく必要があります。

今後の方向性（具体策）
小学校においては、運動の習慣化に重点化し、運動の喜びや楽しさを味わわせるため、「体力検定チャレンジカード」の活用の充実を図ります。中学校においては、各学校の体力に係る実態に応じて、学校独自の取組を重点化し、目標達成に向けた取組を継続していきます。

評価
当初の計画どおりに事業を実施でき、成果も上がっています。今後も、児童生徒の体力向上に向けて事業を実施していきます。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：人権・同和教育課）

事業名	人権・同和問題啓発事業（60・61ページ参照）
	基本施策：V 人権に関する教育・啓発の推進
	主要施策：1 人権・同和教育の推進

目的
 人権・同和問題に対する理解と認識は、未だ十分とは言えません。学校、家庭、地域、職場など日常生活のあらゆる場を通して、市民一人ひとりが人権・同和問題を自らの課題として捉え、人権・同和問題に対する理解と認識を深めながら、「差別をしない」から「差別をなくす」取組を進めていくことにより、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指します。

事業内容
 「第2次大牟田市人権教育・啓発基本計画」に基づき、市民の人権・同和問題に対する理解と認識を深めるための学習・啓発事業を実施します。
 1 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）の趣旨を踏まえて、「人権・同和教育講演会」を開催します。
 2 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）及び人権週間（12月）の期間中に市内商業施設等において、市・県関係者、人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施します。
 3 人権意識の向上のため、「人権学習会」を開催します。
 4 職場で行われる研修会等に講師を派遣するほか、ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料（啓発DVDや図書等）の案内を行うとともに、『広報おおむた』や『愛情ねっと』等に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供の充実を図ります。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値 (%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。 （27年度の人権・同和教育講演会の参加者アンケートでの回答割合 95.9%を踏まえて設定。）
	実績値 (%)	96.0	94.9	96.5	94.6	
	達成度 (%)	96.0	94.9	96.5	94.6	

取組実績
 1 福岡県同和問題啓発強調月間（7月）にあわせて、7月7日に文化会館研修室において、徳島県在住の大湾昇さんを講師に招き、「出会いと表現～あることをないことにしない」と題して、「人権・同和教育講演会」を開催したところ、100人の参加があり、人権尊重意識の醸成度は98.7%でした。
 2 福岡県同和問題啓発強調月間中の7月2日及び人権週間の12月2日に、大牟田駅とゆめタウン大牟田において、市長・教育長はじめ市・県関係者及び人権擁護委員等による人権啓発のための街頭啓発活動を実施しました。
 3 人権・同和問題に対する正しい認識と理解を深めるために、10月23日から11月6日にかけて、三川地区公民館等の市内4会場において、人権学習会を開催しました。合わせて154人の参加があり、人権尊重意識の醸成度は95.1%でした。
 4 啓発用DVDについては、貸出しを20件行い、地域や職場での研修等に活用されました。また、「広報おおむた」については、その都度記事を掲載して事業の周知や意識啓発を図りました。さらに、ホームページへの掲載や「FMたんと」、「愛情ねっと」、「ちょうどよ課」を活用し、周知・啓発を図りました。なお、職場等における研修会には、36回講師を派遣し、1,524人の参加がありました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	341 千円		118		223

問題点及び課題
 人権・同和問題に対する理解と認識を深めるためには、初めて参加する人の割合を増やすことが重要となってきます。講演会等のアンケート結果において、初めて参加した人の割合は、人権・同和教育講演会では8.9%、人権連続講座では17.3%となっており、参加者が固定化している状況が見られます。

今後の方向性（具体策）
 諸事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、「FMたんと」、「愛情ねっと」、「ちょうどよ課」等を活用するほか、小・中・特別支援学校の校長会や民生委員・児童委員協議会等の各種団体に直接働きかけを行うなど、広く周知・啓発していきます。

評価
 啓発の取り組みとして、人権学習会（市内4会場）のほか、人権・同和教育講演会を開催したところ、参加者については、いずれも昨年度よりも増加しました。また、参加者アンケートによる醸成度については、100%に達しませんでしたでしたが、90%を超えており、開催の趣旨については参加者に伝わったものと思われまます。今後も、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。

基本施策Ⅰ 特色ある学校教育の展開

ユネスコスクールである各学校、及び教育委員会においてESDをさらに推進するほか、英語教育の充実、世界遺産学習、ICTの活用、学校間・学校種間の連携の強化、中学校の部活動の活性化などの特色ある学校教育を展開します。

主要施策1 ESDの推進

持続可能な社会づくりの担い手として、自分にできることについて考え、実践できるような児童生徒を育成するため、ユネスコスクールである全ての市立学校において、世界遺産学習や、環境、国際理解、福祉などのESDを推進するとともに、市内外へのESDの普及・啓発に取り組みます。

【主な事業】

●おおむた・みらい・ESD推進事業〔指導室〕（14・15ページ参照）

- (1) SDGs／ESD子どもサミットでの学習成果の発表と交流
児童生徒によるESDの学習成果の発表と交流の場「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」をR2年1月11日（土）に開催し、市内小学校6校・中学校2校、市内高校1校、宮城県気仙沼市立鹿折小学校が発表しました。
- (2) 各学校のSDGs／ESDの充実
各学校に指導主事を派遣してSDGs／ESDの教育活動を支援しました。また、児童生徒対象のESD体験講座「ネイチャースクール」を6月と10月に開催しました（合計25人参加）。
- (3) 全国レベルでの持続可能なESD推進体制の構築
ESD先進市町等との協議の場「ユネスコスクール・SDGs／ESD教育委員会サミット」を8月21日（水）とR2年1月11日（土）に、全国規模の教職員研修会「ユネスコスクール・SDGs／ESD実践交流会 in おおむた」を8月22日（木）に開催しました。また、全国各地でESDの中核となる指導的教員「ESDマスターティーチャー」の養成や、市内企業、団体等との協働を進めました。
- (4) 国際連合大学（以下「国連大学」）との連携によるSDGs／ESDの推進
国連大学との連携を進めるとともに、国連大学が認定するESD推進拠点「RCE」への加盟認定を受け、R2年2月27日（木）に記念式典等を開催しました。
- (5) SDGs／ESDに関する啓発講座等の開催
市内企業、団体等へのSDGs／ESDの啓発を進めたほか、市職員対象の研修等を実施しました。
- (6) 本市のSDGs／ESDの情報発信
本市のSDGs／ESDの取組について、「広報おおむた」やホームページ等様々な媒体等を通して紹介・啓発を行いました。

●人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業〔指導室〕（16ページ参照）

- (1) 東京大学との連携による全国の海洋教育促進拠点等との交流
東京大学と連携し、本市の海洋教育推進拠点校と九州・沖縄の海洋教育推進拠点の研究の交流を支援しました。
- (2) 海洋教育推進モデル校が行うカリキュラム開発等の研究の支援
市推進拠点校の公開授業に指導主事を派遣したり、学習交流会に講師を招へいする等の

支援を行いました。

(3) 各モデル校が行う公開授業や研究成果の発信、研究紀要の作成の支援

市推進拠点校の公開授業や研究成果の発信・交流の支援や、推進拠点校と九州・沖縄の海洋教育推進拠点の学校の児童生徒との学習成果の発表と交流「海洋教育こどもサミット 2020 in おおむた」をR2年1月17日（金）に開催しました。

(4) 各モデル校と市内外の関係機関との連携の支援

市推進拠点校が行う校外学習にゲストティーチャーを紹介する等、関係機関との連携を支援しました。

(5) 教職員対象の研修会の開催

「ユネスコスクール・SDGs／ESD実践交流会 in おおむた」に海洋教育の分科会を設定し交流しました。

○ユネスコスクール支援センターを活用したESDの推進

「ユネスコスクール支援センター」に専属職員1名を配置し、関係機関等との連携、ESDに関する資料収集を行うとともに、各学校へユネスコスクールの情報を発信しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
ESDを通じた地域や世界への貢献の意識	目標値 (%)	87.0	88.0	89.0	90.0	現状値から4ポイント(年1ポイント)の向上を目指します。 [現状値:86.0%(27年度実績)]
	実績値 (%)	87.4	88.3	89.7	91.7	
	達成度 (%)	100.5	100.3	100.1	103.5	

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、SDGsの達成を目指し、ESDの実践事例集や指導主事の指導助言、さらに、ユネスコスクール支援センターが提供する情報等をもとに、学校の特色や児童生徒の発達段階に応じてESDを推進しました。1月には、ESDの学習成果の発表の場である「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」や「大牟田市ユネスコスクールの日」の記念イベントにおいて、児童生徒は、自分たちの取組の意義やよさを実感することができました。

また、R元年度は、文部科学省のユネスコ活動費補助金の採択を受け、「ユネスコスクール・SDGs／ESD教育委員会サミット」と「ESDマスターティーチャープログラム」を実施したことで、全国レベルでのESD推進体制を整えるとともに、指導的立場の教職員の指導力の向上を図ることができました。

これらの取組を通して、児童生徒は、自分たちの取組が地域の人々やこれからの大牟田のまちづくりに役立っていることを実感でき、目標の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「ユネスコスクール・SDGs／ESD子どもサミット」や教職員研修会等を通して、市内並びに他地域との児童生徒や教職員の交流を推進するとともに、各学校や本市のSDGsの達成に向けたESDの取組に関する情報を市内外に向けて積極的に発信していきます。また、市民対象講座の開催や、企業・団体の会合等に出向いて説明することで、市民のSDGs／ESDに対する理解を促進する取組の充実を図っていきます。

さらに、先進的にSDGs／ESDに取り組んでいる全国の市町の教育委員会や教職員とのネットワークを拡充し、互いに学び合うことで、ESDの一層の充実を図っていきます。

主要施策 2 郷土を愛する心をはぐくむ

大牟田の歴史や世界遺産をはじめとする文化遺産、地域の伝統や自然についての主体的・協働的な学習を通して、児童生徒に、郷土を愛する心や自ら課題を発見し主体的に解決する力をはぐくむとともに、社会の形成に主体的に関わろうとする心情を醸成していきます。

【主な事業】

○おおむた郷土学習推進事業〔指導室〕

子ども大牟田検定（入門・基礎・上級）を年間2回実施しました。

9月3日（火）に1回目（通算17回目）を行いました。小学生3,549人（基礎編2,671人、上級編878人）、中学生2,173人（基礎編153人、上級編2,020人）が受検しました。小・中学校合計の受検率は95.3%でした。

R2年1月10日（金）に2回目（通算18回目）を行いました。小学生5,199人（入門編1,712人、基礎編2,279人、上級編1,208人）、中学生2,154人（基礎編150人、上級編2,004人）が受検しました。小・中学校合計の受検率は96.9%でした。

年間合計の受検率は96.4%でした。

また、約2,500人の市民（高校生を含む）の方も子ども大牟田検定を受検しました。

○小中学生伝統文化等体験事業〔指導室〕

8月9日（金）と同26日（月）に、大牟田カルタ会から講師を招へいし、小中学生を対象に「おおむた カルタ講座」（2回の連続講座）を開催しました。小学生20人、中学生3人が参加し、カルタの歴史やルールについて学ぶとともに、競技カルタに挑戦し大牟田の歴史や伝統文化に触れる機会となりました。

また、生涯学習課と連携し、音楽や総合的な学習の時間における伝統文化の学習において、学校へボランティア講師を派遣し、児童生徒の体験学習を支援しました。

さらに、各学校が実施する読み聞かせ活動や読書祭り等の中で、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏の作品を取り上げ、紹介する等の取組を行うよう周知を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
郷土大牟田に対する興味・関心	目標値（%）	86.0	87.0	89.0	90.0	現状値から約5ポイント（年約1～2ポイント）の向上を目指します。 〔現状値：85.2%（27年度実績）〕
	実績値（%）	88.8	88.9	89.0	90.8	
	達成度（%）	103.3	102.2	100.0	100.9	

【指標達成度に対する要因分析】

各学校は、学校の特色に応じた郷土学習を実施しました。その中で、子ども大牟田検定の実施に向けて、「子ども大牟田検定ガイドブック」を授業や家庭学習でも取り上げたり、大牟田検定の過去の問題に取り組んだりするなどして、郷土学習の充実に取り組みました。教育委員会は、検定受検対象を広げ、小学校低学年を対象とした入門編検定を実施し、発達段階に応じた郷土学習の充実に努めるとともに、小学校低学年児童には「がんばり賞」を、小学校中学年以上の児童生徒には各検定び結果に対して認定証を発行するなどの評価を行うことで、検定を通じた郷土学習への意欲付けを行いました。

その結果、児童生徒は、郷土大牟田のことをもっと知りたいと思う気持ちが高まり、目標値

の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

今後も、子ども大牟田検定をはじめ、発達段階に応じた郷土学習の実施を進めていきます。また、カルタ等の伝統文化や本市出身の絵詞作家の作品に触れる機会の提供などを通して、さらに、郷土を愛し誇りに思う児童生徒の育成を図ります。

主要施策3 英語教育の充実

全国に先駆けて取り組んできた本市の英語活動・外国語活動の成果を踏まえ、グローバル化の進展に対応できる人材の育成に向けて、英語教育のさらなる充実を図るとともに、市内外へ本市の取組みを発信します。

【主な事業】

●大牟田英語教育ステップアップ推進事業〔指導室〕（17・18ページ参照）

- (1) 小学校が実施する「イングリッシュ・サマースクール」への支援
全小学校が夏季休業中に5日間実施した「イングリッシュ・サマースクール」に、指導のサポートを行う「イングリッシュ・アドバイザー」を派遣するなどして、学習の充実を支援しました。
- (2) 小学校6年生用「イングリッシュ・ノート」の活用
小学6年生用「イングリッシュ・ノート」を活用し各小学校が行った外国語活動の学習の充実を支援しました。
- (3) 中学生対象の「イングリッシュ・セミナー」の実施
白光中学校を会場として、中学生の英語の実践力向上を図る「イングリッシュ・セミナー」を合計20回開催し、延べ80人の生徒が受講しました。
- (4) 「オオムタ・E1グランプリ」の開催
小中学校の英語教育の発表の場「オオムタ・E1グランプリ」を11月9日（土）に開催し、小学校6グループと中学校10グループが発表しました。
- (5) 「ジョイフル・イングリッシュ・タイム」の開催
新学習指導要領を踏まえた英語学習「ジョイフル・イングリッシュ・タイム」を8月8日（木）に開催し、小学生54人・中学生24人が参加しました。
- (6) 先進的な英語教育の研究と実践への支援
市研究指定校の明治小学校の研究発表会（11月）・人型ロボットを活用した公開学習（2月）を支援しました。
- (7) 小学校における動物園を活用した特色ある英語教育の推進
明治小学校と大牟田市動物園の連携による、児童の興味関心を活かした教育（英語で動物を説明する等）を支援しました（11月）。
- (8) 英検検定料の一部補助
小学生の英検5級受験者194人と中学2・3年生の同3級受験者114人に検定料の一部を補助しました。
- (9) 本市英語教育の情報発信
本市の英語教育の取組について、「広報おおむた」やホームページ等様々な媒体等を通して紹介・啓発を行いました。

○外国語活動推進事業〔指導室〕

小学校にALT（外国語指導助手）やLGT（外国語講師）を、中学校にALTを派遣し、授業や教職員研修の支援を行いました。また、外国語活動担当者を中心に、小学校外国語活動への対応や、小学校外国語活動から中学校の英語教育への小中連携についての教職員対象の各種研修会等を開催しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
英語の授業の理解度	目標値 (%)	82.0	83.0	84.0	85.0	現状値から3ポイント余り(年約1ポイント)の向上を目指します。 [現状値:81.7%(27年度実績)]
	実績値 (%)	82.9	83.2	84.2	85.3	
	達成度 (%)	101.1	100.2	100.2	100.4	

【指標達成度に対する要因分析】

重点事業である大牟田英語教育ステップアップ推進事業の取組において、夏季休業中に全小学校で実施した「イングリッシュ・サマースクール」や、白光中学校を会場として開催した「イングリッシュセミナー」にイングリッシュ・アドバイザーを派遣したことにより、小学校の外国語活動や中学校の英語教育の充実が図られました。また、「オオムタ・E1グランプリ」の開催や英検受験の支援を行ったことで、児童生徒の英語学習に係る目的意識を高めることができました。

小・中学校の外国語活動担当者を中心に、小中連携の各種研修会により担当者の指導力の向上が図られるとともに、小・中学校へのALTやLGTの派遣により児童生徒の英語を使う目的意識を高めることができました。

その結果、児童生徒は、英語を学習する目的意識を持つとともに、英語教育担当者の指導力の向上により授業の充実が図られ、目標値の達成に至ることができたと考えます。

【今後の方向性】

各小学校が実施するサマースクールへの支援を継続するとともに、小学校段階での英語を「読む」「書く」の学習が充実するよう学習展開の充実を図ります。また、「イングリッシュセミナー」と「オオムタ・E1グランプリ」の開催(内容や方法の変更)、英検検定料の一部補助についての取組を継続します。

主要施策 4 各学校における特色ある教育活動の推進

子どもたちの実態や地域の実情に応じ、小学校と中学校の9年間を見通した教育活動の推進や、幼稚園・保育園と小学校、中学校と高等学校の連携、中学校の部活動の活性化、ICTの活用などを通じた学ぶ力の育成など、各学校における特色ある教育活動の推進を図ります。

【主な事業】

○小中連携・小中一貫教育の推進〔指導室〕

(1) 小・中学校の9年間を見通した教育活動の推進

各中学校区の小・中学校において、9年間を見通した教育活動を推進するため、授業づくりや生徒指導等に係る合同研修会、管理職・担当者ごとの情報交換連絡会などを実施しました。また、4月に研究担当者による小中合同の研修会を、6月・11月に小中合同の授業研修会を開催しました。

さらに、R2年2月20日（木）に、小中合同で「学力向上実践交流会」を開催し、小中学校が連携して学力向上を図る授業づくりについて研修を行いました。

○幼保・小連携の推進〔指導室〕

(1) 合同研修会、学校見学、体験授業、出前授業等の実施

小学校の授業を、関係する幼稚園・保育園の職員が参観したり、園児が小学校の授業や運動会等の行事に参加したりしました。

3学期に小学校に対して、幼稚園・保育園と小学校の情報の共有についての助言等を行いました。

○中学校の部活動の活性化〔指導室〕

(1) 中学校連合音楽会の開催

10月3日（木）に大牟田文化会館において、各中学校が合唱やブラスバンド演奏を行いました。

○学びのイノベーション推進事業〔指導室〕

(1) デジタル教材の整備・活用

H29年度に小学校19校に整備した移動式電子黒板を、主に5・6年生の国語・算数・外国語活動の学習を中心に活用し、学力の向上を図りました。また、電子黒板の操作や電子黒板を活用した授業づくり等の研修会を実施しました。

○教育の情報化の推進〔指導室〕

(1) ICTを活用した授業の充実

パソコン室PCの更新に伴い、小学校19校に着脱式PCを、中学校にデスクトップ型PCを整備しています。各学校で、電子黒板やPC等のICT機器を活用するなどして、各教科の授業の充実に取り組みました。また、小学校外国語活動では、文部科学省作成の小学校外国語活動指導資料「Let's Try!」「We Can!」（電子黒板用ソフト）を活用し、授業の充実を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
小中連携・小中一貫教育の取組み実績	目標値(回)	50	54	58	62	現状値から16回(年4回)の向上を目指します。 [現状値:46回(27年度実績)]
	実績値(回)	61	62	62	71	
	達成度(%)	122.0	114.8	106.9	114.5	

【指標達成度に対する要因分析】

中学校区ごとに、年間計画に基づき小中連携による全員参加の研修会や担当者による研修会が行われました。その結果、教育委員会が主催する小中合同の実践交流会において、小学校と中学校が活発に意見交換を行い、研修会が充実しました。

【今後の方向性】

今後も、中学校校区ごとの研修会の定期的な実施と内容の充実を図るとともに、教育委員会が主催する各教科担当者会や教育講座等において、小中連携の視点を取り入れていきます。

基本施策Ⅱ 知育・徳育・体育のバランスが取れた児童生徒をはぐくむ

社会を生き抜く力の基礎となる「確かな学力（知育）」、「豊かな心（徳育）」、「健やかな体（体育）」のバランスが取れた児童生徒をはぐくみます。また、障害のある児童生徒一人ひとりの状態に応じ、具体的できめ細やかな支援や指導の充実に努めます。

主要施策 1 確かな学力をはぐくむ

児童生徒が意欲をもって主体的に学び、基礎的・基本的な知識及び技能とそれらを活用する力を確実に身に付けることができるよう、一人ひとりの学力の状況に応じたきめ細かな指導の充実に努めます。

【主な事業】

○教育研究事業〔指導室〕

（1）国、県、市の指定研究

県、市等の研究指定校で学習指導要領の趣旨に沿った指導内容・方法に関する実践的な研究に取り組み、その結果を各学校に広げました。

市研究指定校（研究指定は3年間で、3年次に発表会を開催）

学 校 名	研 究 主 題	領 域
明治小学校（3年次）	進んでコミュニケーションを図る子どもを育てる外国語活動	教科学習指導
甘木中学校（3年次）	分かる喜びや学ぶ意義を実感できる生徒の育成	教育課程全般
大牟田中央小学校 （2年次）	主体的・対話的で深い学びに向かう学習指導の創造	教育課程全般
宅峰中学校（2年次）	学び合い、支え合い、認め合う生徒を育てる学習指導のあり方	教育課程全般
銀水小学校（1年次）	主体的に問題解決する子どもが育つ授業	教科学習指導
宮原中学校（1年次）	持続可能な地域社会を創造する生徒の育成	教育課程全般

（2）教育調査（標準学力検査等）

基礎基本の確実な定着を図る教育課程の編成と実施のため、教育調査を行いました。

- ①全国学力・学習状況調査（調査対象 小6：国語・算数、中3：国語・数学・英語）
- ②全国体力・運動能力、運動習慣等調査（調査対象 小5、中2）※本市は全学年で実施
- ③福岡県学力状況調査（調査対象 小5：国語・算数、中1・2：国語・数学）
- ④大牟田市学力状況調査（調査対象 小3：国語・算数、中1・2：国語・社会・数学・理科・英語）

（3）教職員研修会の開催

- ①市教科研究委員会等の研修として、7月に特別講座、7・8月に教育講座、10月に授業研究会を開催しました。
- ②市内小・中・特別支援学校の校内研修会に指導主事を派遣して、新学習指導要領に基づく学習指導について指導・助言を行いました。
- ③市教育研究所の教育講座として、管理職・教員を対象に以下の研修会を実施しました。
 - 教育実践を教育論文にまとめよう 6月3日（月）＜1日間＞
 - E S D（持続可能な開発のための教育）の基本的な考え 7月31日（水）＜1日間＞
 - 教えて先輩！学習指導・生徒指導・学級経営 5月31日（金）＜1日間＞

○書く力を育てる作文指導のコツ 5月24日（金）＜1日間＞

○授業力アップ講座（中学校）＜5日間＞

国語：6月14日（金） 数学：9月17日（火） 社会：12月19日（木）

理科：7月16日（火） 英語：5月24日（金）

④教育研究所研究員による研究について、5月に研究構想報告会、11月に中間報告会、2月に研究報告会を開催し、その成果を市内各学校へ広めました。

(4) 教育論文の募集と表彰

大牟田市主催教育論文及び福岡県教育論文（教育論文、教育実践、デジタルコンテンツ）を募集し、個人または共同研究の充実に努めています。

県論文には11件の応募があり、市論文には34件の応募がありました。R2年2月7日（金）に文化会館において表彰式を行いました。

(5) 実践事例集・研究紀要の作成

学校経営、学校指導等の充実に資するため研究成果をまとめ、以下の教育資料を作成しました。

①学校外国語活動実践事例集 ②教育研究所研究紀要 ③ユネスコスクール実践事例集

(6) 科学技術教育振興事業

有明工業高等専門学校との連携事業に取り組み、科学技術教育の振興を図りました。

①小中学校対象事業（出前授業） 8講座実施

②教職員対象研修事業 2講座実施

③その他の連携 6件実施

○少人数学級編制・少人数授業推進事業〔学校教育課〕

(1) 小学校全学年の35人以下学級編制

H23年度からの法に基づく小学校1年生の35人学級実施に伴う教員配置に加え、小学校2年生から6年生までの全学年において、県からの加配教員16人を学級担任として活用し、9校16学年で35人以下学級編制を行いました。

(2) 中学校の学校実態に応じた弾力的な35人以下学級編制

中学校は学校の実態に応じ弾力的に35人以下学級編制を行っていますが、R元年度は対象となる中学校から要望がなかったこと等により行いませんでした。

(3) 少人数授業推進のための非常勤講師の派遣

小学校9校、中学校4校に習熟度別や課題別学習などの少人数授業や学校が特に学力向上を必要とする教科に非常勤講師（小学校13人、中学校8人）を派遣し、個に応じた学習指導の充実を行うことで学力の向上を図りました。

●大牟田学力ブラッシュアップ推進事業〔指導室〕（19・20ページ参照）

(1) 小・中学校での強化学習や補充学習への学習サポーターの派遣

小中学校の夏季休業中の強化学習や放課後等の補充学習に学習サポーターを派遣し、学習の充実を支援しました。

(2) 「チャレンジスクール」の開催

難問や応用問題等に挑戦する「チャレンジスクール」を8月7日（水）に開催し、小学校高学年（国語）22人・（算数）40人、中学生（数学）35人が参加しました。12月26日（木）に開催した「学習チャレンジ大会」にも多くの小中学生が参加しました。

(3) 「学びのグランプリ」の実施

理科や社会の自由研究の大会「学びのグランプリ」を10月26日（土）に開催し、研究成果の発表と交流を行いました。

(4) 家庭学習習慣の定着への取組の支援

毎月11日を「家庭学習の日」と定め、各中学校区で小中学校が連携し、家庭学習習慣の定着に取り組みました。

(5) 学力向上実践報告会での各学校の取組の交流

各中学校区での小・中連携の研修会の開催（8月）、各学校の校内研修等への指導主事を派遣と指導、学力向上実践報告会の開催（2月）など、小・中学校が連携して学力向上を図るための取組を進めました。

(6) 学力向上の取組の情報発信

本市の学力向上の取組について、ホームページやSNS等で随時紹介するなど、保護者や市民への情報発信を行いました。

○学力向上推進事業〔指導室〕

(1) 各学校の学力向上プランの促進

各学校は自校の各種調査結果を分析し学力向上プランを作成しました。各学校へ指導主事を派遣するなどして、学力向上プランの効果的な実施に向け、指導内容・指導方法・指導体制等の在り方について指導助言を行いました。

(2) 自主学習サポート資料と1～4年生用教材集（国語・算数）の有効活用

国語科と算数科の教材集（1年～4年）と関連を図った自主学習用のサポート資料の有効活用を図るために、各学校の学力向上プランへの位置づけや活用方法について、指導主事を派遣し指導助言を行いました。

(3) 研修会の実施等

県の「ふくおか学力向上推進事業」を活用し、7月に授業改善に向けた教職員研修（国語科・算数科）を開催するとともに、南筑後教育事務所と連携し、学力向上に係る理論研修や授業研修において指導助言を行い、教員の学習指導力の向上を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
国語・算数（数学）の授業の理解度	目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を2ポイント余り上回る90%を毎年度維持することを目指します。 [現状値:87.7%(27年度実績)]
	実績値（%）	90.7	90.6	90.6	90.7	
	達成度（%）	100.8	100.7	100.7	100.8	

【指標達成度に対する要因分析】

児童生徒に確かな学力を身に付けさせ、一人一人の個性や能力を伸ばすために、大牟田学力ブラッシュアップ推進事業を中心に各事業の推進・活用を図り、各種調査による児童生徒の実態に基づく学力向上プランの充実、教職員研修の推進による指導力の向上を推進することができました。また、少人数学級編制としたことで、教師が個々の理解度や興味・関心に応じたきめ細やかな指導が可能となったほか、児童生徒の発言や発表の機会が増え、より積極的な授業参加が認められるようになりました。

その結果、各学校において児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の充実が図られ、目標値を達成できたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、大牟田学力ブラッシュアップ推進事業を中心に各事業の推進・充実を図り、学力向

上プランが計画的・組織的・効果的に行われるとともに、児童生徒の課題に応じた指導が行われるよう学校への支援を進めます。また、県の指定事業を積極的に活用し、各学校の指導体制の充実や学力向上に係る研修の充実を進めていきます。さらに、中学校における少人数学級編製の弾力的な運用について検討するとともに、有効な教科の特性に応じた学習集団や習熟度別グループ編成の検証を行い、更なる個に応じた指導の充実を図っていきます。

主要施策2 豊かな心をはぐくむ

規範意識や他人を思いやる心情、自然や文化を大切に思う心情や豊かな情操をはぐくむため、道徳教育をはじめ、読書活動や各種体験活動などの充実に取り組みます。

【主な事業・取組】

○道徳教育の充実〔指導室〕

学習指導要領の改訂に伴い、中学校では「特別の教科 道徳」の指導を行いました。また、道徳教育は各学校の年間指導計画に基づき、全教育活動を通して行っています。その際、副読本や福岡県の人権教育指導資料「かがやき」、「あおぞら」の活用等の工夫をしながら実施することを指導しました。

●「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（21・22ページ参照）

（1）児童会・生徒会リーダーミーティングによる取組の交流等

各中学校区単位（1回目：7～8月）と全学校一同で（2回目：12月）の「児童会・生徒会リーダーミーティング」を開催し、代表児童生徒が「思いやり・親切」に係る取組の成果と課題等について交流しました。

（2）各学校の取組や全学校共通の取組への支援

6月に児童会・生徒会担当者会を開催し、「思いやり・親切」に係る各学校の取組の情報の共有を行うなどして、各学校での児童生徒主体の取組の充実を図りました。

（3）重点月間の取組

6月と10月を「思いやり・親切」に係る重点月間とし、以下の取組を行いました。

①6月に各学校の児童会・生徒会で「思いやり・親切」のある楽しい学校づくりの具体的な取組を定め、以後取り組みました。また、各学校に対し「思いやり・親切」に係るポスターと標語を募集しました。

②10月に各学校で上記の取組の振り返りを行うとともに、特に友だちへの関わり方の良かった児童生徒（個人やグループ等）を学校代表の「友だち応援隊」として選びました。

③各学校で募集が行われた標語とポスターの審査を10月に行い、優れた作品を表彰しました。各学校の「友だち応援隊」の取組の内容は、R2年1月25日（土）の大牟田地域教育力向上推進大会で紹介しました。

（4）児童会・生徒会が中心となって取り組む広報啓発活動

各学校の児童会・生徒会が「思いやり・親切」に関するチラシやポスターの配布等の啓発活動を行いました。

○読書活動推進事業〔指導室・学務課〕

（1）読書感想文コンクールの実施〔指導室〕

児童生徒の読書活動を推進する取組の一つとして、読書感想文コンクールを行いました。H30年度に引き続き、本市出身の絵詞作家である内田麟太郎氏にちなみ、「内田麟太郎部門」を設けました。R元年度の応募の状況は、内田麟太郎部門と自由図書部門を合わせて、小学校590点、中学校59点、合計649点でした。12月14日（土）に優秀賞の表彰式を行い、3月に読書感想文の優秀作品を冊子にまとめ、各学校や入選した児童生徒等へ配布しました。

（2）学校図書館への司書配置の充実〔学務課〕

読書活動の推進をはじめとする学校図書館機能の更なる充実を図るため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、司書の資格又は司書教諭の資格を有する者をH28年度から計画的に各小中学校に配置しています。R元年度は5校（みなと小学校、天領小学校、

大正小学校、白川小学校、橘中学校)に配置しました。

○児童生徒の作品展〔指導室〕

(1) 理科展

9月5日(木)から同11日(水)まで、エコサンクセンターにおいて、小中学校から出品された昆虫植物採集・理科作品研究物等を展示しました。小学校372点、中・特別支援学校145点、計517点の出品があり、6日間で1,216人の参観者がありました。

(2) 小・中・特別支援学校合同作品展

各小・中学校に対して、絵画・版画・彫塑・工作・デザイン・工芸等の作品の募集を行いました。また、特別支援学校に対しては、児童生徒が日常の学習で制作した作品や学校生活の写真等の募集を行いました。R2年2月14日(金)から同17日(月)まで、文化会館において、1,969点の作品を展示し、1,440人の参観者がありました。

(44ページの「合同運動会・合同作品展の実施」の(2)を参照)

○自然体験・社会体験授業の充実〔指導室〕

(1) 野外活動宿泊体験、職場体験等の実施

小学校全校において7月から8月にかけて野外活動宿泊体験活動を実施しました。また、特別支援学校は中学部と高等部で野外活動宿泊体験活動を実施しました。

職場体験学習並びに福祉体験学習については、中学校全校において6月から11月にかけて実施しました。

○非行防止教室推進事業〔指導室〕

(1) 万引き防止、薬物乱用防止教室等の全校での実施

規範意識の醸成のために、各学校において外部指導者を活用して、非行防止教室として、万引き防止教室、シンナー薬物乱用防止教室、情報モラル学習等に取り組むよう指導助言を行いました。

(2) 携帯電話やスマートフォンの使用に関する指導の充実

4月と7月の校長会で、H27年11月に策定された大牟田市「児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」について再周知し、学校を通して保護者等への啓発を図りました。11月に携帯電話やスマートフォンの使用に関する啓発資料を学校へ配布し、児童生徒並びに保護者等への啓発を行いました。

○早期教育相談事業〔指導室〕

(1) 早期教育相談連絡協議会の開催等

4月に早期教育相談の啓発チラシを作成・配布し、各機関団体を通して保護者への啓発を行いました。

学識経験者や関係機関団体で構成する早期教育相談連絡協議会について、7月1日(月)にR元年度1回目の会議を開催し、情報の共有を行いネットワークの強化を図りました。R2年3月6日(金)に2回目の会議を開催し、R元年度の取組の振り返りと次年度の計画について協議を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の規範意識	目標値 (%)	95.0	95.0	95.0	95.0	現状値を1ポイント余り上回る95%を毎年度維持することを目指します。 [現状値:93.8%(27年度実績)]
	実績値 (%)	95.5	95.5	95.6	96.1	
	達成度 (%)	100.5	100.5	100.6	101.2	

【指標達成度に対する要因分析】

重点事業である「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業により、児童生徒が児童会・生徒会を中心に、主体的に楽しい学校・いじめのない学校づくりのための取組を考え、行動する姿が見られるようになりました。また、道徳教育や各種体験活動など豊かな心の育成に係る各種事業の推進により教師と児童生徒、児童生徒相互の共感的理解が進みました。これらの事業を通して、学校生活における支持的風土が高まりました。その結果、今まで以上に周りの友達やよりよい学校づくりのために何が大切かを考え、人の気持ちが分かる人になりたいと思う児童生徒の割合の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業の一つである児童会・生徒会リーダーミーティングの推進・充実を進めるとともに、各学校での「思いやり・親切」に関するキャンペーンや「友だち応援隊」に係る取組の継続を図ります。また、道徳教育や各種体験活動の充実、児童生徒の作品展等の開催、非行防止教室等の実施を通して、児童生徒の規範意識を高める取組の更なる充実を進めていきます。

主要施策3 健やかな体をはぐくむ

基本的な生活習慣が身に付いた心身ともにたくましい児童生徒を育成するため、学校での教育活動全体を通じて運動習慣の定着化を図るなど、体力向上に向けた取組みを進めるとともに、食育、学校給食、学校保健などの取組みの充実や家庭との連携を進めます。

【主な事業】

○体力向上推進事業〔指導室〕

(1) 体力向上プランの促進

各学校は自校の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の実態を分析し体力向上プランを作成しました。校長会や担当者会等を通して各学校の体力向上プランの取組が組織的・効率的に実施できるよう指導助言を行いました。

(2) 小学校地区競技会

① 5月にリレー大会を市内の5会場で実施し、4・5・6年生が出場しました。

② 10月にソフトバレーボール大会を市内5会場で実施し、6年生が出場しました。

(3) 中学校体育連盟の競技会

① 6月5日（水）に大牟田市内陸上競技大会を記念グラウンドで開催しました。

② 6月22日（土）と6月28日（金）から7月2日（火）までの期間において、中体連夏季市内大会を市内の各会場で開催しました。

③ 9月19日（木）・28日（土）・29日（日）、10月4日（金）・5日（土）・6日（日）に新人大会を市内の各会場で開催しました。

④ 10月17日（木）に駅伝の市内大会を諏訪公園で開催しました。

⑤ 12月17日（火）に中学校体育連盟による市内駅伝新人大会を開催しました。

●子ども大牟田体力検定推進事業〔指導室〕（23ページ参照）

(1) 体力向上チャレンジカードの活用

6月に「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」を全児童生徒に配布し、各学校では、1日5分以上の運動習慣の定着や、体育の授業や昼休み等での個人や集団での縄跳びの指導を通して体力の向上を図りました。

(2) 子ども大牟田体力検定の実施

全学校で年2回の子ども大牟田体力検定を実施し、到達度合いに応じた体力認定証を配布しました。

(3) 小・中学校体育科研究会との連携

小・中学校体育科研究会と連携し、児童生徒の体力実態を踏まえた体力検定の行い方等について検討しました。

○健康教育推進事業〔指導室〕

(1) エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止教育等の実施指導

各学校において、性教育・エイズ教育・喫煙防止・薬物乱用防止等を教育課程に位置づけて実施するよう指導しました。

○食育推進事業〔学務課、指導室〕

(1) 食育推進モデル校の指定〔指導室〕

平成28年度から引き続き、手鎌小学校をモデル校に指定し、食育に関する理論研究や実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、「食への関心を深め、健康な生活への実践力を育てる食育指導」

を目標に掲げ、学校園を活用して地域とつながる農業体験や地域の食文化の体験等、3つの取組を中心に実践し、11月27日（水）の拡大校内研修会において、担任教諭と栄養教諭が連携して公開授業を行い、食に関する指導の研究協議を実施しました。また、食に関する取組の啓発用リーフレット等を作成し、R2年3月に市内の各学校に配布しました。

(2) 早寝早起き朝ごはん運動推進モデル校の指定〔指導室〕

R元年度は田隈中学校をモデル校に指定し、早寝早起き朝ごはん運動に関する実践した内容を市内の各学校に啓発・普及することによって、本市の食に関する教育の充実に努めました。同校では、PTA成人教育委員会活動における生活習慣の指導、生徒会による睡眠時間の調査及び早寝早起きの啓発、特別活動や教科における指導に取り組みました。R2年3月には1年間の取組の成果をリーフレットにまとめ、市内の各学校に配布しました。

(3) 学校給食への地場産物の使用促進と食育の啓発推進〔学務課〕

地場産物の使用促進を図るため、学校給食における地場産青果物の優先活用基準に基づき、大牟田産や南関産の青果物を小学校給食（4校）及び中学校給食に6品目取り入れました。食育の啓発については、小学校の保護者に対し「もぐもぐ通信（食育通信）」と「給食だより」を交互に年10回、中学校では「食育通信」を年10回発行し、朝食の重要性や食生活に関すること、給食レシピの紹介などを行いました。

(4) 学校給食週間等の開催〔学務課〕

学校給食週間（R2年1月25日（土）～2月2日（日））では、ゆめタウン大牟田において児童生徒のポスター・標語作品展を開催し、R2年2月2日（日）にポスター・標語作品展及び学校給食レシピコンテストの表彰式を行いました。また、給食週間の事業として、小学校及び特別支援学校、中学校給食センターにおいて給食試食会等を開催しました。8月には子供たちが料理体験を通じ、食に関する理解促進と健全な心身をはぐくむことを目的に、「夏休みのお昼ごはんを自分で作ろう」をテーマに子ども料理教室を開催するとともに、給食調理員による食育人形劇を保育所等において年3回実施しました。

(5) 中学校給食センターを活用した食育の啓発〔学務課〕

中学校給食センターにおいて、学校給食を通じた食育の啓発を推進するため、市民の方を対象に施設見学と栄養教諭による講話を含めた給食試食会を5月から11月まで実施し、4団体延べ37人の参加がありました。

○中学校給食事業〔学務課〕

(1) 中学校給食センターの管理運営

学校給食法に基づき、生徒の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、中学校給食センターの管理運営を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

○小学校給食事業〔学務課〕

(1) 直営拠点校・民間委託校併用方式の推進

学校給食法に基づき、小学校において、児童の心身の健全な発達に資する安全でおいしく楽しい給食を将来にわたって円滑に実施するため、直営拠点校と民間委託校による併用方式の推進を図りました。

(2) 給食室調理機器等の維持管理

各小学校の給食調理や給食室・調理機器等の管理を行うとともに、献立作成をはじめとする学校給食会の運営業務等を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の体力向上の 取組み実績	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	現状値を約 3 ポイント上回る 90%を毎年度維持することを 目指します。 [現状値:87.1%(27年度実績)]
	実績値 (%)	93.5	94.6	90.5	92.3	
	達成度 (%)	103.9	105.1	100.6	102.6	

【指標達成度に対する要因分析】

各学校においては、児童生徒の体力の向上に向けて体力向上プランを作成し、学校の実態や児童生徒の発達段階に応じた様々な取組が実施されました。特に、全校で実施された子ども大牟田体力検定推進事業の体力検定（年2回の実施）については、各学校の体力向上プランに効果的に位置づけ実施されました。また、中学校においては各学校の実態に応じて、重点とする種目を選定するなど、生徒の目的意識が高まる取組がなされました。

その結果、各学校において、体力検定に取り組みやすい状況の中で、児童生徒が自己の体力の向上に係る目標意識を持って主体的に取り組むことができ、体力向上の取組み実績の目標値の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、各学校の体力プランの充実について指導助言を行うとともに、子ども大牟田体力検定推進事業の各取組の啓発と各競技会への支援を行います。また、健康教育に係る各教育の推進、食育の充実に取り組んでいきます。さらには、小学校給食の直営拠点校・民間委託校併用方式のR2年度以降の在り方について検討していきます。

主要施策 4 特別支援教育の推進

障害のある児童生徒の個別の指導計画・支援計画や指導方法などの改善・充実を図るほか、特別支援教育センターとしての特別支援学校の相談機能の充実を図ります。また、特別支援教育支援員の配置など、一人ひとりの障害の状態に応じた具体的な支援を行います。

【主な事業】

○特別支援教育支援員活用事業〔学校教育課〕

(1) 要支援と判断された児童生徒への支援員の配置

障害児就学指導委員会等により要支援と判断された全ての児童生徒128人に対し、小学校18校に36人、中学校8校に16人、計52人の特別支援教育支援員を派遣しました。きめ細かな支援を受けることで、対象児童生徒本人の精神的な安定が図られ、周囲の児童生徒の理解も進み、学級全体が落ち着き、集中して学習に取り組むことができました。また、保護者の介助等の軽減も図られました。

(2) 校内支援体制及び支援内容の充実

全支援員を対象とした研修会を年3回(4月・10月・2月)実施し、支援員の児童生徒の発達障害等への理解促進と個に応じた具体的な支援内容の充実に努めました。

○特別支援学校医療的ケア事業〔学校教育課〕

(1) 医療的ケアを行う看護師の配置

大牟田特別支援学校の対象児童生徒5人に対し、2人の看護師を配置しました。校長を中心とした医療的ケア運営委員会を毎学期2回開催し、主治医・指導医の指導のもと、保護者の理解も得ながら医療的ケアを行うことで、児童生徒の症状は安定し、保護者の負担も軽減されました。また、対象児童生徒の年度途中の増加に対しても対応できるよう、看護師の一定の増員も可能としました。

○教育相談事業〔指導室〕

(1) 教育相談員による児童生徒の障害に関する相談への対応

教育相談室に寄せられる電話や面接での相談の中から、保護者や児童生徒の問題行動等の背景に障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関との連携を図り、教育的なニーズに対応しました。

(2) ひきこもり児童生徒訪問員による家庭訪問

不登校や引きこもりになっている児童生徒の背景に、障害や発達障害等の特別な配慮を必要とする状況があった場合に、学校や関係機関、保護者等との連携を図り、家庭訪問を実施するなど不登校等の解消に向けて対応しました。

(3) 就学指導委員会の開催

在学中の児童生徒及び令和2年度入学児を対象に、就学指導委員会を6月と9月の2回開催し、医学・心理・教育の面から就学指導における教育相談を行いました。

教育相談者数

小学校	中学校	特別支援学校	入学予定児	合計
32人	4人	1人	19人	56人

○通級指導教室運営事業〔指導室〕

(1) 専門の教職員による指導・支援

生涯学習支援センターに設置している通級指導教室で、言葉や情緒等に課題がある児童

生徒に対して、個別や集団での指導を行いました。

- 「あじさい教室1組」への通級者 11人（小学校：情緒）
- 「あじさい教室2組」への通級者 9人（小学校：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害））
- 「こすもす教室」への通級者 12人（中学校：ADHD）
- 「ことばの教室」への通級者 12人（小学校：言語）

(2) 保護者相談

教育相談室に寄せられる相談の中から、通級指導に関する相談について、通級指導教室担当教員が保護者からの相談に対応しました。

○交流教育推進事業〔指導室〕

(1) 学校間交流

特別支援学校と小・中学校間の交流、小・中学校の特別支援学級間の交流など、様々な交流を行いました。

(2) 市民交流「ふれあい共室」

中央地区公民館で「ふれあい共室」を年9回開催し、障害のある子どもと障害のない子ども及びボランティア団体、福祉関係団体等の市民との交流を行いました。

（中央地区公民館での活動については、「社会教育施設等の状況 地区公民館」の「3 中央地区公民館」の「交流教育地域推進事業 ふれあい共室」（154ページ）を参照）

(3) 交流教育の啓発

5月に「ふれあい共室」の参加募集を市内の全学校に配布するとともに、9月に合同運動会（11月8日（金）実施）、10月に合同作品展（令和2年2月14日（金）～同17日（月）実施）の広報を行いました。

○合同運動会・合同作品展の実施〔指導室〕

(1) 特別支援学級・特別支援学校合同運動会

11月8日（金）に市民体育館において、市立小・中学校の特別支援学級及び大牟田特別支援学校の児童生徒並びに保護者、関係教職員等、約500人が集い、児童生徒の障害に応じた運動を行い、親睦を深めました。

(2) 小・中・特別支援学校合同作品展

令和2年2月14日（金）から同17日（月）まで、文化会館において、小学校・中学校・特別支援学校による合同作品展を開催しました。特別支援学級、特別支援学校の児童生徒からは1,969点の出品があり、作品を通して児童生徒相互の理解を深めました。期間中に1,440人の参観者がありました。（38ページの「児童生徒の作品展」の（2）を参照）

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
特別支援教育支援員の配置効果	目標値（%）	100	100	100	100	毎年度、全ての対象児童生徒について状態の改善が図られることを目指します。 [現状値：100%（27年度実績）]
	実績値（%）	100	100	100	100	
	達成度（%）	100	100	100	100	

【指標達成度に対する要因分析】

特別支援教育支援員活用事業については、支援員の配置によって、対象児童生徒が情緒的に安定し、落ち着いた学習態度や行動へとつながり、学習効果の向上が図られたほか、学校生活での安全性の確保においても効果をあげています。また、児童生徒の人間関係作りにおいて、互いを理解し合うことができるような支援により、周囲の児童生徒も落ち着きます。さらに、担任教師も学級全体に目が行き届くようになることで、学級が落ち着き、そのような児童生徒の姿が保護者に安心感をもたらしたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、特別な支援を要する児童生徒の個別の指導計画・支援計画の作成、特別支援学校における相談活動、特別支援教育コーディネーターの育成など、学校と連携した取組を進めていきます。また、関係機関相互や専門家と連携を図り相談体制等の充実を進めるとともに、特別支援教育に関する研修会等を開催し、各学校における児童生徒の教育的ニーズに応じた具体的な支援の実践へつないでいきます。

基本施策Ⅲ 学校教育環境の充実

本市の実情に応じた活力ある学校づくりの実現のため、適正規模化と適正配置による学校再編整備を推進するとともに、多様な学習活動に対応でき、児童生徒等が安全で快適に過ごすことができるよう施設整備を図るなど、学校教育環境を充実させます。

主要施策 1 学校再編整備の推進

適正規模（適切な学級数）と適正配置（適切な通学距離・時間等）による学校再編整備（大牟田市立学校適正規模・適正配置計画）を進め、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう教育環境を整備します。

【主な事業】

○学校再編整備推進事業〔学校再編推進室、学校教育課〕

（1）市立学校適正規模・適正配置計画第2期実施計画の周知〔学校再編推進室〕

市立学校適正規模・適正配置計画の中間見直しに当たり、答申内容や答申後の地域説明会等で寄せられた様々な意見・要望等も踏まえ、7月に「第2期実施計画（案）」を策定しました。

その後、計画（案）に対する意見・要望を幅広く聴取するため、7月から10月にかけて地域説明会等を開催しました。さらに、8月～9月に実施したパブリックコメントの意見等を参考に、適正規模・適正配置の観点に加え、中心市街地活性化や都市機能の誘導などの観点にも留意しながら、11月に第2期実施計画を策定しました。

計画策定後、計画内容を周知するため、12月からR2年2月にかけて保護者や地域へ説明会等を実施しながら、関係者等へ丁寧な説明と意見聴取に努めました。

（計画の主な内容）

- ・ 3校同時の再編時期を見直し、2段階に分けて再編
- ・ 中学校の再編は、現計画の3校案（白光・歴木・橘中学校）に加えて、松原中学校を活用
- ・ 小学校の再編は、次期計画で改めて策定
- ・ 小中一貫校については、市内全小中学校を小中一貫校とする（原則「併設型」）方向で検討
- ・ 多様な学習機会の提供を行うため、夜間中学を松原中学校に設置することを検討

（2）上内小学校における小規模特認校制度の運営〔学校教育課〕

H24年度から本制度を導入したことにより、H24・25年度に生じた複式学級編制は、H26年度以降は解消しています。また、R元年度は、全校児童61人中25人の児童が本制度により校区外から通学しており、引き続き複式学級が解消されているとともに特色ある教育活動が展開されています。今後も、次年度入学者の児童募集について周知を図ります。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R1	指標・目標値設定の根拠
学校再編の計画の周知度	目標値(回)	—	—	—	42	適正規模・適正配置計画に係る第2期実施計画の説明会開催回数
	実績値(回)	—	—	—	52	
	達成度(%)	—	—	—	123.8	
学校再編による教育環境向上の満足度 (H28 大牟田中央小学校) (H29 宮原中学校) (H30 駛馬小学校)	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	—	各再編毎に80%以上となることを目指します。 [現状値:80.0%(27年度実績)] 適正規模・適正配置計画第1期実施計画はH30年度で完了。
	実績値(%)	81.9	86.5	88.4	—	
	達成度(%)	102.4	108.1	110.5	—	

【指標達成度に対する要因分析】

学校再編の計画の周知度の指標については、計画の説明会等開催回数は52回で、目標値の42回に対し、達成度123.8%でした。

また、11月に第2期実施計画を策定し、再編に関係する14校区において、地域説明会の開催や小中学校PTA等への説明等を行うなどして、計画の周知を図ることができました。

【今後の方向性】

市立学校適正規模・適正配置計画の第2期実施計画について、R元年度に引き続き計画内容を保護者、地域等へ説明するなど周知を行い、R5年度の学校再編協議会の設置に向け、課題の整理を行っていく予定です。

また、学校再編の実施にあたっては、保護者や地域等の理解・協力を得ることが重要であるため、丁寧な説明に努め計画の推進に取り組めます。

上内小学校については、小規模特認校制度の導入による複式学級解消の成果が上がっており、検証結果や適正配置の観点などを踏まえ、今後も引き続き小規模特認校制度を継続していくこととしますが、小規模特認校制度を運用しても、なお複式学級が生じる状況となった場合は、吉野小学校との再編について改めて検討を進めていくこととします。

主要施策 2 安全で快適な学校施設の整備

体育館の吊り天井や照明等の非構造部材の耐震化、小・中学校の普通教室等への空調機器の設置を進めます。また、老朽化した施設の長寿命化改修を行うとともに、バリアフリー化などの施設・設備の改修を進めることにより、安全で快適な学校施設の整備を行います。

【主な事業】

○学校空調設備設置事業〔学務課〕

児童生徒の健康管理と教育環境の向上の観点から、各小・中・特別支援学校の特別教室の1室に空調設備を設置しました（なお、普通教室にはH29年度までに設置済み。）。

（単位：千円）

内容	事業費
小学校空調設備設置（学校が選択する特別教室1室）	43,096
中学校空調設備設置（音楽室。設置済みの宅峰中学校を除く。）	17,605
特別支援学校空調設備設置（窯業室）	2,518

○学校施設長寿命化改修事業〔学務課〕

大牟田市学校施設長寿命化改修計画に基づき、学校施設実態評価により早期に改修が必要な施設の課題整理等を行いながら長寿命化改修を行うこととしています。

R元年度は、手鎌小学校校舎（鉄筋コンクリート造4階建3,265㎡）の外壁等の改修を行いました。また、R2年度に実施予定の羽山台小学校校舎（鉄筋コンクリート造4階建4,279㎡）の外壁等改修に係る設計を行いました。

（単位：千円）

内容	事業費
学校施設長寿命化改修工事（手鎌小学校）	93,248
学校施設長寿命化改修工事に係る設計（羽山台小学校）	1,161

○学校施設・設備改修事業〔学務課〕

（1）トイレ洋式化の計画的推進

トイレ洋式化率が50%に満たない学校や特別に要請のある学校を中心に計画的に洋式化を図っています。

R元年度は、洋式化率が低い又は洋式化の要請のあった小学校3校（玉川小学校：1か所、中友小学校：2か所、銀水小学校：2か所）及び中学校1校（田隈中学校：2か所）を改修しました。

体育館やプール等のトイレを除いた校舎トイレの洋式化率は、H30年度の61.5%から0.7ポイント向上し、62.2%になりました。

（2）天の原小学校教室等改修

天の原小学校の児童数の増加に伴い、音楽室の一部を教室へ改修しました。

（単位：千円）

内容	事業費
教室改修工事	7,734

（3）吉野小学校公共下水道切替え

公共下水道の供用開始に伴い、公共下水道への切替えと浄化槽廃止に伴う解体の設計を

行いました。切替え工事については入札不調となったため、予算を繰り越してR2年度に実施します。

(単位：千円)

内容	事業費
公共下水道切替え工事に係る設計	569

(4) 宅峰中学校第2運動場整備

旧延命中学校跡地が市動物園の駐車場として整備されたことに合わせて、H30年度に宅峰中学校第2運動場のテニス場を移設しており、R元年度はテニス場の防球ネット設置等工事を実施しました。

(単位：千円)

内容	事業費
テニス場の防球ネット設置等工事	9,169

(5) 学校施設・設備の維持補修

日々の小規模補修は学校現場で対応できるよう、各学校に平均82万円の予算配当を行うとともに、教育委員会事務局では、年次計画により、給食用リフトの更新(中友小学校、白川小学校)、給食調理室排水改修(平原小学校)及び体育館アリーナ研磨塗装等(中友小学校)など、学校の安全確保と教育環境の整備に努めました。

(単位：千円)

内容	事業費
給食用リフトの更新	5,886
給食室調理室排水改修	1,260
体育館アリーナ研磨塗装等	2,698

(6) 机、椅子等の更新

学校毎に傷み具合などを判断し、小・中・特別支援の全校で、338組の児童生徒用の机、椅子を更新しました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
校舎トイレの洋式化率	目標値(%)	—	—	61.0	62.0	トイレの洋式化率が50%に満たない学校や特別に要請のある学校を中心に計画的に洋式化します。 [現状値：51.6% (27年度)]
	実績値(%)	—	—	61.5	62.2	
	達成度(%)	—	—	100.8	100.3	
小中学校の普通教室等への空調設備の設置 (H28 小学校全校) (H29 中学校全校)	目標値(校)	18	6	—	—	学校再編整備との整合を図りながら、H29年度までの2か年で全小中学校への設置を目指します。 [現状値：未設置 (27年度)]
	実績値(校)	18	6	—	—	
	達成度(%)	100	100	—	—	

【指標達成度に対する要因分析】

校舎トイレの洋式化、年次計画で行う洋式化率が50%に満たない学校や洋式化の要請のあ

った学校の4校（7箇所）の改修を行い、校舎トイレの洋式化率は、62.2%となり目標を達成できました。

【今後の方向性】

空調設備設置事業については、H29年度までに全ての小・中・特別支援学校の普通教室に設置を完了し、R元年度は、小学校は学校が選択する特別教室1室、中学校（宅峰中学校を除く）は音楽室、特別支援学校は窯業室に設置しました。各学校において空調設備を設置した教室を効果的・効率的に使用するとともに、事務局において使用状況の確認と検証を行いながら、今後の事業の必要性の有無を検討していきます。

学校施設長寿命化改修事業については、R2年度に羽山台小学校の工事を行います。今後は、学校施設長寿命化改修計画に基づき、総合計画の財政計画との整合を図りながら改修工事を進めていきます。

トイレの洋式化の計画的推進については、洋式化率が50%に満たない学校を重点的に進めるとともに、学校再編整備等との整合を図りながら実施しています。R元年度目標値の62%を達成できました。今後は、R5年度目標値の66%の達成を目指して事業を進めていきます。

基本施策Ⅳ 安心して学べ、地域とともにある学校づくり

いじめ防止対策、不登校の防止、経済的困難を抱える保護者の支援や、学校・家庭・地域の連携による児童生徒の規範意識の育成、「共に育ち、共に育てる（共育）」風土の醸成など、安心して学べ、地域とともにある学校づくりを進めます。

主要施策 1 安心して学べる学校づくり

「大牟田市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的に推進します。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用など、教育相談体制の充実強化を図り、不登校の防止等に取り組みます。さらには、経済的困難を抱える保護者の支援として、就学援助などの教育費負担の軽減に取り組みます。

【主な事業】

○いじめ防止対策推進事業〔指導室〕

（１）いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会の運営等

大牟田地域教育力向上推進協議会を「いじめ問題対策連絡協議会」として位置付けており、連絡協議会の中に実行委員会を組織して、年２回（６月、１０月）の会議を開催し、本市のいじめの防止等に関する取組を推進しました。

また、教育委員会の附属機関として設置している「大牟田市いじめ防止対策委員会」の会議を年３回（６月、８月、R２年２月）開催し、本市のいじめ防止に係る教育委員会や学校の取組等について協議を行い、その充実に努めました。

（２）大牟田市いじめ防止基本方針の推進

いじめ防止対策推進法に基づき策定している「大牟田市いじめ防止対策基本方針」について、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ防止対策委員会等の関係機関との連携を図り、いじめ防止に関する取組の総合的な推進に努めました。

いじめの認知件数等（※１）

区 分	H29 年度			H30 年度			R 元年度		
	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中	認知件数	解消件数	解消に向けて取組中
小学校	97	96	1（※２）	71	71	0	55	50	5
中学校	23	23	0	30	30	0	12	11	1

※１：各学校では、いじめの防止等に関する文部科学省の通知や「いじめ防止基本方針」の改定（H29年３月）等も踏まえ、いじめの積極的な認知に取り組んでいる。

※２：H29年度の小学校の「解消に向けて取組中」の１件は、H30年度になって解消したため、H30年度の「認知件数」及び「解消件数」は、それぞれこの１件を加えた件数である。したがって、H30年度の新規の「認知件数」及び「解消件数」はいずれも70件である。

○不登校対策事業〔指導室〕

（１）不登校対応対策会議の開催

教育委員会事務局、少年センター、子ども育成課の職員で構成する不登校対応対策会議を年３回（６月、８月、R２年２月）開催し、不登校児童生徒の現状や不登校の背景等について情報の共有を図るとともに、不登校の未然防止、早期解消に関する連携の在り方についての協議等を行いました。

不登校等の状況

区 分	H29 年度				H30 年度				R 元年度			
	不登校		学校復帰		不登校		学校復帰		不登校		学校復帰	
	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率	件数	出現率	件数	復帰率
小学校	56	1.03%	26	46.4%	81	1.50%	31	38.3%	77	1.45%	14	18.2%
中学校	116	4.61%	41	35.3%	125	5.15%	43	34.4%	158	6.51%	22	13.9%

※不登校児童生徒の定義（文部科学省）：何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

(2) 教育相談員、ひきこもり児童生徒訪問指導員の配置

生涯学習支援センター内に設置している教育相談室に、教育相談員2人、ひきこもり児童生徒訪問指導員3人を配置しました。また、スクールソーシャルワーカーも含め随時3者で連携を図り、問題の早期解決に取り組みました。

教育相談の状況

相談の内容	相 談 件 数 (延べ)		
	H29 年度	H30 年度	R 元年度
学業等	19	13	2
不登校	2,291	1,840	1,783
いじめ	17	13	0
その他の学校生活	52	13	0
性格・行動	131	11	32
その他	58	22	10
合 計	2,568	1,912	1,827

ひきこもり相談の状況（延件数）

H29 年度	H30 年度	R 元年度
362	402	290

(3) 適応指導教室の運営

心理的または情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰のために、指導員を2名配置し、児童生徒の状況に応じて、適応指導、学習指導、教育相談等を行い、学校復帰に努めました。

適応教室の入級及び復帰状況

適応指導教室の状況	H29 年度	H30 年度	R 元年度
入級児童生徒数	10 人	7 人	8 人
復帰数	10 人	7 人	8 人
復帰率	100%	100%	100%

※復帰数には高校進学者も含まれます。

- 「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業〔指導室〕（再掲）（21・22ページ参照）基本施策Ⅱの主要施策2（37ページ）にも掲載しています。

○スクールソーシャルワーカー活用事業〔指導室〕

- (1) スクールソーシャルワーカー（SSW）による相談対応と支援

教育相談室にスクールソーシャルワーカー（SSW）を3人配置し、さらに、県から派遣されたSSWを1中学校区に1名配置しました。SSWが有する社会福祉等の専門的な知識・技能を用いて、児童生徒や保護者の相談に応じたり、福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用したりして、問題を抱える児童生徒及びその家族の支援を行い、児童生徒の問題行動等の解決に努めました。

相談対応状況（実件数）

H29年度	H30年度	R元年度
299	406	481

（2）大学等の高度な知見を活用した複雑・困難な事案への対応

複雑化・多様化した学校だけでは解決困難な相談が増加しており、児童生徒の心理や家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカーの活用や大学等と連携した取組の充実を図りました。

（3）ケース会議の開催

教育相談室のケース会議や、学校が開催するケース会議、子ども家庭課が所管する「大牟田市子ども支援ネットワーク（大牟田市要保護児童対策地域協議会）」等にも随時参加し、情報や取組の共有を行いました。

（3）問題行動を抱える児童生徒の在籍する学校へのSSWの派遣

学校や保護者からの相談に対し、教育相談室での面談や電話での対応を行う中で、必要に応じて学校訪問や家庭訪問等を実施し、きめ細かな対応に努めました。

○就学援助事業〔学務課〕

学校教育法等の関係法令及び大牟田市就学援助要綱に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助として学用品費、学校給食費、医療費等を支給しました。また、心身的な理由により普通教室での就学が困難な児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費補助を支給しました。

さらに、高等学校及び高等専修学校への進学に必要な入学支度金や学費の一部を貸与する「公益財団法人福岡県教育文化奨学財団」の奨学金制度の周知を図り、奨学金申請事務を行いました。

① 就学援助費

（単位：人、千円）

区 分		H29年度	H30年度	R元年度
支給者数	小・中学生	1,402	1,381	1,384
	未就学児	143	119	120
支給総額		87,810	121,669	108,701
（うち国庫補助金）		(1,663)	(1,517)	(1,754)

② R元年度就学援助費の内訳

（単位：人、千円）

区 分	未就学児		小学校		中学校		合 計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	—	—	948	13,806	436	11,061	1,384	24,867
校外活動費	—	—	(157)	560	(13)	39	(170)	599
新入学児童生徒学用品費等	—	—	(37)	1,502	(20)	948	(57)	2,450
修学旅行費	—	—	(159)	3,147	(147)	6,912	(306)	10,059

学校給食費	—	—	(947)	35,578	(432)	18,906	(1,379)	54,484
通学費	—	—	(1)	27	(0)	0	(1)	27
医療費	—	—	(183)	1,370	(42)	450	(225)	1,820
新入学学用品費 (入学前支給)	120	6,072	(145)	8,323	—	—	120 (145)	14,395
合計	120	6,072	948	64,313	436	38,316	1,504	108,701

※人員の（ ）は内数。

③ 特別支援教育就学奨励費 (単位：人、千円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
支給者数	63	69	78
支給総額	2,247	2,380	2,503
(うち国庫補助金)	(1,123)	(1,267)	(1,251)

④ R元年度特別支援教育就学奨励費の内訳 (単位：人、千円)

区分	小学校		中学校		合計	
	人員	支給総額	人員	支給総額	人員	支給総額
学用品費等	(52)	336	(17)	151	(69)	487
校外活動費	(9)	16	(0)	0	(9)	16
新入学児童生徒学用品費等	(10)	203	(9)	213	(19)	416
修学旅行費	(11)	104	(2)	47	(13)	151
学校給食費	55	1,002	23	393	78	1,395
通学費	(0)	0	(1)	38	(1)	38
医療費	(0)	0	(0)	0	(0)	0
合計	55	1,661	23	842	78	2,503

※人員の（ ）は内数。

⑤ 奨学金制度の活用状況 (単位：人)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
申請者数	188	168	146
第1・2次内示認定者	153	144	123

○学校保健事業〔学務課〕

(1) 各種健康診断事業

学校保健安全法等の関係法令に基づき、学校における教育活動が安全な環境において実施され、児童生徒等の安全の確保が図られるよう、児童生徒及び教職員の健康診断並びに翌年度から就学を予定している幼児を対象に就学時健康診断を実施し、有所見者には、二次検査や治療の勧告を行いました。

各種健康診断受診者数 (単位：人)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
児童生徒健康診断	7,889	7,808	7,698
教職員健康診断	346	366	353
就学時健康診断	820	877	823

(2) 災害共済給付事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター法に基づき、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）が発生した場合に災害共済給付（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）を支給するもので、医療機関からの診療報酬請求に基づいて医療費を支給しました。

① 災害共済掛金

(単位：千円)

区 分	H29 年度	H30 年度	R 元年度
個人負担総額	2,763	2,717	2,698
市負担総額	4,618	4,565	4,442
合 計	7,381	7,282	7,140

※ 1人当り災害共済掛金935円。(個人負担420円、市負担金515円)

② 災害発生件数と給付額

(単位：件、千円)

区 分	H29 年度		H30 年度		R 元年度	
	件 数	給付額	件 数	給付額	件 数	給付額
小学校	447	2,518	385	1,752	365	1,773
中学校	301	3,286	313	2,706	298	3,214
特別支援学校	6	20	5	20	3	14
合 計	754	5,824	703	4,478	666	5,001

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
児童生徒の学校生活への満足度	目標値 (%)	87.0	88.0	89.0	90.0	現状値から3ポイント余り(年約1ポイント)の向上を目指します。 [現状値:86.7%(27年度実績)]
	実績値 (%)	87.2	88.1	89.3	90.7	
	達成度 (%)	100.2	100.1	100.3	100.8	

【指標達成度に対する要因分析】

「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業における、年間2回のリーダーミーティングの仕組みが整い、各取組が充実しました。児童生徒が日常生活において、当事者意識を持って「楽しい学校・いじめのない学校」づくりに取り組むことができました。「思いやり・親切」に係る標語やポスターの校内掲示等により、各学校の支持的風土の醸成が進みました。

その結果、児童生徒は自分たちの取組への満足感や自己有用感から児童生徒の良好な人間関係の構築が進み、目標の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業等における児童生徒主体の取組を推進するとともに、児童生徒の実態把握の徹底による早期発見・早期対応や解消後の継続した取組の徹底を指導していきます。また、“ネット上や携帯電話のいじめ”が増加する傾向にあるため、「大牟田市児童生徒の携帯電話等の利用に関する指針」の保護者等への啓発を継続して行うとともに、いじめ防止対策推進法に基づくいじめ防止基本方針に係る取組を一層推進していきます。さらに、複雑化・多様化し学校だけでは解決困難な相談が増加しており、児童生徒の心理や家庭環境などの複雑な要因に対応できる社会福祉等の専門的知識や技能を有す

るスクールソーシャルワーカーの活用や大学等と連携した取組の充実を図ります。

就学援助事業については、全児童生徒数に占める支給者数の割合は約17.9%となっており、約6人に1人が対象となっている状況です。子どもの貧困対策の推進に関する法律などの関係法令の趣旨を踏まえ、今後も引き続き、援助が必要な児童生徒等の保護者に対し、広報おおむたや学校等を通じて就学援助制度の周知を図るとともに、申請手続面の負担軽減も図りながら、必要な援助を適切な時期に実施できるよう努めていきます。また、実態も考慮しながら、よりよい就学援助制度について検討していきます。さらに奨学金についても、財団法人福岡県教育文化奨学財団の奨学金制度のほか、家庭の状況に応じた奨学金制度等についても学校との連携のもとに周知を行うことで就学支援の充実を図っていきます。

学校保健事業については、児童生徒及び教職員等を対象とした各種健康診断事業において、有所見者に対し二次検査や精密検査の受診を勧奨することで、早期発見、早期治療を促し、児童生徒等の健康の保持増進に努めるとともに、災害共済給付事業についても、各学校と連携し災害発生時における適正な医療費等の給付に努めていきます。

主要施策 2 学校・家庭・地域の連携

大牟田地域教育力向上推進協議会との連携により、児童生徒の規範意識の育成や「共育」風土の醸成を推進するとともに、保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにあるユネスコスクール体制の在り方に関する研究に取り組むなど、学校・家庭・地域の連携を推進します。

【主な事業】

○大牟田地域教育力向上推進協議会との連携〔指導室〕

(1) 大牟田地域教育力向上推進協議会への補助金の交付

学校教育・家庭教育・地域教育の向上を目指した取組を行っている大牟田地域教育力向上推進協議会に対し、その運営及び活動を助成するため、92.3万円の補助金を交付しました。

(2) 大牟田地域教育力向上推進大会の開催

大牟田地域教育力向上推進協議会の中に設置している実行委員会と連携し、R2年1月25日（土）に文化会館において、大牟田地域教育力向上推進大会を開催し、小・中・高等学校の児童生徒の意見発表や「ありがとうの日」の作文の表彰、映画「いのちスケッチ」監督 瀬木直貴氏による講演等を行いました。

(3) 教育力向上に関する啓発資料の作成・配布の共同実施

教育力向上に関する啓発資料を作成し、4月に各学校から保護者に配布しました。

また、長期休業中の好ましい生活習慣等についてのチラシを作成し、1学期の終業式の日（7月19日（金））と2学期の終業式の日（12月24日（火））に、ゆめタウン大牟田において協議会役員が市民に配布しました。

(4) 「ありがとうの日」の作文の募集・表彰の共同実施

毎月10日を「ありがとうの日」とし、各学校でのぼり旗を掲げました。7月の校長会において「ありがとうの日」の作文の募集について周知し、9月から10月まで募集を行い、10,015件の応募がありました。

12月に審査を行い、R2年1月25日（土）の教育力向上推進大会で入賞者の表彰と各学校の取組について発表を行いました。

(5) 中学校区教育力向上の促進

大牟田地域教育力向上推進協議会の地域部会である大牟田市中学校区教育力向上連絡協議会が中心となり、各中学校区において、校区の実態に応じて、マナーアップ3運動「挨拶運動・環境美化運動・交通安全運動」に取り組みました。

○学校評価推進事業〔指導室〕

(1) 学校の自己評価、結果公表に係る指導助言

各学校に対し、重点目標や教育活動全般に関する学校評価計画を立て、その評価計画に基づいて、学校の自己評価並びに結果の公表を計画的に行うよう指導しました。

各学校の評価結果（学校評価報告書）については、各学校のホームページに掲載して公表しました。

(2) 学校関係者評価委員会の開催に係る指導助言

各学校では、学校評議委員、地域代表、保護者代表、接続する関係学校代表等によって構成される学校関係者評価委員会を設置し、計画的に学校関係者評価委員会を開催しています。学校関係者評価委員会では学校の重点目標に係る成果指標や取組指標等の設定の説明や客観的資料に基づき達成状況等の報告を行うよう指導助言を行いました。

各学校では、3学期に自校の教育活動や学校経営について自己評価を行い、学校関係者評価委員会において自己評価の結果について評価が行われました。各学校は、評価結果と

それを踏まえた改善計画を学校評価報告書としてまとめ、教育委員会に報告しました。

○学校評議員制推進事業〔学校教育課〕

学校長からの推薦を受け、小・中・特別支援学校に合計 85 人の学校評議員に委嘱を行いました。学校長が学校評議員から基本的に年 3 回の意見聴取を行う中で、専門的な識見からの考え方や地域住民・保護者の意向を学校運営に反映し、学校の課題解決に役立てるとともに、学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育に関わる地域に開かれた学校づくりを推進しました。

○土曜日授業の推進〔指導室〕

(1) 学校・家庭・地域の連携の視点からの土曜日授業の推進

小学校においては、年間 6 回、中学校においては年間 3 回（各学期 1 回程度）の土曜日授業を計画的に実施し、保護者や地域への学習公開を行ったり、保護者や地域の人材を活用した多様な体験学習等を実施したりするなど、学校の教育活動の充実を推進しました。

○ユネスコスクールの体制に関する研究〔学校教育課〕

(1) 保護者や住民の力を学校運営に活かした、地域とともにあるユネスコスクールの体制に関する研究

ユネスコスクールの支援体制強化を目指す「大牟田版コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、他市のコミュニティ・スクールを参考にしながら、本市の実情を踏まえた「学校運営推進委員会」（仮称）の研究を進めました。R 元年度は、小学校 1 校をモデル校として、学校評議員、学校関係者評価委員及び地区公民館長等で構成する「学校運営推進委員会」（仮称）を設置し、地域と学校が連携・協働したユネスコスクールの体制の充実を図りました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
学校教育活動へのゲストティーチャーの参加数	目標値（人）	1,340	1,360	1,380	1,400	現状値から 70 人余り（年 20 人程度）の増を目指します。 〔現状値：1,327 人（24～26 年度平均）〕
	実績値（人）	1,895	1,886	1,913	1,983	
	達成度（％）	141.4	138.7	138.6	141.6	

【指標達成度に対する要因分析】

大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進により、各学校並びに各中学校区の特色に応じた学校・家庭・地域が一体となった取組が展開されるとともに、各学校において、自校の教育活動に関する情報の発信や、地域や保護者の意向の学校運営への反映など、地域に開かれた学校づくりが推進され、学校教育における学校・家庭・地域の連携が充実しました。

その結果、各学校の特色ある教育活動や学習環境の整備等において、地域の方々やゲストティーチャーが様々な形で参加するなど積極的な人材活用が行われ、目標の達成ができたものと考えます。

【今後の方向性】

今後も、大牟田地域教育力向上推進協議会の取組の推進による学校・家庭・地域が一体となった取組の推進を図るとともに、学校評価推進事業や土曜日授業の充実・推進に取り組み、各

学校における開かれた学校づくりへの支援・指導を行っていきます。

学校評議員制推進事業については、学校長が学校評議員から、地域への授業公開の在り方、地域住民の教育活動への参加、学校行事の運営や安全管理の在り様、小中連携の方策など多岐にわたり学校運営を支援する意見をいただいております、これらの意見を参考に検討を進めていきます。

ユネスコスクールの体制に関する研究については、今後、「学校運営推進委員会（仮称）」を試行する学校区を具体的に選定するとともに、円滑な試行に向けた体制の整備を行っていきます。

基本施策Ⅴ 人権に関する教育・啓発の推進

市民一人ひとりが互いの人権を尊重することの重要性を認識し、人権問題に対する正しい理解を深めるため、関係機関と連携しながら人権教育・啓発活動に取り組みます。

主要施策 1 人権・同和教育の推進

学校教育活動全体を通じて、人権尊重の視点を取り入れた教育を推進し、児童生徒に偏見や差別意識をなくす意欲と実践力を涵(かん)養し、人権が尊重される社会の基礎づくりを進めます。

また、人権・同和教育研究協議会等と連携しながら、広く市民を対象に、人権についての学習活動や啓発活動を推進し、人権が尊重される社会の形成を進めます。

【主な事業】

○人権・同和教育推進事業〔指導室〕

(1) 学校教育活動全体を通じた人権・同和教育の推進

各学校において、人権・同和教育の全体計画を作成し、県教育委員会作成の副読本「かがやき」や教材集「あおぞら」を活用しながら、学校の教育活動全体を通して、児童生徒の実態に応じ人権・同和教育を推進するよう指導しました。

(2) 教職員研修の開催

教職員研修については、各学校において、授業による校内研修会を計画的に実施するとともに、大牟田市人権・同和教育研究協議会と連携して実践交流会に参加し、学校の人権・同和教育の充実に努めるよう指導しました。

(3) 各種研究会への参加

県教育委員会、県人権・同和教育研究協議会等が主催する各種研究会への参加の促進を図りました。

●人権・同和問題啓発事業〔人権・同和教育課〕(24ページ参照)

(1) 人権・同和教育講演会

と き 7月7日(日)
ところ 大牟田文化会館 第一・第二研修室
参加者 100人
内 容 講演「出会いと表現 ～あることをないことにしない～」
講 師 大湾 昇

(2) 人権学習会

と き 10月23日(水)、10月29日(火)、10月30日(水)、11月6日(水)
ところ 三川地区公民館、駿馬地区公民館、手鎌地区公民館、三池地区公民館
参加者 154人(4会場)
内 容 学習会「～炭坑労働と偏見や差別の中で生き抜いてきた人々～」
講 師 大牟田市人権・同和教育研究協議会 研究員

(3) 啓発情報提供

ホームページにより各種啓発事業や地域や職場での学習を支援するための啓発資料の案内を行うとともに、「広報おおむた」に啓発記事や啓発事業の案内を掲載するなど、情報提供しました。

○大牟田市人権・同和教育研究協議会との連携〔人権・同和教育課〕

(1) 大牟田市人権・同和教育研究実践交流会の共催

第23回人権・同和教育研究実践交流会

- と き 8月5日(月)
- と ころ 大牟田文化会館
- 参加者 593人
- 全体会 記念講演「部落差別を問う ～反差別・共感・連帯に向けて～」
- 講 師 組坂 幸喜(九州大谷短期大学非常勤講師、同短期大学人権論研究会主査)
- 分科会 「部落問題学習」「連携した子ども支援」「多様性の理解」など7分科会を開催

(2) 課題別委員会「子ども就学支援」の支援

課題別委員会「子ども就学支援」で、「2019(令和元)年度版 おおむた子ども支援ガイドブック～子どもを、家庭をチームワークで支えるために～」を作成し、学校をはじめとして大牟田市人権・同和教育研究協議会加盟団体に配付するとともに、ホームページに掲載し情報提供を行いました。

(3) 人権連続講座の共催

①第1回

- と き R2年2月14日(金)
- と ころ 中央地区公民館
- 参加者 49人
- 内 容 講演「児童生徒のスマホリスクについて考える」
- 講 師 加藤 陽一(公社 福岡県人権研究所理事、九州女子短期大学講師)

②第2回

- と き R2年2月21日(金)
- と ころ 中央地区公民館
- 参加者 47人
- 内 容 講演「部落差別を問う ～反差別・共感・連帯に向けて～」
- 講 師 組坂 幸喜(九州大谷短期大学非常勤講師、同短期大学人権論研究会主査)

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
人権尊重意識の醸成度	目標値(%)	100	100	100	100	諸事業の参加者アンケートで、開催テーマに対する理解及び認識が「深まった」「概ね深まった」と全ての人に回答していただくことを目指します。(27年度の諸事業の参加者アンケートでの回答割合を踏まえて設定。)
	実績値(%)	96.0	94.9	96.5	94.6	
	達成度(%)	96.0	94.9	96.5	94.6	

【指標達成度に対する要因分析】

人権・同和教育講演会のほか、H30年度から開催している人権学習会ですが、R元年度も市内4会場で開催し、人権に対する意識の向上を図りました。その結果、醸成度についてはほぼ目標に近い数字となりました。このため、開催テーマや趣旨については参加者に十分伝わったものと思われます。

【今後の方向性】

諸事業を開催するには、その趣旨を踏まえ、深く掘り下げた内容とする一方、誰もが気軽に参加でき、分かりやすく身近な問題をテーマとして、広く市民を対象として開催することも重要となってきます。そのためには、周知方法についても、「FMたんと」、「愛情ねっと」、「ちようどよ課」等を活用するほか、小・中・特別支援学校の校長会や民生委員・児童委員協議会の会長会等において、チラシを配布するなど、広く周知・啓発していきます。

教 育 施 策 の 推 進 状 況

(市 長 部 局 関 係 分)

「大牟田市まちづくり総合プラン」より

市長部局関係分においては、総合計画「大牟田市まちづくり総合プラン」第1編に掲げる社会教育、スポーツ及び文化の関係施策に係る実績を掲載しています。

なお、同編第1章については、主として子育て支援に係る施策であるため、施策自体の評価は行わず、関係事業の実績のみ掲載しています。

「大牟田市まちづくり総合プラン」施策体系（関係分の抜粋）

第1編 はぐくみ 未来を拓く人がはぐくまれています

第1章 安心して子どもを産み、育てることのできるまち

視点1 地域における多様な子育て支援

第2章 心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち

視点1 子どもの体験活動の充実

視点2 社会の宝として、地域全体で子どもたちを見守り、育てる

視点3 スポーツ・文化芸術活動を通じた青少年の心身の育成

視点4 青年の社会参加の促進

視点5 青少年の問題行動や悩みへの対応

第5章 生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち

視点1 学習機会の充実

視点2 学習成果を活かす仕組みづくり

視点3 地域での学習活動の支援

第6章 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち

視点1 気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

視点2 スポーツ活動を支える仕組みづくり

視点3 スポーツがしやすい環境づくり

第7章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

視点1 まちの歴史や文化を知る・学ぶ

視点2 文化芸術事業の充実

視点3 文化芸術活動への参加機会の充実

視点4 文化芸術の環境づくり

成果指標の平成31(令和元)年度実績値

施策	成果指標	現状値 (H26年度)	目標値 (R元年度)	実績値 (R元年度)	達成度 (R元年度)
(第1章 安心して子どもを産み、育てることのできるまち)	(本施策の成果指標は、「子育てしやすいと思っている市民の割合」(保健福祉部所管)であるため掲載していません。)				
第2章 心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち ※点検・評価の対象	子どもの育成や見守り活動への参加率	16.5%	25.0%	14.7%	58.8%
第5章 生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち ※点検・評価の対象	1年間に、何らかの学習活動を行った市民の割合	43.8%	60.0%	50.7%	84.5%
	学んだ成果を活かすことができたと回答した市民の割合	74.2% (H23年度)	85.0%	70.9%	83.4%
第6章 スポーツを通して生きがい に満ち、活気にあふれるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	25.3%	45.0%	46.3%	102.9%
第7章 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち ※点検・評価の対象外	1年間のうち、何らかの文化芸術活動(テレビやインターネット等での鑑賞は除く)への参加率	23.8%	40.0%	20.9%	52.3%

※太枠内の実績値(R元年度)は、「まちづくり市民アンケート」集計結果による(18歳以上の市民1,000人を無作為抽出して実施し、623人が回答)。

平成31（令和元）年度重点事業（市長部局）

まちづくり総合 プラン第1編		事業名	ページ
章	視点		
2	1・2	通学合宿支援事業	67
2	1	子ども読書推進事業	68
2	1	子ども未来デッサン事業	69
5	1	多様な学習機会提供事業	70
5	2	生涯学習ボランティア登録派遣事業	71
7	1	近代化産業遺産活用事業	72

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第2章】心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち （視点1）子どもの体験活動の充実／（視点2）社会の宝として、地域全体で子どもたちを見守り、育てる 通学合宿支援事業（76～78ページ参照）
------------	---

目的	子どもが、家事などの日常生活を自分自身で行うことにより、規則正しい生活習慣を身につけ、働くことや協力することの大切さを理解し、自主性や協調性、自尊感情を高めます。また、地域の大人が、ボランティアとして関わることにより、地域住民同士の交流を深め、子どもを地域で育てようとする機運を高めます。この事業を継続することにより、地域における子育て環境の充実に図ります。
-----------	---

事業内容	通学合宿は、子どもたちが親元を離れ、地域の人々の協力を得て、公民館等に寝泊りしながら学校外の生活を自分たちの力でやる事業です。市は、子どもたちの健全育成及び子どもを地域全体で育てようとする機運を高めることを目的とし通学合宿事業を支援します。地域は、実行委員会の立上げ、参加者及びボランティアの募集、子ども準備会等を経て通学合宿を実施します。また、初めて実施する校区においては、市が実行委員会と共催で通学合宿（モデル事業）を行い、通学合宿の運営手法の確立を図ります。モデル事業の中でボランティア養成講座を実施します。講座受講後、すぐに活動に参加することで、活動の意義や必要性を理解し喜びも感じていただく等、子どもを地域で育てる活動へつながる取組みとします。
-------------	---

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
通学合宿を実施している校区数	目標値(校区)	6	7	8	9	実施校区が増えることにより、子どもの体験活動の場と機会が増え、地域における子育て環境が充実します。
	実績値(校区)	5	6	7	5	
	達成度(%)	83.3	85.7	87.5	55.5	

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 通学合宿を実施する5団体に対し、補助金の交付及び合宿当日の助言や人的支援を行いました。5団体合計で99人の子どもたちと実人数178人（延べ452人）のボランティアが参加しました。 モデル事業（新規）については、地域団体等と協議を重ね調整を行ったものの、事業を行える十分な体制が整っていないことから実施には至りませんでした。また、減少した2校区についても実施に向けた調整を行いました。前年度よりもボランティアの確保が厳しいなどの理由により実施には至りませんでした。
-------------	--

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	172	千円			172
		千円			千円

問題点及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 通学合宿を地域で実施するには、地域・保護者・学校の理解と協力が不可欠であることから、機会を捉えて事業の理解の促進に取り組むことが必要です。 地域の自立性を促すため、事業の簡素化や事業内容の明確化を図る等、地域の負担感や不安感を解消するための仕組みづくりが必要です。
----------------	---

今後の方向性（具体策）	<ul style="list-style-type: none"> 実施団体を増やすため、通学合宿を既に実施している校区の記録写真や実施後の子ども達の感想等を示す等、より分かりやすく、事業の重要性を感じてもらえるような説明を行い理解の促進に取り組みます。 事業のマニュアル化を図り、通学合宿実行委員会にマニュアルに沿った事業実施を案内する等、実行委員会の自立を支援します。
--------------------	---

評価	目標より4校区少ない実績となりました。新規開設の校区だけでなく、既に実施している校区が今後とも継続していけるような働きかけを行い、より多くの子どもに体験の機会を提供できるよう取り組みます。
-----------	--

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第2章】心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち （視点1）子どもの体験活動の充実 子ども読書推進事業（78～80ページ参照）</p>
------------	--

目的	<p>多くの子どもが、読書の楽しさを知り、自主的に読書活動を行うようになります。</p>
-----------	--

事業内容	<p>①家庭・地域・学校での、子どもの発達段階に応じた読書活動推進、②各関係団体、機関の連携や協力の推進、③子どもの読書活動に関する理解と関心の普及啓発により、子どもの読書活動の環境づくりを進めます。</p> <p>具体的には、ブックスタート事業、各種おはなし会の充実、ヤングアダルトコーナーの充実、子ども読書に関する啓発などに取り組みます。</p> <p>また、現行の計画期間がR元年度までとなっている「大牟田市子ども読書推進計画」を改訂します。</p>
-------------	--

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
児童書の貸出し冊数	目標値（冊）	162,000	163,000	164,000	165,000	子どもの数が減少していく状況にあっても、H27年度の実績（16万1千冊）から毎年1千冊増加。
	実績値（冊）	158,348	160,542	157,752	149,056	
	達成度（％）	97.7	98.5	96.2	90.3	

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート事業 全新生児に、ブックスタートパック（絵本、布バッグ、リーフレット）を配布するとともに、フォローアップ講座「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を実施しました。 中学生読書活動サポーター養成講座 全3回講座を実施し、11人の読書活動サポーターを養成しました。 大牟田市子ども読書推進計画の改訂 第三次計画を策定しました。 子ども読書に関する啓発 4月23日の子ども読書の日にあわせ、広報おおむたに特集ページでの掲載を行うとともに、全児童・生徒にチラシを配布。市立図書館においては関連イベント等を実施しました。 <p>※その他、市立図書館では、おはなし会の充実（毎週3回）やヤングアダルトコーナーの充実に取り組みました。</p>
-------------	--

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	1,013	千円	36		977

問題点及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 指標の達成度は90.3%となっており、前年度から比較すると8,696冊減少しています。 学校や施設などの団体利用者に対し、まとまった冊数の図書資料を一括して貸し出す「団体貸出」を広く周知し、利用しやすい環境を整えるなど、貸出冊数を増やす取組みを進めていく必要があります。 市立図書館での「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」をはじめとした各種おはなし会の参加者数は、子どもの数の減少とともに減少傾向です。乳幼児期から小学生の時期までの間に読書習慣が形成されるよう、子どもや保護者が気軽に市立図書館を気軽に利用できる環境づくりを更に進めていく必要があります。
----------------	--

今後の方向性（具体策）	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館を核とした子どもの読書活動に関係する機関との連携を促進するため、意見交換できる場を構築していきます。 子どもの読書活動を推進するためには、子どもだけではなく、保護者など周りの大人が、読書活動の大切さについて理解することが重要であることから、子どもの頃から読書に親しむことの重要性や、読書が子どもに与える影響についての理解・啓発を図ります。
--------------------	---

評価	<p>目標値には到達することができず、前年度と比較しても貸出冊数が減少しています。市立図書館や学校をはじめとした関係機関との連携を進めるとともに、子どもの読書活動の大切さについての理解促進・啓発を図り、子どもの読書活動の推進を図っていきます。</p>
-----------	---

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：地域コミュニティ推進課）

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第2章】心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち （視点1）子どもの体験活動の充実 子ども未来デッサン事業（80ページ参照）
------------	--

目的

現実的な将来を考え始める小学校高学年（小学4年～6年生）の児童が、自分の将来の目標をみつけるとともに、未来に向かって頑張る姿勢を持つようになります。また講師にとっては、自分が培った知識や体験を活かす機会となります。

事業内容

子どもたちがこれからの夢を抱ききっかけづくりや目標の設定、将来の選択肢を広げるために、いろいろな仕事に携わる職業人から、子どもの頃の経験やその職業を目指したきっかけ、夢の実現のために頑張ったこと、現在の職業の様子などを聞く機会をつくります。また、講義とともに、実際にその職業に関連する内容で体験を行い、子どもの興味を促すような取組みにします。

職業については、13歳のハローワークや小学校6年生の将来の夢、受講した子どものアンケートなどを参考に、様々な観点から年間6業種程度を選定します。また、講師には地元で活躍する若い世代の職業人を中心に依頼し、自身の仕事を見直す機会やモチベーションアップにもつながるよう取組みます。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
夢や将来のことを考えたり思ったりした参加者の割合（参加者アンケート）	目標値（%）	—	—	95.0	97.0	自分の夢や将来のことを考え、「未来の自分の姿」を描くことができるようになることを目指し、目標値を30年度95%、元年度97%と設定しました。
	実績値（%）	—	—	89.7	95.0	
	達成度（%）	—	—	94.4	97.9	
チャレンジ意識を持てるようになった参加者の割合（参加者アンケート）	目標値（%）	100	100	—	—	児童全員が事後のアンケートで「自分も何かを頑張ってみようと思った」と回答することを目指して取組みます。
	実績値（%）	97.9	98.0	—	—	
	達成度（%）	97.9	98.0	—	—	

取組実績

- ・学芸員・学習指導員（御船町恐竜博物館 富澤 由規子氏、ダウイット・キャブレール氏）
 ・・・・ 8月 3日／受講者11人
- ・薬剤師（社会医療法人 親仁会 米の山病院 薬剤師）
 ・・・・ 8月 17日／受講者30人
- ・グラフィックデザイナー・イラストレーター（馬場 真帆氏）
 ・・・・ 9月 14日／受講者20人
- ・和菓子職人（森 史朗氏）
 ・・・・ 11月 23日／受講者27人
- ・寿司職人（三浦 好生氏）
 ・・・・ 12月 1日／受講者20人
- ・フラワーデザイナー（磯濱 玄海氏）
 ・・・・ 12月 7日／受講者21人

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	86 千円 千円				86

問題点及び課題

- ・H30年度に定員を増加し、各講座30人としましたが、小学4～6年生の児童を対象に、講義を中心に体験も行う講座であるため、講師に趣旨を理解してもらう必要があります。また、児童はじめ保護者にも講座の趣旨を理解してもらうため、周知の工夫が必要です。
- ・これまで受講者募集の際に講師名を公表していませんでしたが、受講者の保護者等から公表すべきとの意見が複数あったため、R元年度より公表することとしました。
- ・受講者数については、講座によってばらつきがあるものの、職業の選択や、周知など工夫をしたことにより、延べ受講者で25人の増加となり、一定の成果があったものと思われま。

今後の方向性（具体策）

- ・講師の生き方や体験を「聴く」ことにより、未来の自分の姿を思い描き、夢を実現するためのきっかけづくりとなる講座であるため、募集の段階から児童はじめ保護者にも趣旨を理解してもらうよう工夫します。
- ・講義を中心に体験も行う講座であるため、講師との十分な打合せの時間を設けるなど、趣旨を十分に理解してもらうよう工夫します。また、地域の人材を積極的に活用することとします。
- ・子どもたちが夢や将来のことを考えられるよう、また、講師も子どもたちに教えることで喜びややりがいを感じ、自身の仕事に対して再確認できる機会となるよう、内容充実を図ります。

評価

対象者のニーズに即しており、児童の社会性をはぐくむ事業です。大人（職業人）の「子どもを地域で育てる意識」の醸成、社会全体で青少年を見守りはぐくむ環境づくりにも寄与しています。また講師自らが学んだ成果を発表する場にもなっています。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第5章】生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち （視点1）学習機会の充実</p> <p>多様な学習機会提供事業（89・90ページ参照）</p>
------------	---

目的
市民自ら策定した「大牟田市生涯学習まちづくり推進基本構想」に基づいて、市民、行政、企業が主体的に生涯学習を推進することで、「いつでも、どこでも、誰でも楽しく学習でき、その学んだ成果が適切に活かされる社会」を実現します。

事業内容
生涯学習まちづくり推進本部（市民主体の組織）の「生涯学習ボランティア登録派遣事業」、「企業出前講座」、生涯学習まちづくり推進会議（庁内組織）の「メニューいろいろまちづくり出前講座」などの取組みを推進します。
また、H30年度から取り組んでいる「大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究」によって、社会教育及び生涯学習に関する事業の再構築を図ります。

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
「企業出前講座」に参画する民間企業数	目標値（社）	—	5	10	15	多様な学習機会が提供できる社会になっているかを参画する企業数でみます。 ※H29年度から実施
	実績値（社）	—	8	11	14	
	達成度（%）	—	160	110	93.3	

取組実績

- 生涯学習ボランティアの派遣や企業出前講座など、市民や企業が主体となり実施する学習機会の充実を図るとともに、様々な媒体を通じて各事業のプロモーションを行うことで、市民の自主的な学習活動の促進につながりました。

＜生涯学習まちづくり推進本部＞

- 企業出前講座「がんばる地場企業」【企業】：14社31メニュー／33回／受講者 延827人
- 生涯学習ボランティア登録派遣事業【市民】：派遣回数 延876回（〔参考〕新型コロナウイルスの影響で開催を中止した回数：39回）／参加者 延57,334人
- 市民大学講座【高等教育機関との連携】：4回（帝京大学・有明高専）／受講者 延80人

＜生涯学習まちづくり推進会議＞

- メニューいろいろまちづくり出前講座【行政】：113メニュー／派遣回数 158回（〔参考〕新型コロナウイルスの影響で開催を中止した回数：8回）／受講者 延5,242人

＜その他＞

社会教育・生涯学習行政が果たすべき役割やそのあり方を考え、施策・事業の再構築を図ることを目的に社会教育・生涯学習基礎調査研究に取り組みました。その結果、人口減少の中にあっても「持続可能な社会の構築」を支える人づくりを課題とし、将来のまちづくりの担い手となる子どもたちを地域や社会全体で育てることを施策の中心に据えることとしました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	1,162 千円 千円				1,162

問題点及び課題

- 社会教育・生涯学習基礎調査研究の際に実施した市民意識調査では、インターネットを利用した学習機会を求める市民の声が多かったことから、このような学習ニーズを事業に反映させていくことが必要です。
- また、調査結果において、日頃学習を行っていない人（行えない人）が行政に対して求めることは、「講座・催し物に関する詳しい情報の提供」と回答した割合が最も高かったことから、学習機会やメニューの充実と併せて、情報提供の強化を図ることが必要です。

今後の方向性（具体策）

- 出前講座等の学習機会の利用を広げるため、SNS等を活用した情報発信に努めるとともに、いつでも、どこでも、誰でも学習できる環境を整備するため、インターネットを利用した学習機会として、市役所職員出前講座の動画（学習コンテンツ）配信を行っていきます。
- 学習機会の提供にあわせた情報発信のあり方の検討を行い、生涯学習に取り組もうとする人が、必要な情報をすぐに得ることができるようにします。

評価
今後も市民・行政・企業が主体的に生涯学習によるまちづくりを推進していくことができるよう、情報発信と学習の機会を充実させていきます。

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：生涯学習課）

事業名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第5章】生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち （視点2）学習成果を活かす仕組みづくり 生涯学習ボランティア登録派遣事業（93・94ページ参照）</p>
-----	---

目的	<p>「いつでも、どこでも、誰でも楽しく学習でき、その学んだ成果が適切に活かされる社会」を実現するために、市民の方々が学んだ知識・技術を他の人々へ教える機会・場の提供を通して市民の間に学びの輪が広がることを目指します。</p>
----	---

事業内容	<p>市民から依頼があった学習ニーズ・要求に応じて、「生涯学習ボランティア登録者（市民）」をコーディネートし、派遣します（無料）。</p>
------	---

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
生涯学習ボランティア登録者の意欲の高まり	目標値（％）	—	100	100	100	学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたいと回答した割合
	実績値（％）	—	94.8	98.9	100	
	達成度（％）	—	94.8	98.9	100	
生涯学習ボランティア利用者の満足度	目標値（％）	100	100	100	100	次回も活用したいと回答した割合
	実績値（％）	99.7	99.8	99.8	100	
	達成度（％）	99.7	99.8	99.8	100	

取組実績	<p>・地域行事等への派遣充実の取組として地域の会議で事業の説明を行ったり、不特定多数の人が集まる場所で発表・展示を行うことにより、幅広い年齢層に生涯学習ボランティアの活動を知ってもらい、事業の活用促進や登録者の増加を図りました。また、ボランティアの活動機会の創出を図ることで、登録者に「学びを活かすことの喜び」を実感してもらい、学んだ成果を活かすことにつながりました。</p> <p><生涯学習まちづくり推進本部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R元年度生涯学習ボランティア登録者名簿「まなばんかん利用案内」（冊子）：2,000部発行 ・生涯学習ボランティア 延登録者数：1,569人 ・派遣回数：延876回（参加者数 延57,334人） ・利用者説明会（5月）／登録者説明会・交流会（6月）／表彰式・発表会（2月） ・道の駅「おおむた」花ぶらす館と連携したステージ発表・ワークショップ等のイベントの実施（8月、11月） ・SNSへの投稿や学習情報誌「まなびのカタログ」等でボランティア活動の様子を紹介し、活動機会を広げるための周知・PRを行いました。
------	--

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 （次年度への繰越）	617 千円				617 千円

問題点及び課題	<p>・生涯学習ボランティア登録者の高齢化とともに、メンバーの確保や後継者の育成等が困難な状況にある団体が増えていることから、登録者を確保するための取組が必要です。</p>
---------	--

今後の方向性（具体策）	<p>R2年度は、地域で活躍する人が持つ豊かな知識や経験を、次の世代に伝え、地域の人材育成に結びつけるよう、後継者育成・ノウハウ伝承のための取組みを企画・実施し、生涯学習ボランティア登録者の増加を図ります。また、地区公民館サークル等への働きかけ等、地域人材の掘り起こしを行います。</p>
-------------	--

評価	<p>利用者の満足度やボランティアを実践する人の意欲が共に高まって好循環となっており、学びの輪が広がっています。地域の会議での紹介をはじめ、様々な機会を通じて生涯学習ボランティアの情報発信に取り組み、ボランティア登録者の増加と活動機会の確保に取り組みます。</p>
----	--

平成31（令和元）年度重点事業の取組状況報告書

（担当課：世界遺産・文化財室、総合政策課）

事業名	【まちづくり総合プラン第1編第7章】文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち （視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ 近代化産業遺産活用事業（113・114ページ参照）
------------	--

目的
 市内に数多く残る三池炭鉱関連の近代化産業遺産の価値や歴史を市民等に伝え、理解していただくことで、まちへの愛着を育み、まちづくりの原動力としていきます。また、必要な修復、整備を行い、各資産を適切に管理していきます。

- 事業内容**
- ・近代化遺産一斉公開（炭鉱の祭典）や近代化遺産の理解促進に資する事業・イベントを実施します。
 - ・次世代を担う子どもたちの近代化産業遺産への理解促進を図るため、小学生を対象とした近代化産業遺産のバス見学会を実施します。
 - ・広報おおむたやホームページにより近代化産業遺産に関する情報を掲載し、資産の価値、保全や活用に対する理解促進を図ります。
 - ・資産の保存・活用に向け、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」に基づき、宮原坑や専用鉄道敷跡の整備に向けた調査等を継続実施します。
 - ・大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会や地域と連携し、イベント等各種啓発活動や清掃活動などに取り組むことで、近代化遺産をまちづくりに活かしていきます。

指標名	項目	H28	H29	H30	R1	指標・目標値設定の根拠
市民理解度	目標値（％）	87.0	90.0	93.0	96.0	近代化遺産一斉公開のアンケートで、施設の保存・継承に係る理解度を測る。（H27年度84%から毎年3%アップ）
	実績値（％）	82.4	93.7	91.2	89.2	
	達成度（％）	94.7	104.1	98.1	92.0	

- 取組実績**
- ・近代化遺産一斉公開（炭鉱の祭典）では宮原坑の地元住民はもとより、駿馬小学校、宮原中学校、三池工業高校が主体的に参加し、小・中・高連携の取り組みを進めることができました。
 - ・市内の全小学校19校の6年生(880人)を対象に近代化産業遺産のバス見学会を実施し、理解促進を図りました。
 - ・「三池炭鉱へようこそ」事業を実施し、宮原坑のガイドウォークや発掘現場説明会、旧長崎税関でのクラシックコンサート、ジャズコンサートを開催し世界遺産を身近に感じてもらう様々な取り組みを行いました。
 - ・H30年度に引き続き、近代化産業遺産ホームページへの施設の公開情報やイベント案内等の掲載、市内の世界遺産に関するパンフレットの作成、来訪者への「三池炭鉱ナビ」による施設案内など、資産の理解促進に資する取り組みを行いました。
 - ・資産への関心の高まりや愛着を深めるため、宮原坑や三川坑において、地域の人たちと花植えを行うなど、協働による環境美化活動を行いました。
 - ・H29年度に策定した「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」に基づき、宮原坑や専用鉄道敷跡の発掘・調査、測量を行いました。

決算	国	県	起債	その他	一般財源
決算額 26,806 千円 （次年度への繰越 千円）	6,700	2,010			18,096

問題点及び課題
 「炭鉱の祭典」では宮原坑の地元小学校、中学校や高校が主体的に参加するなど、地域の力で事業を実施することができましたが、理解度や来場者数は伸び悩んでおり、これまでと違った新たな取り組みが求められています。

- 今後の方向性（具体策）**
- ・旧長崎税関のジャズコンサートでは近代化遺産の建物の雰囲気を活かした文化芸術活動を行うことができました。このように郷土の歴史的価値を発信するのみならず、文化財の特色を活かした事業展開が必要です。
 - ・「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」に基づき、着実に整備等を進めます。

評価
 小学6年生のバス見学会の定着などで、理解は進みつつあります。環境美化、イベント等各種啓発活動を継続しながら、より多くの市民が活動へ参画し、資産への関心を高める取り組みを今後も進めていきます。

施策名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第1章】 安心して子どもを産み、育てることができるまち</p>
<p>市民が安心して子どもを産むことができ、子育てに幸せや楽しさを実感して暮らせるまちを目指します。</p>	

（視点1）地域における多様な子育て支援

子どもや家庭の実情に応じて、きめ細かく柔軟な子育て支援サービスの提供を行います。また、子育て情報や家庭教育に関する学習機会の提供、保護者同士のつながりへの支援、各関係機関との連携・情報の共有等、地域全体での子育て支援の環境づくりを行います。

【主な事業】

○家庭教育支援事業〔生涯学習課・公民館〕

（1）幼児期や就学前など発達段階に応じた子育て講座の実施

①就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕

小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育のあり方やしつけについての子育て講座を地区公民館と連携して実施しました。

19講座（19小学校区）参加者数729人（入学予定者数の83.2%）

②幼児期子育て講座〔生涯学習課〕

3歳から就学前までの発達段階に応じた子どもとの関わり方や生活習慣づくりの大切さ、子育ての楽しさを伝えることで、保護者自身の心の安らぎや成長を支援することを目的とし、幼児期の子どもを持つ保護者を対象に「幼児期子育て講座」、「親子リズム遊び」及び市で実施している子育て支援事業体験等を実施しました。

と き 7月7日（日）

と ころ えるる

参加者 79人

（2）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

地域の子育て中の保護者が子どもと一緒に気軽に集える場を提供し、利用者間の交流や子育てについての学びあいを支援するため、三池地区公民館と手鎌地区公民館において子育てふれあい広場を開設しています。

① 三池子育てふれあい広場（じゃじゃり子み〜け）・月曜日開設

大人延べ利用者数 194人

子ども延べ利用者数 221人

延べ利用者数 415人

開設日数 26日

② 手鎌子育てふれあい広場（れもんぐらす）・金曜日開設

大人延べ利用者数 331人

子ども延べ利用者数 347人

延べ利用者数 678人

開設日数 29日

③ ボランティアスキルアップ講座

子育て中の保護者が、子どもと一緒に安心して過ごせる子育てふれあい広場づくりを目指しつつ、本来の形であるボランティア中心の子育てふれあい広場の運営が難しいのが現状であったため、ボランティアのスキルアップを目的とする研修を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者
8月30日(金)	・「ダンボールハウスを作ろう！」	手鎌地区公民館	8人
9月4日(水)	・「変化する子育て環境」 ・「交流会」	三池地区公民館	9人

(3) 子育て情報誌「おおむたっ子」の発行〔生涯学習課〕

子どもの様々な体験活動を充実させるとともに、家庭教育や次世代育成を支援するため、子どもの体験活動の機会や子育て支援に関する情報を収集・提供する事業を、市民ボランティアと行政で組織する運営委員会において実施しました。年3回(7月・11月・3月)発行し、発行数は延べ34,500部でした。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第2章】 心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち
次世代を担う青少年が、家庭や学校、地域における様々な人との関わりの中で、社会を生き抜くたくましさを身に付けながら、創造性豊かで思いやりのある心を持ち、心身ともに健康に、社会の一員として成長し自立することを目指します。	

【視点1】子どもの体験活動の充実

思いやりの心や規範意識、社会性、自尊感情などをはぐくむために、地域における年齢の異なる仲間や大人との交流の機会を確保するとともに、自然体験をはじめとする様々な体験活動や読書活動の充実を図ります。

【主な事業】

○子どもの居場所づくり支援事業〔生涯学習課・公民館〕

(1) 子どもの居場所づくりに取り組む団体への補助

①子どもの居場所づくり運営費補助金の交付

各地域で自主的に「子どもの居場所」を開設する実行委員会等19団体（内訳：定期開設16団体・長期休業期間中開設2団体）に対して運営費の一部を補助しました。

H30年度から長期休業期間中のみ（夏休みや冬休み等）に開設する団体についても補助対象としました。

ア 市補助金交付団体【定期開設】 17団体

	交付団体名	開催数	経年
1	「なかよし広場」文化サークル実行委員会	月1回	15年目
2	友・遊広場見守り隊	月2回	15年目
3	三池みんなの広場実行委員会	月1回	15年目
4	吉野校区子どもの居場所委員会	月1回	15年目
5	平原小学校父母教師会	月1回	14年目
6	手鎌地区公民館子どもの居場所「わくわく広場」実行委員会	月2回	13年目
7	大牟田視聴覚教育クラブ	月1回	13年目
8	みんなの広場・羽山台世話人会	月1回	10年目
9	プレーパークおおむた遊ばせ隊	月1回	9年目
10	高取校区子どもの居場所実行委員会	月1回	9年目
11	にこにこ広場白川北実行委員会	月1回	9年目
12	大牟田市護身道連盟スポーツチャンバラ協会	月2回	8年目
13	みんなあつまれ子どもの居場所実行委員会	月1回	7年目
14	吉野ぼけっと実行委員会	月4回	6年目
15	ひまわり広場実行委員会	月4回	5年目
16	大正こどもの居場所実行委員会	月1回	2年目
17	げんきいっぱい白川っ子実行委員会	月1回	1年目

イ 市補助金交付団体【長期休業期間中開設】 2団体

	居場所（広場）名	開催数
1	東久福木キッズ☆プレイス実行委員会	5日
2	こどもの遊び場実行委員会	5日

ウ 自主運営等の団体数 3 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	駛馬地区アンビシャス広場委員会	週 2 回
2	勝立地区アンビシャス広場委員会	週 2 回
3	三池・カルタ歴史資料館	休館日を除く毎日

※「自主運営等の団体」とは、市の補助金の交付を受けない団体をいいます。

エ 不定期開設運営等の団体数 2 団体

	居場所（広場）名	開催数
1	明治きらめき広場	年 2 回
2	上内なかよし広場	年 2 回

②啓発活動

- ア 各居場所の活動予定を示したポスターを毎月発行
- イ 子どもの居場所通信(第1～3号)の発行
- ウ 子ども会説明会での居場所啓発(4月14日(日))
- エ 「大牟田市子どもの居場所ガイドブック」を作成し、小学生全学年に配布(9月)

(2) 子どもの居場所等連絡協議会における情報交換、研修、体験活動の実施

①情報交換の開催(5月、11月)

大牟田市子どもの居場所等連絡協議会の情報交換会を年2回開催し、延べ40人が参加しました。

②研修会の開催

- と き R2年1月18日(土)
- と ころ 大正小学校 体育館
- 参加者 32人
- テーマ 折り紙ヒコーキ大会を実施しよう!
- 講 師 福岡県庁青少年アンビシャス運動推進班 安庭 正宏

③体験活動(「わくわく子どもまつり」)の実施

- と き R2年2月24日(月・祝)
- と ころ 手鎌地区公民館及びサンアビリティーズおおむた
- 参加者 子ども・保護者 721人
- 内 容 お手玉づくり、ちびっ子アニメ映画館、スポーツチャンバラ、おしばな教室、ぼうしのブローチ作り、プラ板ストラップ作り、フェルトの小物づくり、ガラクタ木片工作、松ぼっくりのはりねずみ作り、冒険パン作り、紙ヒコーキ遊び、フリスビーでビンゴ、大声大会、いもむしクリップ作りほか

●通学合宿支援事業〔生涯学習課〕(67ページ参照)

通学合宿とは、子どもたちが家庭を離れ、異年齢集団で地区公民館等に寝泊りしながら学校に通う取り組みです。買い物、食事作り、掃除等の身の回りの基本的なことは、ボランティアの支援のもと、子どもたちができるだけ自分たちで行います。

(1) 新規実施校区を対象とした通学合宿モデル事業

行政と校区の実行委員会が連携して通学合宿を実施することにより、今後地域が自主的な取組で通学合宿を実施するための準備期間とするとともに、通学合宿への認知度の向上を図ることを目的としています。R元年度は地域団体等と調整を行ったものの、実施には

至りませんでした。

(2) 県委託を受けて通学合宿を実施する団体への支援

県からの委託を受けて通学合宿に取り組む実行委員会に対し、県との連絡調整、事業実施に当たっての支援を行いました。R元年度は地域団体等と調整を行ったものの、実施には至りませんでした。

(3) 自主的な取組で通学合宿を実施する団体への補助

自主的な取組で通学合宿を実施する5団体（上内小学校通学合宿実行委員会、明治小通学合宿実行委員会、天の原校区通学合宿実行委員会、大牟田中央小通学合宿実行委員会、みなとっ子通学合宿実行委員会）に対して補助金の交付を行いました。

①上内小通学合宿

主 催 上内小学校通学合宿実行委員会
 と き 6月9日（日）～6月12日（水）（3泊4日）
 と ころ リフレッシュおおむた
 参加者 32人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数45人（延べ80人）（地域住民、保護者等）

②明治小通学合宿

主 催 明治小通学合宿実行委員会
 と き 7月10日（水）～7月13日（土）（3泊4日）
 と ころ 明治会館
 参加者 15人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数41人（延べ98人）（地域住民等、保護者等）

③天の原校区通学合宿

主 催 天の原校区通学合宿実行委員会
 と き 9月24日（火）～9月27日（金）（3泊4日）
 と ころ 勝立地区公民館
 参加者 12人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数21人（延べ98人）（地域住民等）

④大牟田中央小通学合宿

主 催 大牟田中央小通学合宿実行委員会
 と き 10月2日（水）～5日（土）（3泊4日）
 と ころ 中央地区公民館
 参加者 20人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数42人（延べ109人）（地域住民、高校生ボランティア等）

⑤みなとっ子通学合宿

主 催 みなとっ子通学合宿実行委員会
 と き 10月30日（水）～11月2日（土）（3泊4日）
 と ころ 三川地区公民館
 参加者 20人（4～6年生対象）
 ボランティア 実人数29人（延べ67人）（地域住民、高校生ボランティア等）

区分	4年生		5年生		6年生		合計（人）	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
上内小通学合宿	7	4	7	3	7	4	21	11
合計（人）	11		10		11		32	
明治小通学合宿	2	3	1	4	1	4	4	11
合計（人）	5		5		5		15	

天の原校区通学合宿	2	1	2	1	—	6	4	8
合計（人）	3		3		6		12	
大牟田中央小通学合宿	1	2	7	3	1	6	9	11
合計（人）	3		10		7		20	
みなとっ子通学合宿	3	7	4	3	2	1	9	11
合計（人）	10		7		3		20	
総合計（人）	32		35		32		99	

（４）通学合宿ボランティアの育成

通学合宿の意義と必要性を理解し、生活面での全般的な指導を行うことができるボランティアを養成することを目的として、新規で実施する校区を対象に通学合宿ボランティア養成講座を実施しています。R元年度は実績なし。

○子ども会活動支援事業〔生涯学習課〕

（１）ジュニアリーダー、イン・リーダーの育成

大牟田市子ども会育成者連絡協議会と共催で、市子ども会イン・リーダー養成講座を実施しました。

と き	内 容	と ころ	参加者
7月20日(土) ～21日(日)	危険予知トレーニング・竹細工体験・調理・仲間づくりゲーム	リフレスおおむた	28人
10月5日(土) ～6日(日)	危険予知トレーニング・防災訓練・調理・仲間づくりゲーム	リフレスおおむた	20人
R2年 1月26日(日)	ふれあいゲーム、調理、危険予知トレーニング	えるる	16人

（２）親善交流大会（ドッジビー大会、カルタ大会）

①ドッジビー大会

と き 9月16日（月・祝）
と ころ 第二市民体育館
参加者 4子ども会 8チーム 88人

②新年カルタ大会

と き R2年1月13日（月・祝）
と ころ 手鎌地区公民館
参加者 5子ども会 11チーム 46人

（３）子ども会（安全共済会）説明会の実施

と き 4月14日（日）
と ころ 労働福祉会館
参加者 40団体44人
内 容 子ども会の重要性や育成会の役割等

説明会終了後、子ども会安全共済会の加入受付を生涯学習課で受け付け、56団体が加入しました。

●子ども読書推進事業〔生涯学習課〕（68ページ参照）

R元年度は、子ども読書推進にかかる広報啓発とともに、「大牟田市子ども読書推進計画」に基づき、次のような取組みを行いました。

（１）ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が、絵本をとおして、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける取組みとして、新生児に、絵本や布バッグ、お薦めの絵本やおはなし会の情報を紹介したリーフレット（ブックスタートパック）を配布するブックスタート事業を実施し、R元年度は718人の新生児に配布しました。

併せて、読み聞かせのやり方の実演や赤ちゃんと絵本を通してコミュニケーションを楽しむ体験ができる講座「赤ちゃんとコミュニケーション講座」を読書ボランティア及び市立図書館の協力により実施しました。

「赤ちゃんとコミュニケーション講座」実施状況

と き	参加者	と き	参加者
6月16日（日）	4組（9人）	11月24日（日）	3組（9人）
6月22日（土）	5組（11人）	11月30日（土）	4組（10人）
9月8日（日）	6組（16人）	R2年2月1日（土）	3組（7人）
9月14日（土）	3組（8人）	R2年2月9日（日）	3組（8人）

（会場は市立図書館）

（2）中学生読書活動サポーター養成講座

学校図書館で、読書活動サポーターとして活躍する生徒を養成する「読書活動サポーター養成講座」を実施し、6校11人の読書活動サポーターが誕生しました。

「中学生読書活動サポーター養成講座」実施状況

第1回	と き	11月2日（土）
	講師	市立図書館 館長・図書館職員（司書）
	内容	図書館の仕事と司書の役割を知ろう！ ①（講義） 図書館の仕事について ②（館内案内） 閉架図書・障害者サービス室等 ③（演習） 司書の仕事を経験 ～ブックカバー装丁～
第2回	と き	12月7日（土）
	講師	片山 茂（「本のPOP」インストラクター）
	内容	POP（ポップ）を作って本を紹介しよう！ ①（講義） お薦めの本を効果的に紹介する「POP」について ②（演習） 受講者お薦めの本のPOP作成
第3回	と き	12月14日（土）
	講師	梅野 智美（九州大谷短期大学 表現学科 情報司書フィールド講師）
	内容	おすすめの本を5分間で紹介しよう！ ①（講義） ビブリオバトルについて ②（演習） 5分間でおすすめ本の紹介をしてみよう

（3）子ども読書推進計画の改訂

「大牟田市子ども読書推進計画」の第三次計画を策定し、関係各所に配布しました。

（4）広報啓発事業

①啓発チラシ作製・配布

子ども読書の大切さを啓発するチラシを市内小中特別支援学校の児童・生徒に配布しました。

②子ども読書の日記念イベント2019（指定管理者）

4月23日の読書の日に合わせて、子ども読書の日記念おはなし会や特設コーナーの設置等のイベントを実施しました。

(内容等の詳細は、185ページの「社会教育施設等の状況 図書館」の「3 事業の実施状況」の「(1) 必須事業」の「②行事」の「ア イベント的事业」の表を参照)

③ホームページの記事作成・更新

おはなし会の情報や子どもの読書イベントの情報を毎月更新しました(携帯電話用のページも更新)。

●子ども未来デッサン事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕(69ページ参照)

小学生高学年(4~6年生)が、自分の将来のことを考え、夢や目標を見つけるきっかけをつくるとともに、未来へ向かって頑張る姿勢を身に付けてもらうための一助となることを目指した講座です。

様々な職業人から、子ども達へ現在の職業に就いたきっかけや、夢を実現させるために努力したこと、仕事のやりがいや様子などの話をさせていただきました。

H26年度から29年度までの3年間、生涯学習課で実施していましたが、H30年度から地区公民館事業として実施しています。

職業	講師	とき	ところ	受講者
学芸員・学習指導員	御船町恐竜博物館 富澤 由規子 ダヴィッド・キャプ ール	8月3日(土)	手鎌地区公民館	11人
薬剤師	社会医療法人 親仁会 米の山病院	8月17日(土)	米の山病院	30人
グラフィックデザイナー・イラストレーター	馬場 真帆	9月14日(土)	手鎌地区公民館	20人
和菓子職人	森 史朗	11月23日(土・祝)	手鎌地区公民館	27人
寿司職人	三浦 好生	12月1日(日)	手鎌地区公民館	20人
フラワーデザイナー	(有)グリーンピース磯浜 磯濱 玄海	12月7日(土)	手鎌地区公民館	21人

(視点2) 社会の宝として、地域全体で子どもたちを見守り、育てる

家庭、学校、地域、行政の連携強化を図るとともに、地域の中で大人と子どもが共に活動することを通して、地域の子どもは地域で育てるという意識を醸成します。また、地域で青少年活動に関わる人材を育成するとともに、青少年活動団体への支援や団体間のネットワークの構築を行います。

【主な事業】

○子どもの居場所づくり支援事業（再掲：同編同章・視点1の75・76ページ参照）

●通学合宿支援事業（再掲：同編同章・視点1の76～78ページ参照）

○子ども会活動支援事業（再掲：同編同章・視点1の78ページ参照）

○PTA活動支援事業〔生涯学習課〕

（1）広報紙コンクール、広報紙研修会の実施

①PTA広報紙コンクールの実施

第34回PTA広報紙コンクールを、大牟田市、大牟田市教育委員会、大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会の共催により実施しました。作品は、H30年度発行の新聞を対象としました。

応募校数27校（小学校19校、中学校8校）

表彰 大牟田市長賞：上内小学校父母教師会、田隈中学校父母教師会

大牟田市教育委員賞：中友小学校父母教師会、歴木中学校父母教師会

大牟田市立小・中・特別支援学校PTA連合会賞：

大牟田中央小学校父母教師会、宅峰中学校父母教師会連合会

優秀賞：みなと小学校父母教師会、白川小学校父母教師会

駛馬小学校父母教師会、甘木中学校父母教師会

②PTA広報紙研修会の開催

と き 5月21日（火）

と ころ 中友小学校 コンピュータ室

参加者 36人

内 容 広報紙のレイアウトや記事の書き方についての講義と実技

講 師 藤木 菜穂子

（2）PTA連合会の研修会の委託

県P研修会の対応等による時間的制約で研修会実施の調整がつかず、実施なし。

(視点3) スポーツ・文化芸術活動を通じた青少年の心身の育成

生涯にわたり健康で体力を保持増進していくための基礎を培う機会づくりと、文化芸術に触れる機会の創出・充実を行い、心身ともに健やかでたくましい青少年への成長を支援します。

【主な事業】

○子どもの体力向上事業〔スポーツ推進室〕

(1) 親子運動セミナー

子どもにとってスポーツは、生涯にわたって健康や体力を保持・増進するための大切な活動であり、幼少期からスポーツを経験することの重要性を伝え、スポーツの恒常性を図るため、親子で参加でき、子どもが運動・スポーツを好きになる「親子運動セミナー」を実施し、子どもの成長に合わせた運動の必要性の理解のための親を対象としたセミナーや、アビスパ福岡コーチを講師にボールを使用した運動などを行いました。

期日	内容	場所	参加者(人)
6月16日(日)	子どもの体力測定、保護者セミナー	大正小学校	87人(42組)
7月14日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	76人(36組)
7月28日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	53人(25組)
9月22日(日)	親子で運動遊び	大正小学校	68人(32組)
10月6日(日)	子どもの体力測定	大正小学校	60人(28組)

○スポーツ少年団育成委託事業〔スポーツ推進室〕

スポーツ少年団員の体力・健康の現状を把握しその増進を図るとともに、各少年団相互の親善と友情を深めるための事業（体力テスト、交流ドッジボール大会）を実施し、また、スポーツ少年団の加入促進を図るため、機関紙「おおむたしスポーツ少年団ニュース」を作成し普及促進を図りました。

期日	内容	場所	参加者	
			団体数	人数
12月14日(土)	体力テスト	市民体育館	23	449
R2年2月9日(日)	交流ドッジボール大会	市民体育館	19	393

スポーツ少年団の加入状況

年度	H29年度	H30年度	R元年度
スポーツ少年団数	42	41	39
加入者数	666	646	624

○おおむたっ子がんばれ奨励金事業〔生涯学習課、スポーツ推進室〕

18歳以下の市民が地区予選を経て全国レベルの大会又は国際大会に出場する場合に、青少年の育成、スポーツ・文化の振興、選手・出場者の意欲の向上に寄与するため、青少年健全育成基金を活用し、「おおむたっ子がんばれ奨励金」を交付しました。

区分		H29年度	H30年度	R元年度
スポーツ	全国大会等出場者数	144人	167人	147人
	交付額	432千円	501千円	461千円
文化芸術	全国大会出場者数	48人、1団体	18人、1団体	25人、3団体
	交付額	294千円	154千円	345千円

○子どもの文化芸術体験事業（再掲：同編第7章・視点2の118・119ページ参照）
〔生涯学習課〕

(視点4) 青年の社会参加の促進

青年の社会参加に向けて、知識や技術などを学ぶ機会を提供するとともに、必要な情報や学習の場を提供します。

【主な事業】

○成人式の開催〔生涯学習課〕

(1) 成人の自覚と社会参加の意識の醸成

第72回成人式の開催

と き R2年1月12日(日)

ところ 文化会館

内 容 式典(司会:公募による新成人男女各1名)

- ・誓いの言葉(公募により新成人男女各1名)
- ・市民憲章唱和(市民憲章推進委員会および公募による新成人男女各1名)
- ・アトラクション(大牟田高等学校吹奏楽部の演奏・マーチング等)
- ・ボランティア協力団体等(大牟田北高等学校、三池高等学校、明光学園高等学校、ガールスカウト)

区分	該当者数(人)			出席者(人)	出席率(%)
	男性	女性	合計		
H29年度	505	500	1,005	674	67.0
H30年度	514	482	996	660	66.2
R元年度	493	476	969	614	63.4

（視点5）青少年の問題行動や悩みへの対応

街頭指導・相談・環境浄化などの健全育成活動の充実に努め、青少年の非行や犯罪被害を防止します。また、インターネットによるいじめ・依存防止のための適正利用や被害防止の啓発を行うほか、ひきこもりやニートなどの問題に対し、関係機関などと連携強化を図り支援します。

【主な事業】

○青少年指導相談事業〔生涯学習課〕

（1）ヤングテレホン等相談事業

悩みを持つ青少年自身のみならず保護者等からも相談を受け指導助言を行っています。

相談については、「ヤングテレホンおおむた」による電話相談をはじめ、来所による相談も受け付けています。なお、相談内容によっては、専門機関に紹介するケースもありました。

①相談件数 （単位：件）

区 分	年 度	家 族	本 人	そ の 他	合 計
来 所 相 談	H29	0	1	0	1 (1)
	H30	0	1	0	1 (1)
	R 元	2	0	0	2 (2)
電 話 相 談 (ヤングテレホン)	H29	4	9	84	97 (13)
	H30	3	2	106	111 (5)
	R 元	3	3	40	46 (5)
メール相談	H29	0	2	0	2 (2)
	H30	0	5	6	11 (3)
	R 元	0	2	0	2 (1)

※（ ）内は実際に相談された人数

②相談内容内訳 （単位：件）

区分 年度	健康	学業	交友 交際	家庭	性	いじめ	非行	不登校	その他	合 計
H29	0	2 (2)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0	1 (1)	0	91 (7)	100(16)
H30	1(1)	4 (3)	1 (1)	4 (3)	0	0	0	1(1)	112 (0)	123(9)
R 元	0	0	1(1)	2(1)	0	0	0	4(4)	43(2)	50(8)

※（ ）内は実際に相談された人数

③ヤングテレホンカードの作成・配布

相談事業の周知をはかるため、市内の学校の児童・生徒・学生や関係機関・団体等に相談窓口の電話番号やメールアドレス等を記載した「ヤングテレホンカード」を配布しました。

配 布 先 小学校5・6年生、中学校、高等学校、大牟田特別支援学校、有明工業高等専門学校、帝京大学、関係機関・団体等

配布枚数 約 15,000 枚

寄 贈 者 大牟田ライオンズクラブ、大牟田中央ライオンズクラブ、大牟田デイジーライオンズクラブ

（2）街頭指導活動事業

少年センターの指導員が関係団体と共に「OMUTA少年よくし隊」として、繁華街や公園、コンビニエンスストア、ゲームセンターなど、少年がたむろしそうな場所を定期的

に巡回し、問題行動の早期発見と非行の未然防止に取り組むとともに、青色パトカー（青色回転灯装備車）による昼夜間のパトロールや児童生徒の下校時間帯での見守り活動を実施しました。

①街頭指導活動概況 (延べ数)

年度	区分	実施回数	従事者数
H29		481回	2,505人
H30		472回	2,587人
R元		482回	2,431人

②青色パトカー巡回活動概況 (延べ数)

年度	区分	実施回数	従事者数
H29		464回	882人
H30		442回	860人
R元		453回	839人

③指導概況（性別、学職別） (単位：人)

年度	区分			小学生	中学生	高校生	その他の学生	有職少年	無職少年	不明	合計
	男	女	合計								
H29	180	78	258	51	53	153	1	0	0	0	258
H30	87	76	163	4	13	143	3	0	0	0	163
R元	196	157	353	51	65	235	2	0	0	0	353

④行為別指導実数 (単位：人(上段)・%(下段))

年度	区分	喫煙	夜間外出	夜遊び	深夜徘徊	交通マナー	不良交友	シンナー遊び	怠学	飲酒	その他	合計
		H29	0	79	76	0	64	0	0	0	0	39
		0	30.6	29.5	0	24.8	0	0	0	0	15.1	100
H30		1	47	58	0	43	0	0	0	0	14	163
		0.6	28.8	35.6	0	26.4	0	0	0	0	8.6	100
R元		1	128	78	5	99	0	0	0	0	42	353
		0.3	36.3	22.1	1.4	28.0	0	0	0	0	11.9	100

※夜間外出：20時以前 夜遊び：20時～22時以前 深夜徘徊：22時以降

⑤指導した場所 (単位：人)

年度	区分	センター	ゲームセ	店等	カラオケ	大型店等	ンスストア	コンビニエ	駅	路上	自宅等	寺院・神社	公園	海岸・河川	その他	合計
		H29	男子	0	0	16	0	0	139	0	1	12	0	12	180	258
	女子	3	0	38	0	0	27	0	1	9	0	0	78			
H30	男子	0	0	7	0	0	65	0	1	12	2	0	87	163		
	女子	0	0	37	0	0	23	0	1	15	0	0	76			
R元	男子	0	0	16	0	0	131	0	5	21	6	17	196	353		
	女子	2	0	43	0	0	101	0	0	9	2	0	157			

○関係機関・団体連携事業〔生涯学習課〕

(1) 青少年健全育成啓発事業

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び「社会を明るくする運動強調月間」にあたる7月と「子ども・若者育成支援強調月間」の11月を中心に次の行事を行いました。

①第69回‘社会を明るくする運動’街頭キャンペーン

大牟田保護区保護司会等の関係団体とともに行進後、啓発チラシを配布する予定でしたが、雨天のため中止しました。

と き 7月1日(月)

ところ 市庁舎前からゆめタウン大牟田

②第67回青少年健全育成弁論大会

市内の小、中、高校生による弁論大会を開催しました。

と き 7月3日(水)

ところ 文化会館 小ホール

③大牟田市青少年健全育成毛筆書写・標語作品展

小、中学生から募集した毛筆書写229点のほか、標語104点を展示しました。

と き 11月13日(水)～20日(水)

ところ ゆめタウン大牟田 2階 わくわく広場

④非行防止研修会

NPO法人子どもとメディアの講師による「ネット依存症防止のための取組みについて」の講演を行いました。

と き 10月24日(木)

ところ 市生涯学習支援センター

参加者 少年センター指導員・大牟田区更生保護女性会 51人

(2) 若鳩会運営費補助

若鳩会は青少年の健全な保護育成を図ることを目的に、学校教師・警察署員・少年センター職員を構成員として組織されています。その若鳩会の活動に対して、運営補助金を交付しました。

○青少年有害環境浄化事業〔生涯学習課〕

(1) 広報啓発事業

広報啓発のチラシ配布を7月19日(金)にゆめタウン大牟田にて、11月9日(土)にゆめタウン大牟田及びイオンモール大牟田にて、それぞれ行いました。

(2) 店舗立入調査

さまざまなメディアを通じてもたらされる有害情報から青少年を守るため、福岡県青少年健全育成条例に基づき、店舗等の巡回、立入調査、要望・指導など青少年の健全育成上、好ましくない有害社会環境の浄化活動を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
子どもの育成や見守り活動への参加率	目標値 (%)	19.0	21.0	23.0	25.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。現状値から10ポイント程度(年2ポイント)の向上を目指します。 [現状値:16.5%(26年度実績)]
	実績値 (%)	15.0	16.0	16.7	14.7	
	達成度 (%)	78.9	76.1	72.6	58.8	

【指標達成度に対する要因分析】

- 子どもの体験活動をはじめとする子どもの参加型事業等については、目標値まで達していない事業が一部あるものの、新規に対象となる事業や箇所が現れるなど、地域を含む組織等のボランティアの理解や協力、見守り等で熱心に取り組んでいただき、多くの事業で前年度より実施数等が伸びており、一定の効果は出ていると考えられます。
- 一方で、活動する組織・団体等では、子どもの減少やニーズの多様化により、継続した取り組みに必要な子どもの参加者数を確保できず、組織・団体等の活動が成り立たなくなり、解散等をせざるを得ない状況も見受けられます。
- 成果指標については、青少年の体験活動等の各事業を通じて、地域等で子どもの育成や見守り活動へ多くの参加がありましたが、各事業の実施数が計画していた数まで伸びなかったことや組織・団体等での活動の縮小などにより、身近な地域での参加ができなくなっていることなどから、目標値より低くなっています。しかしながら、社会教育・生涯学習基礎調査研究による調査からは、子どもの見守りや活動支援などに関するボランティア活動を希望する人が多く見受けられ、「地域全体で子育て」との機運が認識されているところです。

【今後の方向性】

- 各事業を行うにあたっては、家庭・学校・地域の理解と多くのボランティアの協力が必要となることから、より多くの市民に各事業の取り組みや主旨を理解のうえ、協力いただけるよう事業の内容や必要性について、引き続き周知・啓発を図ります。
- 子どもの減少やニーズの多様化により、組織や団体によっては、子どもの参加者が減少していることから、事業参加者数の確保が課題とされています。今後、統合や新たな組織のあり方を検討して、組織や団体の継続により、子どもたちが心身ともに健康でたくましく思いやりの心やふるさとを愛する心を持った自立した大人へと成長していくことにつながるような支援を検討します。
- 体験活動や子ども向け事業は、子どもたちの身近な場所で提供されるべきものであることから、子どもの育成や見守り活動へより多くの参加を促すため、各事業の周知・啓発や青少年の活動に大人が関わることの必要性を引き続き周知・啓発していきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第5章】 生涯学習が盛んで、その成果が活かされるまち
いつでも、どこでも、誰でも、日常生活をはじめ家庭や職場などのあらゆる場面で楽しく学ぶことができ、その学んだ成果を適切に活かすことができるまちを目指します。	

（視点1）学習機会の充実

家庭や学校、地域、企業、団体との連携をさらに深めながら、多様な学習機会の充実を図ることで、市民による自主的な学習活動を促進します。特に、高齢者に向けた学習機会を充実することで、生きがいづくりに取り組みます。

あわせて、多くの市民が生涯を通じて学習に取り組むことができるよう、学習情報の効果的な提供を行います。

【主な事業】

●多様な学習機会提供事業〔生涯学習まちづくり推進本部・生涯学習課〕（70ページ参照）

（1）メニューいろいろまちづくり出前講座

市民とともに「生涯学習まちづくり」を進めるために、市政のことを知りたい、学びたい市民のもとに市の職員が出向き、説明・実習等を行いました。

年度	出前講座のメニュー数	実施回数（派遣回数）	派遣職員数（市職員）	参加者数（市民）
H29	115	165回	320人	5,245人
H30	121	182回	347人	7,588人
R元	113	158回	311人	5,242人

（2）生涯学習ボランティア登録派遣事業

（視点2）「学習成果を活かす仕組みづくり」の生涯学習ボランティア登録派遣事業（93・94ページ参照）

（3）市民大学講座

市民の高度な学習ニーズに応えるために、高等教育機関と連携して専門的な知識・技術等をわかりやすく学ぶことができる講座を開催しました。

講座名	講師	期日	場所	受講者
まずは予防!!ヒートショックもそのひとつ	帝京大学福岡医療技術学部 医療技術学科 准教授 西園 与之	11月6日（水）	えるる	15人
メンタルの問題とストレスとの関係について ～自分らしく生きるためのストレスマネジメント～	帝京大学福岡医療技術学部 看護学科 助教 米元 富貴代	11月13日（水）	えるる	24人
大地震と建物の被害 ～紙振動模型を作成し建物の揺れを観察してみましよう～	有明工業高等専門学校 創造工学科 教授 金田 一男	11月19日（火）	えるる	19人
「ハリー・ポッター」と魔法の言葉 ～英語の原書を（少しだけ）読んでみませんか?～	有明工業高等専門学校 一般教育科（英語） 教授 村田 和穂	11月30日（土）	えるる	22人

(4) 企業出前講座「がんばる地場企業」

“生涯学習社会”の実現を図るため、民間企業より協力を得て、企業が持っている専門的な知識・技能を市民が学習することができる講座を実施しました。

年度	企業名	講座メニュー数	実施回数	受講者延人数
H29	①久留米ヤクルト販売(株)、②(株)野口印刷所、 ③HMS九州、④ジブラルタ生命保険(株)、 ⑤(株)白雲社、⑥(有)グリーンピース磯浜、⑦海づか、 ⑧信号電材(株)	14	21回	485人
H30	①久留米ヤクルト販売(株)、②(株)野口印刷所、 ③HMS九州、④ジブラルタ生命保険(株)、 ⑤(株)白雲社、⑥(有)グリーンピース磯浜、⑦海づか、 ⑧信号電材(株)、⑨(株)マルエ産業、 ⑩ありあけ不動産ネット協同組合、⑪大牟田ガス(株)	27	17回	327人
R元	①久留米ヤクルト販売(株)、②HMS九州、 ③ジブラルタ生命保険(株)、④(株)白雲社、 ⑤(有)グリーンピース磯浜、⑥海づか、⑦信号電材(株)、 ⑧(株)マルエ産業、⑨ありあけ不動産ネット協同組合、 ⑩大牟田ガス(株)、⑪(株)四郎國光、⑫(有)宮脇商会、 ⑬和菓子処吉蔵、⑭(株)プランツ	31	33回	827人

○学習情報提供事業〔生涯学習課〕

市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、年間を通して情報誌やリーフレット、インターネット、ラジオなどの多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。

- (1) 学習情報誌「まなびのカタログ」の発行（奇数月に年6回発行 2,000部/回）
掲載事案件数77件、メールマガジン登録件数167件
- (2) 生涯学習ボランティア登録者名簿「まなばんかん利用案内」の発行（冊子2,000部）
- (3) 企業出前講座「がんばる地場企業」のメニュー表の発行（リーフレット1,000部）
- (4) メニューいろいろまちづくり出前講座メニュー表の発行（冊子1,000部）
- (5) 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発（全3回）
- (6) その他（年間随時）
 - ・市ホームページ、SNS、愛情ねっと、ジャー坊公式LINE、FMたんと、YouTubeを活用した動画配信等による情報発信
 - ・学習相談業務（必要な学習情報の提供、学習会・研修会・講習会等のコーディネート）

○地域学習機会提供事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

- (1) 子ども体験活動事業〔公民館〕
地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験、公民館での宿泊体験など子どもたちの体験活動講座を10講座開催しました。また、駛馬小学校PTA主催の夏休みふれあい合宿の支援を行いました。
（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）
- (2) 家庭教育講座〔公民館〕
家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を5講座開催しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1講座を中止しました。
（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）
- (3) 就学前子育て講座〔生涯学習課・公民館〕
小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会を活用して家庭教育の

あり方やしつけについての子育て講座を地区公民館と連携して実施しました。

19講座（19小学校区） 参加者数729人（入学予定者数の83.2%）

（4）一般成人講座〔公民館〕

高齢化・少子化・国際化等社会の変化といった現代的課題・地域課題や市民の多様な学習ニーズに対応し、あらゆる層の市民が参加できる学習機会を提供するため、6地区公民館において9講座を開催しました。

（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（5）政治学級〔公民館〕

地域住民の身の回りの問題がいかに深く「まちの政治」とかかわりあいをもち、それに包含されているかを認識し、政治に対する正しい理解を深めるためにまちの政治について学習し話し合いを行う「まちの政治を見つめよう学級（指導学級）」を10月から11月にかけて、吉野地区公民館で全6回開催し、20人が受講しました。なお、第2回目を公開講座とし、受講生のほか52人の参加がありました。（設置主体：選挙管理委員会、明るい選挙推進協議会）

（6）高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（シニアデビュー塾・マナビ塾・健康アップ塾）
〔福祉課・地域コミュニティ推進課・公民館〕

高齢者が新たなことを学ぶ、また教えることで学びを深める「シニアデビュー塾」を4講座開催し、58人が受講、学んだ成果を生かして一般成人に教える「マナビ塾」を4講座開催し、61人が受講、心と体の健康づくりを学び介護予防につなげる「健康アップ塾」3講座を開催し、53人が受講しました。

（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（7）公民館だより等の発行〔公民館〕

地域の人が集まりやすい地区公民館づくりを目指して、地域や地区公民館の情報を掲載した地区公民館だよりを発行しました。

（各館の発行の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（8）読書推進事業〔公民館〕

新刊コーナー、レイアウト変更、図書広報の工夫等を行い、図書貸出の合計は37,031冊でした。また、地域拠点化の推進及び子どもの読書活動の活性化を図るため、図書だよりの発行やおはなし会を行いました。

（各事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（9）子育てふれあい広場の開設〔生涯学習課・公民館〕

施策「安心して子どもを産み、育てることができるまち」の（視点1）「地域における多様な子育て支援」の家庭教育支援事業の（2）（73・74ページ）を参照。

（10）地区公民館文化祭〔公民館〕

7地区公民館で活動しているサークル会員の学習成果の発表と、地域の小・中学校、幼稚園・保育園及び地域住民の参加・協力により、交流と連携を深めました。なお、3月に実施を予定していた吉野地区公民館「花と緑の文化祭」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期しました。

（7地区公民館の文化祭の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（11）展示コーナー活用事業〔公民館〕

地区公民館の展示コーナーやロビーを活用し、サークル会員や地域の人たちの作品展を開催し、成果発表の場とするとともに、サークル会員や地域住民の交流の場としての利用促進を図りました。

(展示コーナー活用事業詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

○社会教育・生涯学習基礎調査研究〔地域コミュニティ推進課・生涯学習課〕

H30年度から2か年にわたり実施し、市民意識調査等の結果を分析し、調査結果から見えてきた今後取り組むべき課題や社会教育・生涯学習の施策の在り方等について有識者からの助言をふまえ、報告書をまとめました。

今後、将来のまちづくりの担い手となる子どもたちを地域や社会全体で育てることや、ESDの理念を社会教育にも取り入れて、人づくり、つながりづくり、地域づくりを進めることなどを柱に事業を推進していくこととしています。

(視点2) 学習成果を活かす仕組みづくり

学んだ成果を活かすことで、人は満足感を得ることができ、さらなる学びの意欲につながります。そのため、市民が学んだ成果を活かすことができる場や機会のさらなる充実を図ります。

【主な事業】

●生涯学習ボランティア登録派遣事業〔生涯学習まちづくり推進本部・生涯学習課〕

(71ページ参照)

(1) 生涯学習ボランティア登録派遣事業

市民の学習を支援するボランティアを登録し、市民からの求めに応じてコーディネートを行い派遣する「生涯学習ボランティア登録派遣事業」を実施しました。

①ボランティア登録・派遣状況

年度	区分	延べ登録件数 (件)	延べ登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣先の 参加者数 (延人数)	ボランティアの 稼働率(%)
H29	個人	86	86	265	7,698	77.4
	団体	113	1,395	557	48,307	
	計	199	1,481	822	56,005	
H30	個人	83	83	262	8,808	75.6
	団体	118	1,415	667	47,743	
	計	201	1,498	929	56,551	
R元	個人	94	94	237	7,829	68.5
	団体	119	1,475	639	49,505	
	計	213	1,569	876	57,334	

②アンケート結果

○ボランティア登録者の意欲の高まり

(学習の成果を人づくりやまちづくりに役立てたい) …100%

(H30年度98.9%)

○依頼者(利用者)の満足度(今後もこの制度を活用したい) …100%

(H30年度99.8%)

③説明会

事業内容の周知及び利用促進を図ることを目的に、依頼者とボランティア登録者向けの説明会などを行いました。

ア 依頼者(利用者)向けの説明会

とき 5月30日(木)

ところ 生涯学習支援センター

参加者 23人

内容 事業概要、手続き方法、諸注意等の説明/ボランティア登録者の活動内容の紹介

イ ボランティア登録者向けの説明会・交流会

とき 6月29日(土)

ところ えるる

参加者 43人

内容 事業概要の説明、ボランティア登録者の活動内容の紹介/意見・情報交換会

④「まなばんかんPRプロジェクト」

道の駅「おおむた」花ぷらす館と連携したイベントを通じて、学んだこと、得意なことを活かす「生涯学習ボランティア登録派遣事業」（愛称：まなばんかん）を広くPRし、事業の利用促進と生涯学習ボランティアの活動機会の創出を図りました。

イベント名	日時	内容	登録者 派遣人数	参加者数
花ぷらす館フェア (株グッドスタッフ主催)	8月7日(水)	ステージ発表	5組(33人)	100人
		体験コーナー	1組(6人)	30人
花ぷらす館 「秋の収穫感謝祭」 (株グッドスタッフ主催)	11月24日(日)	ワークショップ	3組(7人)	15人
		おはなし会	1組(8人)	5人

※場所は全て道の駅「おおむた」花ぷらす館

⑤周知・PR

- ア ボランティア登録者の募集（「広報おおむた」2月1日・15日合併号掲載）
- イ 「まなばんかん利用案内」（登録者名簿冊子2,000部）の配布
- ウ 地域の会議等での説明（7回／延参加者154人）
- エ 市ホームページ、You Tube 市公式アカウント「ほっとシティおおむたチャンネル」、まなびのカタログ等で活動の様子を紹介
- オ Facebook 等SNSへの投稿
- カ 窓口広告モニター放映（市民課・保険年金課窓口計4台、12月放映）
- キ FMたんと出演（3月24日（火））

○学習成果活用事業〔地域コミュニティ推進課ほか〕

(1) 高齢者生きがいづくり社会参加促進事業（ボランティア塾）

〔福祉課・地域コミュニティ推進課・公民館〕

高齢者の学習機会および学習成果を生かした活動機会や、心と身体の健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを促進するために福祉課および地域包括支援センターと連携し、「生涯青春まなびの扉」を実施しました。この事業の一つとして高齢者のボランティアを養成する「ボランティア塾」4講座を開催し、65人が受講しました。

（各講座の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(2) カヌーサポーター養成講座〔地域コミュニティ推進課〕

諏訪川を活用した環境問題の啓発、青少年の自然体験活動の充実、家族のふれ合いや世代間交流の促進を図る目的で実施しているカヌーふれあい事業の趣旨に賛同し、カヌーを使用した地域活動やカヌー貸出においても支援・協力してもらえるサポーターを養成する講座を毎年実施していましたが、令和元年度はカヌー倉庫の建替えに伴い中止しました。

(3) ボランティア団体支援事業〔公民館〕

7地区公民館等の各種事業で育成された既存のボランティア団体等を支援する事業として「視聴覚ボランティア支援事業」、「子育てふれあい広場」を運営するボランティア団体等への支援を行いました。

（各事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

(4) 地区公民館サークル社会参加促進事業〔公民館〕

各地区公民館サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と地域還元を図るこ

とを目指して実施しました。また、子どもサークル体験や駛馬北小学校のクラブ活動の支援、帝京大学の高齢者看護実習の一環としてのサークル体験活動など、次世代育成の支援も行いました。

(各事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照)

（視点3）地域での学習活動の支援

地域において、学んだ成果を活かして活動に取り組む人の養成及び支援を図るため、地域の拠点としての地区公民館の事業を充実します。身近な地域における学習活動の拠点としての機能を高めながら、社会教育関係団体をはじめ、学校や地域との連携を強化し、学習する場や機会を広げる取組みを行います。

【主な事業】

○地区公民館地域コミュニティ拠点化推進事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

（1）地域力アップ支援事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

多くの市民が主体的・自発的に様々な取組みを進められるように地域の人材育成と発掘に重点を置き、住民が自らの知識や経験を活かし、地域課題の解決に携わっていくきっかけとなる学習機会の提供や学習活動の支援を行いました。

（事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（2）地域行事支援事業〔公民館〕

地域住民の連帯意識を醸成するような地域団体の自主的・主体的な祭りなどの行事を支援しました。

（事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（3）地域包括支援センター連携事業〔福祉課・公民館〕

大牟田市高齢者社会参加促進事業「生涯青春まなびの扉」において連携して講座を開催しているほか、地域包括支援センターが地区公民館文化祭の演目で健康体操の紹介や無料健康チェックのブースを設けました。

（事業の詳細は、150～170ページの「社会教育施設等の状況 地区公民館」を参照）

（4）校区まちづくり協議会等への支援〔公民館〕

地区公民館から校区まちづくり協議会等へ事業等の情報を提供するとともに、様々な相談に応じ、運営面での助言や活動企画の支援等を行いました。

（5）その他の団体への支援〔公民館〕

社会教育関係団体から申請があった10事業について、共催又は後援し、広報おおむたに記事を掲載するなど、活動の支援を行いました。なお、このうち2件が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

○地区公民館整備事業〔地域コミュニティ推進課・公民館〕

（1）各地区公民館の維持補修〔公民館〕

7地区公民館のうち6館は既に建築から20年以上経過し老朽化も進んでいますが、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。

その他

社会教育委員の会議を設置し、社会教育に関し市民の意見を反映させるため、社会教育に関する諸計画の立案等について助言し、諮問に応じ意見を述べることを主な目的として会議を開催しています。

【主な事業】

○社会教育委員の会議〔地域コミュニティ推進課〕

(1) 会議の開催

①第1回 とき：7月24日（水） ところ：生涯学習支援センター

委員の委嘱

社会教育委員の会議について

福岡県社会教育委員連絡協議会評議員について

市町村社会教育委員新任者研修会について

議題 1 平成30年度社会教育委員の会議等実績報告及び令和元年度事業計画（案）について

2 令和元年度社会教育・生涯学習事業計画について

3 社会教育・生涯学習基礎調査研究について

報告 大牟田市子ども読書推進計画の改定について

②第2回 とき：10月29日（火） ところ：生涯学習支援センター

議題 1 令和元年度南筑後地区社会教育委員交流会について（報告）

2 大牟田市文化芸術振興プランの改定について（協議）

3 令和元年度大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究（報告）

協議 テーマ「次世代を担う子どもをはぐくむための学校、家庭、地域の役割は」

③第3回 とき：12月4日（水） ところ：生涯学習支援センター

議題 1 「元年度福岡県社会教育研究大会について」（報告）

2 「令和元年度筑後地区市町村社会教育委員研修会について」（報告）

3 「大牟田市子ども読書推進計画の改定について」（協議）

その他 「成人式のご案内」

④第4回 とき：R2年2月12日（水） ところ：生涯学習支援センター

議題 1 「第49回九州ブロック社会教育研究大会佐賀大会について」（報告）

2 「令和元年度社会教育・生涯学習事業について」（報告）

3 「大牟田市社会教育振興プラン2020～2023について」（協議）

4 「社会教育委員の会議を振り返って」（協議）

(2) 委員の研修

①市町村社会教育委員新任者研修会

とき 7月2日（火）

ところ 福岡県立社会教育総合センター

内容

講演 「社会教育委員の基本的役割と目的」

～人生100年時代の人づくり・つながりづくり・地域づくりを目指して～

講話 「福岡県社会教育委員の会議の活動」

～提言（持続可能な地域づくりを推進するための社会教育行政の在り方）
を中心として～

実践発表 「人と地域をつなぐ社会教育委員としての実践活動」

グループ協議 「社会教育委員としての今後の方向性について考える」

②南筑後地区社会教育委員交流会

と き 9月12日(木)

ところ 南筑後教育事務所

内 容

講義・演習 「誰もが安心して高齢者になれる社会」

協議 「人口減少、少子高齢化が進んでいる今、地域を元気にするために
社会教育委員として自分にできること」

③福岡県社会教育研究大会

と き 11月1日(金)

ところ 福岡県立社会教育総合センター

研究主題 持続可能な地域づくりに向けた、社会教育の創造
～人と人、人と学び、学びと学びをつなぐ活動を通して～

実践報告 「社会教育委員が持つ可能性と実践例」

～生涯学習講座「郷育カレッジ」で「ひと・もの・こと」をつなぐ～

実践発表① 「学校と地域の連携」～学びで創る 市民の力～

実践発表② 「人と人をつなぐ中学校子育てサロン」

講演 「誰もが生涯活躍できる豊かなまちづくりに向けて」

④筑後地区市町村社会教育委員研修会

と き 11月13日(水)

ところ 筑前町コスモスプラザ

テーマ 「社会教育委員としての活動」

人権・同和教育講話 「一人を大切に作る地域づくり」

基調講演 『人生100年時代の社会教育委員の活動』

実践発表 『筑前町子どもの約束答申から大刀洗平和祈念館中学生ボランティアガイド事業へ』

⑤九州ブロック社会教育研究大会佐賀大会

と き 令和2年1月14日(火)

ところ 佐賀市文化会館

テーマ 「社会教育法制定70周年…。そして地域のこれから…」

※8月29日(木)30日(金)に開催予定であったが、豪雨の影響により延期となり
内容を変更して開催されたもの。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
1年間に、何らかの学習活動を行った市民の割合	目標値 (%)	50.0	53.0	56.0	60.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。内閣府の調査結果（H24年度 57.1%）を基に目標値を設定 [現状値 :43.8% (26年度実績)]
	実績値 (%)	44.4	46.2	47.9	50.7	
	達成度 (%)	88.8	87.2	85.5	84.5	
学んだ成果を活かすことができたと回答した市民の割合	目標値 (%)	—	—	80.0	85.0	大牟田市社会教育・生涯学習まちづくり基礎調査結果を基に目標値を設定 [現状値 :74.2% (H23年度)]
	実績値 (%)	—	—	71.2	70.9	
	達成度 (%)	—	—	89.0	83.4	

【指標達成度に対する要因分析】

- 生涯学習ボランティア登録派遣事業については、事業の利活用とボランティア活動の機会をさらに広げるため、道の駅「おおむた」花ぷらす館と連携したイベントを実施しました。また、地域の会議等で事業の周知を図るとともに、SNSへの投稿や学習情報誌「まなびのカタログ」等で活動の様子を紹介するなど、情報発信を充実させました。その結果、ボランティア登録者の活動機会の創出につながり、「学んだ成果を活かす」という指標の目標達成に向けて貢献したと考えられます。
- 企業出前講座については、企業の参画や講座のメニュー数を拡充し、新たな分野の学習機会を提供することができました。また、メニューいろいろまちづくり出前講座では、様々な媒体で学習情報を提供したことで、市民の学習機会の充実に貢献しており、「学習活動を行った」という指標の実績値向上に寄与したと考えられます。
- 地域学習機会提供事業、人材育成・地域活動促進事業などを実施し、地域課題の把握や解決に向けた取組みを行ったことで、市民の幅広い学習機会の提供を行うとともに、学習活動の必要や地域づくりに対する意識の醸成が図られました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、年度終盤に行われる予定だった学習活動や事業が中止せざるを得なかったこともあり、最終的に目標値に到達することはできませんでしたが、これらの様々な取組みを通して市民へ幅広く学習活動の場や機会を提供することができ、学習活動を行った市民の割合は徐々に向上しており、約7割が学んだ成果を活かすことにつながられています。

【今後の方向性】

- 企業出前講座の充実、生涯学習ボランティアの派遣などを通して、学習機会を提供し、本市における生涯学習によるまちづくりを推進することができました。今後もこれらの活動を継続する一方で、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができるよう、インターネットを活用した市役所職員出前講座の動画配信（eラーニング）に取り組み、学習機会の提供を進めます。
- 地域での学習活動の支援については、地域課題の解決に向けた学習の機会を地区公民館はもとより市民により身近な場所で提供します。また、学校や地域など関係機関との連絡調整を密にしながら、課題やニーズを的確に捉え、事業の組立や運営に反映させます。特に、今まで事業を実施してこなかった高校生向けの事業を推進していきます。
- R元年度に取りまとめた「大牟田市社会教育・生涯学習基礎調査研究報告書」を踏まえて、「大牟田市社会教育振興プラン2020～2023」を策定しました。本プランに基づき、

人口減少の中にあっても「持続可能な社会の構築」を支える人づくりに取り組むとともに、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を個人の生活や地域での活動に活かすことができる生涯学習社会の実現を目指します。

施策名	<p>【まちづくり総合プラン第1編第6章】 スポーツを通して生きがい満ち、活気にあふれるまち</p>
<p>誰もが、ライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことで、生涯にわたり心身ともに健康で、活気にあふれた生きがいある生活を営むことができるまちを目指します。</p> <p>そのために、いつでも、どこでも、誰でも気軽に生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しむことができるための機会づくりや支援の仕組みづくり、また、スポーツがしやすい環境づくりを推進します。</p>	

（視点1）気軽に楽しめるスポーツ活動の機会づくり

市民の誰もが生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じて運動やスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう、多様なスポーツ活動の機会をつくり出します。

【主な事業・取組】

○市民スポーツ推進事業〔スポーツ推進室〕

（1）市民スポーツ教室、市民スポーツ大会等の開催

①市民スポーツ教室（指定管理者）

スポーツ初心者を対象に、スポーツ活動への参加の機会をつくり、健康・体力の維持増進を図り、社会的交流を深めることを目的に、春・秋・新春の年3期に実施しました。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
春のスポーツ教室（10回）			
ニコニコエアロ体操教室	市民体育館 アリーナ	坂井 加陽子	71
ソフトバレーボール教室	〃 〃	バレーボール協会	31
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	18
卓球教室	〃 アリーナ	卓球協会	18
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	78
秋のスポーツ教室（10回）			
健康体操教室	市民体育館 アリーナ	内田 京子	68
ソフトテニス教室	〃 〃	ソフトテニス連盟	7
親子リズム体操教室	〃 柔道室	ちゃいるどくらぶ	9(組)
バドミントン教室	〃 アリーナ	バドミントン協会	23
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	64
新春スポーツ教室（10回）			
3B体操教室	市民体育館 剣道室	3B体操協会	40
テニス教室	〃 アリーナ	テニス協会	32
太極拳教室	〃 〃	太極拳協会	16
にこにこ体操教室	〃 剣道室	(株)M&M	16
健美操教室	第二市民体育館アリーナ	古賀 巧	66

②サマースポーツ教室（指定管理者）

小学3～6年生の少年・少女を対象に、スポーツ活動に親しむことを目的とし、夏休み期間中にスポーツ教室を実施しました。（1人1種目）。

教室名	会場	指導者	参加者(人)
ミニバスケットボール	市民体育館アリーナ	バスケットボール協会	93
バドミントン	〃 〃	バドミントン協会	49
ソフトバレーボール	〃 〃	バレーボール協会	46
卓球	〃 〃	卓球協会	46
ソフトテニス	〃 〃	ソフトテニス連盟	36
ソフトボール	緑地運動公園ソフトボール場	ソフトボール協会	46
軟式野球	延命球場	軟式野球連盟大牟田支部	32

③市民スポーツ大会（指定管理者、スポーツ都市宣言推進協議会共催）

市民の誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめるスポーツの大会を実施しました。

大会名	期日	会場	参加者(人)
市民グラウンドゴルフ大会	4月21日(日)	諏訪公園イベント広場	111
市民ソフトバレーボール大会	6月9日(日)	市民体育館	120
市民女子フットベースボール大会	9月8日(日)	緑地運動公園運動広場	162
市民健康マラソン大会	R2年1月19日(日)	御大典記念グラウンド	2,155
市民観梅ハイキング	R2年3月1日(日)	観光プラザ前～紹運寺	20

(2) スポーツ市民の祭典（委託先：スポーツ都市宣言推進協議会）

スポーツ都市宣言の啓発・普及を図るとともに、広く市民が集い、子供から高齢者まで誰もが参加でき、楽しめるスポーツ・レクリエーション行事を実施することにより、市民の健康増進及び相互の連帯と融和を図り、スポーツの普及・発展、さらには、健康的で明るい市民生活の確立に寄与することを目的として開催しました。

とき 10月13日(日)・14日(月・祝)

ところ 御大典記念グラウンド、市民体育館、諏訪公園イベント広場・多目的広場

主管 スポーツ2019市民の祭典実行委員会

期日	内容	参加者(人)
10月13日(日)	ア 開会式	5,000
	イ むかで競争、長靴とばし、少年団対抗リレー、小・中学生リレー	803
	ウ なわとび競争	731
	エ 少年団対抗競技・ニュースポーツ	357
	オ バザー・イベント	多数
10月14日(月・祝)	ア ソフトバレーボール大会	81
	イ グラウンドゴルフ大会	90
	ウ ミニサッカー大会	230

(3) チャレンジデーの支援

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に全国一斉に行われ、人口規模がほぼ同じ自治体間で、15分以上継続して身体活動（運動）を行った住民の参加率を競うもので、住民の運動・スポーツに対する意識高揚や住民の連帯意識の醸成等を目的に、スポーツ都市宣言推進協議会、大牟田市体育協会を中心に市民団体、行政等で実行委員会を組織し実施しました。

本市は12年連続で金メダルを授与されました。(メダルは人口規模のカテゴリーごとに定められており、本市の場合47%以上の参加率で金メダル授与となります)

年 度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
期 日	5 月 31 日 (水)	5 月 30 日 (水)	5 月 29 日 (水)
参加者数	83,695 人	82,882 人	80,478 人
参 加 率	71.1%	71.2%	69.8%
対戦相手自治体	秋田県由利本荘市 81.0%	秋田県大館市 63.5%	神奈川県座間市 53.4%

○地域スポーツ活動推進事業〔スポーツ推進室〕

- (1) 地域元気アップスポーツ事業の実施（委託先：大牟田市スポーツ推進委員協議会）
市民がより身近にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、体験教室などを開催しました。

①地域ふれあい元気ウォーキング・体力測定(全2回)

期日	集合場所	コース	参加者(人)
11月24日(日)	玉川小学校	(当初の予定) 玉川小学校～焼石山～萩の尾古墳～岩本眼鏡橋～玉川小学校 ※雨天のためニュースポーツ体験教室を実施	3
R2年2月16日(日)	銀水小学校	(当初の予定) 銀水小学校～白銀川調節池公園～三池街道～銀水小学校 ※雨天のためニュースポーツ体験教室を実施	12

②スロージョギング教室

期日	場所	内容	参加者(人)
11月10日(日)	大正小学校体育館及び運動場	① スロージョギングの講義及び実技	22
12月15日(日)	大正小学校運動場	② スロージョギングの実技	24

③ニュースポーツ体験教室

期日	場所	内容	参加者(人)
R2年3月4日(水)	第二市民体育館	(当初の予定) ニュースポーツの周知啓発のため、4種目(ふうせんバレーボール、カラーリング、ペタンク、ごもくお手玉)の体験教室を実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—

- (2) スポーツ推進委員等指導者の育成・支援

①スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、住民のスポーツ振興のために住民の求めに応じた実技指導やスポーツ活動促進の組織育成、教育機関及び行政機関のスポーツ行事・事業への協力、住民に対してのスポーツの普及並びに指導助言等を行います。

本市では53人(H30～31年度定数：57人)のスポーツ推進委員を委嘱しており、資質向上を図るために各種研修会を実施しました。

ア 大牟田市スポーツ推進委員研修会

大牟田市スポーツ推進委員協議会では、スポーツ推進委員相互の資質向上を図ることを目的に研修会等を実施しました。

期日	場所	研修内容	参加者（人）
7月7日(日)	生涯学習支援センター、第二市民体育館	講義：熱中症対策セミナー、睡眠セミナー 実技：小学校体力テストの測定方法	34

イ スポーツ推進委員の研修会等派遣事業

国・福岡県が主催する研修会等へスポーツ推進委員を派遣しました。

期日	研修名称	開催地
6月8日(土)	南筑後地区春季スポーツ推進委員研修会	広川町
12月7日(土)	南筑後地区秋季スポーツ推進委員研修会	広川町
12月8日(日)	福岡県スポーツ推進委員研修大会	福岡市

(3) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援

スポーツ活動を通じて仲間づくりや多世代間の交流の活性化を図り、コミュニティの形成を目的に、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動への連携（企画、指導・助言、運営）を図りました。

地域行事数	参加者(人)	内容			
		企画	指導・助言	運営	その他
78	延べ 14,131	63	57	63	6

※スポーツ行事・活動に限定したもののみ掲載しています。

【視点2】スポーツ活動を支える仕組みづくり

市民が主体的かつ計画的に多様なスポーツ活動に取り組むことによって、豊かなスポーツライフを形成し、定着していくことができるよう、活動支援のための仕組みをつくります。

また、スポーツ都市宣言推進協議会や体育協会をはじめとする各種団体と連携し、各種スポーツ大会の奨励、トップレベルの競技大会の誘致など、スポーツ事業の充実・発展に努めます。

【主な事業・取組】

○地域スポーツクラブ育成・支援事業〔スポーツ推進室〕

総合型地域スポーツクラブとは、地域の特徴を生かし、地域のアイディアにより自主的に運営され、スポーツなどを通して地域の人と人との豊かなつながりを形成するものであり、その活動を支援しました。設置団体：1団体(H17年度～ 右京ふれあい健康クラブ)

また、新たな総合型地域スポーツクラブの創設に向け、関係者との意見交換を行うなど意欲ある校区・地域等の発掘に努めましたが、クラブ設立等に意欲のある校区・地域等の発掘までは至っておりません。

(右京ふれあい健康クラブ活動実績)

期日	内容	場所	参加者(人)
毎週火曜日	右京ふれあいタイム(卓球、バドミントン)	宅峰中学校、天領小学校	延べ654
6月20日～8月1日の毎週木曜日(全7回)	パソコン教室	天領小学校	15
10月20日(日)	天領校区・右京ふれあい体育祭	天領小学校	400
11月15日～12月20日の毎週金曜日(全6回)	パソコン教室	天領小学校	10
11月	バドミントン教室(中止)	—	—
R2年3月29日(日)	右京宝さがしウォーキング(中止)	—	—
【クラブ活動】	バドミントン部(毎週火・土曜日、天領小学校) 大牟田 Jr バレー(毎週水曜日、天領小学校) ヨガ教室(毎週土曜日、天領小学校) 卓球部(毎週土曜日、三川地区公民館) ソフトテニス部(毎週土曜日、緑地運動公園)		

○スポーツ団体等との連携によるスポーツ活動支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 体育協会や競技団体等とのスポーツの普及及び競技力向上に関する連携・支援

①スポーツ都市宣言推進協議会との連携

本市では、H2年7月、スポーツを通じた「人づくり」、「まちづくり」を目指す決意を込めて「スポーツ都市宣言」を行いました。その周知並びに実践活動を推進するため、スポーツ関係団体、学校、地域団体、企業、医療、福祉、行政など市内の各種団体により組織された「スポーツ都市宣言推進協議会」と連携し、スポーツを通じた住みよいまちづくりに努めています。

②市民体育大会委託事業(委託先：大牟田市体育協会)

市民の競技スポーツにおける競技水準の向上と、競技団体相互の連帯と融和を図るために、大牟田市OPENテニストーナメントなど20大会を開催しました。

大会名	期 日	会 場	参加者(人)
太極拳合同発表会	4月21日(日)	まいピア高田	180
大牟田 OPEN テニストーナメント	4月21日(日)～R2年1月19日(日)	緑地運動公園他	645
大牟田市ゴルフ協会会長杯市民ゴルフ大会	6月2日(日)	有明カントリークラブ	92
大牟田市民軟式野球大会	6月2日(日)～10月13日(日)	延命球場他	250
おおむた弓道選手権大会	7月15日(月・祝)	宅峰中弓道場	30
大牟田市民バドミントン大会	8月18日(日)	市民体育館	138
大牟田市長杯ソフトテニス大会	9月1日(日)	緑地運動公園他	248
大牟田サッカー選手権大会	9月7日(土)～9月8日(日)	三井化学早鐘グラウンド	140
大牟田クレール射撃大会	9月29日(日)	玉名クレール射撃場	12
大牟田市剣道選手権大会	10月6日(日)	市民体育館	300
大牟田市9人制一般男女バレーボール選手権大会	10月13日(日)	市民体育館	100
大牟田市グラウンドゴルフ選手権大会	10月14日(月・祝)	緑地運動公園	70
大牟田市ソフトボール選手権大会	10月20日(日)～12月8日(日)	緑地運動公園他	600
大牟田市長杯争奪大牟田市ボウリング選手権大会	11月24日(日)	大牟田 J ボウル	30
大牟田駅伝競走大会	R2年1月12日(日)	諏訪公園周辺	405
大牟田市民卓球大会	R2年2月16日(日)	市民体育館	128
四地区対抗柔道大会(※)	R2年3月8日(日)	大牟田高等学校	—
大牟田市民体育大会バスケットボール総合選手権大会(※)	R2年3月8日(日)～20日(金・祝)	市民体育館	—
大牟田市民体育大会ゲートボール選手権大会(※)	R2年3月11日(水)	緑地運動公園	—
おおむた市長杯アーチェリー大会	R2年3月29日(日)	サンアビリティーズおおむた	10

(※)新型コロナウイルスの影響により中止

(2) 中学校運動部活動支援

中学生の体育活動の発展と技術向上を図るため、大牟田市中学校体育連盟に対し、運営及び大会出場に係る費用の一部負担を行いました。

内容	対象者数	負担金額(円)
運営負担金	—	350,000
九州・全国大会出場負担金	4	49,730
地区・県大会出場負担金	630	663,275
地区・県新人大会出場負担金	277	262,190

○競技スポーツ振興・支援事業〔スポーツ推進室〕

(1) 全国大会、プロスポーツ大会、広域スポーツ大会等各種大会の支援

① トップレベルの大会の開催支援、選手との交流の促進

九州一円の各郡市の代表選手が一堂に会し、九州地区の競技力の向上並びに親睦と融和を図る目的で開催された第72回全九州都市対抗陸上競技大会を支援しました。

と き 4月7日(日)

と ころ 御大典記念グラウンド

主 催 九州陸上競技協会、NPO法人大牟田市体育協会

共 催 大牟田市

主 管 福岡陸上競技協会、大牟田市陸上競技協会

後 援 朝日新聞社

参 加	男子 25 郡市 女子 25 郡市 参加者 840 人
種 目	[男子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、5,000m、110mH、 4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投、 三段跳、棒高跳 [女子の部] 100m、200m、400m、800m、1,500m、3,000m、100mH、 4×100mリレー、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投、槍投 [オープン] [中学生男子] 100m、4×100mリレー [中学生女子] 100m、4×100mリレー [男子] 3,000m (中学生以上)、3,000m障害 (高校生以上) [女子] 1,500m (中学生以上)

区 分	優 勝	2 位	3 位	4 位	5 位
総 合	福 岡 市	大 分 市	佐 賀 市	小 郡 市	久 留 米 市
男 子	福 岡 市	大 分 市	小 郡 市	久 留 米 市	佐 賀 市
女 子	福 岡 市	大 分 市	大 牟 田 市	佐 賀 市	小 郡 市

②広域スポーツ大会奨励補助

競技スポーツの振興に寄与し、本市の活性化に貢献するものとして開催される広域スポーツ大会を奨励するために、その大会の費用の一部を補助しました。

大 会 名	期 日	会 場	参加者(人)
大牟田市近県中学生バレーボール選手権大会	5月3日(金・祝)	市民体育館他	1,000
大牟田陸上競技大会	5月4日(土・祝)	御大典記念グラウンド	1,400
大牟田市会長杯近県ソフトテニス選手権大会	5月12日(日)	緑地運動公園他	136
有明杯アーチェリー大会	5月19日(日)	第二グラウンド	29
有明海沿岸ジュニアサッカー大会	8月3日(土)、4日(日)	諏訪公園他	720
大蛇山卓球大会	8月25日(日)	市民体育館	240
大牟田市近県親善ゲートボール大会 (※1)	9月22日(日)	緑地運動公園	—
全九州一般男子ソフトボール大会	10月12日(土)、13日(日)	緑地運動公園他	700
有明少年野球大会	10月22(火・祝)～11月2日(土)	延命球場他	1,200
大牟田小学生オープンバドミントン大会	12月21日(土)	市民体育館	200
優勝弓争奪近県弓道大会 (※2)	R2年3月15日(日)	市民体育館	—

(※1)台風接近のため中止 (※2)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③各種スポーツ事業への共催・後援による支援

スポーツの普及・向上に寄与する公共性の高いスポーツ事業等に対して、共催・後援等による支援を行いました。 共催 1件 後援 44件

(2) 県民体育大会への選手団派遣

福岡県民体育大会は、夏季大会、秋季大会、市町村対抗駅伝大会の3大会が開催され、本市代表として出場する選手団を派遣しました。

R元年度の秋季大会は、筑豊地区で開催され、総合順位は7位でした。

①夏季大会（水泳） 開催日 8月18日（日）

競技名	開催地	派遣人数	主な結果（入賞等）
水泳	筑豊緑地 プール	44	1位（小5・6女子 50m自由型）
			1位（中学生女子 50mバタフライ）
			1位（高校生男子 50m自由形）
			2位（小4以下男子 50mバタフライ）
			2位（中学生男子 50mバタフライ）
			2位（30～34歳男子 50mバタフライ）
			2位（30～34歳男子 50m背泳ぎ）
			3位（小5・6女子 50mバタフライ）
			3位（高校生男子 50mバタフライ）
			3位（18～29歳男子 50m背泳ぎ）

②秋季大会 開催日 9月21日（土）・22日（日）

競技名	開催地	派遣人数	主な結果（入賞等）
バレーボール	田川市、添田町、芦屋町	85	3位 青年男子
バドミントン	嘉麻市、小竹町、桂川町	38	1位 壮年混成男女 3位 青年
バスケットボール	飯塚市	59	
弓道	水巻町	—	（台風接近のため中止）
ソフトテニス	飯塚市、直方市	—	（台風接近のため中止）
テニス	飯塚市	8	
卓球	岡垣町	22	2位 青年
柔道	宮若市	12	
陸上	嘉麻市	—	（台風接近のため中止）
剣道	中間市	12	
ソフトボール	川崎町、香春町、糸田町、 福智町、大任町	—	（台風接近のため中止）

③ 冬季大会 開催日 11月17日（日）

競技名	コース	成績
第6回市町村対抗 「福岡駅伝」	筑後広域公園駅伝コース（筑後市）	第23位（60市町村中） タイム：1時間42分51秒

○表彰・奨励事業〔スポーツ推進室〕

（1）スポーツ功労者表彰

本市において、多年にわたり体育、スポーツの普及振興に寄与し、その功績が顕著である者、またはスポーツ競技会において抜群の成績をあげ、その競技の発展に尽くした功績が顕著である者に対し、それぞれ功労賞と記録賞（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）を授与しました。例年、スポーツ市民の祭典時に表彰を行っています。

①功労賞

中嶋貴美子	バレーボールの普及、発展並びに競技力の向上に貢献
富崎 克巳	バスケットボールの普及、発展並びに競技力の向上に貢献
竹谷 浩明	陸上競技の普及、発展並びに競技力の向上に貢献
向江 剛	スポーツ少年団の普及、発展並びに青少年健全育成に貢献
猿渡 高德	剣道の普及、発展並びに競技力の向上に貢献

②記録賞

ア 最優秀賞

石原 愛依	第7回世界ジュニア水泳選手権大会	女子 200m平泳ぎ 3位 女子 200m個人メドレー 3位
-------	------------------	-----------------------------------

イ 優秀賞

田中 裕大	第41回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人73kg級 優勝
光岡 岳人	第41回全国高等学校柔道選手権大会	男子個人 66kg 級 3位
森 健心	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	男子個人100kg級 優勝
竹市 大祐	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	男子個人81kg級 優勝
山口葵良梨	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	女子個人63kg級 優勝
明光学園高等 学校ハンドボ ール部	第42回全国高等学校ハンドボール選抜 大会	ハンドボール女子 優勝
	令和元年度全国高等学校総合体育大会 ハンドボール競技大会	ハンドボール女子 優勝
大牟田高等学 校柔道部	令和元年度全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会	男子団体 準優勝
椿原 成將	第73回国民体育大会水泳競技	少年 B 400m フリーリレー 3位

ウ 奨励賞

谷口 竜輝	第54回全国高等専門学校体育大会	男子200m自由形 優勝
	第25回全国高等専門学校水泳競技大会	男子400m自由形 優勝
石本慎太郎	九州ジュニア柔道体重別選手権大会	男子個人100kg級 優勝
服部 大喜	令和元年度全九州高等学校体育大会 第69回全九州高等学校柔道競技大会	男子個人100kg超級 優勝
水野 皓太	令和元年度全九州高等学校体育大会 秩父宮賜杯第72回全国高等学校陸上競 技対校選手権大会 北九州地区予選会	男子三段跳 優勝

エ 特別賞

明光学園高等 学校ハンドボ ール部	第42回全国高等学校ハンドボール選抜 大会	ハンドボール女子 優勝
	令和元年度全国高等学校総合体育大会 ハンドボール競技大会	ハンドボール女子 優勝
	令和元年度第79回国民体育大会	ハンドボール少年女子 優勝

【視点3】スポーツがしやすい環境づくり

市民が身近なところで、いつでも気軽に運動やスポーツ活動へ参加ができるよう、多様なスポーツの場の充実を図るとともに、必要に応じて指導を受けることができるよう、指導者の養成確保、資質向上やきめ細やかなスポーツ情報の提供などに努め、スポーツがしやすい環境をつくります。

また、老朽化した施設への対応をはじめ、安全で快適なスポーツ環境の整備・充実に努めます。

【主な事業・取組】

○スポーツ施設整備事業〔スポーツ推進室〕

(1) 各種体育施設の整備・改修等

本市は、市民体育館、御大典記念グラウンド、延命球場等多くのスポーツ施設を有していますが、各施設は老朽化しており、日本スポーツ振興センター助成事業（toto くじ助成）等を活用しながら、補修、改修等工事を随時実施しています。

また、公共施設維持管理計画に基づき中・長期的な視点に立ち大規模改修等工事を行うなど、安心・安全に利用できるよう施設整備に努めています。

(2) 学校体育施設開放事業

地域住民の日常スポーツの場として、学校教育に支障をきたさない範囲で小・中学校の体育施設（体育館、運動場、中学校剣道室・柔道室、宅峰中弓道場、甘木中運動場夜間照明施設）を一般に開放しました。

	H29 年度	H30 年度	R 元年度
利用団体	278	219	245
利用件数	13,826	11,958	11,407
利用人数(人)	209,993	192,948	178,218

○（仮称）大牟田市総合体育館整備基本計画の策定

現在の市民体育館はS49年築で老朽化が進み、バリアフリー化や旧耐震基準である等の問題を抱えています。このため、安心・安全で快適な、そして身近で誰もが使いやすい総合体育館の整備に向けて、「（仮称）大牟田市総合体育館整備基本計画」を策定しました。

この計画の基本コンセプトは「スポーツや運動を通じて、ひとを健康に、まちを元気にする緑に囲まれた総合体育館」と掲げ、この基本コンセプトに基づき、従来のスポーツ拠点機能に加え、他の公共施設における市民活動の場を取り込むことで、市民がスポーツをはじめ様々な活動を通じて集い交流するスポーツ拠点施設を形成することとして、R5年度中の完成を目指します。

○指導者育成事業〔スポーツ推進室〕

(1) 指導者の確保・育成のための研修会等の実施

①スポーツ少年団指導者研修会

スポーツ少年団の指導者を対象に、安全なスポーツ指導及び資質の向上を図るために、研修会を行う予定でした。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R2年3月13日(金)	市民体育館研修室A、アリーナ	「小学生でも多いスポーツでの腰痛～間違った体幹トレーニングしていませんか」	—

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

②スポーツ医科学研修会（指定管理者）

生涯スポーツを実施するにあたり、スポーツを通じた健康増進の知識を習得し、スポーツ活動において健康なからだづくりを目指すことを目的に研修会を開催しました。

期日	場所	研修内容	参加者(人)
R2年2月19日(水)	市民体育館研修室A	中高年の体力低下への対策 「人の一生の変化とスポーツ」	105

○スポーツ情報提供事業〔スポーツ推進室〕

(1) スポーツカレンダー等による大会・施設の情報発信

日本スポーツ振興センターの助成事業を活用し、種目毎のスポーツイベントの開催、スポーツ施設の紹介、スポーツ少年団一覧、ニュースポーツ用具の貸出紹介など本市のスポーツ情報を掲載したスポーツカレンダーを作成し、市民に配布を行い、スポーツ実施の機会づくりの啓発・普及を行いました。

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R 元	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、週1回以上の運動・スポーツの実施率	目標値 (%)	30.0	35.0	40.0	45.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。本市スポーツ振興計画に掲げる目標値(H32_50.0%)を基に目標値を設定 [現状値:25.3%(26年度実績)]
	実績値 (%)	25.5	24.9	41.6	46.3	
	達成度 (%)	85.0	71.1	104	102.9	

【指標達成度に対する要因分析】

- 本市のスポーツ振興計画では、「誰もがどこでも気軽に親しめるスポーツ活動の機会づくり」、「活気あるスポーツ活動を支える仕組みづくり」、「スポーツがしやすい環境づくり」の3つの基本施策のもと、各種事業を実施しています。
- 事業実施に当たっては、スポーツ都市宣言推進協議会、体育協会、スポーツ推進委員協議会等と連携し、スポーツに楽しめる教室や地域スポーツ行事など、地域や年齢層に応じた多様なスポーツ活動の機会を提供しました。
- 成果指標については、46.3%と、前年度と比較して4.7ポイント増となっており、本市のスポーツ振興計画に掲げる目標値を達成することができました。
- 今後更に目標達成に向けて、日頃からスポーツや運動をしていない人への情報提供や実施に向けたアプローチが必要と考えます。

【今後の方向性】

- スポーツ・運動を普段していない人に向けて、スポーツ・運動の持つ効果を発信することにより、関心を持ってもらい、スポーツに気軽に参加できるような機会づくりに努めます。
- 市民の誰もがどこでも生涯にわたり、スポーツに親しみ健康で明るい生活を送るためには、さまざまな市民団体等との連携が必要であり、また、幅広い市民の方がスポーツに触れることができるよう、さまざまな機会を捉え、各種事業のタイムリーな情報提供を行い、参加者の増を図ります。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルスの影響で一年延期となったことを受け、引き続きホストタウン事業や本市での聖火リレーを通して、市民にスポーツの魅力を発信し、スポーツ振興、地域活性化に向けた諸事業を推進していきます。
- 体育館の施設整備計画及び事業手法等を定めた「(仮称)大牟田市総合体育館整備基本計画」に基づき、R2年度は基本設計を行い、R3年度～R5年度は実施設計と工事施工を一括発注するデザインビルド方式にて進めていきます。

施策名	【まちづくり総合プラン第1編第7章】 文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち
郷土の歴史や遺産を大切に継承・活用し、郷土を愛する気持ちと誇りをはぐくむとともに、市民が文化芸術を通して心豊かで充実した生活を送ることができる文化の薫るまちを目指します。	

（視点1）まちの歴史や文化を知る・学ぶ

世界文化遺産に登録された三池炭鉱関連施設などをはじめ、地域に残されている近代化遺産や有形・無形の文化財の適切な保存や、それらの歴史を「見える化」するなどの活用に向けた取り組みを通して、郷土の歴史や文化に触れる機会を充実します。

【主な事業】

●近代化産業遺産活用事業〔世界遺産・文化財室、総合政策課〕（72ページ参照）

（1）近代化産業遺産を活用したまちづくりの推進

①啓発グッズの作成

近代化産業遺産の記憶を次世代に伝えていくため、近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会と共に、オリジナルポロシャツ等の啓発グッズを作成、販売しました。

②小学生を対象にした近代化産業遺産見学会の実施

市内小学校の全6年生を対象に、三池炭鉱関連の近代化産業遺産を見学する、バス見学会を実施しました。

参加者数 880人

③世界遺産絵画コンクール

世界遺産登録4周年を記念して、夏休みに小中学生を対象に「～私の好きなおおむた世界遺産のある風景～」絵画コンクールを実施しました。

応募作品265点（うち、入賞作品67点）

入賞作品の巡回展示

と き 12月～R2年2月

会 場 イオンモール大牟田、大牟田市役所、ゆめタウン大牟田

④環境美化活動の実施

ア 宮原坑駐車場への地域の方々による花の植栽

駿馬校区まちづくり協議会

イ 三川坑跡での市民、団体等による日本庭園の清掃等

NPO法人三池港未来のまちづくり会、市民の方々

（2）世界遺産関連施設の価値の啓発

①市内近代化遺産一斉公開の実施

文化財保護強調週間及び全国近代化遺産活用連絡協議会事業「近代化遺産一斉公開2019」の一環として、「炭鉱の祭典実行委員会2019」を実施主体とし、「炭鉱の祭典2019」を実施しました。

と き 11月3日（日・祝）

公開施設 宮原坑、万田坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三池港、旧長崎税関三池税関支署、三川坑跡（炭鉱電車）、旧三川電鉄変電所、石炭産業科学館

見学者数 20,238人

②宮原坑、三池港展望所、旧長崎税関三池税関支署の定期公開

宮原坑、三池港展望所は毎週月曜日および年末年始を除き毎日公開し、旧長崎税関三池税関支署は土日曜・祝日のみ公開しました。

見学者数 16,534人(宮原坑)、16,405人(三池港展望所)、
1,228人(旧長崎税関)

※11月3日の一斉公開見学者数は除く。

③宮原坑世界遺産啓発イベントの実施

平成最後を彩る世界遺産啓発イベント「宮原坑 平成彩(へいせいさい)」を開催しました。

と き 4月29日(月・祝)、30日(火・祝)
内 容 三池炭鉱人生ゲーム、竪坑櫓のライトアップ、近代化産業遺産めんこラリー、こどもバス運転士体験、ジャー坊饅頭販売、コスモスの種まき・種配布など

来訪人数 538人

④旧長崎税関三池税関支署でのイベント実施(「三池炭鉱へようこそ」事業)

ア 日本フィル@世界遺産

R2年2月15日に開催された「日本フィルハーモニー交響楽団」大牟田公演のプレコンサートとして、弦楽四重奏(ヴァイオリン×2、ヴィオラ、チェロ)を実施しました。

と き 11月21日(木)

参加人数 60人

イ Jazz Night in 世界遺産

光の航路の時期に合わせ、ジャズコンサート(出演3組)を開催しました。

と き R2年1月25日(土)

参加人数 60人

⑤パンフレットの作成

世界遺産三池炭鉱・三池港について詳しく解説したパンフレットを5,000部作成しました。

(3)世界遺産の管理・修復・活用

①史跡「三井三池炭鉱跡」の保存・管理

ア 適切な施設の維持管理のため、樹木の伐採や、除草清掃を行いました。

イ 今後の史跡整備に向けて基本的な考え方をまとめた、「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画(H29年度策定)」に基づき、宮原坑及び専用鉄道敷跡の発掘調査、測量調査を行いました。

②大牟田市近代化遺産保存活用基金

大牟田市近代化遺産保存活用基金を、市内の近代化遺産の保存・整備に活用するためにH18年度に設置しました。

R元年度は市指定文化財「三井港倶楽部」所有者三井松島産業(株)から申請があり、三井港倶楽部電気設備の更新事業で基金から95万円拠出しました。

(単位：千円)

H30年度決算に伴う 基金高 ①	R元年度中の増減額		R元年度決算に伴う 基金高①+②-③
	積立額 ②	取崩額 ③	
46,741	3	950	45,794

○文化財保護事業〔世界遺産・文化財室〕

(1) 指定文化財の保護

①指定文化財の管理

ア 指定文化財地内除草清掃（宮原坑跡、万田坑跡、鉄道敷跡、潜塚古墳、早鐘眼鏡橋）及び定期点検（毎月）、災害時点検を実施しました。

イ 国指定史跡「萩ノ尾古墳」の石室内部の保存環境について、定期的な記録管理を行いました。

(2) 文化財の調査・公開・活用

①埋蔵文化財発掘調査（国・県補助事業）

ア 試掘・確認調査

各種開発に伴う事前の文化財の有無に関する問合せが560件あり、そのうち試掘・確認調査を行ったのは15件でした。本調査に至ったものはありませんでした。

②文化財防火デー

ア 国登録文化財「旧三池炭鉱三川電鉄変電所（信号電材株式会社本社）」において、文化財防ぎょ訓練を実施しました。

と き R2年1月26日（日）

イ 文化財防火デーを周知するため、ポスターを国指定・登録文化財（建造物）所有者に配布し、掲示を依頼しました。

ウ 県指定文化財「慈覚大師坐像」「薬師如来坐像」が安置されている普光寺本堂と、旧長崎税関三池税関支署の防火設備の点検を行いました。

④文化財保護強調週間

11月3日（日・祝）に近代化遺産一斉公開を実施しました。

（「近代化産業遺産活用事業」の（2）①（113ページ）を参照）

⑤銭太鼓踊り保存会補助

市指定無形民俗文化財「ぜんでこ踊りとひゅうたん廻し」の保存団体であるぜんでこ踊り保存会へ補助金を交付しました。

⑥常設・企画展示の充実（三池カルタ・歴史資料館）

三池カルタ・歴史資料館が行う常設・企画展に対し、協力・助言・指導を行いました。

（常設・企画展の内容については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」（178～181ページ）を参照）

(3) 文化財保護の啓発

①文化財説明板の更新

市指定文化財「本村の四仏塔婆」の文化財説明板を更新しました。

②出前講座等の実施

大牟田の成り立ち・歴史について広く知ってもらうことを目的として、出前講座等を実施しました。

ア 講師派遣・視察対応

講師派遣11件

イ 各種事業への共催等の実施

後援3件

③文化財講演会の実施

宮原坑国史跡指定20年を記念して文化財講演会を実施しました。

と き R2年1月18日（土）

会 場 石炭産業科学館 2階 オリエンテーション室

講 師 奈良大学文学部文化財学科教授 坂井 秀弥

タイトル 「近年の文化財政策と地域づくりの展開」
参加者数 16人

【視点2】文化芸術事業の充実

質の高い文化芸術に触れる機会と、身近な場所で文化芸術に触れる機会の充実を図ります。あわせて、若い世代が関心を持つような文化芸術事業の開催や、絵本やカルタなど本市の特性を活かした事業の充実を図ります。

【主な事業】

○多様な文化芸術提供事業〔生涯学習課〕

(1) 大牟田市民文化のつどい事業

市民の文化活動の発表の場を充実させ、芸術鑑賞の機会を設けることにより、市民の文化芸術に対する理解を深め、もって地域文化の創造と発展に資するために開催しました。

事業数 19件

入場者数 12,135人

事業名	主管団体名	とき	ところ
第66回青々水彩画協会公募展	青々水彩画協会	4月9日(火)～ 4月14日(日)	文化会館展示室他
第27回ありあけ山野草会 展示会	ありあけ山野草会	4月18日(木)～ 4月20日(土)	文化会館展示室
三流派合同茶会	大牟田茶道連盟	4月28日(日)	文化会館和室他
日本舞踊幸若流 創立20周年 記念チャリティー発表会	大牟田民舞協会	5月12日(日)	文化会館大ホール
フルスコンサート	大牟田フルス協会	5月19日(日)	文化会館大ホール
大牟田能楽会 素謡・囃子の会	大牟田能楽会	6月23日(日)	文化会館小ホール
歌謡フェスティバル2019	九州歌謡連盟	7月21日(日)	文化会館大ホール
上津原仁子バレエ研究所 第10回勉強会	大牟田バレエ協会	8月3日(土)	文化会館小ホール
創作太鼓と郷土芸能の祭典	おおむた和太鼓 愛好会	8月25日(日)	文化会館大ホール
大牟田押花フェスタ2019	大牟田押花の会	9月19日(木) ～9月22日(日)	文化会館展示室
クラシックギターのつどい	大牟田クラシック ギター愛好会	10月5日(土)	文化会館大ホール
ふるさと大牟田の歴史と 文化講座	三池史談会	10月12日(土) 10月26日(土)	文化会館研修室
三曲(箏・三絃・尺八)演奏会	大牟田三曲協会	10月20日(日)	文化会館小ホール
第68回大牟田美術展	大牟田美術協会	前期:10月22日(火・ 祝)～10月27日(日) 後期:11月1日(金) ～11月6日(水)	文化会館展示室他

事業名	主管団体名	と き	と ころ
俳句大会	大牟田俳句連合会	10月25日(金)	文化会館研修室
44周年華道展	大牟田文化華道連盟	11月9日(土) ～11月10日(日)	文化会館展示室
第38回大牟田市民音楽フェスティバル2019大牟田合唱祭	大牟田音楽連合会 (大牟田合唱連盟)	11月10日(日)	文化会館大ホール
第62回吟剣詩舞道大会	大牟田吟詠連盟	11月17日(日)	文化会館小ホール
各流派合同日本舞踊勉強会	大牟田日本舞踊協会	12月1日(日)	文化会館小ホール

○子どもの文化芸術体験事業〔生涯学習課〕

(1) まちの芸術家派遣事業

子どもが質の高い文化芸術に触れ、豊かな感性を育む機会をつくるため、文化芸術活動者を学校へ派遣し、学校教育における文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図りました。

事業数 14件

学校名	ジャンル	派遣団体	と き
中友小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	6月17日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	6月24日(月) 6月25日(火) 6月27日(木)
吉野小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	10月21日(月)
明治小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	10月28日(月)
吉野小学校	押花	花みずき会	10月28日(月)
銀水小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	11月25日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	11月22日(金) 11月25日(月) 11月27日(水)
駛馬小学校	茶道	茶道裏千家淡交会大牟田学校 茶道連絡協議会	11月29日(金)
吉野小学校	華道	大牟田文化華道連盟	12月2日(月)
倉永小学校	音楽(古典)	大牟田三曲協会	R2年1月22日(水)
中友小学校	音楽(古典)	大牟田三曲協会	R2年1月29日(水)
銀水小学校	華道	大牟田文化華道連盟	R2年2月10日(月)
中友小学校	文学(おはなし会)	おはなしの森	R2年2月17日(月) R2年2月18日(火) R2年2月20日(木)
羽山台小学校	押花	花みずき会	R2年2月26日(水)

(2) 文化芸術を通じたコミュニケーション能力アップ事業

羽山台小学校演劇ワークショップ

講師に平田オリザ氏を招き、演劇づくりを通して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むワークショップを行いました。

と き 10月16日(水), 11月26日(火)

と ころ 羽山台小学校

対 象 5年生 63名

○若者の関心に合わせた文化芸術事業〔生涯学習課〕

ダンスによる若者育成事業 ダンスチャレンジおおむた

高校生が小中学生にダンスを教えるダンスワークショップや市内高校ダンス部のステージ発表のほか、小学生から高校生を対象に市内外から参加者を募ったダンス大会を開催しました。

と き R2年1月19日(日)

と ころ 文化会館 大ホール

参加者数 700人

○本市の特色を活かした文化芸術事業〔生涯学習課〕

(1) テーマ別(絵本、漫画・アニメ)展覧会

三池カルタ・歴史資料館の秋の企画展「なつかしのまんがカルタまつり」にあわせ、本市出身の漫画家や炭都時代の漫画文化を含め、本市の歴史や文化を紹介しました。また、映画『いのちスケッチ』は、瀬木監督が大牟田出身の漫画家・三隅健さんの作品にインスパイアされて製作されたこともあり、今回の企画展に映画や三隅健さんを紹介する展示を設けました。

さらに、特別企画としてトークショーやミュージアムガイドを実施しました。

①なつかしのまんがカルタまつり

展示内容は、なつかしのまんがカルタ、大牟田ゆかりのまんが家大集合、映画『いのちスケッチ』コーナー、三隅健の描く世界をしました。

と き 10月1日(火)～12月8日(日)

と ころ 三池カルタ・歴史資料館 展示室

観覧者数 3,422人

②トークショー「大牟田が生んだ漫画家と大牟田から生まれた映画」

映画『いのちスケッチ』と漫画のかかわりや大牟田の漫画家の魅力についてのトークショーを開催しました。また、カルタックスおおむた集会室にて、三隅健さんの原画を展示しました。

出 演 者 瀬木直樹(映画『いのちスケッチ』監督)、神村正樹(小学館漫画編集)
道山れいん(詩人・大牟田大使)

と き 10月20日(日)

と ころ 三池カルタ・歴史資料館 展示室

参加者数 80人

③ミュージアムガイド

企画展に資料協力した漫画研究家・コレクターである原田誠一さんによる『大牟田ゆかりのまんが家大集合!!』のコーナーを中心に、展示の見どころや大牟田出身の漫画家の紹介をしました。

と き 11月24日(日)

と ころ 三池カルタ・歴史資料館 展示室

参加者数 18人

(2) カルタ文化の普及

国内唯一の公立カルタ資料館を有していることからカルタ文化の普及啓発事業を実施しました。

(内容等については、「社会教育施設等の状況 三池カルタ・歴史資料館」(178～181ページを参照)

○文化芸術を通じたコミュニケーション能力アップ事業[生涯学習課]

講師に平田オリザ氏を招き演劇の手法を活用して他者と協力したり、自分を表現できるコミュニケーション能力を育むほか、多様な価値観をもつ人との対話に必要なことについて理解を深める講演会やワークショップ、研修を行いました。

内容	対象	とき	ところ
市職員研修	市職員	10月15日(火) 11月27日(水)	文化会館
小学校ワークショップ	羽山台小学校5年生	10月16日(水) 11月26日(火)	羽山台小学校
講演会	教職員・一般参加者	11月26日(火)	羽山台小学校

○広域連携による文化芸術事業[生涯学習課]

(1) 有明圏域定住自立圏文化振興会議

圏域4市2町による文化振興会議を開催し、効果的な文化芸術情報の発信や魅力的な共同文化事業の実施について協議しました。

と き 7月26日(金)

と ころ 文化会館 憩いの mori

(2) 広域連携の取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、従前より実施している「有明美術展」を開催したほか、R元年度は各市町の文化事業を写真で紹介する巡回展を実施しました。また、圏域内の自治体4市2町で圏域内の文化事業に関する情報の効果的な発信として各自治体に定住コーナーを設けています。

(視点3) 文化芸術活動への参加機会の充実

多くの市民が文化芸術活動に気軽に参加し、親しんでもらうために、初心者向け講座や休日開催など、参加しやすい事業の充実に努めます。また、文化芸術活動を行う市民団体への支援と団体相互の連携を促進し、参加機会の充実に努めます。

【主な事業】

○文化芸術活動参加促進事業〔生涯学習課〕

(1) 大牟田市民文化のつどい事業における公募

大牟田市民文化のつどい事業において、広く公募を行い、文化のつどいの1事業として実施しました。

公募事業 フルスコンサート
と き 5月19日(日)
ところ 文化会館大ホール

(2) 各種共催事業等の実施

各種文化芸術事業への共催等による支援を行いました。

共催・後援件数 84件

○文化団体等育成・支援事業〔生涯学習課〕

(1) おおむたっ子がんばれ奨励金事業

施策「心豊かでたくましい青少年がはぐくまれるまち」の「(視点3) スポーツ・文化芸術活動を通じた青少年の心身の育成」の同名事業(82ページ)を参照してください。

(2) 大牟田文化連合会運営補助金の交付

文化芸術活動を促進するため、各種芸術分野の団体で組織された「大牟田文化連合会」に運営補助金を交付しました。

(3) 福岡県中学校文化連盟負担金の交付

生徒の文化芸術等を支援するために、市内中学校在籍生徒数に応じ、中学校文化連盟負担金を交付しました。

(視点4) 文化芸術の環境づくり

市民団体と、学校、地域、商店街等との連携を促進することで、市民交流の拡大や街のにぎわいづくり、伝統芸能の継承など、市民が身近なところで文化芸術に親しめる環境づくりを進めます。あわせて、文化施設の適切な維持・補修及び機能充実に努めます。

【主な事業】

○街かどのにぎわい創出事業〔生涯学習課、産業振興課〕

様々な場所で文化芸術活動が実施され、まちのにぎわいが創出されるよう、文化芸術事業に対して共催・後援を行い、広報おおむたへの掲載や、チラシ、ポスターの配布などによる支援をしました。

○郷土伝統芸能保存継承事業〔生涯学習課、世界遺産・文化財室〕

毎年、市指定無形文化財「岡天満宮祭礼行事」の担い手であるぜんでこ踊り保存会に対して、保存活動事業に要する経費について補助金を交付しており、R元年度についても実施しました。

○文化施設整備事業〔生涯学習課〕

大牟田文化会館はS61年(1986年)、カルタックスおおむたはH3年(1991年)にそれぞれ開館しました。これらの施設は老朽化が進む中、計画的な予防保全が必要となっていることから、公共施設維持管理計画に基づき、維持補修に取り組みました。

- ・文化会館 駐車場改修工事、館外水銀灯更新工事、小ホール調光室空調設置工事など
- ・カルタックス エレベーターリニューアル工事、駐車場出入口ドア改修工事など

【成果指標の達成状況】

指標名	項目	H28	H29	H30	R元	指標・目標値設定の根拠
1年間のうち、何らかの文化芸術活動（テレビやインターネット等での鑑賞は除く）への参加率	目標値（%）	30.0	33.0	36.0	40.0	「まちづくり市民アンケート」集計結果より。文化庁「文化芸術の振興に関する基本的な指針」の成果指標（H32_40.0%）を基に目標値を設定〔現状値：23.8%（26年度実績）〕
	実績値（%）	25.7	27.1	26.2	20.9	
	達成度（%）	85.7	82.1	72.8	52.3	

【指標達成度に対する要因分析】

- 文化財に関する各種講座の実施、近代化遺産一斉公開（炭鉱の祭典）などのイベントの開催など、郷土の歴史への興味関心を高める事業を数多く実施したことで、市民の郷土を愛する気持ちと誇りを育みました。
- 市民文化のつどいとして年間で19の事業を実施し、活動発表の場と鑑賞の場を設けるとともに、公募事業や賛助出演により新規参加の受入れを行い、多様な文化芸術活動の推進に努めました。
- 文化芸術を通じたコミュニケーション能力アップ事業は、社会の変化に対応したまちづくりや支え合い、認め合う地域づくりをともに進めていく土壌づくりに繋げていきたいと考え、平田オリザ氏による講演会やワークショップを実施しました。
- 市民参加を促進するため、広報おおむたやホームページ、愛情ねっと等を活用するとともに、チラシやポスターを公共施設に配布するなどし、幅広く文化事業の開催等の周知を行いました。また、若者の文化芸術活動への参加を促進するため、R元年度もダンスによる若者育成事業に取り組みました。さらには、本市の特色を生かした文化芸術事業として、カルタ・歴史資料館の企画展に併せ、本市出身の漫画家にスポットを当てたイベントを実施し、本市の魅力を市内外へ発信しました。
- 市民が文化芸術に直接触れることができる機会の充実と、そのきっかけをつくる取組が必要です。
- 新型コロナウイルスの影響で各種イベント等が中止・延期となり、文化芸術活動への参加の機会が減少したことが、指標の実績値に影響した可能性があります。

【今後の方向性】

- 世界遺産をはじめとする近代化遺産や文化財の保存・活用を進め、多くの市民がまちの歴史や文化に対する理解を深め、それがまちへの愛着と誇りにつながるよう取り組みます。
- R元年度からの新しい「大牟田市文化芸術振興プラン」に基づき、「文化芸術に親しみ心豊かに生活できるまち」を大きな目標としてさまざまな施策に取り組みます。特に本計画期間にあっては、次世代を担う人づくりに力を入れ、文化芸術を通じた子どもや若者の育成を図る施策を推進します。
- 文化芸術団体や大牟田市文化振興財団等と連携し、市民が文化芸術に直接触れる機会の充実を図ります。

学 識 経 験 者 意 見

大牟田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の 点検及び評価についての意見書

福岡教育大学
教授 石丸 哲史

このたび、大牟田市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定めるところにより、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った。教育施策の推進状況については、「平成31(令和元)年度大牟田市学校教育振興事業計画」に掲げる各主要施策について教育委員会関係分と、大牟田市総合計画「まちづくり総合プラン」に掲げる社会教育関係施策について市長部局関係分の両方を点検・評価の対象としている。また、成果指標の達成状況についても、「成果指標の達成状況」・「指標達成度に対する要因分析」・「今後の方向性」を設けており客観性や合理性が担保されている。

このような詳細かつ具体的な体裁や形態に至るまでにはたゆまぬ改善努力があり、市民への説明責任を果たしているだけでなく、教育行政に対する市民の関心を高めるとともに、効果的な教育行政の推進にも貢献している。現状を把握する上で多面的・多角的な検討がなされ、成果は明確なエビデンスを伴い、今後の方向性は現状を確実に捉えたものであり、現実的かつ具体的なもので首肯できる内容となっている。

○教育委員会の活動状況について

地域に根ざし各方面でご活躍の教育委員の方々が、教育委員会会議に出席し教育行政に関する重要事項等についての審議を行い、また、教育現場の視察、意見・要望等の聴取を行うほか、教育関係の各種行事に頻繁に出席されている。定例会のみならず6回も臨時会を開催されているが、その議案名から教育行政の執行を滞らせないよう迅速さを重んじた委員会活動であることが見て取れる。

また、単なる迅速性を優先するだけではなく、議論内容の深化や活性化を目指した5回にわたる勉強会と年間14回もの学校訪問の回数には驚かされる。この多様かつ活発な活動は、広く市民の意向を反映した責任ある教育行政の実現をめざしている表れであり、このような意欲的な活動を行っている市町村教育委員会は決して多くはないと思う。

教育委員会の活動に関する広報については、ウェブサイトなどさまざまな媒体を駆使して市民への説明責任を十分に果たしている。とりわけ、平成27年度から始まった年3回の「教育委員会だより」については、多彩な内容が掲載されてお

り、表現も市民にわかりやすい。たとえば、11月1日発行第13号には、教育委員会の重点事業である「大牟田英語教育ステップアップ推進事業」の一環である「ジョイフル・イングリッシュタイム」や同じ重点事業である「大牟田学力ブラッシュアップ推進事業」の一環である「チャレンジスクール」の実施報告がなされている。単なる施策や事業の報告ではなく、児童生徒に対する具体的な取組を当日の写真とともに披露していることは、メッセージ性に富む、まさに市民目線の広報の王道といえる。

○教育委員会および市長部局関係分における重点事業について

教育委員会関係分については、平成31（令和元）年度の教育委員会の理念および方針が反映している。予測困難な時代にあってさまざまな課題が提起される社会を首尾よく生き抜く力を身に付け、持続可能な社会を構築できる資質・能力を備えた人づくりをすることが、大牟田市のまちづくりの根幹であるとしている。

平成31（令和元）年度も、SDGs（持続可能な開発目標）に向かう人づくり、すなわち、持続可能な開発のための教育（ESD）をはじめ、大牟田市が先導的役割を果たしてきた英語教育、学力及び体力向上、郷土愛をはぐくむ学習など、各学校が多様な教育活動を展開することができるような事業となっている。知育・徳育・体育のバランスを考慮しつつも、総花的になることを回避している。点検・評価の際においても重点事業に照射し詳細に検討することによって成果や課題が明確となり、事業・取組全体の妥当性や次年度以降の取組みの在り方を検討できる。

「重点事業の取組状況報告書」では、「取組実績」とともに「決算」の項目が設けられており、費用対効果の測定も市民が容易にできるようになっているところは特徴的である。点検・評価の目的が、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政の推進状況に関する市民への説明責任を果たすことであるだけに、さらなる改善に向かい点検・評価を進めていただきたい。

以下、個々の重点事業に対する管見を申し述べる。

I-1 おおむた・みらい・ESD推進事業について

「ESDのまち・おおむた宣言」の制定によってさらに加速化し、SDGsをめざした人づくりに関連する事業が円滑かつ順調に進んでいるという成果が上がっている。指標としてあげている「ESDを通じた地域や世界への貢献の意識」の達成度が年々上昇しているという成果が顕著である。

市民団体や地元企業等との連携を図っていく必要性を課題としてあげていることから、さまざまなライフステージにおいてESDに取り組むことも含め、引き

続きホールシティアプローチによってこれを達成していただきたい。

I-1 人と海と未来をつなぐ海洋教育推進事業について

教科横断的、合科的な性格を有するESDにはさまざまな実践場面があるが、「海を通したESD」と銘打ち海洋教育を推進することは興味深い。大牟田市では三池港や有明海に焦点を当てたESDをこれまで展開してきたことから、この実績をふまえながら今後の事業を展開していただきたい。

I-3 大牟田英語教育ステップアップ事業について

早期より英語教育に目を向け、初等教育において新たな地平を拓いてきた大牟田市には、これまでの実績に基づいたノウハウが蓄積されている。小・中連携のもとで行われる、学習指導要領を踏まえた先進的な英語教育の研究と実践をめざしていることから、これまでの成果の検証を行いながら、引き続き取組を深めていく必要がある。

II-1 大牟田学力ブラッシュアップ推進事業について

各小・中学校に学習サポーターを派遣し、夏季休業期間中に強化学習、放課後等に補充学習を実施するなど、個に応じたきめ細かな指導を展開している。児童生徒一人一人の実態に応じたこのような多方面からのサポートが奏功し、結果として標準学力調査全国平均値を毎年度上回るという成果を上げている。この全体的な底上げとともに、得意教科に焦点を当てた「学びのグランプリ」を設けることによって幅広く学力向上にも尽力している。今後ともこのような多方面からの学力向上の取組を進めていく必要がある。

II-2・IV-1 「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業について

「思いやり・親切」に係る各学校独自の取組や全学校共通の取組に対する支援が継続的に行われている結果、「友だちを大切にす意識」が高まっている。各学校の事情に応じて具体化していく方向性も明らかになっており、グッドプラクティスを市全体で共有しながら、今後も取組を深めていく必要がある。

II-3 子ども大牟田体力検定推進事業について

大牟田市では、知育・徳育・体育のバランスにも意を注いでいる。体力向上に向けては、学校での特色として、「体力向上チャレンジカード」と「検定カード」の全児童生徒への配布など、具体的な取組は有意義である。あらゆる場面において体力向上の可能性があることから、さまざまな行事等を活用しながら今後とも推進していく必要がある。

V-1 人権・同和問題啓発事業について

我が国においては人権・同和問題に対する理解と認識は未だ十分とはいえず、深化と拡充に向けたさまざまな取組が展開されていながらも、意識向上につながらないことが多い。この問題を克服すべく、講演会・学習会に初めて参加する人の割合を高めることに尽力することは、人権・同和問題に対する理解と意識を高める上で効果的である。人権尊重意識の醸成度を指標とし 100%を目標にしたため、本年度も実績は目標を下回ることになったが、100%に設定すること自体に意義があるので、引き続き推進していく必要がある。

市長部局分の事業は、「まちづくり総合プラン」の中で展開されるにふさわしい目的、取組となっている。

2-1・2 通学合宿支援事業について

地域・保護者・学校の理解と協力が不可欠な当該事業は、近年実施が容易ではなくなっているだけに実施校区の減少は、致し方ないといえる。事業の簡素化や事業内容の明確化を図るといった課題も明らかになっていることから、コミュニティの変容に伴い、地域の負担感や不安感を極力減じながら、実効性のある内容を検討していく必要がある。

2-1 子ども読書推進事業について

メディアの多様化に伴って、印刷媒体に限定し、その貸出し冊数の多寡でもって事業の評価をすることは今や妥当ではなくなってきた。ブックスタート事業や中学校読書活動サポーター養成講座など、読書活動の推進に腐心していることが看取できる。ビブリオバトルなどの、読書意欲やリテラシーを高める方法も含め、直接・間接的な環境整備に引き続き努めていただきたい。

2-1 子ども未来デッサン事業について

早期からのキャリア教育の必要性が強調されているなか、社会全体で青少年を見守りはぐくむ環境づくりを真剣に考えている姿がこの事業から見て取れる。13歳のハローワークや小学校6年生の将来の夢、受講した子どものアンケートなどを参考に、様々な観点から6種の職業を選定するなど、工夫もみられる。児童はじめ保護者にも講座の趣旨を理解してもらうために周知の工夫が必要であるとし、民間による類似した事業もあることから納得いく。引き続き児童のニーズとともにキャリア発達を視野に入れた内容や手法を検討しながら推進

していく必要がある。

5-1 多様な学習機会提供事業について

市民の自主的な学習活動を促進する有意義な事業である。行政しかできない有意義な内容が求められるので、学習機会および学習内容について常に検証していく必要がある。多くの市民がインターネットを利用した学習機会を求めるなど、学習ニーズを事業に反映させていくことが必要としていることから、このことに留意し適時適切に事業展開していただきたい。

5-2 生涯学習ボランティア登録派遣事業について

当該事業では、利用者の満足とボランティアの意欲の高まりという成果がこれまで顕著であるが、一方で、高齢化によってメンバーの確保や後継者の育成等が困難な状況が明らかになっている。事業の意義をさらに強調し、引き続き検証を続けながら登録者確保のための方策を検討する必要がある。

7-1 近代化産業遺産活用事業について

近代化産業遺産の価値や歴史を市民等に理解してもらい、これを地域資源としてまちづくりの原動力とする趣旨は賛同できる。そのためには、広報活動や啓発活動などさまざまな取組が考えられるが、イベント等のマンネリ化には留意しながら常に実効性の検証に努めていただきたい。

本稿では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨に則り、事業・取組の内容だけでなく、その点検・評価の手法についても管見を述べた。

以上

資 料 編

〔 歴代教育委員等 〕

1 歴代教育委員

氏 名	期 間
黒 田 潔	S27.10. 5～ 31. 9.30 31.10. 1～ 35. 9.30
藤 津 潔	27.10. 5～ 31. 9.30
米 倉 勇 喜	27.10. 5～ 31. 9.30 31.10. 1～ 34. 4.18
三 島 利 信	27.10. 5～ 31. 9.30
古 賀 初 男	27.10. 5～ 29. 9.30
堀 弘	29.10. 1～ 31. 9.30
湯 村 誠 男	31.10. 1～ 33. 9.30 33.10. 1～ 37. 9.30
水 町 キ ヲ	31.10. 1～ 32. 9.30 32.10. 1～ 36. 9.30 36.10.13～ 40.10.12
川 畑 昭 二 路	34. 5.19～ 35. 9.30
稲 員 鎌 造	36. 3.16～ 40. 3.15
平 木 次 郎	36. 3.16～ 40. 3.15 40. 4.21～ 41.10. 7
近 藤 広 蔵	37.10. 3～ 41.10. 2
古 崎 真 直	40. 4.21～ 41. 8.24
松 本 勇	40.11.13～ 41. 8.24
猿 渡 五 三 郎	41. 8.25～ 44. 4.20 44. 5. 1～ 48. 4.30
藤 田 光 雄	41. 8.25～ 42.10.15 42.12.21～ 46.12.20
小 田 原 武 則	41.10.14～ 45.10.13 45.10.14～ 49.10.13
坂 口 長 一 郎	40.10.14～ 44. 4.20 44. 5. 1～ 48. 4.30 48. 5.15～ 52. 5.14 52. 5.20～ 56. 5.19
清 水 龍 哉	46.12.24～ 50.12.23 50.12.24～ 54.12.23
相 島 壽	48. 5.15～ 52. 5.14 52. 5.20～ 56. 5.19 56. 5.20～ 60. 5.19
永 田 恒 久	49.10.14～ 53.10.13 53.10.14～ 57.10.13
蒲 池 當	56. 5.20～ 60. 5.19
大 隅 一 雄	54.12.24～ 58.12.23 58.12.24～ 62. 4.15
大 久 保 修 吉	57.11.20～ 61.11.19
辻 政 義	62. 7.24～ 62.12.23 62.12.24～ H3.12.23
河 口 政 俊	60. 5.27～ 元. 5.26 元. 5.27～ 5. 5.26
長 島 政 勝	60. 5.27～ 元. 5.26 元. 5.27～ 5. 5.26
圓 佛 洋 右	62. 3.12～H 3. 3.11 3. 3.13～ 7. 3.12 7. 3.13～ 11. 3.12 11. 3.13～ 15. 3.12
蓮 澤 浩 明	3.12.24～ 7.12.23 7.12.24～ 11.12.23 11.12.24～ 15.12.23
山 本 進 一	5. 5.27～ 9. 5.26 9. 5.27～ 13. 5.26 13. 5.27～ 15. 9.30

氏 名	期 間
木 村 和 子	5. 5.27～ 9. 5.26 9. 5.27～ 13. 5.26 13. 5.27～ 17. 5.26
山 本 和 夫	15. 3.13～ 19. 3.12 19. 3.13～ 23. 3.12 23. 3.13～ 27. 3.12 27. 3.13～ 31. 3.12 31. 3.13～
後 藤 和 子	15.10. 1～ 17. 5.26 17. 6. 1～ 21. 5.31
大 平 修	16. 3. 1～ 20. 2.29 20. 3. 3～ 24. 3. 2 24. 3. 3～ 28. 3. 2
古 後 八 重 子	17. 6. 1～ 21. 5.31
池 田 美 子	21. 6. 1～ 25. 5.31
嶋 田 桂 子	21. 6. 1～ 25. 5.31 25. 6. 1～ 29. 5.31 29. 6. 1～
本 山 清 美	25. 6. 1～ 29. 5.31 29. 6. 1～ 30. 5. 31
東 秀 樹	28. 3.22～ 31.3.21 31. 3.22～
笹 井 葉 子	30. 6. 1～

2 歴代教育長

氏 名	期 間
堀 次 助	S27.11. 1～ 31. 9.30
稲 員 鎌 造	31.10. 1～ 34. 9.30
樋 口 種 樹	34.10. 5～ 38.10. 4
安 元 薫	38.11. 8～ 41. 8.24
池 上 尚 司	41. 9. 5～ 44.11.12 44.11.13～ 46. 6. 7
柄 原 秋 雄	46. 7.23～ 48.11.12
池 田 喜 市	49. 3. 9～ 53. 2.26
黒 田 弘	53. 2.27～ 57. 2.26 57. 2.27～ 61. 2.26 61. 2.27～H 2. 2.26
西 田 茂	2. 3.10～ 6. 2.26
荒 木 和 久	6. 3. 4～ 10. 3. 1 10. 3. 2～ 14. 3. 1 14. 3. 2～ 18. 3. 1
宮 田 忠 雄	18. 3. 2～ 22. 3. 1 22. 3. 2～ 26. 3. 1
安 田 昌 則	26. 3. 3～ 27. 3.31 27. 4. 1～ 30. 3.31 30. 4. 1～

3 歴代教育長職務代理者

氏 名	期 間
山 本 和 夫	H27. 4. 1～ 30.3.31 30. 4. 1～

4 歴代教育委員長

氏名	期間
藤田光雄	S44. 5. 1～45. 4. 30
	45. 5. 1～46. 4. 30
坂口長一郎	46. 5. 1～47. 4. 30
	47. 5. 1～48. 4. 30
	48. 5. 21～49. 5. 20
小田原武則	49. 5. 21～49. 10. 13
清水龍哉	49. 10. 16～50. 10. 15
	50. 10. 16～50. 12. 23
	50. 12. 24～51. 12. 23
相島壽	51. 12. 24～52. 5. 14
永田恒久	52. 5. 20～53. 5. 19
	53. 5. 20～53. 10. 13
相島壽	53. 10. 14～54. 10. 13
	54. 10. 14～55. 10. 13
	55. 10. 14～56. 5. 20
永田恒久	56. 5. 21～57. 5. 20
	57. 5. 21～57. 10. 13
相島壽	57. 11. 22～58. 11. 21
	58. 11. 22～59. 11. 21
	59. 11. 22～60. 5. 19
大久保修吉	60. 5. 28～61. 5. 27
	61. 5. 28～61. 11. 19
河口政俊	62. 3. 12～63. 3. 11
長島政勝	63. 3. 12～H元. 3. 11
圓佛洋右	元. 3. 12～2. 3. 11
辻政義	2. 3. 12～3. 3. 11
河口政俊	3. 3. 12～4. 3. 11
長島政勝	4. 3. 12～4. 9. 11
圓佛洋右	4. 9. 12～5. 9. 11
蓮澤浩明	H 5. 9. 12～6. 9. 11
山本進一	6. 9. 12～7. 9. 11
木村和子	7. 9. 12～8. 9. 11
圓佛洋右	8. 9. 12～9. 9. 11
蓮澤浩明	9. 9. 12～10. 9. 11
山本進一	10. 9. 12～11. 9. 11
木村和子	11. 9. 12～12. 9. 11
圓佛洋右	12. 9. 12～13. 9. 11
蓮澤浩明	13. 9. 12～14. 9. 11
山本進一	14. 9. 12～15. 9. 11
木村和子	15. 9. 12～16. 9. 11
山本和夫	16. 9. 12～17. 9. 11
後藤和子	17. 9. 12～18. 9. 11
大平修	18. 9. 12～19. 9. 11
古後八重子	19. 9. 12～20. 9. 11
山本和夫	20. 9. 12～21. 9. 11
	21. 9. 12～22. 9. 11
	22. 9. 12～23. 3. 12
	23. 3. 13～24. 3. 12
	24. 3. 13～25. 3. 12
	25. 3. 13～26. 3. 12
	26. 3. 13～27. 3. 12
	27. 3. 13～27. 3. 31

5 歴代教育委員長職務代行者

氏名	期間
坂口長一郎	S44. 5. 1～45. 4. 30
	45. 5. 1～46. 4. 30
小田原武則	46. 5. 1～47. 4. 30
	47. 5. 1～48. 4. 30
	48. 5. 21～49. 5. 20
清水龍哉	49. 5. 21～49. 10. 15
相島壽	49. 10. 16～50. 10. 15
	50. 10. 16～50. 12. 23
	50. 12. 24～51. 12. 23
永田恒久	51. 12. 24～52. 5. 19
相島壽	52. 5. 20～53. 5. 19
	53. 5. 20～53. 10. 13
永田恒久	53. 10. 14～54. 10. 13
	54. 10. 14～55. 10. 13
	55. 10. 14～56. 5. 20
相島壽	56. 5. 21～57. 5. 20
	57. 5. 21～57. 10. 21
蒲池當	57. 11. 22～58. 11. 21
	58. 11. 22～59. 11. 21
	59. 11. 22～60. 5. 19
大隅一雄	60. 5. 28～61. 5. 27
	61. 5. 28～62. 3. 11
長島政勝	62. 3. 12～63. 3. 11
圓佛洋右	63. 3. 12～H元. 3. 11
辻政義	元. 3. 12～2. 3. 11
河口政俊	2. 3. 12～3. 3. 11
長島政勝	3. 3. 12～4. 3. 11
圓佛洋右	4. 3. 12～4. 9. 11
蓮澤浩明	4. 9. 12～5. 9. 11
山本進一	H 5. 9. 12～6. 9. 11
木村和子	6. 9. 12～7. 9. 11
圓佛洋右	7. 9. 12～8. 9. 11
蓮澤浩明	8. 9. 12～9. 9. 11
山本進一	9. 9. 12～10. 9. 11
木村和子	10. 9. 12～11. 9. 11
圓佛洋右	11. 9. 12～12. 9. 11
蓮澤浩明	12. 9. 12～13. 9. 11
山本進一	13. 9. 12～14. 9. 11
木村和子	14. 9. 12～15. 9. 11
山本和夫	15. 9. 12～16. 9. 11
後藤和子	16. 9. 12～17. 9. 11
大平修	17. 9. 12～18. 9. 11
古後八重子	18. 9. 12～19. 9. 11
山本和夫	19. 9. 12～20. 9. 11
後藤和子	20. 9. 12～21. 5. 31
大平修	21. 6. 1～21. 9. 11
	21. 9. 12～22. 9. 11
	22. 9. 12～23. 3. 12
	23. 3. 13～24. 3. 12
	24. 3. 13～25. 3. 12
	25. 3. 13～26. 3. 12
	26. 3. 13～27. 3. 12
	27. 3. 13～27. 3. 31

〔 機構と職員数 〕

1 機構及び事務分掌

(令和2年3月31日現在)

教育委員会

事務局	総務課	教育委員会会議、規則・規程の制定及び改廃、公印管理、文書の收受及び発送、職員(教職員を除く)の人事・給与及び旅費、職員の研修・福利厚生及び表彰、職員団体その他労務管理、労働安全衛生、教育行政の各種統計調査、事務局及び教育機関の事務の管理調整、公示、教育行政に関する相談に関すること
	学校再編推進室	市立学校の再編の推進、市立学校適正規模・適正配置検討委員会に関すること
	教育みらい創造室	事務局及び教育機関の事務の企画に関すること
	学校教育課	市立学校の設置及び廃止、児童生徒等の入退学及び転校、児童生徒等の就学の免除及び猶予、長期欠席中児童・生徒の調査及び出席の督促、通学区、学級編制、教職員の人事・給与・免許・職員団体・福利厚生・表彰・調査・統計、学校施設の開放(学校体育施設の開放事業に係るものを除く)、学校運営の管理、市立学校通学区審議会、情報管理に関すること
	指導室	学校教育の指導、学校の教科内容、教職員の研修、教科用図書の採択、学校の教材及び教具の指導、児童・生徒の文化体育行事、児童・生徒の学力等の調査、教育研究所の運営についての指導助言、障害児就学指導委員会、いじめ防止対策委員会に関すること
	教育研究所	地域、児童生徒の教育内容及び学習指導並びに教育評価等に関する調査研究、各種調査研究事項の刊行、教育相談事業と研究、資料収集と供覧、研修講座
	ユネスコスクール 支援センター	市立学校におけるユネスコスクールの取組への支援、ユネスコスクール及びESDに関する資料及び情報の収集及び提供、知識の普及及び啓発、ユネスコスクール間の交流に関すること
	学務課	学校基本調査、就学奨励補助金交付の認定、学校給食及び学校保健、児童・生徒及び教職員の健康診断・就学時健康診断、学校環境の衛生管理、児童・生徒の安全及び学校災害共済給付金・給食費及び医療費に係る補助金の交付、学校給食会、学校保健会、学校医・学校歯科医及び学校薬剤師、市立学校結核対策委員会、市立小学校給食調理業務委託者選定委員会、施設の建設計画及び教育財産の管理に関すること
	中学校給食センター	市立中学校において実施する給食の調理及び配送に関すること、中学校給食の調理機器、食器、食缶等の洗浄、消毒及び保管に関すること
人権・同和教育課	社会教育における人権・同和教育の推進に関すること	

市立学校 ——— 小学校19校、中学校8校、特別支援学校1校

市長部局

企画総務部	世界遺産・文化財室	世界遺産、近代化遺産保存活用基金事業補助金審査会に関すること [教育委員会補助執行事務] 文化財の保護及び活用、大牟田市文化財保護審議会に関すること
市民協働部	地域コミュニティ推進課 中央地区公民館 三川地区公民館 勝立地区公民館 吉野地区公民館 三池地区公民館 手鎌地区公民館 駛馬地区公民館	地域住民組織の総合窓口、地縁による団体の認可等に関すること [教育委員会補助執行事務] 社会教育の振興、社会教育委員の会議、社会教育指導員、社会教育計画及び社会教育についての調査等、社会教育施設の管理運営に対する指導助言及び連絡調整、社会教育関係団体の指導育成、地区公民館に関すること
	生涯学習課 文化会館 多目的活動施設 リフレスおおむた 図書館 三池カルタ・歴史資料館	生涯学習推進の啓発及び総合調整、延命庁舎の管理、市民活動の促進、青少年活動の支援、青少年行政の総合調整、青少年問題、少年センター、少年センター専門委員 [条例による移管事務] 芸術文化の振興、文化団体活動の奨励及び援助、文化芸術振興審議会に関すること [教育委員会補助執行事務] 社会教育の振興、社会教育関係団体の指導育成に関すること 大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた、大牟田市立三池カルタ・歴史資料館等複合施設に関すること
	スポーツ推進室 スポーツ施設 延命プール	[条例による移管事務] 社会体育団体の指導育成、市民スポーツの推進及び体力づくり、体育施設及び運動場、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員、スポーツ功労表彰、スポーツ功労表彰審査会、児童及び生徒の体育行事の助成に関すること [教育委員会補助執行事務] 学校体育施設の開放事業に関すること

[職員数]

令和2年3月31日現在

区分	教育長	事務局長	事務局次長	課長(室長)	主幹	主査(館長)	指導主事	社会教育主事	事務職員	技術職員	計	再任用職員	嘱託員	合計
教育長	1										1			1
事務局	事務局長		1								1			1
	事務局次長													
	総務課			(1)		(1)		(1)			(3)			(3)
				2		5	1		4		12		4	16
	学校再編推進室					(1)					(1)			(1)
				1		1					2			2
	教育みらい創造室			(1)				(1)			(2)			(2)
						2	1				3			3
	学校教育課				2	3	3		1		9			9
	指導室				1		3				4			4
学務課				2	1	(1)			4	6	(1)	2	5	23
人権・同和教育課				1	1	(1)			1		(1)			(1)
				1	1	2			1		5			5
教育機関	公民館					7					7		22	29
	教育研究所			(1)							(1)		6	(1)
	中学校給食センター			(1)		(1)			(1)	(4)	(7)			(7)
										2	2			2
	小学校									12	12	4	15	31
	中学校												7	7
特別支援学校									2	2			2	
合計	1	1		(3)	2	(4)	4	(1)	(1)	(4)	(13)	6	59	(13)
	1	1		7	2	20	4		10	22	67	6	59	132

※1 学校再編推進室及び教育みらい創造室は総務課の内数

※2 指導室は学校教育課の内数

※3 教育みらい創造室長、学校再編推進室主査、学務課主査、人権・同和教育課主査の()は事務取扱

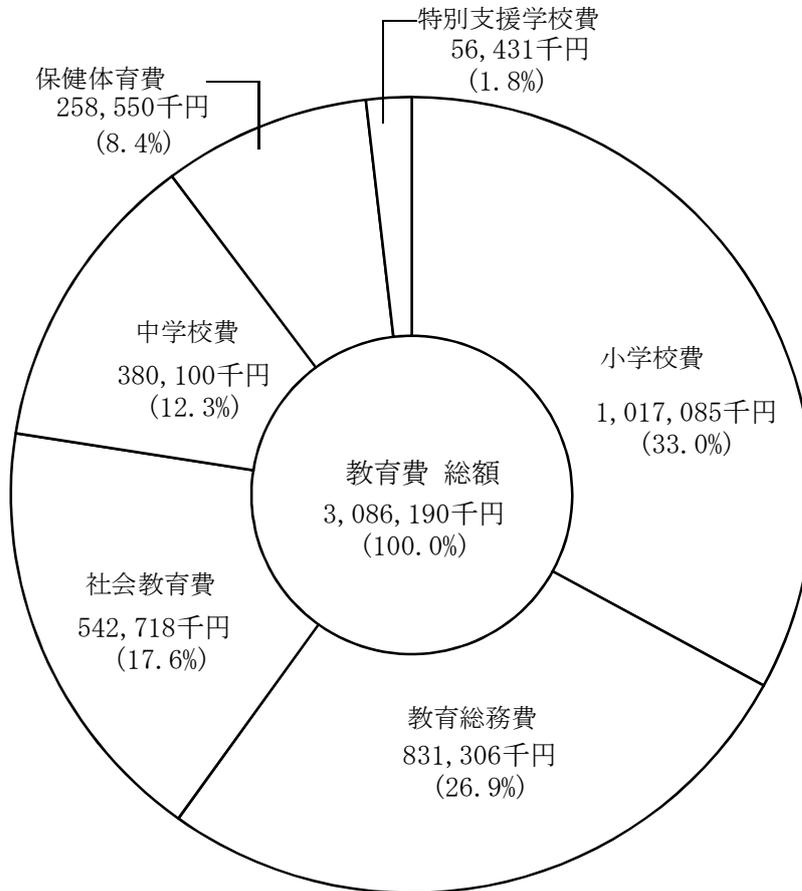
※4 総務課、学務課、人権・同和教育課の()は事務取扱

※5 教育研究所及び中学校給食センターの()は兼務

※6 給食センター給食調理員は学務課技術職員へ含む

教育財政

[令和2年度当初予算]

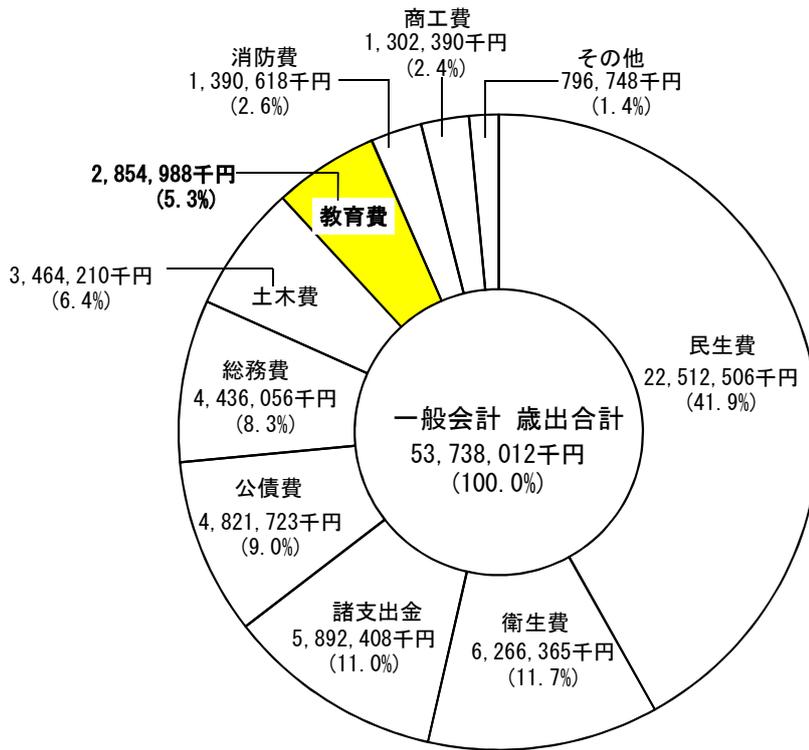


令和2年度大牟田市学校教育振興事業計画重点事業

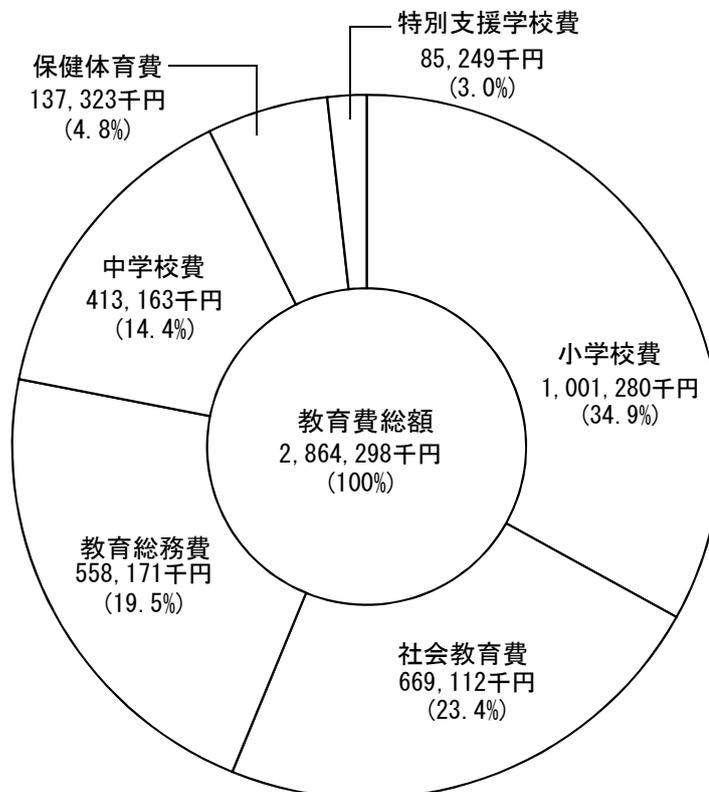
○未来を創るE S D推進事業	2,498 千円
○英語教育のまち・OMUT A推進事業	1,400 千円
○「学びに向かう力」育成推進事業	1,400 千円
○「思いやり・親切」応援隊子どもプロジェクト事業	100 千円
○子ども大牟田体力検定推進事業	152 千円
○人権・同和問題啓発事業	367 千円

[令和元年度決算]

1 一般会計歳出決算（款別）

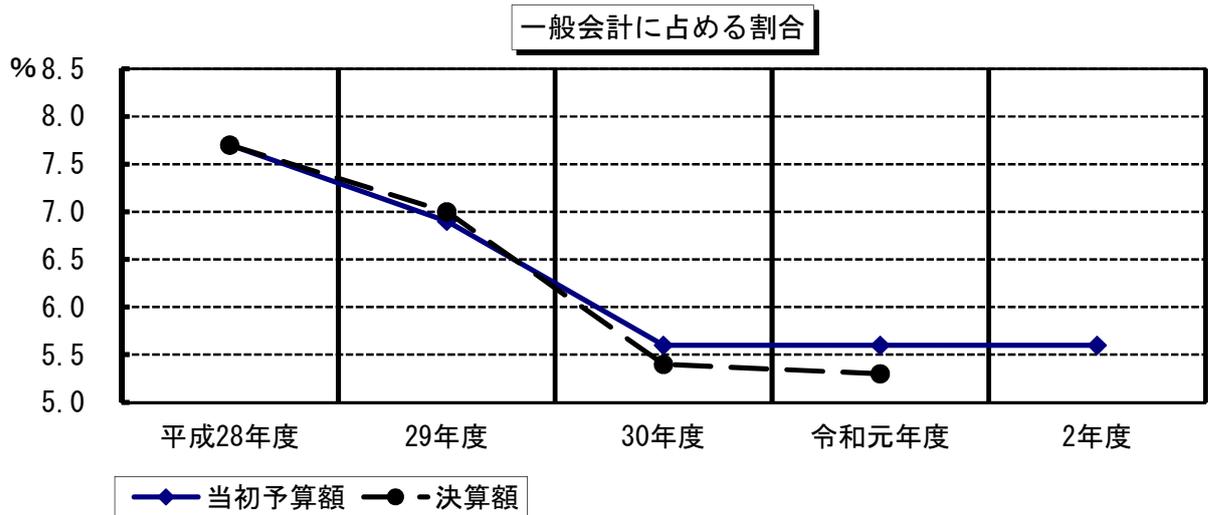
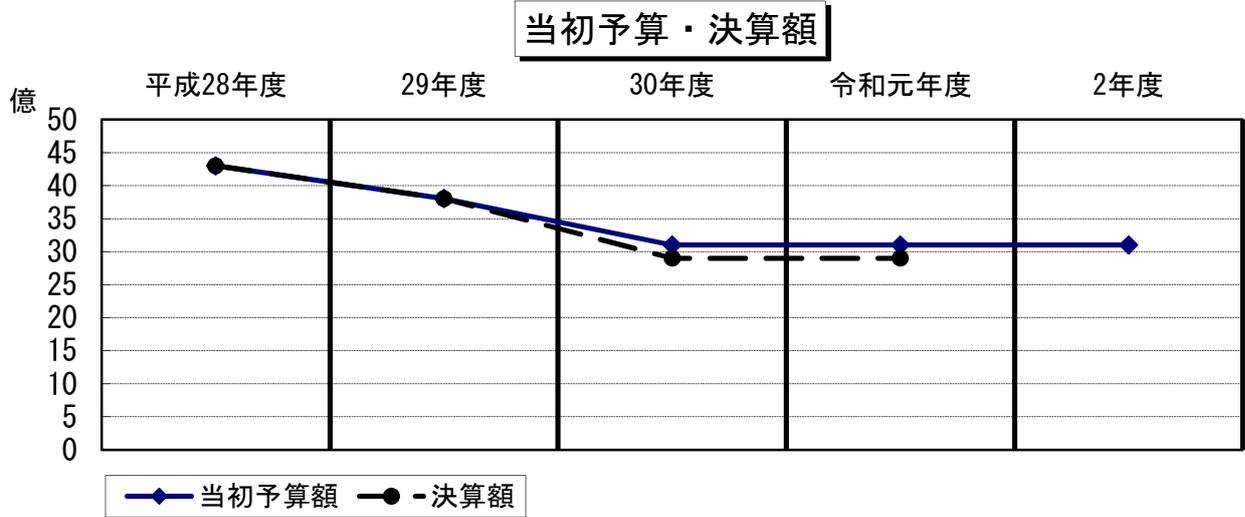


2 教育費歳出決算



〔 教育費の当初予算・決算推移 〕

※決算額には、前年度繰越予算による事業実施分を含む。



項目	平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度
教育費 決算額	4,269,844	3,813,769	2,864,298	2,854,988	
当初予算 (千円)	4,318,876	3,787,628	3,050,486	3,086,963	3,086,190
一般会計 決算額	55,757,144	54,449,063	52,574,570	53,738,012	
当初予算 (千円)	55,950,000	54,840,000	54,480,000	54,970,000	55,450,000
一般会計に 占める割合 決算額	7.7	7.0	5.4	5.3	
当初予算 (%)	7.7	6.9	5.6	5.6	5.6

〔 各種委員会等 〕

令和2年3月31日現在

大牟田市議会市民教育厚生委員会

委員長 塩塚敏郎
副委員長 平山光子
委員 桑原誠
〃 境公司
〃 島野知洋
〃 三宅智加子
〃 松尾哲也
〃 崎山恵子

藤好晴水 教職員
松尾留美子 〃
境智子 〃
金澤礼 〃
西水秀佳 〃
宮本美樹 〃
田中洋子 〃
吉田泉 〃

大牟田市社会教育委員

上田幸子 小学校長会
西田雅子 中・特別支援学
校長会
鶴岡智子 小学校PTA
原田優子 中学校PTA
堺婦小与 子育てネットワーク
野田美智子 市民公募
松尾龍美 体育団体
江崎君子 校区コミュニティ
連絡協議会
江崎美津子 女性団体
後藤和子 文化団体
藤本佐紀子 公民館利用者
岡本光博 〃
柿川和機 市民公募
堺裕 学識経験者

大牟田市いじめ防止対策委員会

堺裕 帝京大学
中尾哲郎 弁護士
辻克郎 専門医
境元弘 人権擁護委員
吉光哲也 教育相談員
北村誠一郎 スクールカウンセラー
新開麗子 児童相談所
高口恵美 スクールソーシャルワーカー
城戸統武 大牟田警察署

大牟田市障害児就学指導委員会

堺裕 学識経験者
辻克郎 専門医
田島重吉 〃
富松健太郎 〃
松尾啓司 〃
上村正行 〃
緒方達也 〃
坂口明夫 心理判定員
山口美里 〃
堀和恵 〃
篠崎友加里 〃
所方敏彦 小学校長
吉田博史 中学校長
古賀秀徳 特別支援学校長
木下智子 教職員
中村多美 〃

大牟田市立学校結核対策委員会

川崎雅之 専門医
菅原謙三 医師会
松尾知幸 〃
武田貞弘 小学校長
竹谷浩明 中学校長
山口弥生 養護教諭
櫛田珠美 〃
矢野周作 保健所長

大牟田市スポーツ推進委員

山田征士 みなと校区
三宅俊之 〃
福山良夫 〃
古賀達也 天領校区
荒木泰 〃
池田康則 〃
内田勉章 駿馬校区
百田浩章 〃
余宮信吾 〃
大石利男 〃
堺美穂 〃
塚本多一 天の原校区
上津原昭一 〃
坂本道治 〃

古田將詞
岩村義男
前山剛
高津康人
古賀正規
杉野知広
高口武士
大曲房代
石原良一
古賀義勝
田崎靖雄
池田正生
久富優生
大崎とめ子
宮地日出丸
野尻司
中山智志
佐藤常春
本田豊秋
坂寺昭
深浦千代子
森田紘知
笹尾泰教
中川清博
佐藤誠子
松尾礼子
藤枝正治
藤間千代志
野田卓朗
松尾英樹
上田勇士
塚本幸子
野田広行
西山治幸
野田哲寛
辻井秀治
平川令子
島野知洋
末藤芳昭

玉川校区
大牟田中央校区
〃
大正校区
〃
〃
明治校区
〃
〃
中友校区
〃
白川校区
〃
〃
平原校区
〃
〃
高取校区
〃
〃
三池校区
〃
〃
羽山台校区
〃
銀水校区
〃
〃
上内校区
〃
吉野校区
〃
〃
倉永校区
〃
〃
手鎌校区
〃
〃

金崎克也
永松均
奥園紀昭
福山穂積
谷口靖宏
萩島弥穂
平井隆弘
葉玉千賀子
平間伸爾
古後八重子
金子福久美

医師会
商工会議所
校区コミュニティ協議会
障害者協議会
右京ふれあい健康クラブ
小学校長会
中学校・特別支援学校長会
高等学校校長会
福岡県職員
市民委員
〃

大牟田市文化芸術振興審議会

齋藤豊治
野中邦敏
深浦洋子
木村法子
堤隆明
梶原伸介
衛藤幸雄
西田雅子
右田忠義
香山眞理子

九州大谷短期大学
大牟田文化連合会
〃
大牟田音楽家協会
大牟田文化会館
三池カルタ・歴史資料館
高等学校校長会
中学校・特別支援学校長会
大牟田クラシックギター
愛好会
市民公募

大牟田市文化財保護審議会

大城美知信
片野博
井形進
江島香
木戸道男

古文書
建造物
仏教美術
近代史
地質

大牟田市スポーツ推進審議会

檜垣靖樹
白石政嗣
江頭信次
杉野健次郎
松尾礼子
黒田洋

学識経験者
体育協会
〃
〃
スポーツ推進委員協議会
スポーツ少年団

〔 市立学校一覧 〕

1 市立小学校

令和2年3月31日

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	みなと小学校	53-6004	56-0914	上屋敷町2丁目3番地1	古賀正広
2	天領小学校	53-6006	56-0912	天領町1丁目145番地1	古賀信弘
3	駛馬小学校	53-6008	56-0901	馬場町17番地	萩島弥穂
4	天の原小学校	53-6009	56-0895	笹原町3丁目116番地	高口直喜
5	玉川小学校	53-6011	56-0885	大字襟野2710番地1	所方敏彦
6	大牟田中央小学校	53-6014	59-0864	笹林町1丁目1番地3	戸塚俊也
7	大正小学校	53-6015	59-0863	大正町5丁目5番地9	松尾博之
8	中友小学校	53-6016	56-0497	中友町1番地20	島津義浩
9	明治小学校	53-6017	59-0859	明治町2丁目21番地1	徳永秀志
10	白川小学校	53-6018	59-0856	中白川町1丁目183番地	原野公輔
11	平原小学校	53-6019	56-9044	平原町333番地	松尾直子
12	高取小学校	53-6020	59-0854	大字歴木1807番地58	古庄健次
13	三池小学校	53-6021	59-0853	大字新町289番地1	城崎清彦
14	羽山台小学校	53-6013	59-0857	大字草木587番地3	山田恵子
15	銀水小学校	53-6022	59-0849	大字田隈239番地	武田貞弘
16	上内小学校	58-0103	50-0497	大字上内1575番地1	上田幸子
17	吉野小学校	58-1037	58-7990	大字白銀967番地17	坂本智典
18	倉永小学校	58-1038	58-7987	大字倉永1307番地	石橋実
19	手鎌小学校	53-6025	59-0848	大字唐船395番地	山崎強志

2 市立中学校

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	宅峰中学校	53-6034	57-7098	右京町1番地	吉田博史
2	宮原中学校	53-6032	57-7094	米生町2丁目26番地	野田環紀
3	松原中学校	53-6035	57-7143	大正町5丁目4番地16	長裕二
4	白光中学校	53-6036	57-7147	椿黒町32番地	坂本美也子
5	歴木中学校	53-6037	57-7164	大字歴木1150番地	平井隆弘
6	田隈中学校	53-6040	57-7169	大字田隈338番地	西田雅子
7	橘中学校	58-0022	50-1359	大字橘664番地1	遠藤雅章
8	甘木中学校	58-0033	50-1373	大字甘木613番地1	竹谷浩明

3 市立特別支援学校

No.	学校名	電話	FAX	所在地	校長名
1	大牟田特別支援学校	56-9671	52-0111	天道町24番地	古賀秀徳

〔市立学校の通学区域〕

平成31年4月1日現在

1 小学校通学区域

学校名	通学区域
みなと小学校	三里町1丁目、三里町2丁目、三里町3丁目、四山町、浪花町、早米来町1丁目、早米来町2丁目、新港町（1、4）、南船津町1丁目、南船津町2丁目、南船津町3丁目、南船津町4丁目、天領町3丁目、樋口町、姫島町、加納町1丁目、加納町2丁目、西港町2丁目（9、23、42～55）、高砂町、三川町2丁目、三川町3丁目、三川町4丁目、三川町5丁目、船津町、船津町1丁目、船津町2丁目、上屋敷町1丁目、上屋敷町2丁目、汐屋町、入船町、藤田町（55の2、56の1、56の3、57、58の1、58の4、59の2）
天領小学校	白金町、長田町、若宮町（駛馬北小学校通学区域以外の区域）、八江町、右京町、田端町、山下町、延命寺町、片平町、三川町1丁目、諏訪町1丁目、諏訪町2丁目、諏訪町3丁目、天領町1丁目、天領町2丁目、西港町1丁目、西港町2丁目（みなと小学校通学区域以外の区域）、新港町（みなと小学校通学区域以外の区域）、千代町、小川町、岬町
駛馬小学校	若宮町（35の1、35の2、36の1～36の3、37の1、37の2、38、39、40の1～40の3、41の1～41の5、42の1～42の4、43、44の1～44の5、45の1～45の3、48、49）、青葉町（天の原小学校通学区域以外の区域）、一部町、黄金町1丁目（上官小学校通学区域以外の区域）、黄金町2丁目、末広町、駛馬町、馬場町、馬込町1丁目、馬込町2丁目、宮原町1丁目、宮原町2丁目、合成町、飯田町、臼井町、臼井新町1丁目、臼井新町2丁目（天の原小学校通学区域以外の区域）、沖田町、神田町、桜町、野添町、藤田町（みなと小学校通学区域以外の区域）、米生町1丁目
天の原小学校	新勝立町1丁目、新勝立町2丁目、新勝立町3丁目、新勝立町4丁目（玉川小学校通学区域以外の区域）、新勝立町5丁目、新勝立町6丁目、笹原町1丁目、笹原町2丁目、笹原町3丁目、下池町、萩尾町1丁目、萩尾町2丁目、東萩尾町、大字勝立（71の6、71の8～71の12、71の15、71の18、71の20、102の2、109の1～109の4、109の9、109の11、109の13～109の25、122の20～122の24、227の2、227の4、227の5）、米生町2丁目、馬渡町、早鐘町、天道町、臼井新町2丁目（81、82、99の1～99の8、102、103の1、103の2、104の1、104の2、105の1～105の4、106の1、107、108の1～108の3、109の1、110、111、112の1～112の3、122～127、128の1～128の7）、青葉町（125の2～125の12、127の4）
玉川小学校	大字勝立（天の原小学校通学区域以外の区域）、大字教楽来、大字櫛野、新勝立町4丁目（3の8～3の25、3の69～3の104、17の1、17の2、20）
大牟田中央小学校	西宮浦町、東宮浦町、上官町1丁目、上官町2丁目、上官町3丁目、上官町4丁目、宮坂町、七浦町、三坑町、花園町、宮山町、真道寺町、黄金町1丁目（219の1、219の4～219の6、236の1～236の6、237の1～237の19、237の26、238の1、238の3、238の4、238の7～238の24）、不知火町1丁目、不知火町2丁目、不知火町3丁目、浄真町、宝坂町1丁目、宝坂町2丁目、一浦町、正山町、昭和町、原山町、築町、上町1丁目、上町2丁目、有明町1丁目、有明町2丁目、常盤町、松浦町、笹林町1丁目、笹林町2丁目、左古町、山上町、一本町、東泉町、曙町、出雲町、谷町、泉町、旭町1丁目、旭町2丁目、旭町3丁目、栄町1丁目、栄町2丁目
大正小学校	小浜町、小浜町1丁目、小浜町2丁目、小浜町3丁目、久保田町1丁目（3、4）、久保田町2丁目、本町3丁目（3、4、5）、本町4丁目、本町5丁目、本町6丁目、大正町4丁目、大正町5丁目、大正町6丁目、松原町（中友小学校通学区域以外の区域）、松原町2丁目（36の16、36の17）
中友小学校	本町1丁目、本町2丁目、本町3丁目（大正小学校通学区域以外の区域）、西浜田町、浜田町、中友町、住吉町、中島町、港町、古町、樋口町、松原町（1、2）、西新町、大正町1丁目、大正町2丁目、大正町3丁目、新地町、久保田町1丁目（大正小学校通学区域以外の区域）

学校名	通学区域
明治小学校	新栄町、明治町1丁目、明治町2丁目、明治町3丁目、北磯町、中町1丁目、中町2丁目、健老町、天神町、浜町、新開町、恵比須町、城町1丁目、城町2丁目、大黒町1丁目、大黒町2丁目、大黒町3丁目、大黒町4丁目、椿黒町（白川小学校通学区域以外の区域）
白川小学校	柿園町1丁目、柿園町2丁目、柿園町3丁目、東新町1丁目、東新町2丁目、通町1丁目（1、2、3）、長溝町、八尻町1丁目、八尻町2丁目、八尻町3丁目、日出町1丁目、日出町2丁目、日出町3丁目、椿黒町（1～7）、浅牟田町、鳥塚町、上白川町1丁目、上白川町2丁目、中白川町1丁目、中白川町2丁目、中白川町3丁目、下白川町1丁目、下白川町2丁目
平原小学校	通町1丁目（白川小学校通学区域以外の区域）、通町2丁目、亀甲町、八本町、大浦町、焼石町、瓦町、龍湖瀬町、亀谷町、稲荷町、平原町、大字歴木（972の1～1024、1807の45、1807の47～1807の49、1807の73～1807の83、1807の86、1807の88、1807の89、1807の112～1807の116、1807の118～1807の120、1807の213～1807の219、1807の296、1807の297、1807の309～1807の311、1807の359、1807の699、1807の863、1807の875～1807の880、1807の921～1807の923、1809、1810の1～1810の6）
高取小学校	大字今山（三池小学校通学区域以外の区域）、大字歴木（平原小学校通学区域、三池小学校通学区域及び羽山台小学校通学区域以外の区域）
三池小学校	大字三池（羽山台小学校通学区域及び銀水小学校通学区域以外の区域）、大字新町、大字今山（1～2278、2359～2851、3271～3387、3424～3484）、大字歴木（44、71～83、126、127、130～139、141の1、142の1、143～143の3、144の1、151～460の21、461～474、484～534、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821）
羽山台小学校	大字三池（1～113、114の2、115～139の3、139の5～140の1、140の3、140の4、141の1、141の3～143、178～202、212、215～555、557の3、562～585、589～603）、大字歴木（460の22～460の24、475～483、916～971）、大字白川、大字草木（銀水小学校通学区域以外の区域）、大字田隈（400～445、746～757、774の2、774の3）
銀水小学校	大字宮部、大字久福木、大字田隈（羽山台小学校通学区域以外の区域）、大字橘（吉野小学校通学区域及び手鎌小学校通学区域以外の区域）、大字草木（110の3、110の6、110の10、110の11、111～114、117、120、128の2、128の8～128の10、129の2、129の6、131の6、131の9、131の13、132の1、132の3、132の8、132の9、132の12、132の13、133～135、137の3～137の5、139の3、139の5、140～303、359の2、360の1、360の4～360の7、361の1～361の3、361の6、361の7、361の9、362の2、362の7、362の8、363の4、363の6～363の8、364の3、364の5、364の8～364の14、1058～1302）、大字吉野（1615～1619、1622～1629、1632、1633、1643～1647、1650、1651、1653）、大字甘木（1～7、12の2、15、17の2、504の2、504の6、533、534、540～543、546、547の2、548、554、558）、大字三池（114の1、114の3～114の9、139の4、140の2、140の5～140の8、141の2、144～148の2、148の4、149～155の2、155の5、155の9～155の16、155の18、155の20、159の2）
上内小学校	大字上内（吉野小学校通学区域以外の区域）、大字四ヶ、四箇新町1丁目、四箇新町2丁目、四箇新町3丁目、大字岩本（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町1丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）、岩本新町2丁目（吉野小学校通学区域以外の区域）
吉野小学校 （次ページにつづく）	大字白銀、大字上内（3430～3668）、大字岩本（2417～2496、2499、2523～2525、2549、2551～2937）、岩本新町1丁目（1、2、7の1～7の7）、岩本新町2丁目（1～3）、大字宮崎（1736～3151）、大字吉野（94～182、548～1093、1094の2、1094の3、1136、1137の1～1137の5、1137の7、1140、1141の1、1145の5、1220の1～1256の1）、大字橘（599の2、600の2～600の6、770～783、

学校名	通学区域
吉野小学校 (つづき)	785の1、785の5、785の8～787、788の1、788の4、788の5、789の3、790の3～790の6、798～834、838～840、845の2～917、918の3～918の6、922の1、923の2、924の1～927、932の1、932の3～934、935の2、935の3、935の6、935の7、936の1、936の3～1574)
倉永小学校	大字倉永、大字宮崎(吉野小学校通学区域以外の区域)、大字吉野(銀水小学校通学区域及び吉野小学校通学区域以外の区域)、大字甘木(614の1～620、622～648、1203の1～1203の45、1203の188、1203の190～1203の200)
手鎌小学校	大字手鎌、大字岬、大字甘木(銀水小学校通学区域及び倉永小学校通学区域以外の区域)、大字唐船、昭和開、大字橘(108、109の1、109の5、109の6)

2 中学校通学区域

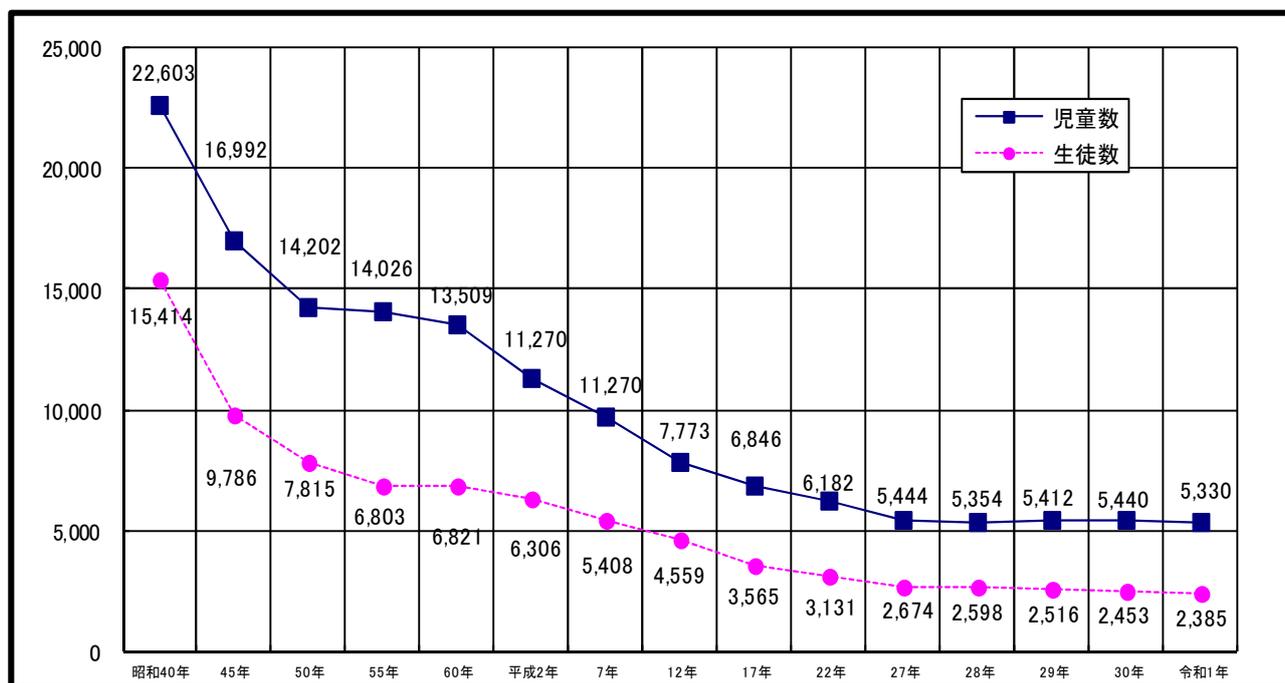
学校名	通学区域
宅峰中学校	みなと小学校通学区域、天領小学校通学区域、大牟田中央小学校通学区域
宮原中学校	駛馬南小学校通学区域、駛馬北小学校通学区域、天の原小学校通学区域、玉川小学校通学区域
松原中学校	大正小学校通学区域、中友小学校通学区域
白光中学校	明治小学校通学区域、白川小学校通学区域
歴木中学校	平原小学校通学区域、高取小学校通学区域、三池小学校通学区域のうち大字今山(297～351、583～789、915～1228、1255～2137、2359～2851、3271～3387、3424～3484)及び大字歴木(484～499、523～525、768～770、773～780、782～915、1025の1～1308、1310～1805、1817の1～1817の6、1820、1821)
田隈中学校	三池小学校通学区域のうち歴木中学校通学区域以外の区域、羽山台小学校通学区域、銀水小学校通学区域のうち橘中学校通学区域以外の区域
橘中学校	銀水小学校通学区域のうち大字宮部、大字橘、大字甘木及び大字吉野、上内小学校通学区域、吉野小学校通学区域
甘木中学校	倉永小学校通学区域、手鎌小学校通学区域

3 特別支援学校通学区域

学校名	通学区域
大牟田特別支援学校	市内全域

〔 児童生徒数の推移 〕

大牟田市立小・中・特別支援学校の児童生徒数の推移（特別支援学校高等部の生徒は除く）



各年5月1日現在（学校基本調査より）

〔 卒業後の状況 〕

1 大牟田市立中学校の卒業後の状況

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等進学者(B)	専修学校等入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以外の者(E)	就職進学者・就職入学者(F)	高等学校等進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
H29	828	803	6	2	17	—	97.0	0.2
H30	894	879	2	2	11	—	98.3	0.2
R元	802	779	1	2	20	—	97.1	0.2

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

2 県下中学校の卒業後の状況（国立・公立・私立）

年度	卒業生総数 (A)	高等学校等進学者(B)	専修学校等入学者(C)	就職者 (D)	B・C・D以外の者(E)	就職進学者・就職入学者(F)	高等学校等進学率(B/A)	就職率 ((D+F)/A)
H29	47,429	46,494	282	222	448	17	98.0	0.5
H30	46,403	45,561	259	134	456	7	98.2	0.3
R元	45,416	44,625	278	142	375	4	98.3	0.3

※A=B+C+D+E-F

※就職率には就職進学者・就職入学者を含む。

〔 学校別児童生徒・教職員数 〕

※ 特別支援学級の児童生徒数は再掲

学 校 名	合 計		1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		特別支援学級		
	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	学級数	児生徒数	
小 学 校	みなと	13	254	2	46	2	47	1	32	2	46	2	40	2	43	2	5
	天 領	19	459	3	72	3	77	3	86	3	85	3	73	2	66	2	9
	駛 馬	14	278	2	41	2	50	2	48	2	44	2	50	2	45	2	5
	天の原	13	255	2	45	2	49	2	38	2	44	2	43	1	36	2	4
	玉 川	7	75	1	7	1	11	1	17	1	10	1	13	1	17	1	2
	大牟田中央	15	406	2	69	2	68	3	74	2	62	2	69	2	64	2	10
	大 正	14	365	2	54	2	62	2	64	2	60	2	62	2	63	2	5
	中 友	6	143	1	29	1	17	1	32	1	19	1	22	1	24		
	明 治	10	209	2	38	1	23	2	45	2	37	2	35	1	31		
	白 川	14	330	2	55	2	56	2	52	2	59	2	53	2	55	2	12
	平 原	8	158	2	37	1	17	1	27	1	29	1	25	1	23	1	4
	高 取	10	219	1	30	1	33	2	41	1	33	2	43	2	39	1	4
	三 池	14	356	2	55	2	50	2	69	2	60	2	54	2	68	2	2
	羽山台	13	317	2	45	2	47	2	48	2	58	2	63	2	56	1	6
	銀 水	20	454	3	78	3	77	3	73	3	78	2	71	3	77	3	8
	上 内	6	62	1	5	1	12	1	10	1	12	1	12	1	11		
	吉 野	16	378	2	53	2	55	2	70	2	67	3	76	2	57	3	7
	倉 永	10	203	2	39	1	29	2	44	1	30	1	25	1	36	2	4
手 鎌	17	409	2	73	2	62	3	74	3	77	2	56	2	67	3	11	
小学校計	239	5,330	36	871	33	842	37	944	35	910	35	885	32	878	31	98	
中 学 校	宅 峰	15	478	5	180	4	131	5	167	-	-	-	-	-	-	1	5
	官 原	10	287	3	104	3	91	3	92	-	-	-	-	-	-	1	7
	松 原	7	197	2	70	2	69	2	58	-	-	-	-	-	-	1	3
	白 光	9	231	3	83	2	70	2	78	-	-	-	-	-	-	2	3
	歴 木	9	228	3	83	2	76	2	69	-	-	-	-	-	-	2	7
	田 隈	16	433	4	147	4	139	4	147	-	-	-	-	-	-	4	10
	橘	10	263	3	91	3	85	3	87	-	-	-	-	-	-	1	2
	甘 木	9	268	3	89	2	81	3	98	-	-	-	-	-	-	1	3
中学校計	85	2,385	26	847	22	742	24	796							13	40	
特別支援 大牟田	小学部	11	45	2	8	1	6	2	8	3	7	2	9	1	7	-	-
	中学部	9	30	3	9	4	2	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-
	高等部	12	42	4	14	4	14	4	14	-	-	-	-	-	-	-	-

県費負担職員													市費負担職員					学 校 名	
計	校 長	教 頭	主 教 幹 論	指 教 導 論	教 諭	助 教 諭	養 教 護 諭	養 助 教 護 諭	栄 教 養 諭	栄 代 理 職 員	講 師	事 務 員	計	函 書 員	給 調 理 食 員	学 管 理 校 員	学 校 書 事 務 員		
20	1	1	1		13		1				2	1	2				2	みなど	
27	1	1	1		19		1		1		2	1	2				2	天領	
24	1	1	1		17			1	1		1	1	2				2	駿馬	
20	1	1	1		12	1	1				2	1	2	1		1		天の原	
12	1	1	1		7		1					1	1				1	玉川	
22	1	1	1		17		1					1	6		4		2	大牟田中央	
22	1	1	1	1	14		1				2	1	6		4		2	大正	
13	1	1	1		7		1				1	1	1				1	中友	
17	1	1	1		10	1		1			1	1	2	1		1		明治	
23	1	1	1		16		1				2	1	2				2	白川	
15	1	1	1	1	7		1				2	1	1				1	平原	
16	1	1	1		9		1				2	1	2	1		1		高取	
22	1	1	1		13	1	1		1		2	1	2				2	三池	
21	1	1	1		14		1				2	1	6		4		2	羽山台	
28	1	1	1		19			1	1		3	1	2				2	銀水	
12	1	1	1		6			1			1	1	1				1	上内	
23	1	1	1		17		1				1	1	2				2	吉野	
16	1	1	1		10			1			1	1	5	1	3	1		倉永	
25	1	1	1	1	18		1		1			1	2				2	手鎌	
378	19	19	19	3	245	3	14	5	5	0	27	19	49	4	15	4	26	小学校計	
33	1	1	2		25		1				2	1	2				2	宅峰	
25	1	1	1		20		1					1	2				2	宮原	
23	1	1	3		15			1	1			1	2				2	松原	
22	1	1	1		16		1		1			1	2				2	白光	
21	1	1	1		12			1			4	1	2	1		1		歴木	
31	1	1	1		24			1			2	1	2				2	田隈	
22	1	1	1		14		1				3	1	2	1		1		橘	
22	1	1	1		16		1				1	1	2				2	甘木	
199	8	8	11	0	142	0	5	3	2	0	12	8	16	2	0	2	12	中学校計	
69	1	1	1		41		2		1		18	4	4	2	2			小学部	特別支援 大牟田
																		中学部	
																		高等部	

〔学校施設一覧〕

校地・建物面積等の状況

令和元年5月1日現在（単位：㎡）

区 分	校地面積		建 物 面 積（文部科学省基準）										プール (M×コース)
	建物敷地	運動場	校 舎			ランチルーム ※1	校舎内の学童 保育所 ※1	食堂	給食室	屋 内 運動場	地域連 携施設	武道場	
			鉄筋	鉄骨	木造								
小 学 校	みなと	6,587	10,600	3,922	680		130			155	919	77	25×7
	天領	5,024	8,639	3,927	53					134	919	180	25×7
	駛馬	8,460	9,440	3,850	59					151	919	180	25×7
	天の原	11,319	13,068	2,788	63	128			270	134	894	180	25×7
	玉川	5,724	6,051	2,849	24	41				142	※3 420		25×6
	大牟田中央	5,859	7,874	4,282	63				510	168	919	135	25×7
	大正	9,853	9,697	4,121	23			86		※3 140	919	270	25×7
	中友	9,030	11,680	4,130				127		150	725		25×7
	明治	7,777	7,085	4,023	53			65		150	919	250	25×7
	白川	11,705	14,692	4,532	53		130	130		170	919	270	25×7
	平原	7,713	8,922	3,522	65	20	130			153	894	250	25×7
	高取	7,011	10,853	4,595	51	62		72		170	※3 626		25×7
	三池	9,334	9,944	4,736	51					168	974		25×7
	羽山台	9,512	10,335	4,111						168	※3 725		25×7
	銀水	10,379	9,514	5,222	51					231	※3 1,055		25×7
	上内	5,486	5,290	1,892					270	112	※3 797		25×7
	吉野	10,206	8,311	3,659	110					168	919	200	25×7
	倉永	7,867	8,176	3,209	17				390	198	919	250	25×6
	手鎌	5,295	9,634	5,059	83					168	1,215	200	25×7
小学校計(19)	154,141	179,805	74,429	1,499	251	390	480	1,440	3,030	16,596	2,442		
中 学 校	宅峰	11,656	21,592	4,724	153					1,142		※4 607	25×7
	宮原	12,598	14,886	4,337	103					981	200	350	25×8
	松原	9,993	9,228	4,821	92					※3 650			25×6
	白光	11,636	15,646	4,609	176	7				981	200	450	25×8
	歴木	13,822	16,370	6,123						※3 1,222	200	350	25×8
	田隈	14,061	12,584	5,695	52					1,519	250	450	25×6
	橘	9,107	10,355	4,372	92	5				※3 650			25×6
甘木	22,401	※5 13,266	4,797	91					1,222	200	350	25×6	
中学校計(8校)	105,274	113,927	39,478	759	12					8,367	1,050	2,557	
大牟田特別支援	17,351	8,400	5,962	358				150	125	※3 747	※2(61)		25×7
合計(28校)	276,766	302,132	119,869	2,616	263	390	480	1,590	3,155	25,710	3,492	2,557	

※1:ランチルームと学童保育所は校舎内にあるが、面積は外数

※4:宅峰中は弓道場を含む。(延命庁舎に隣接)

※2:屋内運動場面積の内数に含む。

※5:甘木中は校庭夜間照明施設(学校開放)あり。

※3:鉄骨造(地域連携施設及び武道場は屋内運動場と同一構造)

(食堂・給食室・屋内運動場で※3以外は主面積が鉄筋コンクリート造)

〔 教育施設一覧 〕

令和2年3月31日現在

施設名 (開館年月)	所在地 電話番号 (FAX)	建物面積 [敷地面積]	施設の主な内容	開館時間	休館日
カルタックスおおむた (平成3年4月)	宝坂町2丁目2番地3	3,764㎡ [4,400㎡]	展示室 開架室、書庫 視覚障害者サービス室	10:00～ 17:00 9:30～20:00 土日祝 18:00	月曜、毎月最終の木曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
三池カルタ・歴史資料館	53-8780 (53-8780)	共有部分 742㎡ 資料館 819㎡			
図書館	55-4504 (43-1167)	図書館 2,203㎡			
中央地区公民館 (平成4年4月)	原山町13番地3 53-1502 (59-0614)	1,567㎡ [1,702㎡]	創作室、視聴覚室、研修室、幼児室 他	9:00～21:30 日曜 17:00	第1月曜、年末年始
三川地区公民館 (平成14年4月)	上屋敷町1丁目12番地3 52-5957 (52-5998)	1,343㎡ [1,386㎡]	研修室、和室、図書コーナー、多目的ホール 他		
勝立地区公民館 (昭和55年6月)	新勝立町4丁目1番地1 51-0393 (43-4053)	972㎡ [2,826㎡]	研修室、和室、料理室、図書コーナー、会議室 他		
吉野地区公民館 (昭和63年7月)	大字白銀781番地3 58-3479 (50-0494)	1,122㎡ [2,452㎡]	研修室、和室、図書コーナー、視聴覚室、会議室 他		
三池地区公民館 (平成4年10月)	大字三池629番地2 53-8343 (43-6814)	1,256㎡ [1,373㎡]	展示ギャラリー、料理室、幼児室、図書コーナー 他		
手鎌地区公民館 (平成5年12月)	大字手鎌1300番地42 56-6008 (56-6824)	1,471㎡ [2,480㎡]	創作室、視聴覚室、図書コーナー、陶芸小屋 他		
駛馬地区公民館 (平成6年12月)	馬込町1丁目20番地1 57-5443 (57-5444)	1,527㎡ [1,910㎡]	創作室、音響室、プレイホール、図書コーナー 他		
多目的活動施設 リフレッシュおおむた (平成11年7月)	大字四ヶ1221番地 58-7777 (41-7300)	2,375㎡ [1.9ha]	キャンプ場、体育館、和室、創作室、研修室、料理室、音楽室、陶芸用窯		
市民体育館 (昭和49年9月)	宝坂町2丁目86番地 53-6003 (59-0186)	6,337㎡ [3,217㎡]	アリーナ、柔道室、剣道室、卓球室(2)、研修室(2)	9:00～21:00	第1・第3火曜、第3水曜、年末年始
御大典記念グラウンド (昭和4年4月)	黄金町1丁目123番地 (問合せ 市民体育館)	486㎡ [25,813㎡]	400mセパレート(8)、フィールド、スタンド、管理棟	8:30～19:00	年末年始
延命プール (平成19年8月)	黄金町1丁目68番地 53-7337	[16,208㎡]	25m、幼児用(2)、ウォータースライダー	10:00～ 18:30	[R元年度開場期間]7月6日～8月31日
延命球場 (昭和32年12月)	原山町200番地 (問合せ 市民体育館)	[19,450㎡]	グラウンド、スタンド、本部諸室	8:30～17:00	年末年始
武道場 (昭和26年5月)	浄真町19番地 (問合せ 市民体育館)	198㎡	柔剣道場	8:30～21:00	年末年始
笹林庭球コート (昭和27年1月)	笹林町1丁目1番地2 (問合せ 市民体育館)	[1,400㎡]	クレーコート(2面)	(4月～8月) 9:00～19:00 (9月～3月) 9:00～17:00	年末年始
諏訪公園 テニスコート (平成11年4月)	岬町5番地3 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[8,400㎡]	砂入り人工芝コート(6面)	8:30～21:00	年末年始
手鎌北町公園 テニスコート (平成13年4月)	大字手鎌1520 (問合せ 緑地運動公園 51-5744)	[2,800㎡]	全天候型コート(4面)	(4月～8月) 8:30～18:30 (9月～3月) 8:30～17:00	年末年始
第二市民体育館 (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	2,194㎡	アリーナ、柔道室、剣道室	9:00～21:00	第1・第3火曜、第3水曜、年末年始
第二グラウンド (平成19年2月)	黄金町1丁目111番地 (問合せ 市民体育館)	[5,100㎡]	グラウンド	9:00～19:00	年末年始
教育研究所 (昭和30年10月)	黄金町1丁目34番地 52-5845	269㎡	研究室、図書室、資料室、会議室		

〔社会教育施設等の状況〕

《地区公民館》〔地域コミュニティ推進課〕

公民館は、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、公民館事業の基本方針に基づき、学習活動の支援・推進、地域活動の支援・推進、ボランティア活動の支援・推進の3つの柱の事業を実施しています。

1 全館合同事業（7地区公民館が合同で取り組む事業です。）

事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
生涯青春まなびの扉	<p>高齢者の学習機会及び学習成果を生かした活動の機会や、心と身体健康づくりの機会を提供することで、高齢者の生きがいがづくりと社会参加の促進を図るとともに、介護予防の取組みを推進する高齢者生きがいがづくり社会参加促進事業を実施しました。</p> <p>具体的には、高齢者のボランティアを養成する「ボランティア塾」、公民館で活動しているサークルやボランティアが講師を務め、高齢者が学ぶ「シニアデビュー塾」、高齢者等が教え一般成人が学ぶ「マナビ塾」、心と体の健康づくりを学び介護予防につなげる「健康アップ塾」を各地区公民館において開講しました。</p> <p>また、学習成果の発表のため、2月に各地区公民館での作品展示のほか、大型商業施設において、7館合同展示発表・体験会の開催と各会場を廻るスタンプラリーを実施しました。</p>	ボランティア塾 4講座	65
		シニアデビュー塾 4講座	58
		マナビ塾 4講座	61
		健康アップ塾 3講座	53
		展示発表 1回	合同展示・ 発表会 約250

※ 青少年の体験活動の充実を図るためカヌーふれあい事業として毎年実施する子ども体験活動事業・自然を楽しもう！カヌーデー及びボランティア養成講座・カヌーサポーター養成講座は、カヌー倉庫の建替えのためR元年度は中止としました。

2 各館共通事業（7地区公民館が実施する事業のうち共通の事業です。）

(各館共通)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
学習活動の支援・推進	就学前子育て講座	小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、入学説明会の機会に家庭教育のあり方やしつけについて子育て講座を実施しました。	19講座 (19校区)	—
	文化祭	サークル会員が日頃の学習活動の成果を発表する場を設け、会員の励みとし、併せて地域住民や地域団体等との交流を図りました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、吉野地区公民館の「花と緑の文化祭」は延期としました。	6回 延期 1	13,245

(各館共通) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
学習活動の支援・推進	ロビー展	サークルや地域の人たちの作品等の展示やコンサートを行い、地域の交流の場としての利用促進を図りました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、このほか駿馬地区公民館で予定していたロビーコンサートを中止しました。	59回 中止 1	—
地域活動の支援・推進	公民館（地域）だよりの発行	町内公民館等と連携し、地域や公民館の情報を掲載した公民館（地域）だよりを発行しました。	29回 (37,290部)	—
その他	公民館運営委員会	地区公民館の円滑な運営を図るため、地域住民等の意見を聞きました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年間2回開催を予定していた中央、三川地区公民館については、3月実施予定分を中止しました。	7回 2回中止	—

3 中央地区公民館

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)	
学習活動の支援・推進	(一般成人講座) オイル de 健康 簡単料理講座	油（オイル）は太る、コレステロール値が高くなるなど、油（オイル）＝悪のようなイメージが根強くあります。摂りすぎれば肥満を招き、生活習慣病の原因にもなりますが、控えすぎると免疫力の低下や、肌の乾燥などの原因になります。私たちにとって、油（オイル）は、炭水化物やたんぱく質と並ぶ大切なエネルギー源であり、血液や各種ホルモンの原料となっています。また、近年、オリーブオイル、エゴマ油、亜麻仁油など様々な油（オイル）は、「生活習慣病予防に効果的」「アレルギーの抑制」「認知機能の向上」など多岐にわたる効果があると注目され始めています。 そこで、様々な油（オイル）の特性や効果など正しい知識を習得し、健康な身体づくりの一助となる美味しくかつ手軽に作れる料理講座を実施しました。	3回	60	
	づくり子どもの居場所支援事業	なかよし広場文化サークル	公民館施設を子どもの居場所として「なかよし広場」文化サークル実行委員会への支援を行いました。	12回	子ども 149 ボランティア 98

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(子ども体験活動事業) わくわく子ども教室 ～夏休みわくわくも のづくり講座～	<p>ものづくり体験を通して、子どもたちがその楽しさを知り、意欲の向上を図り、興味や関心、好奇心を引き出すきっかけとなるように、電子部品を使った工作に取り組む「ものづくり」の体験講座を実施しました。</p> <p>また、コミュニケーション力を育成するために、学年の異なる子どもたちや、地域における様々な人との関わりを持つようにしました。</p> <p>また、受講しやすいように、中央地区公民館の担当する5つの小学校に出向き、講座を実施しました。</p>	5回	71
	(一般成人講座) 季節のリースづくり 講座	<p>季節ごとに、その季節を感じて楽しむイベント（ハロウィン、クリスマス、お正月など）があります。イベントごとに自分で心を込めて手作りしたリースを玄関や部屋に飾ることで、より季節を楽しむことができ、生活を豊かにすることを目的としました。また、夜の講座を実施することで、忙しい世代にも生涯学習を始めるきっかけとなりました。公民館を利用したことのない人や知らない人にも今回公民館を利用することで、公民館はどのようなところなのか知っていただくことができました。</p>	3回	44
	サークル社会参加促進事業	<p>研修会等の実施によりサークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。</p> <p>○第1回（交通安全講習会） ○第2回（防犯講習会）</p>	2回	78
	生涯青春まなびの扉 (シニアデビュー塾) 手ぶらで OK!! 今からはじめる絵手紙講座	<p>シニア世代の方が、季節の花や野菜など生活の中にある身近なものを題材にして気軽に絵を描くことに親しみ、各人の豊かな感性を引き出し、絵手紙づくりに喜びを感じ、さらに、共通の学びから生まれる交流が図られることを目的として実施しました。</p>	5回	73

(中央地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	生涯青春まなびの扉 (ボランティア塾) 「おとなの居場所」- レクリエーションを 通しての仲間作りと ボランティア活動を 目指す講座-	レクリエーションとは、仕事・勉強などの肉体的・精神的疲労をいやし、元気を回復するために休養を取ったり娯楽を享受することです。講座では様々なレクリエーション活動を体験してもらい、学んだことを生かして、高齢者や子どもたちなどを対象とする施設(老人ホーム、学童クラブ等)を初め、様々な場所で活動を行い、レクリエーションの元気を回復するという趣旨のもと、地域の活性化に努められるように実施しました。	7回	70
地域活動の 支援・推進	〔中友校区〕 中友校区の地域 づくりについて 考える	現在17校区でまちづくり協議会が結成されていますが、中友校区は町内公民館連絡協議会として活動されています。校区まちづくり協議会制度について仕組みを正しく理解することで、中友校区のあり方について考える機会となるように実施しました。	2回	14
	〔大正校区〕 交通事故のない 地域をつくら う～歩行環 境シミュレー タわたりジョ ーズ君体験!! ～	大正校区内では、2年連続で高齢者の交通死亡事故が発生しています。高齢者が多く集まる「大正カフェ」内に体験型の交通安全講習会を実施し、加齢に伴う身体機能の変化や車の速さを理解してもらうことで、無理な道路横断の危険性や交通安全について再度認識し、大正校区住民（主に高齢者）の交通事故防止につなげ、交通事故のない地域を目指すために実施しました。 ※大正カフェとは、毎月1回（第4日曜日）大正校区コミュニティセンターで開催されるカフェです。大正校区住民なら誰でも申し込みなしで参加することができ、お茶やコーヒーを飲みながら楽しくおしゃべりができます。高齢者を中心に憩いの場となっています。	1回	30

(中央地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
		[平原校区] 『安全のお話』	まち協総会で「防災だけでなく、防犯にも力を入れてほしい」との発言があり、館長会・役員会などで協議し、令和元年度は防犯に関する講座を実施することになりました。講話を中心に護身術を参加者に体験してもらい、地域の防犯対策の向上に少しでも役立つような講座を実施しました。	1回	30
ボランティア活動の支援・推進	(子ども体験活動事業) 交流教育地域推進事業 ふれあい共室		<p>障害のある子どもと、障害のない子どもがボランティアと交流しながら、水遊びや音楽会、芋ほり、クリスマス会などの活動を行い、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育てています。</p> <p>また、参加したボランティアが活動の意義を認識し、それぞれ居住する地域で主体的に活動していくことにより、共に生きていく地域社会の形成とボランティア活動の拡大を図りました。</p> <p>クリスマス会については、高校生ボランティアが自ら企画立案し、運営を行ったことで、一つのことをやり遂げる体験をし、仲間意識や達成感を得ることができました。</p>	事前研修 1回 保護者との懇談会 1回 定例会 8回	子ども 135 ボランティア 156 保護者 48
	視聴覚ボランティア団体支援事業	土曜ふれあい映画会 (中央)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に子どもの居場所において、16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	11回	子ども 34 大人 19 ボランティア 26
		日曜ふれあい映画会 (他館)	視聴覚ボランティアが、主に小学生を対象に各地区公民館を巡回し 16ミリフィルムやVHSなどを使い、道徳や交通安全などに関する映画の上映会を開催しました。	11回	子ども 29 大人 14 ボランティア 21
		健康映画会 (デｲｰﾋﾞｽ)	視聴覚ボランティアが、高齢者施設や地域のサロンなどで健康に関する映画の映写会を開催しました。	10回	大人 228 ボランティア 23
	地域ふれあい映画会 (学童等)	学童保育所・学童クラブ・子ども会等の要望に応じて映写会を開催しました。	10回	子ども 332 大人 23 ボランティア 19	

4 三川地区公民館

(三川地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
学習活動の 支援・推進	(家庭教育講座) ①子育て世代の HAPPY マネー講座 ②親と子のマネー講 座 with 手形アート	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の出張出前講座をはじめて利用したが、乳幼児の保護者向け講座終了後には、受講者の相談にすぐ対応され、また小学生の親子の講座は和やかな雰囲気で開催を行うことができました。 ・アンケートでは8割の受講者がこの講座は参考になったとの回答を得ることができ、アンケートの記述欄にも「お金について勉強するきっかけになった」「また機会があればマネー講座の内容をさらに深く知りたい」という感想が多く、有意義な講座となったことが伺えました。 ・料理講座は同じ年代の子どもを持つ母親同士、会話も交えて調理したことでその後のランチ会も班ごとにしっかり交流ができていたようです。 	2回	37人
	(家庭教育講座) 親子リズム遊び	親子の直接的なスキンシップやコミュニケーションを取ることで、子育てへの効果が期待できることから、天領保育所と共催で、親子で楽しめるリズム遊びを行い、親子の絆を深めました。(7月は大雨で中止となり、12月の開催だけとなりました。)	1回	13組 27人
	子どもの居場所 づくり支援事業 友・遊広場	公民館施設を子どもの居場所として毎週土曜日に開放し、友・遊広場見守り隊への支援を行いました。	23回	子ども 401 ボランティア 111
	(子ども体験活動事業) 2019子どもバージョン アップ体験講座	健全な青少年の育成を図る目的から、夏休みと冬休みを利用して、異学年の子どもたちや地域の大人たちとふれあいながら、多様な価値観に触れ、感じ、考え、行動する様々な体験学習として、子どもバージョンアップ体験講座を実施しました。自分の作品の展示など学んだことを発表する機会を設け、自分に自信を持ち、挑戦する力を養うことができました。	36回	子ども 666 ボランティア 141
	(一般成人講座) 「のど」は健康の玉 手箱講座	<p>歌や嚥下体操をすることで「のど」を鍛え、健康寿命をのばすことや声の若返りを図るとともに受講者自身だけではなく、親の介護にも役立つ口腔ケアや誤嚥、飲みこみにくい食べ物などについて学び、生かしてもらうことを目的としました。</p> <p>受講者同士の交流を目的に豊かで健康的な生活を送ることを目指し、サークルとしても立ち上げることができました。</p>	5回	67

(三川地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	生涯青春まなびの扉 (マナビ塾) 初心者の方にだって 出来る！健康ダンス で介護予防！！	ダンスは高齢者の転倒予防、認知症予防に 適した運動と言われ、特にこれまでに運 動経験が少なく、身体機能が低い高齢者 にも適している運動だと言われています。 ダンスを通して日常的に楽しみながら運 動をし、健康的な生活を送ることを目的 としました。講座終了後はサークルを上げ 定期登録サークルで活動されています。	5回	111
	生涯青春まなびの扉 (ボランティア塾) こねこね♪ふわふわ 大人の手作りパン講 座	まなびの扉で平成27年度に立ち上がった サークルが学んだ成果を活かして、高齢 者にパン作りの技術を教え、またボラン ティアスタッフと関わっていくことの楽し さを体験することを目的としました。 受講者とサークルの交流を通して講座 終了後、サークル加入につながることが できました	5回	72
	サークル社会参加促 進事業	サークルの自主運営の向上、社会参加、 社会貢献等の促進を目指すために研修等 を行い、活動の場を広げ、より質の高 いサークルとなるよう支援しました。 ○研修会等 ①「防災研修会」 ②「春待ちコンサート」	2回	271
地域活動の 支援・推進	TOKYO2020 を みなと校区から 盛り上げよう！東京五輪 音頭 2020 “歩く”を見 直しませんか 講座	東京五輪音頭のリメイク版を練習するこ とで、東京オリンピック・パラリンピック を盛り上げるとともに、地域の交流を図 りました。また、運動の基本である「歩 く」に着目し、正しい歩き方の指導を受 け、健康増進を目的に講座を実施したこ とで受講者の健康への意識が高まりました。	1回	31
	地域力ア ップ支援 事業	私達に出来る 心のバリアフ リーと地域の 取り組み！	天領小学校と同校区まち協との連携のも と、障害者トップアスリートを招き、講 話を聞き、直接的なふれあいを通じて、 地域の障害に対する理解を深め、関わり 方を学ぶとともにまちづくりにも活か していくことを目的に開催しました。 様々な人とのつながりの中で、1人では 出来ないことはみんなで助け合い、また 相手に対しできることがあればやって あげるという講師の思いは地域での共 助や一体感を醸成し、地域力の向上に つながりました。熱心に聞き入ってい る子ども達と、地域の皆さんが同じ 思い、感動を共有できたことでこれか らの関わりの中でも共通の話題がも てたことは大きな成果だといえます。	1回

5 勝立地区公民館

(勝立地区)区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者(人)
学習活動の支援・推進	づくり子どもの居場所支援事業	勝立地区アンビシャス広場	地域の大人が見守り子どもが安心して遊べる環境をつくるため、公民館施設を子どもの居場所として毎週土曜日に開放し、アンビシャス広場委員会への支援を行いました。	40回	子ども 377 ボランティア 179
	(子ども体験活動事業) 勝立キッズランド		エコをテーマに、子どもたちが地域の自然を活用した野外体験やエコ素材を使った工作、料理実習に取り組む中で、環境の問題を自身の生活と結び付けて何が出来るのかを考え、行動し解決できるようになることを目的に開催しました。また、違う学校や学年の児童、地域の方との交流を通して、協調性や社会性を育みました。	5回	88
	(一般成人事業) 大切な思い出の残し方 フォトムービー講座		スマートフォンやデジタルカメラで撮影した写真の整理方法、またその写真データを利用してパワーポイントに搭載されたムービー作成機能を学習することを目的としたパソコン講座を開催しました。講座終了後、受講生の制作したオリジナルムービーを11月9・10日の地区公民館文化祭で上映しました。	4回	45
	サークル社会参加促進事業		サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 「公民館とサークル活動(講演)」 「わたりジョーズ君」で安全について学ぼう!	1回	30
	生涯青春まなびの扉 (シニアデビュー塾) 「お茶に親しむ」 茶道入門講座		基本の作法やお点前を学習し、茶道に親しみ、興味を広げることで今後の生きがいづくりと認知症予防を目的に講座を開催しました。講座終了後、茶道サークルの「清和会」が発足しました。	5回	73
	生涯青春まなびの扉 (ボランティア塾) ～心を届ける～ 絵手紙ボランティア講座		社会や地域で生きがいを持って生活していくため、一歩外へ出てボランティア活動を始めらるきっかけづくりとなる「絵手紙ボランティア講座」を開催しました。学校ボランティア体験では子どもたちとの交流も図りました。	7回	104

(勝立地区)区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者(人)
地域活動の支地域活動の支援・推進	地域力アップ支援事業 〔天の原校区〕 防災から考える地域ネットワーク作り「天の原校区防災訓練」	天の原校区の防災力の向上を図るため、町内公民館長、自治会長、民生委員・児童委員や福祉委員等を対象に、災害時における警戒レベルに応じた適切な行動と避難訓練の実技を学ぶ講座をワークショップ形式で開催しました。	1回	61
	〔天の原校区〕 広報力アップ講座 ～お悩み解決編～	広報部員全員で編集作業に参加できる体制作りを目的に、広報紙作成に効果的な手法や技術を学ぶ講座を開催しました。	2回	12
	〔玉川校区〕 防災から考える地域ネットワーク作り「知る！学ぶ！防災講座」	玉川校区における防災に関わるリーダーの育成を図るため、地域防災のリーダー的役割を持つ町内公民館長を対象に、災害時の初動対応や災害に対する備え等について認識を深める講座を実施しました。	1回	14
ボランティア活動の支援・推進	心を届ける 絵手紙ボランティア養成講座	相手を思う心を届ける絵手紙は、もらった人の励ましになります。宮原中学校の生徒を対象に、絵手紙の基礎を学び「天の原校区福祉のつどい」に招待される高齢者にメッセージを届けるボランティア講座を開催しました。絵手紙ボランティアの活動を行うことで、地域のつながりや関係性の大切さを実感してもらいボランティア活動の促進を図りました。	1回	21
	心を届ける～絵手紙ボランティア交流会	毎年恒例玉川校区の「親子福祉餅つき」において校区内の独り暮らしのお年寄りの家を訪問し、安否確認と共に餅と励ましのメッセージを届ける玉川小学校5年生に絵手紙を教えるボランティア活動を実施しました。絵手紙ボランティアの活動を行うことで、地域のつながりや関係性の大切さを実感してもらい、ボランティア活動の促進を図りました。	1回	10
	地域団体連携事業	天の原校区と玉川校区の二校区住民のふれあい、連帯意識の醸成、青少年の健全育成及び地域の活性化を図るため勝立大蛇山まつり実行委員会の取り組みを支援しました。 ○勝立大蛇山まつり	1回	3,500

6 吉野地区公民館

(吉野地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
学習活動の 支援・推進	づくり 子どもの 支援 事業 居場所	吉野ふれあい 広場	公民館施設を子どもの居場所として、毎月1回、土曜日に開放するとともに、吉野校区子どもの居場所委員会の事業の支援を行いました。 ※3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	11回	子ども 285 ボランティア 89
学習活動の 支援・推進	(子ども体験活動事業) おもしろチャレンジ 友・遊・塾 ～宿題！体験！工 作！夏休みは、公民 館に集まろう！～		小学生を対象とし、異なる年齢の子どもや高校生、大人世代との交流により、豊かな人間性と社会性を育むことを目的として、「宿題おたすけ塾」、「書道教室」、「ヒップホップダンス」、「サークル体験」など様々な内容で実施しました。	24回	232
	(子ども体験活動事業) わくわく！ドキド キ!!レッツダンス！		小学生を対象に、高校生ダンス部員が企画、自分たちで振付を考え、小学生とコミュニケーションを取りながらダンスを指導し、「ダンスチャレンジおおむた」ダンス大会へ出場しました。 高校生は教えることの楽しさや難しさ、小学生はダンスが踊れるようになる楽しさや喜びを体験することができました。	5回	小学生 64 高校生 51
	(一般成人事業) 基礎からはじめるス マホ講座		スマートフォンの基本操作からアプリのインストールなど、スマホの初心者を対象として、日常生活での活用に繋がる内容で実施しました。 地域から要望も多く寄せられており、要望に応えるためにも、吉野・上内・倉永3校区の住民限定で実施しました。	5回	44
	(まちの政治を見つめよ う学級) 3億秒後の未来 ～いま、自分にでき ることから～		指導学級の2年目となる元年度は、SDGsの視点も取り入れながら「地域の課題」に重点を置き、自分たちが住むまちで、みんなが安心して暮らすためには、どんなことをすべきか考えることを目的として、公開講座『目からウロコのまちづくり』講演会や、北九州市の楠北自治区会への視察研修、ありあけ新世高校生との座談会などを実施しました。 講座終了後は、自主学級『吉野あけぼの会』が立ち上がりました。 ※指導学級とは、選挙管理委員会の依頼を受け、地区公民館が、講座の企画・運営を行うもので、2年間かけて自主的学習ができる自主学級へと指導・育成するもの。	6回	125

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	サークル社会参加 促進事業	サークル会員を対象として、研修会等を実施し、生涯学習の推進とサークル活動の活性化を図りました。 ①講演会 (ニセ電話詐欺に気をつけて) ②救急法講習・消防避難訓練	2回	①38 ③ 27
	サークル体験事業	サークルの社会参加の促進を目的として、一般成人を対象としたサークル体験事業を実施しました。 ・春のサークル体験 ・秋のサークル体験	2回	春 15 秋 2
	生涯青春まなびの扉 (健康アップ塾) ココロとカラダが喜ぶ！みんなでワイワイ(薬膳・野菜)スイーツ講座	毎日の食事にプラスして、ホッと一息つけるのがお菓子。自分の体と向き合い、日々体の中からきれいになる薬膳と、季節の野菜を使って、仲間と一緒に手軽にお菓子作りを楽しむことを目的として実施しました。 講座終了後は、サークルが立ち上がりました。	5回	55
	生涯青春まなびの扉 (マナビ塾) 花で部屋をオシャレ空間に！フラワーデザイン講座	毎日の生活の中で、癒しや潤いを与えてくれる四季折々の花々は、オシャレなインテリアの一つとしても親しまれています。 スワッグ、ハーバリウムなどオシャレなインテリアとしても活用できるものを作ることで、感受性や美意識、創造力を高め、受講生同士の交流の場とすることを目的に実施しました。 講座終了後は、サークルが立ち上がりました。	5回	44
地域活動の 支援・推進	地域力 アップ 支援事業	上内校区では、平成 28 年度に図上訓練を、平成 29 年度に図上訓練を踏まえた避難訓練を実施しました。この 2 階の訓練を基に、平成 30 年度に、一人ひとりの避難場所と避難のタイミングについて、再度検討を行いました。 R 元年度は、これまでの取組みを踏まえて、大雨・洪水時を想定し、上内小学校を最終避難場所として、避難所設営・運営までの訓練を実施しました。	1回	240

(吉野地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	吉野校区イベントもりあげ隊スタッフ募集プロジェクト	地域での若い世代の人材発掘や育成が課題となっていることから、H29年度から吉野小学校の保護者の方を対象として、地域の主な行事の実施に対して協力者を募り、地域の方との交流や、地域活動への理解を深めていただくことを目的として実施しています。	3回	27
	「吉野さくら絆プロジェクト」支援	吉野小学校の5年生が取り組む「吉野小桜プロジェクト」を応援するために、H29年度、吉野校区に設立された「吉野さくら絆プロジェクト」の活動を支援しています。 R2年1月28日、白山神社で桜の苗木の植樹が行われました。	6回	—
	倉永校区五者連携教育講演会	倉永校区の子どもから大人までを対象に、「地域で子どもを育てる意識」の醸成を図ることを目的とし、橘中学校ブラスバンド演奏と、ワンライフプロジェクトによる朗読会を開催しました。(倉永まち協、社協、倉永小PTA、倉永小、吉野地区公民館の共催事業)	1回	約400

7 三池地区公民館

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
学習活動の 支援・推進	(家庭教育講座) 思春期講座～子どもたちの未来のために大人ができること～	思春期の子どもをもつ保護者を含めた大人を対象に、思春期の子どもを取り巻く環境や悩みを学び、子どもたちの明るい未来のために大人ができることを考える機会を提供する講座を実施しました。 思春期の子どもが個性を發揮できるよう、大人が子どもとの向き合い方を学ぶとともに、前向きに子育てしようとする機運を醸成しました。	3回	96
	(一般成人事業) 歴史講座「みいけ『藩境』探訪」	三池藩と柳川藩の境である「藩境」について学び、郷土愛の醸成を図りました。実際に三池藩と柳川藩の藩境を歩き、その付近のお寺を巡り、藩境MAPを作成しました。	5回	107
	子育てふれあい広場 「じゃじゃり子み～け」	親子が自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第2～4月曜日(月3回)に地区公民館の一室を開放し、ボランティアスタッフとともに、ふれあい広場「じゃじゃり子み～け」を開催しました。	25回	保護者 194 子ども 221 ボランティア 97

(三池地区) 区分	事業名		事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	づくり 子どもの 支援 事業 居場所	三池みんな の広場	公民館施設を子どもの居場所として毎月第2土曜日に開放し、実行委員会への支援を行いました。	11回	子ども 217 ボランティア 101
		高取みんな の広場	子ども達にとって最も身近な場所である通いなれた小学校で、月1回開設されている子どもの居場所を支援しました。	8回	子ども 239 ボランティア 161
	(子ども体験活動事業) 夏休み!子どもサークル体験		子ども達が様々な体験活動を通して、学ぶ意欲やより豊かな知識を深めるきっかけとするとともに、異世代の人との交流により子ども達の豊かな人間形成を図ることを目的に実施しました。	26回	94
	サークル社会参加促進事業		サークルの自主的な活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図るため研修会等を実施しました。 ○研修○ 「高齢者向け交通安全研修～わたりジョーズ君体験～」	1回	35
	(一般成人事業) 春のサークル体験		高齢化や趣味の多様化で会員の減っている定期利用サークルの活性化のため、地域住民が「何かを始めたい」と感じるであろう春にサークル体験を行いました。	1回	35
	生涯青春まなびの扉 (シニアデビュー塾) 気軽に始めてみませんか!初心者のためのつまみ細工講座		気軽にできる新しいジャンルの講座を開催することで、一步踏み出し生きがいをみつけるきっかけとなるつまみ細工講座を実施しました。作品作りを通して、人とのつながりを持ち、講座終了後は、サークル「ひとひら会」が立ち上がりました。	5回	58
	生涯青春まなびの扉 (マナビ塾) 初心者でもできる!十人十色のミニ寄せ植え講座		公民館で活動のない新しい分野であり、公民館に足を運んだことのない幅広い年齢層に興味を持ってもらえるよう「寄せ植え」をテーマに講座を実施しました。同じ材料で作り手のセンスによる十人十色の寄せ植えを作ることで達成感を感じることができ、講座終了後は、サークル「植物工房みいけ」が立ち上がりました。	5回	113
地域活動の 支援・推進	地域力アップ 支援事業	三池校区みんなで三池をさるく	三池校区まち協では、体育行事が多く、文化的な事業は実施されていませんでした。また、三池のまち協主催の行事は、公民館加入者がほとんどで、公民館未加入者への参加が少ないため、地域資源である「三池の歴史」の活用、伝承とともに、まち協のPRを図りました。	1回	33

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	三池校区 三池会議	三池校区まち協が部会を設置し、まちづくりに向けた活動を行っているところですが、もっと、若い人たちの意見を聞き、参画させるなど、みんなでまちづくりをしていくことが重要です。このことにみんなが気付くきっかけとなる会議を開催し、若い人たちに地域への愛着、参画を促すきっかけづくりを行いました。	1回	43
	羽山台校区 「オレンジリングでつなぐ“絆”づくり」	子どもたちも地域の一員であり、帰宅時などに認知症の人を見つける可能性もあるため、PTA、子どもたち向けの「認知症サポーター養成講座」を実施しました。講座終了後、PTA、地域の人に認知症役になってもらい、子どもたちの「声かけ」体験を実施し、地域全体で認知症を学びました。	1回	100
	銀水校区 「花いっぱい“絆”プロジェクト」	昨年度に引き続き、ESD、地域の絆づくりの視点を踏まえた事業を実施しました。生徒を含め160人の参加で、地域、学校、PTAによる花の植えから行い、花を育て、地域の絆が深まりました。また、田隈中学校も当プロジェクトに参加し、地域と連携し中学校の花壇整備を図りました。	11回	853
	高取校区 ホテルプロジェクト	ESDの取り組みとして、学校が地域の方々と関わりながらより一層事業内容を充実させたい意向が示されました。高取校区にホテルが生息しているので、公民館が支援することで、『ホテルが生きる街』を地域にPRして、地域の協力者を増やし、地域コミュニティの再生を図りました。	8回	420
地域活動の 支援・推進	地域団体連携事業	地域住民とのふれあいと連携を深め、生涯学習の推進と町内公民館活動の活性化を図りました。 ○羽山台春まつり 4月14日(日) ○三池光竹 11月2日(土)・3日(日) ○三池初市 新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期	1回(1日) 1回(2日)	— 7,000
ボランティア活動の 支援・推進	生涯青春まなびの扉 (ボランティア塾) 子どもの居場所スタッフボランティア養成講座	「子どもの居場所」は地域住民などのボランティアで運営されているが、高齢化等によりスタッフが不足しています。今後の継続的な運営が危ぶまれていることから、ボランティアを養成する講座を実施しました。	5回	36

(三池地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(ボランティア団体支援事業) 子育てふれあい広場 「ボランティアスキルアップ講座」	子育て中の保護者が子どもと一緒に安心して楽しく過ごせる子育てふれあい広場づくりのために、既存のボランティアを対象に、講話とダンボールハウス制作を行いました。	2回	17

8 手鎌地区公民館

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)	
学習活動の 支援・推進	子育てふれあい広場 「れもんぐらす」	子育て中の保護者とその子どもが自由に集い、交流できる場を提供するため、毎月第1～3金曜日(月3回)に、ボランティアスタッフを中心として、子育てふれあい広場「れもんぐらす」を開催しました。	31回	子ども 184 保護者 179 ボランティア 47	
	づくり子どもの居場所支援事業	わくわく広場	手鎌校区、明治校区の子どもたちを対象に月2・3回実行委員会が実施する子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。 (手鎌地区公民館、手鎌小学校)	34回	子ども 427 ボランティア 266
		きらめき広場	明治校区の子どもたちを対象に、年2回、季節のイベントを企画し子どもの居場所づくり事業への支援を行いました。(明治会館)	2回	子ども 54 ボランティア 33
	(子ども体験活動事業) 子ども未来デザイン事業	市内小学校4～6年生の児童を対象に、職業を持っている大人が講師となり、その職業に関する知識や経験、その職業を目指された理由やどのような努力をされたのか等の生き様や考え方を伝えることで、児童が自らの将来像を描き、その実現に向けて歩むきっかけとなることを目的として講座を実施しました。	6回	129	
	(子ども体験活動事業) いきいきチャレンジ塾～手すきのり体験と飾りのり巻きづくり～	市内小学校1～6年生の児童を対象に、昔ながらの手すきによる海苔づくりを体験してもらうことで、地域の歴史や海の環境、海苔養殖業に対する興味と知識を深め、郷土愛の醸成を図るための講座を実施しました。	1回	21	
	(家庭教育支援事業) “ゆったり子育て・自分育て講座”	地域とのつながりが希薄化している現代社会の中で、乳幼児を持つ保護者が、自分らしい子育てをするために、ゆったりと子どもに向き合い気持ちがラクになる子育てについて学ぶとともに、悩みなどを共有したり癒しの時間をともに過ごしたりする仲間づくりの機会とする講座を実施しました。 ※託児有り	4回	47	

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	(一般成人事業) 令和改元記念特別講演「大宰府と万葉集～大伴旅人・家持と“梅花の宴”～」	新元号「令和」の原典を解釈し、梅花の宴の主宰者・大伴旅人とその子で万葉集選者である家持の太宰府での日々を「万葉集」を紐解きながらたどり、新元号への理解を深めました。	1回	73
	(一般成人事業) 春のサークル体験会	年度の始まりにサークル活動を体験し、新たに自分の趣味や好きなことを見出し、生きがいつくり、社会参加を目的に実施しました。また、新たな会員増加をめざしてサークル会員の学習意欲向上、サークル活動の活性化を図りました。	1回	27
	サークル社会参加促進事業	サークルの自主的活動を支援し、サークル活動の発展と社会参加の促進を図りました。 ○研修会 ①講話“人生100年を健康で暮らすために” ②“わたりジョーズ君”を使った交通安全教室	2回	①29 ②26
学習活動の支援・推進	生涯青春まなびの扉 (健康アップ塾) 楽しく踊ろう♪フォークダンス in 手鎌	フォークダンスは世界各国の音楽に合わせて、いろいろな国の文化や風土に触れることのできる魅力深いダンスとして伝えられています。講座では受講者がフォークダンスを基礎のステップから学び、楽しみながら健康づくり、仲間づくり、生きがいつくりを行いました。講座終了後はサークル「手鎌フォークダンスサークル」が結成されました。	5回	72
	生涯青春まなびの扉 (マナビ塾) 暮らしに潤いを一自由花から始める生け花講座	生け方や作法など難しいイメージのある生け花を、形式にとらわれない自由花から始めることで気軽に、誰もが楽しんでもらうため開講しました。講座終了後はサークル「いけばな遊美会」が結成されました。	5回	48
地域活動の支援・推進	地域力アップ支援事業 〔手鎌校区〕 避難所生活で本当に困るトイレ事情～もしもに備えるいつも～	手鎌校区災害訓練実行委員会（手鎌校区まちづくり協議会）との連携のもと、地域課題である「防災」をテーマに事業を実施しました。災害訓練でも、避難所生活の中で最も大きな困りごと「トイレ」に焦点をあてた訓練内容とし、手鎌校区で行われている「防災訓練」を補足しました。	1回	50

(手鎌地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	[明治校区] 知ってる!? 子ども 110 番 の家	地域の防犯意識をさらに高めるために、明治校区まちづくり協議会、明治きらめき広場実行委員会、明治小学校、明治小PTAと連携のもと、「子ども 110 番の家」の更なる周知と「子ども 110 番の家」の登録者と子どもたちと防犯教室を行い、その後、交流をしました。	1 回	子ども 19 大人 16
	手鎌歴史と里山の会 への支援	手鎌歴史と里山の会への支援を行いました。 ○里山整備活動（7 月、12 月） ○どんど焼きと昔遊び大会（1 月）	3 回	200
ボランティア 活動の支 援・推進	(ボランティア養成講座) 子育てふれあい広場 ボランティアスキル アップ講座	子育てふれあい広場の運営ボランティアスタッフのスキルアップを目的として、生涯学習課との連携のもと実施しました。	2 回	19

9 駿馬地区公民館

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	学習ニーズ調査	誰もが生涯を通じ、健康で生きがいを持って暮らしていけるよう、地域課題や、地域課題を解決するための学習ニーズの把握に努めます。 また、合わせて町内公民館等小単位での学習形式（小単位での出張講座の実施）を検討するため、学習ニーズ調査事業を実施しました。	1 回	公民館 ・自治会 27 団体
学習活動の 支援・推進	(家庭教育支援事業) たのしクッキング 食育講座	栄養バランス等に配慮した食生活をしている割合が低い、また朝食をとらない子どもが増加傾向にあることから、食の大切さを、講義と調理実習を通して身近に感じてもらい、家庭で実践してもらおうきっかけづくりとして開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。	—	—
	(子ども体験活動事業) (家庭教育講座) 駿馬小学校夏休み PTA ふれあい合宿	日ごろ体験できない宿泊での集団・体験活動を通して、駿馬小学校の児童の健全な育成を図るとともに、親子の絆及び PTA 会員相互の親睦を深め、PTA 活動の活性化を図ることを目的に、駿馬地区公民館で 1 泊 2 日の合宿を行いました（駿馬小学校 PTA、駿馬地区アンビシャス広場と共催で実施）。	1 回	児 童 47 保護者 16 協力者 20

(駒馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
づくり 子どもの居場所 支援事業	駒馬地区アン ビシヤス広場	公民館施設を子どもの居場所として毎週水、土曜日に開放、毎月イベントを開催する際に支援を行いました。	88回	1,911
	コーナー体験活動支援 事業	○学校、アンビシヤス広場、地域団体等 コーナーを用いた体験活動や事業を実施する際の支援を行いました。	7回	379
		○市民団体、サークル等 コーナーを用いた事業を実施する際にコーナーの貸出を行いました。	5回	48
	駒馬ほっとギャラリー 一事業 「HAYAME DRUM コンサート 音楽の贈り物」	普段から地区公民館利用になじみがない人も、誰もが気軽に訪れ、楽しむことができる場所として認識してもらうことで、新たな利用者の拡大を図ること、多くの子どもたちに参加してもらうことを目的に、プレイホールで地域のドラム教室の生徒によるドラムコンサートを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。	—	—
	(読書推進事業) 図書整備・読書推進 事業	所蔵図書や特設コーナーの紹介などを通して、読書の推進を図りました。 ○図書だよりの発行	2回	—
	サークル社会参加促 進事業	サークル活動の活性化と、サークル会員の社会参加の促進を図ることを目的に、「駒馬地区公民館サークル連絡会」が取り組む活動に対して側面的な支援を行いました。 ○研修会 避難訓練・救急救命講習 (AED使用) 交通教室(わたりジョーズ君)	通年	—
駒馬小学校クラブ活 動支援	駒馬小学校からの要請を受け、サークル連絡会のサークルがクラブ活動(4~6年生)の支援を行いました(卓球、手芸竹太鼓)。	10回	児童 298 サークル 61	

(駒馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
学習活動の 支援・推進	生涯青春まなびの扉 (ボランティア塾) 折り紙ヒコーキボラ ンティア養成講座	<p>福岡県では、子どもたちの想像力、創意工夫する力を育むことを目的に、「アンビシャス広場対抗折り紙ヒコーキ福岡県大会」を平成 28 年度から開催、普及に努めています。</p> <p>駒馬地区アンビシャス広場でも折り紙ヒコーキの活動に賛同し、取り組んでいます。指導ボランティアの不足などに課題があり、またアンビシャス広場スタッフの後継者が育ってなく、今後のアンビシャス活動の継続も危ぶまれていることから、本講座を開催しました。</p>	5 回	50
	生涯青春まなびの扉 (シニアデビュー塾) みんなで楽しく！はじめての ニュースポーツ講座	<p>大牟田市の高齢化率が 36%を超えていて、高齢者世帯や高齢者の一人暮らしも増加しています。日ごろ身体を動かす機会や、外出する機会が少ない高齢者に、外出するきっかけをつくり、新たな仲間とコミュニケーションをとりながら、新たなチャレンジとなるニュースポーツで身体を動かし、生きがいをいづくりにつなげることを目的に開催しました。</p>	7 回	52
地域活動の 支援・推進	地域力 アップ 支援事業 駒馬校区まち協 ネットワークづ くり講座	<p>7月に駒馬校区まちづくり協議会の安心安全部会が 12 月に開催する防災訓練に向けて、SNS を通じて情報発信を始めましたが、端末を持っていても利用できない地域住民が多く、情報発信ツール、コミュニケーションツールとして使いこなせるようなシステムづくりが課題です。</p> <p>まちづくり協議会からの要望が強いことから、役員を中心に正しく便利に使えるようになれるよう、講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。</p>	—	—
	防災講演会	<p>日本の各地で地震、大雨等の災害が頻発している今日、災害はいつ、どこで起こるか分からないことから、日頃からの地域防災意識を醸成するため、防災講演会を地域の防災訓練の中で開催しました。</p> <p>元年度はテーマを「地震」とし、2011 年の東日本大震災、2016 年の熊本地震を支援した講師を選定。被災地での支援経験から、避難所の状況や過ごし方、エコノミー症候群などについて話をしてもらいました。</p>	1 回	280

(駿馬地区) 区分	事業名	事業の概要	回数	延べ参加者 (人)
	地域団体連携事業	<p>地域住民との触れ合いと連携を深め、社会教育の推進と校区まちづくり協議会活動の活性化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はやめカップ祭り (第 21 回) ○駿馬校区大運動会 ○駿馬校区敬老会 ○駿馬校区防災訓練 ○駿馬地区アンビシャス広場 (再掲) ○諏訪川なの花まつり (中止) 	—	—
ボランティア活動の支援・推進	カヌーパートナー講習会	<p>大牟田市カヌーふれあい事業におけるカヌーサポーターの後継者の確保・育成と、PTA や子ども会、地域団体などの少人数のグループでのカヌー利用促進、小学校における ESD への支援に対応するため、カヌー指導ボランティア (カヌーパートナー) 養成講習会の第 2 回目を開催しました。</p>	1 回	5

10 登録サークル活動

区 分		中央	三川	勝立	吉野	三池	手鎌	駿馬	合計
H29	サークル数	34	40	26	34	41	36	35	246
	会員数 (人)	427	569	362	481	622	480	369	3,310
H30	サークル数	31	38	24	28	41	31	35	228
	会員数 (人)	379	561	327	381	601	411	363	3,023
R 元	サークル数	30	37	17	27	42	30	35	218
	会員数 (人)	336	541	244	354	566	396	365	2,802

1 1 図書関連事業

(1) 各地区公民館別図書貸出冊数

(単位：冊)

区 分		三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬	合 計
H29	一 般	4,096	2,336	4,199	8,171	4,067	2,070	24,939
	児 童	1,385	558	2,354	4,665	2,789	862	12,613
	計	5,481	2,894	6,553	12,836	6,856	2,932	37,552
H30	一 般	4,371	2,372	4,041	7,176	4,380	1,520	23,860
	児 童	1,285	673	3,101	4,886	3,297	875	14,117
	計	5,656	3,045	7,142	12,062	7,677	2,395	37,977
R 元	一 般	3,772	2,042	3,908	7,845	3,708	2,008	23,283
	児 童	1,655	474	2,995	4,844	3,033	747	13,748
	計	5,427	2,516	6,903	12,689	6,741	2,755	37,031

(2) 図書関連事業

新刊コーナー、レイアウト変更、図書の広報の工夫等を行いました。また、地区公民館の講座において絵本の読み聞かせや、朗読ボランティアを養成しました。

1 2 施設利用状況

(単位：人)

区 分		中 央	三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬	合 計
H29	件数	4,485	3,624	2,253	3,069	3,239	4,010	3,179	23,859
	延人員	45,907	42,362	24,388	33,279	39,240	43,154	42,474	270,804
H30	件数	4,277	3,558	2,046	2,846	3,267	3,942	3,076	23,012
	延人員	43,335	42,280	23,013	31,685	38,115	41,618	42,694	262,740
R 元	件数	3,921	3,600	1,908	2,600	3,138	3,535	2,947	21,649
	延人員	40,542	41,487	21,564	27,419	35,067	38,683	43,128	247,890

1 3 施設改修・施設整備

(1) 社会教育施設・設備充実事業

地区公民館の利用者が、安心、安全に施設を利用できるように、必要に応じて施設修繕を実施しました。

1 4 研修・研究

毎月第1月曜日（休館日）に開催する地区公民館職員研修会において、各種研修及び各種計画の紹介等を行ったほか、社会教育センター等で開催される研修に参加しました。

《多目的活動施設リフレスおおむた》〔生涯学習課〕

リフレスおおむたは、市民の文化、スポーツ及び教養の向上並びに青少年の健全育成のための野外活動の充実を図るとともに、広域的な住民の交流の場を確保し、もって生涯学習の振興に資するため、H11年に設置しました。青少年の多様な体験活動の場、生涯学習・生涯スポーツの場、広域的な住民交流の場の提供に努めています。

また、野外・自然体験活動等の事業をはじめ、施設設備の有効的な利活用を図るための指導者養成事業、施設ボランティア養成事業等の実施により、青少年の健やかな成長と豊かな心を育むことを目指しています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間は公益財団法人熊本YMCAを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
農業生活体験がまだす隊	小学校1年生から2年生を対象に、子どもたちの生きる力を育てることを目的として、収穫体験や自然の大切さを学びました。	5月～ 12月	8	190
リフレスなんでもやる隊	小学校3年生から6年生までを対象に、主として「自然体験」を中心に、命の尊さ、食の大切さを自然から学ぶ実践体験を行いました。	5月～ 2月	8	186
春の野草を食べよう	施設の周辺で春の野草などの自然観察を行いながら、草木にふれあう機会と、専門ボランティアの解説、試食などを通して、参加者同士の交流を深めました。	4月	1	73
リフレスキャンプ2019 (長期宿泊体験事業)	キャンプ体験初心者の家族を対象としたファミリーキャンプを実施し野外活動の楽しさや大切さを感じてもらう機会を提供しました。また、小学校の異学校、異学年での日常生活活動や特別活動（キャンプファイヤー、野外炊飯）を通して、自主性・社会性を養うと共にコミュニケーション能力を高める集団宿泊体験を実施しました。	4月 7月 8月 2月	5	73
キャンパーズコネクション (野外活動指導者養成事業)	高校生・大学生を対象に、野外活動の楽しさを知り、体験したことを指導者として発揮できるための講座を実施しました。	6月 7月	2	26
楽しいレクリエーション指導(青少年団体支援事業)	学校や子ども会などを対象に、要請に応じて指導者を派遣して、レクリエーションや野外活動の指導を行いました。出前講座にも登録しています。	6月	2	80
楽しいキャンプファイヤー指導(青少年団体支援事業)	要請に応じて学校や子ども会、地域行事などに職員を派遣し、キャンプファイヤーやレクリエーション指導を行う事業です。(R元年度は依頼なしのため未実施)	—	—	—

事業名	事業の概要	時期	回数	延べ参加者数（人）
星空観察会	夏・冬の星座観察を通して、星座の成り立ちや神話、星に関わる疑問等を学び、自然の大切さを理解し環境保護について考える機会とすることを目的に、大牟田市環境保全課と星空観察ボランティアとの共催で事業を実施しました。	8月 1月	2	52
ほたるの観察会	ほたるについての学習会などを行い、観察だけでなく、自然環境のほたるへの影響などを学び、自然保護の意識を醸成させることを目的に、市環境企画課と四ヶ友和会との共催で事業を実施しました。	5月	1	53
かっぱ飯作り体験	竹を使った「かっぱ飯」作りの体験を中心に、様々な竹細工（竹箸、竹茶碗）の経験を通して、自然を感じ、交流を深める機会とすることを目的に、四ヶ町活性化協議会と協力して事業を実施しました。	11月	1	7
学習の相談及び支援	学校やスポーツ団体等、リフレスを利用される野外活動などの相談支援を行いました。	通年		160

(2) 提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した特性を生かした事業）

事業名	時期	延べ参加者数（人）
陶芸教室（大人対象）	10～11、1、2月	61
陶芸教室（親子対象）	6、7月	71
クライミング講習会	10、11月	75
高齢者向け健康体操	9月	4
リフレスクッキング教室	10、1月	34
物づくり教室（親子刺しゅう教室、和の小物づくり教室）	7、8月	38
ヨガ&健康体操教室	毎週火、水曜日	1,110
クリスマスリース作り教室	12月	49
寄せ植え教室	5、12月	20
ペン字講座	5、11月	66

2 利用状況

(1) 開所日数 336日

(2) 利用者数等

年度	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
H29	3,444	28,941	2,049	389	26,503	19,597	1,207	8,137
H30	3,253	29,644	1,986	262	27,396	19,681	1,040	8,923
R元	2,868	26,705	1,638	202	24,865	17,002	1,039	8,664

(R元年度内訳)

区分別	件数	利用者数(人)	施設利用内訳			利用者内訳		
			屋内宿泊	キャンプ宿泊	日帰り利用	大人	高大生	中学以下
個人	1,554	6,135	83	33	6,019	4,242	225	1,668
少年	257	5,683	583	0	5,100	1,159	75	4,449
学校	36	1,155	203	44	908	292	469	394
他団体	837	10,774	753	50	9,971	9,071	190	1,513
主催事業	184	2,958	16	75	2,867	2,238	80	640
計	2,868	26,705	1,638	202	24,865	17,002	1,039	8,664

※「利用者数」には利用した実人数を計上しています。

※「個人」とは、団体名を持たない利用者（複数人を含む）をいいます。

※「少年」とは、青少年を主とした団体で、「学校」及び「他団体」以外の団体をいいます。

※「学校」とは、小学校以上の学校の団体をいいます。

※「他団体」とは、一般団体やサークル、幼児の団体をいいます。

※「主催事業」とは、リフレッシュおおむたが主催する事業に参加した利用者をいいます。

3 施設整備等

R元年度は公共維持管理計画に基づいた大規模工事を実施しました。開設当初から20年が経過していることから、更新が必要となった空調設備および電気設備を改修しました。空調は和室や研修室を中心に改修し、室外機等についても更新しました。電気設備についても屋内及び屋外の設備を更新することで、これまで以上に明るい施設となりました。

さらに、大規模工事と並行して、キャンプ場のバンガローにエアコンを設置し、夏季でも涼しく過ごせるようになりました。キャンプサイトや炊飯棟についても雨天時でも利用しやすい整備を行いました。屋内については、自動ドアの動作不具合があったことからドアエンジンの取替え工事を行いました。また、シャワー室の水漏れ防止工事、流し台や体育館の時計等の設備も更新し、利便性の向上を図りました。

《大牟田文化会館》〔生涯学習課〕

大牟田文化会館は、事業の企画・実施や、市民の文化活動に係る施設や付属設備等の提供、文化活動に関する相談・支援・情報収集、プラネタリウム投影などを通して、大牟田市、柳川市及びみやま市の圏域における文化の向上と住民の福祉の増進に資するためにS61年に設置しました。文化事業については音楽や古典芸能、講演など幅広いジャンルの催しを開催することを目的としています。

H18年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間は公益財団法人大牟田市文化振興財団を指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況（プラネタリウム関連事業を除く）

文化の向上と住民の福祉の増進に資する文化芸術事業を、「大牟田文化会館管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①第17回ありあけジュニアピアノコンクール

日頃からピアノの練習に励んでいる児童・生徒に広く発表の機会を提供し、豊かな音楽の感性を持った子どもたちと音楽活動者の育成を図るとともに、文化の振興・発展に寄与することを目的として開催しました。

と き Aコース 予選8月4日（日）、本選10月27日（日）
チャレンジ（B）コース 8月3日（土）

と ころ 大ホール

参加資格 小学生から高校生まで

参加者 Aコース予選 39人、本選 23人 チャレンジ（B）コース 60人
（Aコース）グランプリ1人、準グランプリ1人、西日本新聞社賞1人、部門賞（小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、中学生の部、高校生の部）12人
（チャレンジ（B）コース）ベストチャレンジ賞1人、準チャレンジ賞5人、ホープ賞10人、大牟田音楽家協会賞23人

※Aコース：予選・本選があるレベルの高いコース（課題曲1曲、自由曲1曲）

Bコース：予選がなく、自由曲1曲のみで気軽に参加できるコース

②プレミアムアンサンブルコンサート

第17回ありあけジュニアピアノコンクールグランプリ上位受賞者の特典コンサートとして3月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期しました。

と き R2年3月22日（日）

と ころ 小ホール ※いずれも当初の予定

③第43回九州青年美術公募展

若い力の創造的美術活動とその作品の鑑賞を通じて、地方美術の振興・普及を図り、加えて新人・青年作家の優れた才能を発見し、育てる場として開催しました。

と き 11月24日（日）～11月30日（土）（表彰式 11月24日（日））

と ころ 大牟田文化会館 展示室等 入 場 者 311人

公募作品 平面絵画

応募数 124点（121人） 入 選 61点

賞 文部科学大臣賞1点、河北記念賞1点、藤田記念賞1点、審査員特励賞4点、朝日新聞社賞1点、福岡県教育委員会賞1点、大牟田市長賞1点、大牟田市教育委員会賞1点、NHK福岡放送局賞1点、九州朝日放送賞1点、内藤額縁店賞1点、大牟田文化会館賞1点、奨励賞5点

④第75回福岡県美術展覧会（県展）筑後ブロック展

県展の日本画、洋画、書及び写真の4部門の入賞作品並びに筑後地域から出品された福岡県美術協会会員作品と入選作品を展示する巡回展を開催しました。

と き 10月7日（月）～13日（日）

と ころ 展示室等

入 場 者 560人 出 品 数 203点

⑤第37回有明美術展

日本画、洋画、彫刻、書、写真、染織、陶芸の各部門で活躍する、有明広域市町村圏域の美術家の優れた作品を展示しました。

と き 5月28日（火）～6月2日（日）

と ころ 小ホール等

入 場 者 1,016人 出 品 数 156点

⑥学校鑑賞コンサート My Theory×3 ～世界の3か国を旅しよう～

質の高い音楽を鑑賞する機会を提供し、子どもたちの豊かな想像力や思考力、コミュニケーション能力を養うとともに、演奏に合わせて手拍子や合唱をする参加型のコンサートを開催しました。

と き 5月10日（金）

と ころ 小ホール

入 場 者 483人

(2) 提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

多様な文化にふれ親しむ鑑賞型、市民が主体的に参加する参加型、将来の文化を担う人材を育成する育成型の文化芸術事業を地域の音楽・文化関係団体等と連携して実施しました。

①鑑賞型事業

事業名	と き	と ころ	入場者等
音楽鑑賞事業 Una vita dolce ～甘い記憶～ 世界の3か国を旅しよう	5月10日（金）	文化会館	295人
映画「ガチ星」上映会&江口カン監督 と女優林田麻里さんによるシネマトーク	7月6日（土）	文化会館	438人
サロンコンサート ～moriの風にのせて～新しい時代へ つなぐ音	9月14日（土）	文化会館	92人
ヨシダナギ講演会 ～リスペクトは国境を越えて～	R2年2月23日（日）	文化会館	430人

②参加型事業

事業名	と き	と ころ	入場者等
「七夕飾り」	6月21日（金）～ 8月8日（木）	文化会館	—

事業名	とき	ところ	入場者等
第13回びあの1日マラソン	6月23日(日)	文化会館	527人
カミ文化芸術を通しての能力アッププロジェクト事業	市職員等研修	①10月15日(火) ②11月27日(水)	文化会館
	講演会	11月26日(火)	羽山台小学校
	羽山台小学校演劇ワークショップ	①10月16日(水) ②11月26日(火)	羽山台小学校
クリスマスファミリーコンサート	12月21日(土)	文化会館	421人
大牟田文化会館・有明高専合同 「プログラミング教室&電子工作教室」	12月14日(土)	文化会館	59人
「ツリーにお願い」	11月15日(金)～ 12月25日(水)	文化会館	—
おむタンおみくじ	R2年1月4日(土)～ 1月31日(金)	文化会館	1,600人
ダンス チャレンジ おおむた	R2年1月19日(日)	文化会館	728人
文化体験講座 「バイオリンを弾いてみよう！」	R2年2月16日(日)	文化会館	67人

2 プラネタリウム関連事業の実施状況(指定管理者提案事業)

プラネタリウムでは、土・日・祝日及び小中学校の長期休暇期間中に1日3回、番組を入れ替え、四季に応じた星座の解説を入れた一般投影を行ったほか、オリジナル番組の無料特別投影を行いました。平日は、予約による団体投影を行い、学校、幼稚園・保育園、病院施設など圏域内外より幅広い団体の依頼に対応しました。

また、大人向けの特別投影や有明工業高等専門学校との協働による観望会、工作教室、映像体験などに取り組み、天文分野を通じた地域文化の振興に資する事業を行いました。

事業名	とき	ところ	入場者等
プラネタリウム特別投影 「走れ!大蛇山」	7月26日(金)～ 7月27日(土)	文化会館	70人
大牟田文化会館・有明高専合同 「アクリル星座板工作教室」	8月24日(土)	文化会館	36人
大牟田文化会館・有明高専合同 「はじめてのプログラミング教室」	8月24日(土)	文化会館	50人
音とアロマのプラネタリウム 「星空ヒーリング」	①6月29日(土) 91人 ②9月28日(土) 57人 ③12月21日(土) 42人	文化会館	190人
大牟田文化会館・有明高専合同 星空観望会 ほしぞら☆探検隊	11月8日(金)	有明工業高等 専門学校	38人

プラネタリウム来場者数の推移

年 度	H29	H30	R 元
来場者数	4,542 人	6,454 人	4,432 人

3 利用状況及び収入状況

(1) 利用状況

	稼働率 (%)			利用人数 (人)		
	H29	H30	R 元	H29	H30	R 元
大ホール	45.5	36.0	34.2	65,742	51,162	54,576
小ホール	63.4	59.4	54.8	41,847	39,012	42,017
その他				103,073	96,811	86,127
計				210,662	186,985	182,720

(2) 収入状況

(単位：千円)

会場使用料・観覧料	付属設備使用料・冷暖房料	その他	合計
29,204	17,163	1,687	48,054

《三池カルタ・歴史資料館》〔生涯学習課〕

三池カルタ記念館は、H3年に開設しました。その後、H18年に歴史資料館と統合し、三池カルタ・歴史資料館として現在に至っています。カルタや歴史に関する展示を中心とした企画展の開催をはじめ、資料の収集・保存、調査研究、文化・歴史講座等の実施により、市民の文化的教養の向上に努め、市民の豊かな心と郷土を愛する心を育み、地域社会の文化の向上に資することを目的としています。

H19年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間はTRC・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業（指定管理者が必ず実施しなければならない事業）

①企画展

事業名	期間	内容	入館者
春の企画展 「カルタで宇宙探検!!」	4月2日(火)～ 6月23日(日)	アポロ11号が人類初の月面着陸を成功させてから50年の節目にあたることを記念し、「宇宙」や「月」「天体」をテーマにしたカルタを中心に紹介する展示を行いました。	大人 2,729人 子ども 575人 計3,304人
平和展2019 「カルタでみる戦争とスポーツ」	7月2日(火)～ 9月23日(月・祝)	戦中から戦後のオリンピックやスポーツに関連するカルタを通じて、戦争と平和について考えることを目的とした展示を行いました。	大人 1,903人 子ども 899人 計2,802人
秋の企画展 「なつかしのまんがカルタまつり」	10月1日(火)～ 12月8日(日)	昭和30年～40年代のまんがカルタと、大牟田が生んだ漫画家と郷土の漫画文化を一挙公開しました。 さらに、映画『いのちスケッチ』に影響を与えた漫画の作者・三隅健(大牟田出身)の貴重な資料や映画を紹介する展示を行いました。	大人 2,503人 子ども 919人 計3,422人
冬の企画展 「石炭と三池藩 —石炭発見550年—」	12月17日(火)～ R2年3月1日(日) ※3月2日(月)より 臨時休館のため	大牟田での石炭発見は今から550年前の文明元(1469)年と伝えられています。石炭発見550年の節目に江戸時代の諸史料を手掛かりとして、三池藩における石炭の採掘とその利用の一端を紹介する展示を行いました。	大人 1,232人 子ども 449人 計1,681人

②市民カルタフェア2019

とき 7月15日(月・祝)

ところ イオンモール大牟田

参加者 172人(大人66人 子ども106人)

③第28回三池カルタ・歴史資料館杯《小倉百人一首》九州新人かるた競技大会

と き 10月13日(日)
 と ころ 大牟田中央小学校体育館
 参 加 者 源平戦 58チーム172人、個人戦 27人 見学者等99人
 計 298人

④普及・啓発事業

ア カルタの貸出(小倉百人一首かるた等) 88件 延べ 235組
 イ 講座等の開催

内 容	と き	受講者数
歴史講座① 菅原道真 その生涯と伝承	6月23日(日)	37人
歴史講座② 鍋島直正と幕末佐賀藩の近代化	8月11日(日・祝)	33人
文化講座① 西南戦争と福岡	9月1日(日)	28人
文化講座② 『源氏物語』とカルタ	10月6日(日)	30人

(2) 提案事業(施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特徴を生かした事業)

①企画展関連イベント等

事 業 名	期 間	内 容	参加者等
春の企画展関連事業 ミュージアム・コンサート	6月16日(日)	市内を中心に活動しているピアニストを招き、春の企画展に合わせて、「宇宙」や「月」、「天体」をテーマにした楽曲を中心とした電子ピアノによるコンサートを実施しました。	33人 (大人25人、 子ども8人)
平和展2019関連事業 夏休みアニメーション 上映会	7月20日(土)～ 7月28日(日)	夏休み期間中に上映することで、子どもと保護者が一緒に来館するきっかけとなるよう実施しました。	77人 (大人33人、 子ども44人)
令和元年度「勾玉作り」	7月31日(水)	子どもたちに郷土愛を深め、地域の歴史に興味を持ってもらうとともに夏休みの思い出づくりや学習の一環として、世界遺産・文化財室と連携して実施しました。	16人 (子ども16人)
令和元年度 夏期平和事業	8月4日(日)	大牟田の空襲を記録する会と共催で、命の紙芝居と講和を中央地区公民館で行い、戦争と平和について考える機会を広く提供しました。	49人 (大人49人)
平和展2019関連事業 平和の朗読会 「奇跡のプレイボール」	8月18日(日)	平和展のテーマである「スポーツ」を題材とした作品の朗読という手法により、参加者の内面から平和について訴えかける関連事業を行いました。	18人 (大人17人、 子ども1人)

事業名	期間	内容	参加者等
秋の企画展関連事業 トークショー 「大牟田が生んだ漫画家と大牟田から生まれた映画」〔再掲〕	10月20日(日)	生涯学習課と協力し、秋の企画展と同時開催の展示(大牟田ゆかりのまんが家大集合!!、映画「いのちスケッチ」コーナー、三隅健の描く世界)に合わせたトークショーを開催しました。	80人
秋の企画展関連事業 ミュージアム・ガイド	11月24日(日)	展示している漫画の見どころや、本市出身の漫画家について、資料提供者が直接来館者に説明を行いながら、疑問や質問に答える対話型の展示案内を行いました。	18人 (大人18人)
冬の企画展関連事業 ミュージアム・ガイド	①12月22日(日) ②1月26日(日) ③2月23日(日・祝)	収蔵資料、調査研究などで得られた成果や情報などを来館者に対して説明を行い、また、来館者の疑問や質問に答える対話型の展示案内を行いました。	①13人 ②10人 ③2人 (すべて大人)
第13回 楽しく遊ぼう! かるた祭り	R2年 1月11日(土)～ 1月13日(月・祝)	本市が「日本のカルタ発祥の地」であることにちなみ、アクロス福岡においてカルタ文化の普及・啓発の一環として、所蔵のカルタの展示と体験イベントや教室などを行いました。	60人 (大人30人、 子ども30人)

②普及・啓発事業

ア インターンシップ(就業体験)受け入れ

期 間 7月13日(土)～7月15日(月・祝)

参加者 2人(三池工業高校メカトロニクス系情報電子科2年生)

イ 講座等の開催

講座名	と き	受講者数
かな文字入門講座(第7期)	全24回 4月5日(金)～R2年2月21日(金)	延べ189人
古文書入門講座(第5期)	全24回 4月5日(金)～R2年2月21日(金)	延べ248人
『源氏物語』の光と影を読む(第6期)	全24回 4月7日(日)～R2年2月16日(日)	延べ415人
出張カルタ (天の原小学校1年生親子学習会)	6月11日(火)	95人
出張カルタ (銀水小学校2年生親子学習会)	7月3日(水)	148人

2 報道関係等への資料提供とPRの状況

新聞 52件 テレビ・ラジオ 25件 機関紙・雑誌等 9件

3 観覧者数等の状況

年 度	開館日数	入 館 者 数 (人)			図 録 関 係 頒布収入 (千円)
		一 般	児 童 生 徒	合 計	
H29	273	8,534	2,912	11,446	349
H30	275	9,588	3,014	12,602	163
R 元	258	8,367	2,842	11,209	136

※ 観覧料については、H19年度に指定管理者制度導入後、無料となっています。

※ H18年度の入館者数は、5,479人です。

※ R2年3月2日～3月31日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館しました。

《図書館》〔生涯学習課〕

市民の図書資料に対する要求に応え、自由で公平な図書館資料の提供を中心とする諸活動によって、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とした事業を実施します。また、施設設備を有効に活用し、読書ボランティア養成講座事業、おはなし会等を実施します。

三池カルタ・歴史資料館との複合施設であり、H19年度から指定管理者制度を導入し、H29年度からR3年度までの5年間はTRC・アクティオグループを指定管理者に指定しています。

1 利用状況

(1) 図書貸出の登録者及び利用者

(単位：人、団体)

区 分			計	本 館	地 区 公 民 館						
					三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬	
登録者数	個人	新規登録者	小学生以下	355	300	14	1	15	11	9	5
			中学生	39	34	1	0	1	1	2	0
			高校生	63	63	0	0	0	0	0	0
			成人	1,239	1,161	8	9	14	23	22	2
			計	1,696	1,558	23	10	30	35	33	7
	登録者数		27,602	25,282	367	167	457	641	449	239	
	団体	新規登録団体数	31	31	/	/	/	/	/	/	
登録団体数		297	297	/	/	/	/	/	/		
利用者数	個人	実利用者数	8,777	8,097	123	43	131	198	135	50	
		のべ利用者数	117,294	104,522	1,894	1,085	2,240	4,367	2,119	1,067	
	団体	実利用団体数	85	85	/	/	/	/	/	/	
		のべ利用団体数	488	481	0	0	0	0	7	0	

(2) 図書貸出冊数及びその他資料貸出数

(単位：冊、点、日)

区 分			計	本 館	地 区 公 民 館					
					三 川	勝 立	吉 野	三 池	手 鎌	駛 馬
図書資料	一般書	271,705	248,422	3,772	2,042	3,908	7,845	3,708	2,008	
	児童書	149,056	135,308	1,655	474	2,995	4,844	3,033	747	
	小 計	420,761	383,730	5,427	2,516	6,903	12,689	6,741	2,755	
	開館日	/	273	345	345	348	345	345	345	
	1日平均	/	1,405.6	15.7	7.3	19.8	36.8	19.5	8.0	
その他資料	A V 資料 (CD・DVD等)	19,256	19,120	27	3	13	16	58	19	
	雑 誌	18,781	18,335	33	16	42	120	223	12	
	小 計	38,037	37,455	60	19	55	136	281	31	
総 計		458,798	421,185	5,487	2,535	6,958	12,825	7,022	2,786	

※本館館内閲覧受付 1, 828冊

(3) 図書貸出冊数（一般書・児童書）と予約・リクエストの推移

区分 年度	貸 出 (冊)		予約・リクエスト	
	個 人	団 体	件 数	そのうち 購入した冊数
H29	453,707	6,316	23,610	1,088
H30	441,483	7,625	26,399	1,335
R元	412,838	7,923	23,235	1,058

(4) 障害者サービス

	登録者	貸出数	市内送付サービス	市外送付サービス
点字サービス	27人	71タイトル 238点		
録音サービス (デイジー*含む)	106人	447タイトル 770点	441タイトル 671点	6タイトル 6点
計		518タイトル 1,008点		

※ デイジー (DAISY) は、視覚障害者向けデジタル録音図書。Digital Accessible Information System の略。ただし本表では広報・新聞コラム等を除いている。

※ R元年度より、フリーペーパー「どがしこでん」のDAISYの貸出しを開始しました。

(5) 予約処理状況

一般書・児童書 20,789冊
 雑誌 2,246冊
 AV資料 (CD・DVD等) 200点 合計 23,235件

(6) 文献複写サービス (有料)

複写枚数 8,278枚

(7) 人口類似都市図書館との比較

区 分	大 牟 田 市		人口類似都市平均 (H30年度実績)
	H30年度	R元年度	
市民1人当たりの図書等貸出冊数	4.31冊	4.07冊	4.67冊
全市民中に占める貸出登録者の割合	22.66%	24.47%	41.01%
蔵 書 回 転 率	1.53回	1.51回	1.41回
市民1人当たりの蔵書冊数	2.82冊	2.69冊	3.31冊
市民1人当たりの図書等購入費	175.86円	174.29円	163.42円
職員1人当たりの図書等貸出数	30,850冊	28,675冊	20,908冊

※ 「人口類似都市平均」は、『日本の図書館 (2019)』日本図書館協会2020年刊から、人口11万人以上13万人未満の10市の平均

※大牟田市以外の数値は、2019年の公共図書館調査票の数値をもとに平均値を算出

2 図書館資料

拠点別蔵書冊数

(R2年3月31日現在)

区 分	一 般 書		児 童 書		計	
	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)	冊数 (冊)	比率 (%)
本 館	196,450	81.4%	44,792	18.6%	241,242	100.0%
三川地区公民館	6,857	60.9%	4,403	39.1%	11,260	100.0%
勝立地区公民館	6,571	66.8%	3,263	33.2%	9,834	100.0%
吉野地区公民館	6,991	59.7%	4,727	40.3%	11,718	100.0%
三池地区公民館	5,719	51.9%	5,292	48.1%	11,011	100.0%
手鎌地区公民館	4,769	53.7%	4,118	46.3%	8,887	100.0%
駛馬地区公民館	4,896	50.5%	4,791	49.5%	9,687	100.0%
計	232,253	76.5%	71,386	23.5%	303,639	100.0%

3 事業の実施状況

施設の設置目的を効果的に達成するための事業を、「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設管理業務仕様書」に基づき、指定管理者が実施しました。

(1) 必須事業 (指定管理者が必ず実施しなければならない事業)

① 定例事業

ア おはなし会 (おおむた読書推進ボランティアネットワークの協力を得て開催)

おはなし会名	開 催 日	開催回数	参加者 (のべ人数)	協力ボランティア (のべ人数)
幼児及び小学生低学年を対象としたおはなし会	毎週土曜日	42回	646人	142人
乳幼児のためのおはなし会	毎週木曜日 (最終木曜日は除く)	34回	602人	84人
赤ちゃんのためのおはなし会	毎週火曜日	32回	751人	82人

イ ブックデビュー事業

と き 原則偶数月 (年間4回) ※8月・2月は中止
内 容 保健所での「赤ちゃん広場」を利用して、乳幼児時の成長過程において、親と絵本とのふれあいの大切さの説明をしました。
また、相談を受けたり、ミニおはなし会を行いました。

参 加 者 94人 (のべ人数)

協力ボランティア 8人 (のべ人数)

ウ ブックリサイクルの実施

図書館で不用になった図書・雑誌を市民、学校及び施設に無料提供しました。

(ア) 子どもの本限定ブックリサイクル 5月6日 (月・休)

(イ) ジャンル限定!ブックリサイクル

とき	ジャンル (数字は図書分類記号)
7月15日 (月・祝)	0 : 総記 (パソコン関連など) 1 : 哲学 (哲学・宗教・自己啓発など)

とき	ジャンル (数字は図書分類記号)
	2 : 歴史 (歴史・ガイドブックなど) 3 : 社会科学 (社会情勢・教育など) 雑誌
9月16日 (月・祝)	4 : 自然科学 (科学・健康など) 5 : 技術 (料理・手芸など) 雑誌
10月14日 (月・祝)	9 : 文学 (小説・エッセイ・外国文学など) 文庫、雑誌
R2年1月13日 (月・祝)	6 : 産業 (産業・園芸など) 7 : 芸術 (芸術・スポーツなど) 8 : 言語 雑誌

(ウ) 学校向けブックリサイクル 9月26日 (木)
ブックリサイクル提供図書総数 9, 373冊

②行 事

ア イベント的事業

事業名	内 容	と き	参加者
子ども読書の日記念イベント2019	特設：スタンダードな絵本あつめました	3月29日(金)～ 4月24日(水)	—
	ぬいぐるみおとまり会	5月5日(日・祝) 5月6日(月・休)	11人
	子ども読書の日記念おはなし会	4月27日(土)	18人
	子どもの本限定！ブックリサイクル〔再掲〕	5月6日(月・休)	—
特別おはなし会	子ども読書の日記念おはなし会〔再掲〕	4月27日(土)	18人
	七夕おはなし会	7月6日(土)	50人
	平和おはなし会	8月3日(土)	23人
	クリスマスおはなし会	12月21日(土)	29人
カルタックスおおむた平和事業	平和パネル展	7月26日(金)～ 8月28日(水)	—
	特設：平和のほん	8月28日(水)	—
	平和おはなし会〔再掲〕	8月3日(土)	23人
	平和の映画上映会	8月12日(月・祝)	7人

イ 講座及び研修会

読書ボランティア養成講座

内 容	講 師 ・ 実 演	と き	受講者
読み聞かせの基本	講師：北口弘子 絵本コンシェルジュ おはなしポケット所属	11月27日(水)	21人
おはなし会の実演と実技	おはなしネット・おおむた おはなしびよびよ	12月4日(水)	18人

子ども・本・おとな～絵本を通して豊かに育つ子ども達～	講師：前園敦子 子どもの本専門店 エルマー 代表	12月11日(水)	19人
----------------------------	--------------------------------	-----------	-----

③有明圏域定住自立圏に係る取組み

有明圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、H24年度から柳川市及びみやま市、H26年度から荒尾市、南関町及び長洲町との図書サービスの相互利用を実施しています。

【大牟田市立図書館における相互利用状況】

登録者数 2,303人（うち新規登録者数 212人）
のべ利用者数 9,978人
図書等貸出数 44,275冊

(2) 提案事業（施設の設置目的を達成するために指定管理者が提案した、施設の特性を生かした事業）

①展示会（主に図書の展示と貸出し）ほか

ア 返却カウンター前 展示分

展示テーマ	内 容	と き
宝石に関する本	5月10日「地質の日」にちなんで、身近な鉱物である宝石に関する本や宝石の豆知識などの展示・貸出しを行いました。	4月26日(金)～ 5月29日(水)
日本の行事と世界の行事	天皇即位の際に行われる「大嘗祭」をはじめ、日本の行事や世界の行事に関する本の展示・貸出しを行いました。	4月26日(金)～ 5月29日(水)
Dance! ダンス! dance!	ダンス・舞踊・バレエについての本や、テーマとなった小説の展示・貸出しを行いました。	5月31日(金)～ 6月26日(水)
調べるって面白い!?	日本人が12年連続して受賞しているイグ・ノーベル賞や、自由研究に役立つ調べる学習のコツなど、調べるのが面白いと感じられる本の展示・貸出しを行いました。	6月28日(金)～ 7月24日(水)
自然災害から身を守るには ～防災について考えてみよう!～	9月1日「防災の日」に合わせて、最近の災害と防災に関する本とDVDの展示・貸出しを行いました。	8月30日(金)～ 9月25日(水)
日本の武器・世界の武器	福岡市博物館で開催される秋の特別展示において大典太光世などの名刀が展示されるのに合わせて、刀剣や武器をメインにした本や小説の展示・貸出しを行いました。	9月27日(金)～ 10月30日(水)
せいかいはふしぎでできている	世の中の不思議な出来事や解明できていない宇宙や科学の謎について書かれた本の展示・貸出しを行いました。	11月1日(金)～ 11月27日(水)
あなたは共感できる?? 仇討ち・敵討ち・復讐小説 集めました!	映画や時代劇など今でも魅了してやまない忠臣蔵をはじめ、仇討ち、敵討ち、復讐劇に関する本の展示・貸出しを行いました。	11月1日(金)～ 12月25日(水)
FASHION ～日本のおしゃれ今昔～	日本の衣服の移りかわりから、現代のファッション文化に関する本の展示・貸出しを行いました。	12月27日(金)～ R2年1月29日(水)
独断と偏見でイケメン紹介 します	顔や生き方がカッコいいと思われる人・動物についての本の展示・貸出しを行いました。	R2年1月31日(金)～ 3月1日(日)

イ 児童コーナー 展示分

展 示 名	内 容	と き
はるのほん	季節（春）を通して、絵本に親んでもらうため、春を感じさせる絵本約 73 冊の展示・貸出しを行いました。	3 月 23 日（土）～ 4 月 24 日（水）
おかあさんのほん	5 月 12 日の「母の日」にちなんで、お母さんが登場する本の展示・貸出しを行いました。	4 月 26 日（金）～ 5 月 29 日（水）
おとうさんのほん	6 月 16 日の「父の日」にちなんで、お父さんをテーマとした本の展示・貸出しを行いました。	5 月 31 日（金）～ 6 月 26 日（水）
七夕のほん	7 月 7 日の「七夕」にちなんで、七夕に関する本 22 冊の展示・貸出しを行いました。	6 月 28 日（金）～ 7 月 7 日（日）
海のえほん	7 月 15 日の「海の日」にちなんで、海に関する本 38 冊の展示・貸出しを行いました。	6 月 28 日（金）～ 7 月 24 日（水）
読書感想文の本	読書感想文の本 239 冊の展示・貸出しを行いました。	6 月 28 日（金）～ 8 月 28 日（水）
自由研究の本	小学生・中学生向けの自由研究・自由工作の本 115 冊の展示・貸出しを行いました。	6 月 28 日（金）～ 8 月 28 日（水）
おじいちゃんおばあちゃんのほん	9 月 17 日の「敬老の日」にちなんで、「おじいちゃん、おばあちゃん」の本を集め、展示・貸出しを行いました。	8 月 30 日（金）～ 9 月 25 日（水）
食べ物のほん	「食欲の秋」にちなんで、食べ物に関する本 30 冊を集めて、展示・貸出しを行いました。	9 月 27 日（金）～ 10 月 30 日（水）
写真えほん	写真絵本の展示・貸出しを行い、写真で描かれた絵本に触れる機会を提供しました。	11 月 1 日（金）～ 11 月 27 日（水）
クリスマスのほん	12 月 25 日の「クリスマス」にちなんで本を 152 冊集めて、展示・貸出しを行いました。	11 月 29 日（金）～ 12 月 25 日（水）
雪のほん	冬の季節に合わせて、雪に関する絵本など約 57 冊の展示・貸出しを行いました。	12 月 20 日（金）～ R2 年 1 月 29 日（水）
ねこのほん	2 月 22 日の「猫の日」にちなんで、猫に関する本、55 冊の展示・貸出しを行いました。	R2 年 1 月 31 日（金） ～2 月 26 日（水）
ひなまつりのほん	3 月 3 日の「ひなまつり」にちなんで、ひなまつりに関する本 19 冊の展示・貸出しを行いました。	R2 年 2 月 28 日（金） ～3 月 1 日（日）

ウ ヤングアダルトコーナー 展示分

展 示 名	内 容	と き
文房具の活用術	実用的でかわいい文房具や上手な使い方の本を集めて、展示・貸出しを行いました。	3 月 1 日（金）～ 4 月 24 日（水）
マナーの本	テーブルマナー、あいさつ、海外と日本のマナーの違いなど様々なジャンルの本を集めて展示・貸出しを行いました。	4 月 26 日（金）～ 6 月 26 日（水）
読書感想文におすすめの本	中学生・高校生向けの過去 10 年分の読書感想文課題図書と集めて、展示・貸出しを行いました。	6 月 28 日（金）～ 8 月 28 日（水）
名探偵の本	自称名探偵や変わった名探偵の本 49 冊の展示・貸出しを行いました。	8 月 30 日（金）～ 10 月 30 日（水）

展 示 名	内 容	と き
部活小説	学生に身近な「部活」をテーマとした小説を集めて、展示・貸出しを行いました。	11月1日(金)～ 12月25日(水)
365日の本	誕生花・誕生石・誕生樹など、日にちに関する本を幅広く集めて、展示・貸出しを行いました。	12月27日(金)～ R2年3月1日(日)

エ その他

展 示 名	内 容	と き
SDG s ってなんだろう	市で推進している ESD と SDG s に関するコーナーを設置し、時節に合わせてテーマを変えた展示・貸出しを行いました。 ①SDG s ってなんだろう ②目標 16：平和と公平をすべての人に ③目標 14：海の豊かさを守ろう ④目標 11：住み続けられるまちづくりを ⑤絵本で SDG s	①3月29日(金)～ ②7月26日(金)～ ③8月30日(金)～ ④11月1日(金)～ ⑤12月27日(金)～
認知症コーナー 「認知症って？」	認知症にやさしい図書館&博物館プロジェクトとして、認知症に関する本の展示・貸出しを行いました。	5月31日(金)～
科学道 100 ジュニア	理化学研究所と本の可能性を追求する編集工学研究所による共同プロジェクト「科学道 100 冊ジュニア」の本を集め、展示・貸出しを行いました。	4月1日(月)～ R2年3月1日(日) ※3月2日(月)より 臨時休館のため

②行 事

ア イベント的事業

事 業 名	内 容	と き	参加者
こわ～いおはなし会	小学校高学年を対象に「怖い話」をするおはなし会を開催しました。	8月23日(金)	19人
第3回 大牟田市立図書館を 使った調べる学習コ ンクール	「子どもたちだけでなく多くの市民が図書館を活用することによって、生きる力を身につけていただきたい」ということから、身近な疑問や課題を図書館、学校図書館を活用して調べまとめた作品を発表するコンクールを行いました。	募集期間 8月30日(金)～ 10月20日(日) 表彰式 11月10日(日)	応募46点
理科読 テーマ「水」	科学の本への興味関心のきっかけづくりとして、理科実験と科学絵本の読み聞かせを組み合わせ「理科読」を開催しました。	10月22日(火・祝)	28人
科学広場 in おおむた 2019	子どもたちに科学の楽しさを体験する機会を提供するイベントを実行委員会(事務局)として開催しました。	11月10日(日)	出展15組 来場者 1,641人

事業名	内容	とき	参加者
「花さき山」絵本パネル展	岩崎書店の協力により、刊行50周年を迎える絵本「花さき山」のパネルと本の展示・貸出しを行いました。	R2年1月31日(金)～ 2月26日(水)	—
「花さき山」絵本パネル展 記念おはなし会	パネル展の開催にあわせ、「花さき山」の紙芝居や、「モチモチの木」の大型絵本の読み聞かせなどを行いました。	R2年2月8日(土)	14人

イ 講座及び研修会

(ア) 第3回大牟田市立図書館を使った調べる学習コンクール「調べコン」応援講座

内容	講師	とき	受講者
① 作品のテーマや調べ方	講師：図書館スタッフ	7月28日(日)	3人
② こども司書になろう	講師：図書館スタッフ	8月4日(日)	6人
③ 動物について	講師：大牟田市動物園長 広報担当者	8月18日(日)	5人
④ カルタの世界	三池カルタ・歴史資料館長	8月25日(日) ※受講者がキャンセル	中止

(イ) 講座：野菜づくりのコツと裏ワザ

内容	講師	とき	受講者
野菜づくりのコツと裏ワザ	講師：佐藤圭 一般社団法人農山漁村文化協会	9月10日(火)	24人

(ウ) 講座：終活してみませんか？

内容	講師	とき	受講者
第1回 相続セミナー (想いを伝える)	ジブラルタ生命保険株式会社	11月24日(日)	14人
第2回 これからの終活& 葬儀セミナー	株式会社白雲社	12月1日(日)	18人
第3回 エンディングノート から始める楽しむ終活	株式会社マルエ産業	12月8日(日)	21人

《スポーツ施設》〔スポーツ推進室〕

人々の健康に対する関心の高まりと共にスポーツ参加への関心も高く、身近に利用できる安全で快適性が高いスポーツ施設が望まれています。市民や利用者の健康保持と体力増進のためにスポーツ施設の充実を行い活用していきます。

1 体育施設の管理運営

体育施設7施設（市民体育館、延命球場、御大典記念グラウンド、武道場、笹林庭球コート、第二市民体育館、第二グラウンド）については、H19年度から指定管理者制度を導入し、R2年度からR5年度までの4年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定しています。

同法人は、競技の専門知識・大会運営のノウハウ・各団体との連絡や協力体制を活かした各種スポーツ事業の実施により社会体育の普及促進に寄与しており、本市では、事業の計画的な実施状況や必要な保守点検業務の実施状況などについて、指定管理者からの聞き取りや月例報告書などによるモニタリングを行い、随時協議・連携を行っています。

延命プールについては、H20年度から指定管理者制度を導入しており、H29年度からR3年度までの5年間は特定非営利活動法人大牟田市体育協会を指定管理者に指定し、プール開場中は各種イベントの実施や施設の衛生面や利用者の安全管理に努めています。

2 利用状況

(単位：人)

区 分	H29 年度	H30 年度	R 元年度	
延命球場	19,285	24,039	26,991	
市民体育館	124,470	115,066	101,977	
御大典記念グラウンド	47,513	60,700	54,875	
延命プール	17,707	16,324	13,263	
武道場	5,251	5,195	5,103	
宅峰中学校弓道場（※1）	6,478	6,003	5,873	
第二市民体育館	39,546	38,093	39,292	
笹林庭球コート	4,149	3,971	3,696	
第二グラウンド	5,135	9,395	9,363	
諏訪公園テニスコート	12,611	14,548	13,654	
大牟田港 緑地運動 公 園 （※2）	ソフトボール場	4,415	6,125	4,270
	野球場	8,886	8,211	6,987
	運動広場	20,951	22,432	18,909
	庭球場	16,216	16,492	15,484
甘木中学校夜間照明	1,141	1,123	1,113	
手鎌北町公園テニスコート	465	365	332	
合 計	334,219	348,082	321,182	

※1 宅峰中学校弓道場については、一般利用分のみの数値を計上しています。

※2 大牟田港緑地運動公園は県営施設ですが、市が管理委託を行っており参考に記載しています。

3 施設の維持補修等

スポーツ施設を適切に管理運営するため、老朽化した箇所や設備について補修工事等を行い、利用者の利便性及び安全性の向上を図る工事を実施しました。

4 評価・課題

体育施設は、健康で豊かなスポーツライフを送るため、気軽に利用できる施設として親しめるよう利用者の拡大や事業の充実に努めています。

R元年度の施設利用者数は、延命球場、第二市民体育館以外の施設で前年度を下回り、利用者総数も前年度を下回りました。これは、主に9月の台風接近と、R2年3月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用が減少したためと考えられます。

今後とも、利用者が気軽に利用できるよう施設情報等の提供を行うことにより、利用者数の増加に努めていきます。

市民体育館をはじめ、本市の体育施設は老朽化が著しいため、施設の機能維持や、利用者に対して安全性・快適性をどのように確保していくかが課題となっており、今後は、主に機能性・安全性の向上に係る工事や設備の更新を計画的に行っていきます。

〔指定・登録文化財一覧〕

(令和2年3月31日現在)

区 分	種 類	指定・登録年月日	文化財の名称	所 在 地	
国指定	1	建造物 (重要文化財)	S45.6.17 早鐘眼鏡橋 (附 旧水路10m)	早鐘町128番地	
	2	〃	H10.5.1 三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設	宮原町1丁目86番地3	
	3	史 跡	S36.4.5 萩ノ尾古墳	東萩尾町289番地 ほか	
	4	〃	S52.2.17 潜塚古墳	黄金町1丁目469番地 ほか	
	5	〃	H12.1.19 (追加指定 H25.3.27) (追加指定 H26.10.6) (追加指定 H28.10.3) 三井三池炭鉱跡 宮原坑跡 万田坑跡 専用鉄道敷跡 旧長崎税関三池税関支署	宮原町1丁目86番地3 ほか 桜町201番地2 ほか 新港町1番地25	
国登録	6	建造物	H10.1.16 旧三池炭鉱宮浦坑煙突	西宮浦町132番地8	
	7	〃	H12.12.4 旧三池炭鉱三川電鉄変電所 (信号電材株式会社本社)	新港町1番地30	
	8	〃	H17.12.26 大牟田市役所本庁舎旧館	有明町2丁目3番地	
県指定	9	史 跡	H15.2.5 黒崎観世音塚古墳・経塚	岬2608番地2 ほか	
	10	建造物	H8.5.31 旧三池集治監外塀及び石垣	上官町4丁目77番地 三池工業高等学校	
	11	〃	H26.3.14 旧長崎税関三池税関支署	新港町1番地25	
	12	彫 刻	S33.4.3 木造薬師如来坐像	大字今山2538番地 普光寺境内	
	13	〃	S38.1.16 木造慈覚大師坐像	〃	
	14	考古資料	S32.8.13 黒崎山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	15	〃	S33.4.3 宮原石層塔残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内	
	16	〃	S33.11.13 不動明王板碑 (附 梵字阿弥陀三尊板碑)	大字今山2538番地 普光寺境内	
	17	〃	S33.11.13 石造六地藏	大字倉永872番地 法雲寺境内	
	18	〃	S33.11.13 南無阿弥陀仏名号板碑 (附 四面仏石塔残欠)	藤田町743番地 藤田天満宮境内	
	19	〃	S34.3.31 石甲	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館 (九州国立博物館へ貸出・展示)	
	20	〃	S36.4.18 今山普光寺ならびに定林寺石塔群	大字今山字本村、字大塔	
	21	〃	S37.4.19 宮原天満宮石幢残欠	宮原町1丁目191番地 駿馬天満宮境内	
	22	〃	S38.1.16 蜜柑山舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	23	〃	S45.5.2 乙宮神社の石殿	宮坂町20番地 乙宮神社境内	
	24	〃	S57.4.1 倉永古墳壁画残欠	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	25	〃	S57.4.1 高塚舟形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	26	〃	S57.4.1 古城山家形石棺	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館	
	27	有形民俗文化財	S38.1.16 湯谷柳川領境界石	大字四ヶ字湯谷	
	28	天然記念物	S33.4.3 臥龍梅	大字今山2538番地 普光寺境内	
	29	〃	S54.3.6 土穴のエノキ	大字櫛野字土穴928番地	
	30	〃	H18.3.3 米ノ山断層及び石炭層の露頭	大字櫛野字石坂2964 焼石山公園内	
	市指定	31	建造物	H17.12.9 旧三井港倶楽部	西港町2丁目6番
		32	彫 刻	H5.3.10 普光寺仁王像	大字今山2538番地 普光寺堂内
		33	〃	H12.4.14 教楽来天満神社石造狛犬	大字教楽来字権現堂1114番地 教楽来天満神社
		34	考古資料	S34.12.12 四方佛塔 (附 五輪塔地輪)	宝坂町2丁目2番地3 大牟田市立三池カルタ・歴史資料館
		35	〃	S42.10.11 大間劫月院跡の石造遺物	大字三池226番地
		36	〃	S42.10.11 明正寺六地藏幢	大字三池779番地 明正寺境内
37		〃	S50.3.18 定林寺中興開山塔	大字今山字大塔 定林寺境内	
38		〃	S50.3.18 本村の四仏塔婆	大字勝立字本村	
39		〃	S50.3.18 三池氏供養塔	大字今山字大塔 定林寺境内	
40		有形民俗文化財	S37.7.16 焚石山鎮守社稲荷石祠	岬町6番地23 大牟田市石炭産業科学館	
41		無形民俗文化財	S50.3.18 岡天満宮祭礼行事	大字上内 岡・坂井地区	
42		無形民俗文化財	H22.4.14 三池地区祇園社祭礼行事 “三池の大蛇山”	大字三池・大字新町	
43		史 跡	S37.7.16 歴代三池藩主墓地	大字今山2585番地 紹運寺境内ほか	
44		〃	S38.7.11 上内立花内膳家墓地	大字上内字栴2248番地	
45		天然記念物	S41.9.30 上内八幡宮のイチイガシ	大字上内1528番地 上内八幡宮境内	
46		〃	S44.6.11 玉垂神社の大樟	大字岬2363番地 玉垂神社境内	
47		〃	S61.4.16 下正原のシラカシ	大字勝立字下正原1685番地	
48		〃	S61.4.16 一ノ尾のアラカシ	大字教楽来字一ノ尾841番地	

令和2年度版（令和元年度実績）

大牟田の教育

令和2年10月

発行 大牟田市教育委員会
大牟田市
編集 大牟田市教育委員会事務局
総務課 教育みらい創造室
〒836 - 8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
電話 0944 - 41 - 2867 ファクシミリ 0944 - 41 - 2862
電子メール e-kyoikusoumu01@city.omuta.fukuoka.jp
大牟田市教育委員会ホームページ
<http://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/>